EPSON

LP-9500C / LP-9500CZ

ユーザーズガイド

機能・操作方法など、本機を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。
また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

NPD0034-01

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
②本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
③本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
④運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
⑥エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

もくじ

もくじ 3
本書中のマーク、画面、表記について 10

使用可能な用紙と給紙 / 排紙

用紙について 13
印刷できる用紙の種類 13
印刷できない用紙 15
印刷できる領域 16
用紙の保管 16
給紙装置と用紙のセット方法 17
各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量 17
MP カセットへの用紙のセット 18
用紙カセットへの用紙のセット 22
給紙装置の優先順位 27
排紙方法について 28
裏面印刷について 29
両面印刷ユニット（オプション）について 30
両面印刷ユニット使用時の注意事項 30
特殊紙への印刷 31
ハガキへの印刷 31
封筒への印刷 34
厚紙への印刷 36
ラベル紙への印刷 37
コート紙への印刷 38
OHP シートへの印刷 40
不定形紙への印刷 42
用紙タイプ選択機能 43

Windows プリンタドライバの機能と関連情報

プロパティの開き方 45
アプリケーションソフトからの開き方 45
[プリンタ] / [プリンタと FAX] フォルダからの開き方 46
プリンタドライバで設定できる項目 48
[基本設定] ダイアログ 49
[詳細設定] ダイアログ 55
任意の用紙サイズを登録するには 61
[レイアウト] ダイアログ 63
拡大 / 縮小して印刷するには 64
1 ページに複数ページのデータを印刷するには 66
両面印刷 / 製本印刷をするには 68

［ページ装飾］ダイアログ................72
スタンプマークを印刷するには................75
オリジナルスタンプマークの登録方法................78
［環境設定］ダイアログ................82
［実装オプション設定］ダイアログ................85
［拡張設定］ダイアログ................86
TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えるには................89
［動作環境設定］ダイアログ................91
［ユーティリティ］ダイアログ................93
EPSONプリンタウィンドウ!3とは................94
モニタの設定................96
プリンタの状態を確かめるには................99
［プリンタ詳細］ウィンドウ................100
［ジョブ情報］ウィンドウ................101
対処が必要な場合は................103
共有プリンタを監視できない場合は................103
監視プリンタの設定................104
EPSONプリンタウィンドウ!3のみのインストール手順................105
プリンタを共有するには................107
プリントサーバの設定................108
クライアントの設定................118
プリンタ接続先の変更................133
Windows 95/98/Meの場合................133
Windows NT4.0/2000/XPの場合................136
印刷を高速化するには................139
DMA転送とは................139
DMA転送を設定する前に................139
Windows NT4.0の設定確認................140
Windows 2000/XPの設定................142
印刷の中止方法................146
プリンタソフトウェアの削除方法................148
Windowsの場合................148
代替 / 追加ドライバを削除するには................154

Macintoshプリンタドライバの機能と関連情報

設定ダイアログの開き方................157
用紙設定の手順................157
印刷設定の手順................158
［用紙設定］ダイアログ................159
画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには................161
任意の用紙サイズを登録するには................164

［プリント］ダイアログ **166**
［詳細設定］ダイアログ 172
［拡張設定］ダイアログ 178
［レイアウト］ダイアログ 180
拡大 / 縮小して印刷するには 182
スタンプマークを印刷するには 184
オリジナルスタンプマークの登録方法 186
1 ページに複数ページのデータを印刷するには 189
両面印刷をするには 191
［プリンタセットアップ］ダイアログ **193**
プリンタを共有するには **196**
プリンタを共有するには 196
共有プリンタを使用するには 200
EPSON プリンタウィンドウ !3 とは **203**
［モニタの設定］ダイアログ 204
プリンタの状態を確かめるには 205
［プリンタ詳細］ウィンドウ 206
ジョブ管理を行うための条件 207
［ジョブ情報］ウィンドウ 208
対処が必要な場合は 210
バックグラウンドプリントを行う **211**
印刷状況を表示する 212
ColorSync について **213**
ColorSync とは 213
ColorSync を使用して印刷するには 214
印刷の中止方法 **215**
プリンタソフトウェアの削除 **216**

操作パネルからの設定

操作パネルによる設定 **219**
操作パネルで設定を変更する際の注意事項 220
操作手順の概要 221
設定項目の説明 224
発生しているワーニングを確認するには **248**
IP アドレスを操作パネルから設定するには **249**
印刷待機時の消費電力を効率よく節約するには **251**
プリンタの状態や設定値を印刷するには **252**
16 進ダンプ印刷するには **253**
リセットの仕方 **254**
リセット 254
リセットオール 254

液晶ディスプレイの表示メッセージについて......255
ワーニングメッセージ......255
エラーメッセージ......257
ステータスメッセージ......261

添付されているフォントについて

EPSON バーコードフォントの使い方（Windows）......264
注意事項......265
システム条件......266
バーコードフォントのインストール......266
バーコードの作成......269
各バーコードの概要......271
TrueType フォントのインストール方法......279
Windows でのインストール......279
Macintosh でのインストール......282

オプションと消耗品について

オプションと消耗品の紹介......285
パラレルインターフェイスケーブル......285
USB インターフェイスケーブル......286
インターフェイスカード......286
両面印刷ユニット......287
増設カセットユニット......287
増設メモリ......287
フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）......288
フォームオーバーレイ ROM モジュール......288
ハードディスクユニット......288
専用プリンタ台......288
ET カートリッジ......289
廃トナーボックス......289
感光体ユニット......290
リファレンスマニュアル......290
通信販売のご案内......291
ご注文方法......291
お届け方法......291
お支払い方法......291
送料......291
消耗品カタログの送付......291
増設メモリ /ROM モジュール /HDD の取り付け......292
取り付け手順......292
インターフェイスカードの取り付け......298
両面印刷ユニットの取り付け......301

増設カセットユニットの取り付け 307
LP-9500CZ をお使いのお客様へ 322
オプション装着時の設定（Windows） 323

プリンタのメンテナンス

感光体ユニットの交換 327
- 感光体ユニットについて 327
- 感光体ユニットを交換する前に 328
- 感光体ユニットの交換方法 329

ET カートリッジの交換 337
- ET カートリッジについて 337
- ET カートリッジの交換手順 339

廃トナーボックスの交換 343
- 廃トナーボックスについて 343
- 廃トナーボックスの交換手順 344

プリンタの清掃 347
- 給紙ローラのクリーニング 348

プリンタの移動・運搬・長期保管 349
- 近くへの移動 350
- 運搬するときは 350
- プリンタの長期保管 358

困ったときは

印刷実行時のトラブル 361
- プリンタの電源が入らない 361
- ブレーカが動作してしまう 361
- 印刷しない 361
- ステータス（状態）が画面表示できない 365
- プリンタがエラー状態になっている 366
- 「LPT1 に書き込みができませんでした」エラーが発生する 366
- Macintosh のセレクタでプリンタを選択していない 367
- Macintosh のセレクタにプリンタドライバまたはプリンタが表示されない 367
- エラーが発生する 367
- 給排紙されない 368
- 紙詰まりエラーが解除されない 369
- 用紙を二重送りしてしまう 369
- 用紙がカールする 370
- 印刷した封筒にしわが寄る 370
- 「通信エラーが発生しました」と表示される 371
- 印刷が途中で中断されてしまう 372

用紙が詰まったときは 373
紙詰まりの原因 374
カミヅマリ E/F/G 375
カミヅマリ A B 376
カミヅマリ A C 378
カミヅマリ H/H DM A D/A D 381
カラー印刷に関するトラブル 385
カラー印刷ができない 385
画面表示と色合いが異なる 385
中間調の文字や、細い線がかすれる 386
色むらが生じる 386
印刷品質に関するトラブル 387
きれいに印刷できない 387
印刷が薄い（うすくかすれる、不鮮明） 388
汚れ (点) が印刷される 388
周期的に汚れがある 388
指でこするとにじむ 389
塗りつぶし部分に白点がある 389
用紙全体が塗りつぶされてしまう 390
縦線が印刷される 390
何も印刷されない 390
裏面が汚れる 390
用紙両端の汚れ、C カバー付近での紙詰まり、給紙ミスの多発 391
画面表示と印刷結果が異なる 392
画面と異なるフォント / 文字 / グラフィックスで印刷される 392
ページの左右で切れて印刷される 392
画面と異なる位置に印刷される 393
罫線が切れたり文字の位置がずれる 393
設定と異なる印刷をする 393
USB 接続時のトラブル 394
インストールできない 394
印刷できない（Windows） 394
印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない 396
USB ハブに接続すると正常に動作しない 397
その他のトラブル 398
印刷に時間がかかる 398
割り付け / 部単位印刷を同時に行うと、部単位で用紙を分けられない 398
Windows 共有プリンタへ印刷すると通信エラーが発生する 399
周辺の電化製品やパソコン機器に異常が発生する 399
感光体とトナーの寿命を延ばしたいときは 400
どうしても解決しないときは 401

付録

きれいなカラー印刷をするために 403
色の概念 403
カラー印刷のポイント 406
より高度な色合わせについて 411
サービス・サポートのご案内 415
インターネットサービス 415
「MyEPSON」 415
エプソンインフォメーションセンター 416
ショールーム 416
パソコンスクール 416
エプソンサービスパック 416
最新プリンタドライバの入手方法とインストール方法 417
保守サービスのご案内 419
プリンタの仕様 421
索引 428

本書中のマーク、画面、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

用語[*1]　用語の説明を記載していることを示しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面について

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載するWindowsの画面は、特に指定がない限りWindows 98 の画面を使用しています。

Windows の表記について

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 95/98」のようにWindows の表記を省略することがあります。

イラストについて

本書に掲載するプリンタ本体のイラストは、基本として LP-9500CZ のイラストを使用しています。ご利用の機種に置き換えてご覧ください。

使用可能な用紙と給紙 / 排紙

ここでは、印刷できる用紙とできない用紙、用紙のセット方法や特殊紙へ印刷する際の諸注意などについて説明しています。

● 用紙について 13
● 給紙装置と用紙のセット方法 17
● 排紙方法について 28
● 裏面印刷について 29
● 両面印刷ユニット（オプション）について 30
● 特殊紙への印刷 31
● 用紙タイプ選択機能 43

用紙について

印刷できる用紙の種類

本機は、ここで紹介する用紙に印刷できます。これ以外の用紙は使用しないでください。

EPSON 製の用紙

次の用紙が使用できます。

	使用可能な用紙	型 番	説 明
普通紙	EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	LPCPPA3（A3） LPCPPB4（B4） LPCPPA4（A4）	普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。 MP カセット、用紙カセットのどちらからでも給紙できます。
特殊紙	EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙	LPCCTA3（A3） LPCCTA4（A4）	EPSON カラーレーザープリンタ専用のコート紙です。光沢のある美しい仕上がりの印刷が可能です。カタログ、パンフレットなどにご使用ください。MP カセット、用紙カセットのどちらからでも給紙できます。
	EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	LPCOHPS1（A4）	EPSON カラーレーザープリンタ専用の OHP シートです。MP カセットからのみ給紙できます。

上記以外の EPSON 製専用紙は、本機で使用しないでください。プリンタ内部での紙詰まりや故障の原因となります。

EPSON 製上質普通紙およびコート紙の両面に印刷する場合は、用紙の梱包紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）を先に印刷面として印刷してください。

一般の用紙

EPSON製の専用紙以外では、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。特殊紙への印刷の際は、用紙別にご注意いただく事項が異なりますので以下のページを参照ください。
本書31ページ「特殊紙への印刷」

普通紙	コピー用紙	一般の複写機などで使用する用紙です。
	上質紙	紙厚は64～90g/m² の範囲内のものが使用可能です。
	再生紙 *1	紙厚は64～90g/m² の範囲内のものが使用可能です。
特殊紙	官製ハガキ *2	官製ハガキ（190g/m²）が使用可能です。官製往復ハガキの場合は、中央に折り跡のないものをお使いください。官製四面連刷ハガキも使用可能です。
	封筒 *3	使用できる定形サイズの封筒は洋形0号/4号/6号、長形3号、角形2号です。紙厚が85～105g/m² 前後のものをお勧めします。
	ラベル紙	レーザープリンタ用またはコピー機用のラベル紙で、台紙全体がラベルで覆われているものをお使いください。
	不定形紙 *4	用紙幅が90～311mm、用紙長が148～457mm、紙厚が64～210g/m² の範囲内のものをお使いください。
	厚紙 *5	紙厚が91～210g/m² の範囲内の用紙(ケント紙を含む)をお使いください。

*1 再生紙は、一般の室温環境下(温度15～25度、湿度40～60%の環境)以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

*2 絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合がありますので、ご注意ください。
本書348ページ「給紙ローラのクリーニング」

*3 封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷をすることをお勧めします。

*4 本書では、小数点以下は四捨五入しています。詳細については、「プリンタの仕様」をご覧ください。
本書421ページ「プリンタの仕様」

*5 厚紙の紙厚は90g/m² を超えて210g/m² 以下のものを指しますが、本書では「91～210g/m²」という記載をしています。

- 紙の種類によっては特に印刷面の指定がない場合でも、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。
- 用紙がカールなどしてきれいに排紙されない場合は印刷面を替えて用紙をセットしてください。
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。また、大量に印刷する場合も、試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。
- ハガキや封筒などの特殊紙に連続印刷する場合で、思い通りの位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうようなときは、用紙を1枚ずつセットして印刷してください。

印刷できない用紙

プリンタ（給紙ローラ、感光体、定着器）の故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、官製ハガキなど）
- アイロンプリント紙
- モノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で印刷したプレプリント紙
- 他のプリンタで一度印刷した後の裏紙
- 他のカラーレーザープリンタやカラー複写機専用 OHP シート
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙、和紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙
- 貼り合わせた用紙

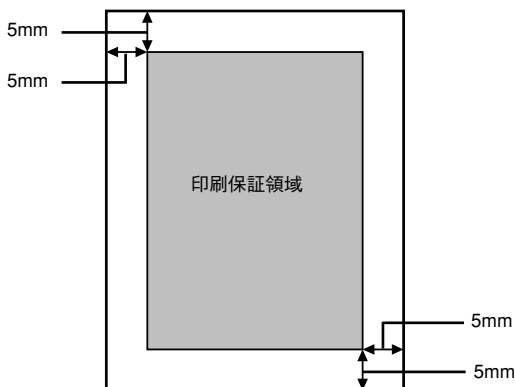
給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

- 薄すぎる用紙（63g/m^2 以下）、厚すぎる用紙（211g/m^2 以上）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙

耐熱温度約 180 度以下で変質、変色する用紙

- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙

印刷できる領域

印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。以下の領域の印刷を保証します。

アプリケーションソフトによっては印刷保証領域が上記より小さくなる場合があります。

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ほこりがつかないよう、包装紙などに包んで保管してください。

給紙装置と用紙のセット方法

各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量

本機の給紙装置で使用できる用紙の種類は次の通りです。ハガキ、封筒、ラベルや不定形紙などの特殊紙は、必ず MP カセットにセットしてください。また、特殊紙は用紙別にセット方法や注意事項が異なりますので以下のページを参照してください。

本書 31 ページ「特殊紙への印刷」

給紙装置	用紙種類		用紙サイズ	紙　厚	容　量 *3
MPカセット *1	普通紙 EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3F、A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4	64 ～90g/m²	250 枚 （または総厚 28.5mm）
	特殊紙	官製ハガキ	100 × 148mm（ハガキ）	190g/m²	50 枚
		官製往復ハガキ	148 × 200mm（W ハガキ）		
		官製四面連刷ハガキ	200 × 296mm（Q ハガキ）		
		封筒	洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、 長形 3 号、角形 2 号	85～105 g/m² 前後を推奨	10 枚
		ラベル紙	A4、Letter（LT）	91～210g/m²	50 枚
		厚紙	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4		
		不定形紙 *4	幅：90 ～ 311mm 長さ：148 ～ 457mm	64 ～90 g/m²	250 枚
				91～210g/m²	50 枚
		EPSONカラーレーザープリンタ用コート紙	A3、A4	105g/m²	50 枚
		EPSONカラーレーザープリンタ用OHPシート	A4	140g/m²	50 枚
用紙カセット *2	普通紙 EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3、A4、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4	64 ～90g/m²	500 枚 （または総厚 57.5mm）
	特殊紙	EPSONカラーレーザープリンタ用コート紙	A3、A4	105g/m²	50 枚

*1 A3F、A3、A4、A5、官製ハガキ、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Ledger（B）、F4 以外の用紙は、プリンタの操作パネルとプリンタドライバで用紙サイズを設定する必要があります。

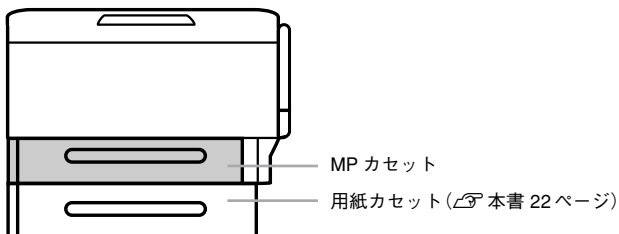
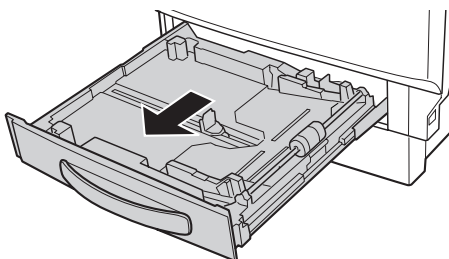
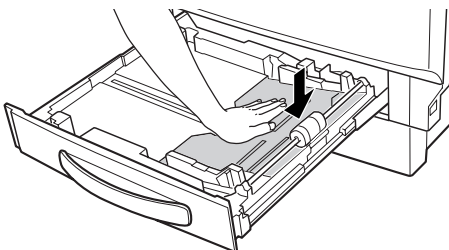
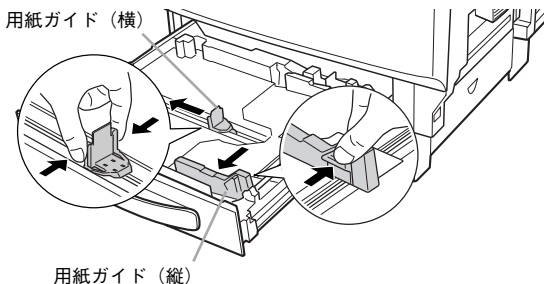
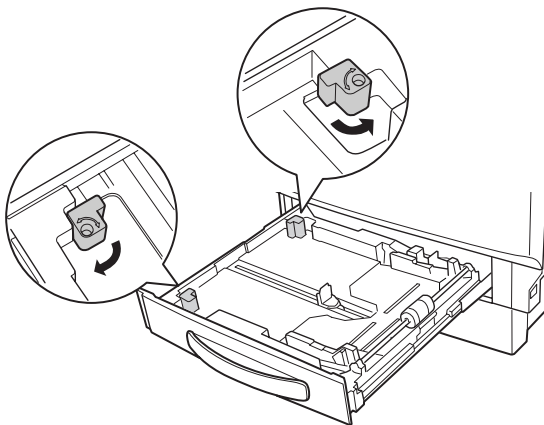
*2 オプションの増設カセットユニットの用紙カセットを指します（LP-9500CZ では、用紙カセット 1 段が標準装備されています）。

*3 セットできる用紙の高さは用紙ガイドの最大枚数（三角マーク表示）までです。三角マークを超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。

*4 不定形紙に印刷する場合は、プリンタドライバのユーザー定義サイズ / カスタム用紙サイズを設定してから印刷してください。

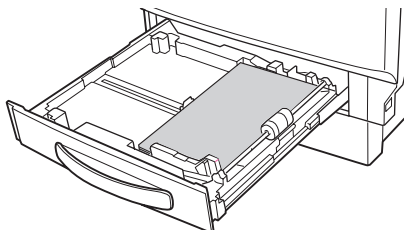
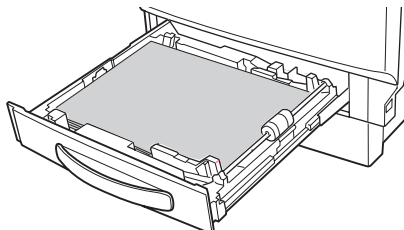
本書 42 ページ「不定形紙への印刷」

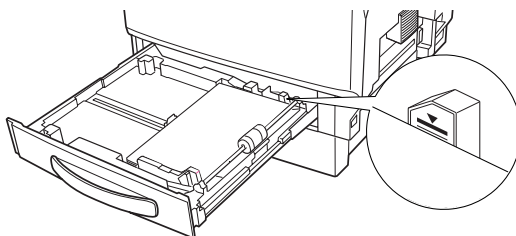
MP カセットへの用紙のセット

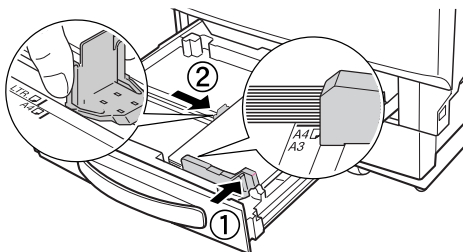
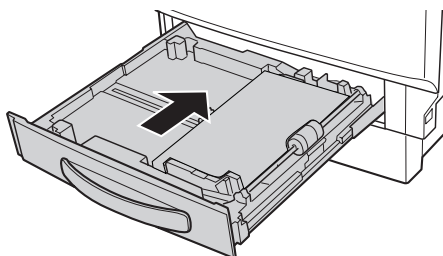
本機に標準装備されている MP カセット（マルチパーパスカセット）には、本機で印刷可能なすべての用紙がセットできます。

1. MP カセットを止まるまで引き出します。

2. MP カセット内部の底板を、カチッと音がして固定されるまで押し下げます。

3 **用紙ガイド（縦）/（横）を用紙がセットできるようにずらします。**

A3F サイズの用紙をセットする場合は、用紙ガイドを図のようにずらします。

- MP カセットで用紙サイズを自動検知できるのは、A3F（約 311mmx457mm {12.25 インチ x18 インチ}）、A3、A4、A5、B4、B5、Letter、Legal、Ledger、F4、官製ハガキ（100 × 148mm）のみです。それ以外のサイズの用紙をセットする場合は、操作パネルで設定してください。正しい設定がされていないと用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られない場合があります。
  本書 221 ページ「操作手順の概要」
- 上記の自動検知可能なサイズの用紙をセットする際、必ず用紙ガイドをセットする用紙サイズに合わせてください。正しく設定されていないと、用紙関連のエラーが発生する場合があります。

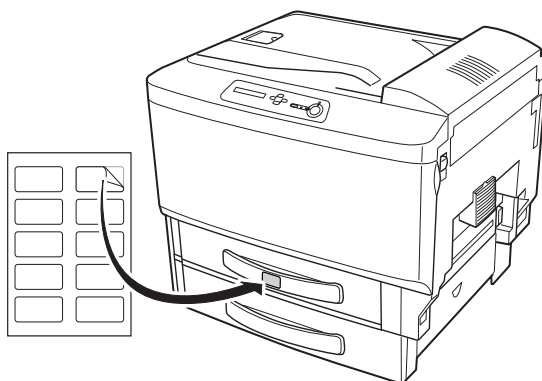
4 印刷する面を上にして用紙をセットします。

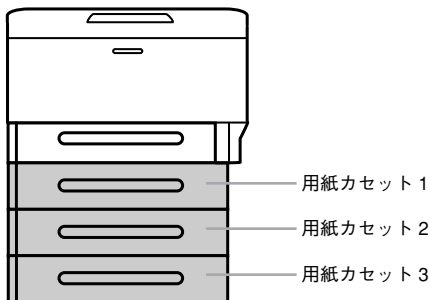
給紙方向に対して横長にセットする用紙	給紙方向に対して縦長にセットする用紙
A4、A5、B5、Letter、Executive、Government Letter、官製往復ハガキ、官製四面連刷ハガキ	A3F、A3、B4、Half Letter、Legal、Government Legal、Ledger、F4、官製ハガキ、洋形0号、洋形4号、洋形6号、長形3号、角形2号

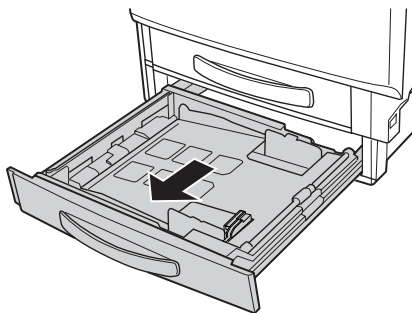
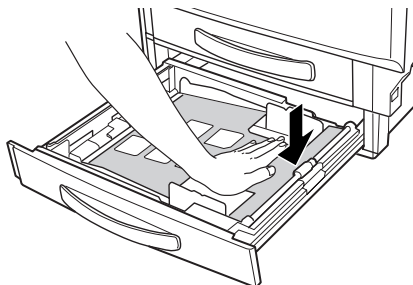
横長にセットする場合

縦長にセットする場合

⚠注意　用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

- 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上に向けてセットします。
- 用紙は最大250枚（普通紙64g/m²）までセットできます。最大枚数（三角マーク表示）を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

- 用紙タイプ選択機能を使用する場合は、セットした用紙に合わせてプリンタの操作パネルで［MP カセットタイプ］を設定してください。
  本書43ページ「用紙タイプ選択機能」

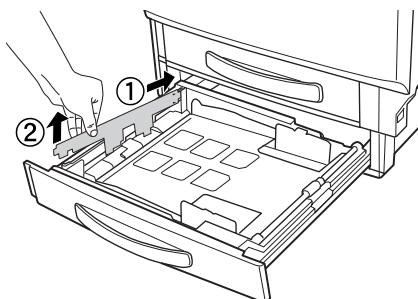
5 用紙ガイド（縦）を用紙の幅に合わせ、用紙ガイド（横）をつまんで用紙を揃えます。

6 MP カセットをプリンタ側に押し込みます。

7 用紙サイズラベルを MP カセット前面に貼り付けます。

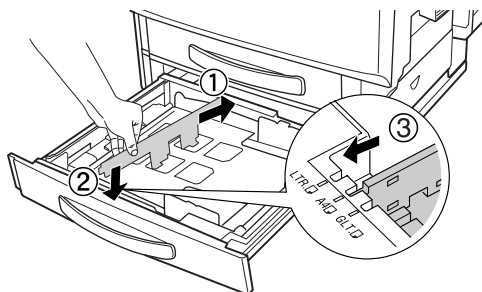
各種の用紙サイズ（A4、B5 など）が印刷されたラベルが同梱されています。MP カセットにセットされている用紙のサイズがわかるよう、図のように貼り付けてご使用ください。

用紙カセットへの用紙のセット

本機には、オプションの増設カセットユニットを 3 段まで装着することができます（LP-9500CZ には 1 段装着済み）。
セットできる用紙の種類や容量については、以下のページを参照してください。
本書 17 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

増設カセットユニットを装着すると、プリンタドライバ上では、［用紙カセット 1］、［用紙カセット 2］、［用紙カセット 3］（操作パネルの液晶ディスプレイには［カセット 1］、［カセット 2］、［カセット 3］）として表示されます。

1. 用紙カセットを止まるまで引き出します。

2 **用紙カセット内部の底板を、カチッと音がして固定されるまで押し下げます。**

用紙カセット内の底板の上にある透明なシートは、円滑に紙送りをするための付属品です。取り外さないでください。

3 **用紙カセット左側の仕切り板を取り外します。**

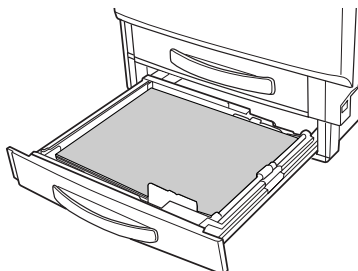
仕切り板を奥に押し込んでから取り外します。

4 **仕切り板を用紙サイズに合わせて取り付けます。**

仕切り板を奥に押し込んでから取り付けます。

仕切り板は、上からまっすぐ下に取り付けてください。斜めに取り付けると正常に印刷できません。

5 印刷する面を上にして用紙をセットします。

給紙方向に対して横長にセットする用紙	給紙方向に対して縦長にセットする用紙
A4、B5、Letter、Government Letter	A3、B4、Legal、Ledger、F4

横長にセットする場合

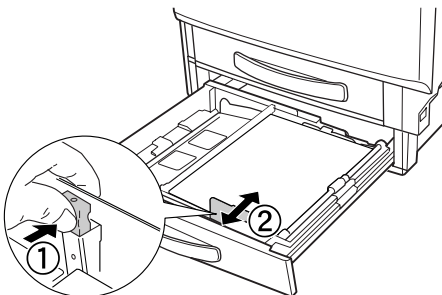
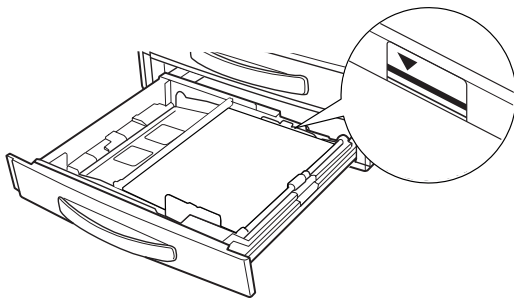
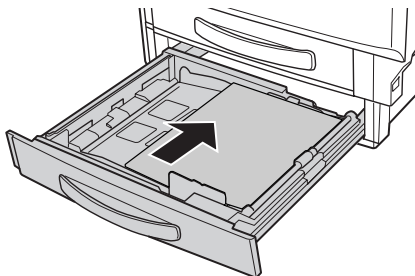
縦長にセットする場合

用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

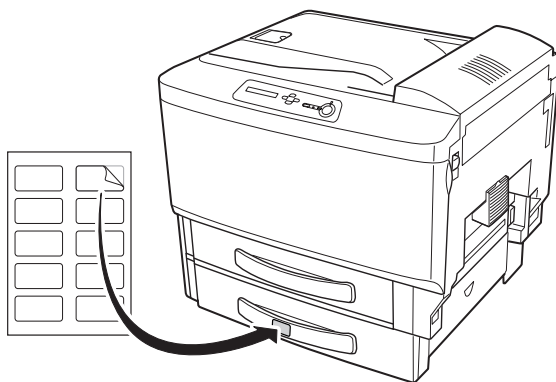
ポイント

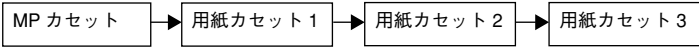
- 増設カセットユニットの構造上、セットする用紙の枚数が少ない場合に、用紙がたわむことがありますが、正常に給紙できます。そのままで、次の手順に進んでください。
- 用紙タイプ選択機能を使用する場合は、セットした用紙に合わせてプリンタの操作パネルで［カセット 1 タイプ］、［カセット 2 タイプ］、［カセット 3 タイプ］を設定してください。
  本書 43 ページ「用紙タイプ選択機能」

6 **用紙ガイドの位置を、用紙サイズに合わせて調整します。**

緑色のノブをつまんで、手前の用紙ガイドを動かすと、奥の用紙ガイドも同時に動きます。

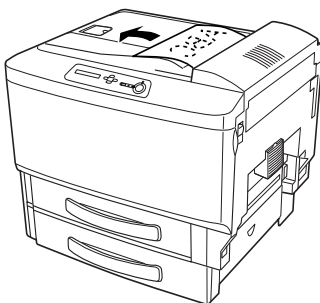
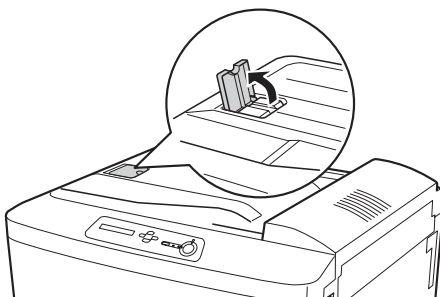
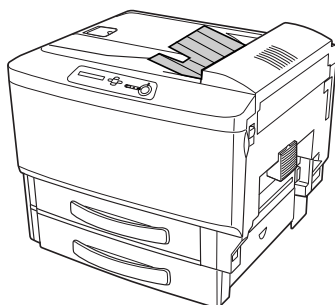
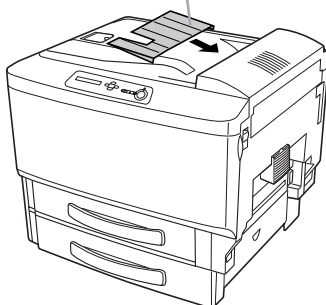
注意

- 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上に向けてセットします。
- 用紙は最大 500 枚（普通紙 64g/m²）までセットできます。最大枚数（三角マーク表示）を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

7 **用紙カセットをプリンタ本体に押し込みます。**

8 **用紙サイズラベルを増設カセットユニット前面に貼り付けます。**

各種の用紙サイズ（A4、B5 など）が印刷されたラベルが同梱されています。各増設カセットユニットにセットされている用紙のサイズがわかるよう、図のように貼り付けてご使用ください。

給紙装置の優先順位

プリンタドライバや操作パネルの設定で、給紙装置を［自動］に設定すると、印刷実行時にプリンタが各給紙装置の用紙サイズを次の順番で調べ、プリンタドライバで設定した用紙サイズと一致するサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。
初めに見つけた給紙装置の用紙がなくなった場合、同じサイズの用紙がセットされている、次の給紙装置に自動的に切り替えて給紙します。

普通紙の場合、給紙装置を組み合わせることで以下の枚数を連続して給紙できます。

給紙装置の組み合わせ	合計枚数
MP カセット	250 枚
MP カセット＋用紙カセット（1 段）	750 枚
MP カセット＋用紙カセット（2 段）	1,250 枚
MP カセット＋用紙カセット（3 段）	1,750 枚

排紙方法について

本機は印刷面を下（フェイスダウン）にしてプリンタ上部の排紙トレイに排紙します。普通紙（紙厚 64g/m^2 の場合）の場合で 250 枚まで排紙できます。

- A3 などの大きいサイズの用紙に印刷する場合は、排紙された用紙を揃えるために、図のように排紙サポートを起こしてください。

- 専用 OHP シートや反っている用紙が丸まってしまい正常に排紙できない場合は、本製品添付の排紙補助トレイを装着してください。
  排紙補助トレイを装着すると、排紙可能枚数が減ります。

裏面印刷について

本機で印刷した用紙を裏返して、もう一度給紙装置にセットすることで、用紙の両面に印刷することができます。

注 意

裏面印刷できる用紙は、本機で一度印刷した用紙のみです。他のプリンタや複写機で印刷した用紙は使用できません。

ポイント

オプションの両面印刷ユニットを使用すると、自動的に用紙の両面に印刷することができますが、印刷できる用紙のサイズや種類に制限があります。
本書 30 ページ「両面印刷ユニット（オプション）について」

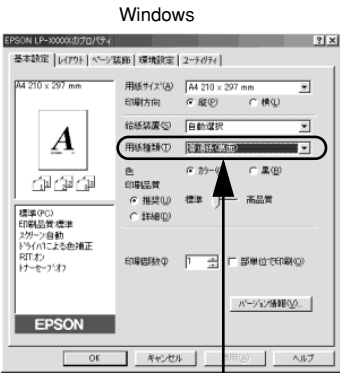
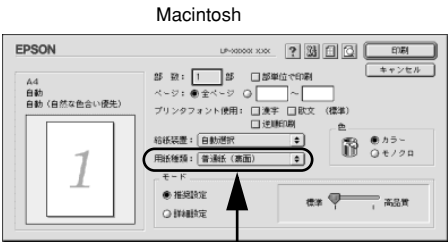
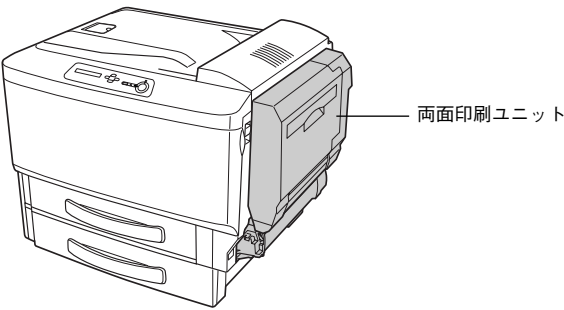
裏面印刷時の注意事項

普通紙や厚紙、官製ハガキ / 官製往復ハガキ / 官製四面連刷ハガキ、専用コート紙の裏面に印刷する場合は、プリンタドライバの［用紙種類］を以下のように設定して印刷してください。

用紙	裏面印刷時の［用紙種類］の設定
普通紙（64～90g/㎡）、専用コート紙	普通紙（裏面）
厚紙（91～210g/㎡）、官製四面連刷ハガキ	厚紙（裏面）
官製ハガキ、官製往復ハガキ	厚紙（小・裏面）

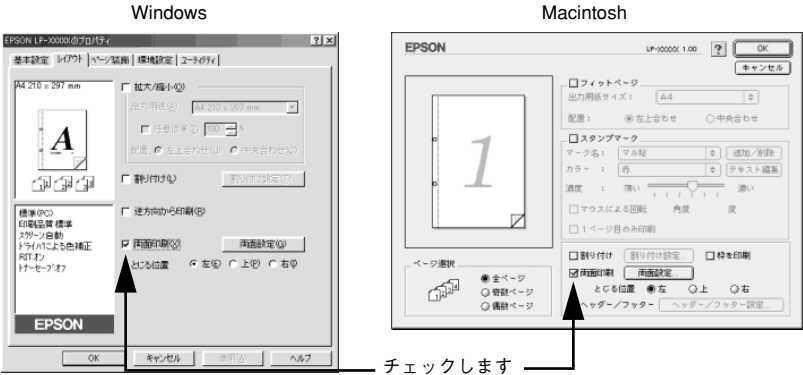
プリンタドライバの設定については、以下のページを参照してください。
Windows：本書 49 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 166 ページ「［プリント］ダイアログ」

Windows

Macintosh

両面印刷ユニット（オプション）について

以下の用紙に印刷できます。

用紙種類	普通紙（EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙）、コート紙（普通紙モード時）
用紙サイズ	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4

両面印刷ユニットを使って自動両面印刷を行う場合は、プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログを開いて、［両面印刷］をチェックします。

Windows：本書 63 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
Macintosh：本書 180 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

両面印刷ユニット使用時の注意事項

- 用紙の表側に印刷するデータと用紙の裏側に印刷するデータで用紙サイズの設定が異なる場合は、両面印刷できません。この場合、両方とも用紙の表側に印刷して出力します。
- A3F、不定形サイズの用紙および特殊紙には自動両面印刷できません。

ポイント

両面印刷ユニットを使用していて紙詰まりが発生する場合は、給紙方向の用紙の余白を 10mm 以上に設定してください。

特殊紙への印刷

ここでは、ハガキや封筒など、特殊紙への印刷方法について説明します。

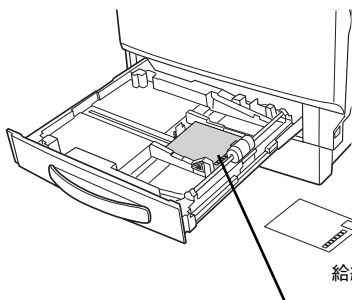
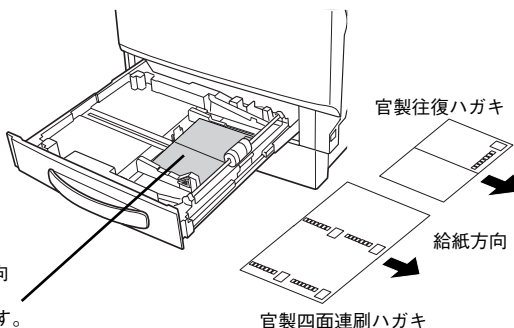
ポイント

- 特殊紙は、MP カセットにセットしてください。用紙カセットからの印刷はできません。
- 特殊紙に印刷すると、通常の印刷に比べて印刷速度が遅くなります。これは、特殊紙への良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷速度の調整を行っているためです。印刷速度については、以下のページを参照してください。
  本書 421 ページ「基本仕様」
- ハガキや封筒などの特殊紙に連続印刷する場合で、思い通りの位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうようなときは、用紙を 1 枚ずつセットして印刷してください。

ハガキへの印刷

ハガキに印刷する前に、同サイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。

注 意

以下のハガキは使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。
- インクジェットプリンタ用の専用ハガキ
- 表面に特殊コート、糊付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷した後のハガキ
- 中央に折り跡のあるハガキ
- 私製ハガキ、絵ハガキなどの厚い（210g/m^2 以上）ハガキ
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
- 他のプリンタや複写機で一度印刷したハガキ
- 大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください。）
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合があります。
  本書 348 ページ「給紙ローラのクリーニング」

官製ハガキ、官製四面連刷ハガキへの印刷は、プリンタの操作パネルとプリンタドライバの用紙サイズの設定を、セットしたハガキサイズに必ず合わせてから印刷してください。用紙サイズを正しく設定しないで印刷すると印刷不良の原因となります。

- 奥までしっかりセットしても給紙されない場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- ハガキに両面印刷する場合は、良好な印刷結果を得るために、通信面を印刷してから、宛名面を印刷してください。

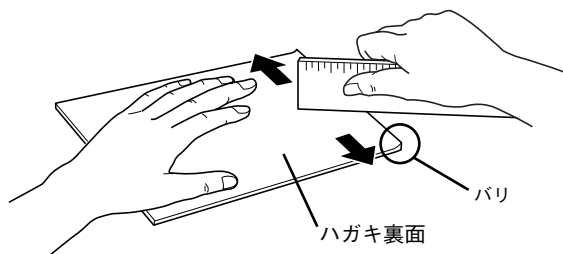
プリンタドライバの設定		ダイアログ	項目	設定値
官製ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	[ハガキ 100 × 148mm]
			給紙装置	[MP カセット]
			用紙種類	[厚紙（小)] *1、[厚紙（小・裏面)] *2
	Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[ハガキ]
		プリント	給紙装置	[MP カセット]
			用紙種類	[厚紙（小)] *1、[厚紙（小・裏面)] *2
官製往復ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	[往復ハガキ 148 × 200mm]
			給紙装置	[MP カセット]
			用紙種類	[厚紙（小)] *1、[厚紙（小・裏面)] *2
	Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[往復ハガキ]
		プリント	給紙装置	[MP カセット]
			用紙種類	[厚紙（小)] *1、[厚紙（小・裏面)] *2
官製四面連刷ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	[4 連ハガキ 200 × 296mm]
			給紙装置	[MP カセット]
			用紙種類	[厚紙]、[厚紙（裏面)] *2
	Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[4 連ハガキ]
		プリント	給紙装置	[MP カセット]
			用紙種類	[厚紙]、[厚紙（裏面)] *2

*1 官製ハガキ / 官製往復ハガキの片面に印刷する場合は、[用紙種類] を [厚紙（小)] に設定しなくても印刷できます（[用紙サイズ] が [ハガキ] / [往復ハガキ] に設定されていれば、プリンタは自動的に [厚紙（小)] として認識します)。

*2 片面印刷後さらにもう一方の面に印刷する場合は、[用紙種類] を [厚紙（裏面)] または [厚紙（小・裏面)] に設定してください。

ハガキの「バリ」除去について

ハガキによっては、裏面に「バリ」(裁断時のかえり) が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。

ハガキを水平な所に置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に 1 〜 2 回こすり、「バリ」を除去します。

「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。

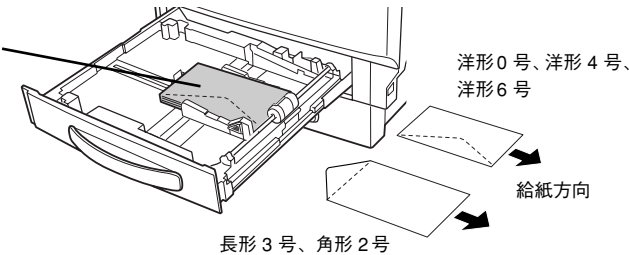
封筒への印刷

封筒の品質は、製造メーカーによって異なります。封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷することをお勧めします。また、大量の封筒を購入する前にも、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

以下の封筒は使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。特に糊付け加工が施されている封筒は、致命的な故障の原因になる場合がありますので絶対に使用しないでください。

- 封の部分に糊付け加工が施されている封筒
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
- リボン、フックなどが付いている封筒
- 他のプリンタや複写機で一度印刷した封筒
- 二重封筒
- 窓付きの封筒
- 耐熱温度約180度以下で変質する可能性のあるインクで印刷がされた封筒

また、封筒への印刷は、プリンタの操作パネルとプリンタドライバの用紙サイズの設定を、セットした封筒サイズに必ず合わせてから印刷してください。用紙サイズを正しく設定しないで印刷すると印刷不良の原因となります。

・フラップ（封）を閉じ、印刷面を上にしてセットします。ただし、長形3号、角形2号の場合は、フラップを開いた状態でセットします。
・フラップを閉じる側への印刷はできません。
・10枚までセット可能です。

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	[洋形 0号 120 × 235mm]、[洋形4号 105 × 235mm]、[洋形6号 98 × 190mm]、[長形3号 120 × 235mm]、[角形2号 240 × 332mm]
		給紙装置	[MP カセット]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[洋形0号]、[洋形4号]、[洋形6号]、[長形3号]、[角形2号]
	プリント	給紙装置	[MP カセット]

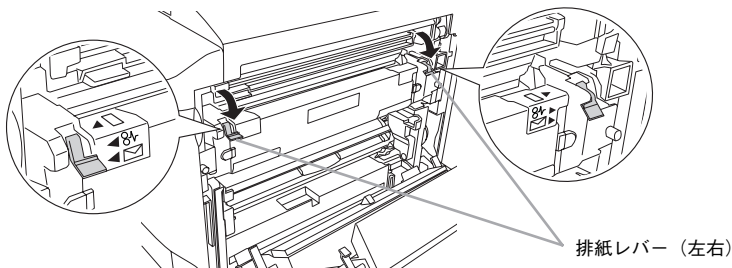
ポイント

- 印刷結果が思う向きにならない場合は、プリンタドライバの［逆方向から印刷］（Windows）/［180 度回転印刷］（Macintosh）をご利用ください。
  本書 63 ページ「[レイアウト］ダイアログ」
  本書 159 ページ「[用紙設定］ダイアログ」
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数 mm 上に反らせてセットしてください。
- 洋形封筒のフラップの重なる場所と重ならない場所をまたぐような、大きな文字やベタ塗りの画像などを印刷すると、正常な印刷ができないことがあります。

封筒にしわが寄ってしまう場合

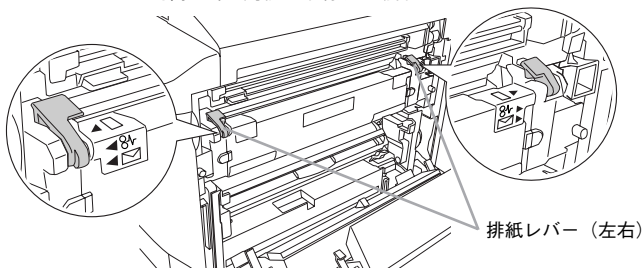
封筒に印刷するとしわが寄ってしまう場合は、以下の操作を行ってから印刷してみてください。

1 本体右側の A カバーを開けます。

2 排紙レバー（左右）を「◀ ✉」、「✉ ▶」マークの位置まで下げます。

3 A カバーを閉じます。

注 意

- 排紙レバー（左右）を「◀ ✉」、「✉ ▶」マークの位置まで下げた後、封筒以外の用紙に印刷する場合は、必ず元の位置に戻してから印刷を開始してください。

封筒以外の用紙に印刷する場合

- 左右の排紙レバーは、必ず同じ位置にしてください。左右のレバーの設定位置が異なると紙詰まりや印刷不良などの原因となります。

厚紙への印刷

本機では、厚紙は厚さ 91 ～ 210g/m² の用紙に印刷することができます。
厚紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の厚紙を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態をご確認ください。

厚紙への印刷時は、プリンタドライバの［用紙種類］を必ず［厚紙］に設定してください。また、厚紙の両面に印刷する場合は、裏面印刷時に［厚紙（裏面）］に設定してください。

Windows：本書 49 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 166 ページ「［プリント］ダイアログ」

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項 目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	［MP カセット］
		用紙種類 *1	［厚紙］、［厚紙（裏面）］*2、［厚紙（小）］、［厚紙（小・裏面）］*2
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［MP カセット］
		用紙種類 *1	［厚紙］、［厚紙（裏面）］*2、［厚紙（小）］、［厚紙（小・裏面）］*2

*1 厚紙の用紙サイズによって、設定が異なります。
厚紙：用紙の横幅が 182mm 以上（A4、Letter（LT）など）
厚紙（小）：用紙の横幅が 182mm 未満（A5、B5、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）など）

*2 片面印刷後さらにもう一方の面に印刷する場合は、［用紙種類］を［厚紙（裏面）］または［厚紙（小・裏面）］に設定してください。

- 紙厚 210g/m² 以下のものを使用してください。
- MP カセットに 50 枚までセット可能です。

ラベル紙への印刷

本機では、A4、Letter サイズのラベル紙のみ印刷できます。
ラベル紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量のラベル紙を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

- ラベル紙への印刷時は、プリンタドライバの［用紙種類］を必ず［ラベル］に設定してください。
  Windows：本書 49 ページ「［基本設定］ダイアログ」
  Macintosh：本書 166 ページ「［プリント］ダイアログ」
- 以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。
  - 簡単にはがれてしまうラベル紙
  - 一部がはがれているラベル紙
  - 糊がはみ出しているラベル紙
  - 台紙全体がラベルで覆われていない（台紙がむき出しになっている）ラベル紙
  - インクジェットプリンタ用のラベル紙

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	［MP カセット］
		用紙種類	［ラベル］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［MP カセット］
		用紙種類	［ラベル］

- ラベルが貼ってある面を上に向けてセットしてください。
- レーザープリンタ用またはコピー機用のラベル紙を使用してください。
- MP カセットに 50 枚までセット可能です。

コート紙への印刷

本機では、EPSON カラーレーザープリンタ専用コート紙（以下、「専用コート紙」と記載）のみ印刷できます。

サイズ	型番
A4	LPCCTA4
A3	LPCCTA3

- 用紙は密閉可能な袋もしくは容器に入れ、湿気の多い場所、乾燥し過ぎた場所での保管は避けてください。
- 両面に印刷する場合は、梱包紙の開封面側（梱包紙の合わせ目のある側）を印刷面として先に印刷してください。
- 専用コート紙は表面に特殊な加工を施しているため、使用する温湿度条件によっては画像不良や二重送りなどの給紙不良を起こす場合があります。このような場合は、MP カセットから 1 枚ずつ給紙してください。

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙サイズを設定
		給紙装置	［自動選択］
		用紙種類	［普通紙］、［普通紙（裏面）］*1
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙サイズを設定
	プリント	給紙装置	［自動選択］
		用紙種類	［普通紙］、［普通紙（裏面）］*1

*1 片面印刷後、さらに一方の面に印刷する場合は、［用紙種類］を［普通紙（裏面）］に設定してください。
また、［普通紙（裏面）］を選択した場合は、給紙装置を選択することができます。

- MP カセットまたは用紙カセットに 50 枚までセット可能です。
- 専用コート紙に印刷する場合で、光沢感をアップさせたい場合は、次ページを参照して、プリンタドライバとプリンタ本体の設定を行ってから印刷を行ってください。

光沢感をアップさせて印刷する場合

専用コート紙に印刷する際、光沢感をアップさせたいときは、専用コート紙を MP カセットにセットして、プリンタドライバの［用紙種類］の設定を［厚紙］にします。専用コート紙を［厚紙］（または［厚紙（裏面)]）に設定して印刷を行う場合は、以下の手順でプリンタ本体の設定を［アツガミモード＝1］にしてください。

1. **［▼(4)］スイッチを押したまま［電源］スイッチをオンにします。**
   液晶ディスプレイに［SUPPORT MODE］→［プリンタ チョウセイチュウ］の順に表示された後、［インサツカノウ］メッセージまたはワーニングメッセージが表示されます。

2. **［▲(2)］スイッチを 2 回押して、［⬍プリンタ チョウセイ メニュー］を選択します。**
   ワーニングメッセージが表示されている場合は、［▲(2)］スイッチを 3 回押して［⬍プリンタ チョウセイ メニュー］を選択します。

3. **［▶/↵(3)］スイッチを押します。［⬍アツガミモード＝ 0］と表示されます。**
   ［アツガミモード］以外が表示された場合は、［▲(2) ］または［▼(4) ］スイッチを押して、［アツガミモード］を選択してください。

4. **［▶/↵(3)］スイッチを押します。［アツガミモード＝⬍0］と表示されます。**

5. **［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［アツガミモード＝⬍1］を選択します。**

6. **［▶/↵(3)］スイッチを押して設定します。**

- 本設定は、専用コート紙（EPSON カラーレーザープリンタ専用コート紙）を［厚紙］または［厚紙（裏面)］に設定して印刷する場合にのみ行います。
  コート紙を［普通紙］として印刷する場合には、本設定をする必要はありません。
- ［アツガミモード］以外の項目は絶対に変更しないでください。印刷が正しく行われない、またはプリンタが正常に動作しなくなるおそれがあります。
- 専用コート紙の［厚紙］（または［厚紙（裏面）］）としての印刷が終了したら、上記の手順で厚紙モードの設定を［アツガミモード＝0］に必ず戻してください。［アツガミモード＝1］のままで専用コート紙以外の用紙に印刷を行うと、最適な印刷品質が確保できなくなります。

OHP シートへの印刷

本機では、EPSON カラーレーザープリンタ専用 OHP シート（型番：LPCOHPS1 以下、「専用 OHP シート」と記載）のみ印刷できます。

- EPSON 純正のカラーレーザープリンタ専用OHP シート(型番:LPCOHPS1)を必ず使用してください。EPSON 純正品以外を使用すると、定着器が故障するおそれがあります。
- 専用 OHP シートへの印刷時は、プリンタドライバの [用紙種類] を必ず[OHP シート] に設定してください。

Windows ：本書 49 ページ「[基本設定] ダイアログ」
Macintosh ：本書 166 ページ「[プリント] ダイアログ」

- 専用 OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。専用 OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後の専用 OHP シートは熱くなっていますのでご注意ください。

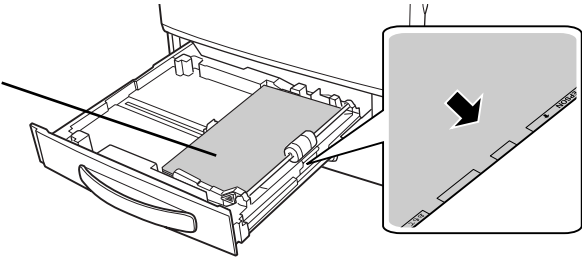
専用 OHP シート印刷時は、正しく排紙するために本製品同梱の排紙補助トレイを装着してください。

本書 28 ページ「排紙方法について」

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	[A4 210 × 297mm]
		給紙装置	[MP カセット]
		用紙種類	[OHP シート]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[A4]
	プリント	給紙装置	[MP カセット]
		用紙種類	[OHP シート]

専用 OHP シートをセットする場合、次の点を必ず守ってください。

- MP カセットにセットしてください（用紙カセットからの給紙はできません）。
- 専用 OHP シートの目印のある箇所を、図のようにセットしてください。

・ 印刷面を上にしてセットします。(目印のある箇所を図のようにセット)
・ MP カセットに 50 枚までセット可能です。

「カミシュ ガ タダシクアリマセン」と表示された場合

以下の場合は、MP カセットにセットされている用紙とプリンタドライバでの設定が合っていないため、本機は操作パネルの液晶ディスプレイに「カミシュ ガ タダシクアリマセン」と表示して排紙します。また、EPSON プリンタウィンドウ !3 では「OHP シートの設定が正しくありません。」というメッセージを表示します。

MP カセットの用紙	プリンタドライバの設定
専用 OHP シート	［OHP シート］以外
専用 OHP シート以外の用紙	［OHP シート］

プリンタを印刷可能な状態に戻すには、印刷中の用紙が排紙されてから、MP カセットの用紙を正しい用紙にセットし直す、またはプリンタドライバで用紙種類を正しく設定し直します。

不定形紙への印刷

本機では、用紙幅：90 ～ 311mm、用紙長：148 ～ 457mm、用紙厚：210g/m^2 の範囲の不定形紙に印刷することができます。大量の不定形紙を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態をご確認ください。

不定形紙は、プリンタドライバで用紙サイズを必ず設定してから印刷を行ってください。正しい用紙サイズに設定されていないと、定着器が破損する原因となります。

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項 目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズをユーザー定義サイズで設定
		給紙装置	［MP カセット］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズをユーザー定義サイズで設定
	プリント	給紙装置	［MP カセット］

アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。

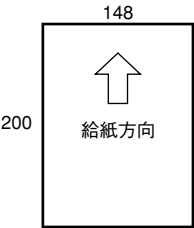
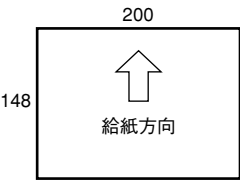
印刷の手順

不定形紙への印刷は以下の手順で行ってください。

① 印刷する不定形紙の用紙サイズをユーザー定義サイズ / カスタム用紙サイズとしてあらかじめプリンタドライバの［用紙サイズ］に登録します。

Windows：本書 61 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」
Macintosh：本書 164 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

② ユーザー定義サイズ / カスタム用紙サイズで設定した用紙方向で、プリンタに用紙をセットします。

<例> ユーザー定義サイズを「用紙幅 148mm × 用紙長 200mm」に設定した場合

<例> ユーザー定義サイズを「用紙幅 200mm × 用紙長 148mm」に設定した場合

③ 印刷データで設定している用紙サイズと同じ用紙サイズを、①で登録した［用紙サイズ］リストの中から選択して、印刷を実行します。

用紙タイプ選択機能

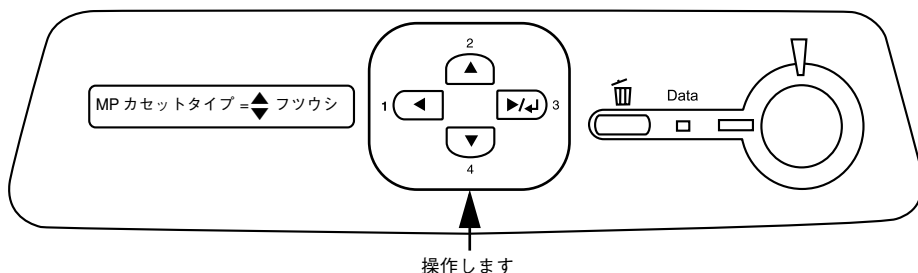
用紙タイプ選択機能を使用すると、印刷実行時にプリンタドライバが各給紙装置の用紙サイズとタイプを調べ、目的の用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙できるようになります。これにより同サイズの異なるタイプ（種類）の用紙をセットしている場合などの誤給紙を防ぐことができます。以下の手順で、あらかじめ各給紙装置にセットした用紙のタイプを設定しておく必要があります。

1. **各給紙装置にセットした用紙のタイプを設定します。**

操作パネルで設定モードに入り、[キュウシソウチメニュー] で [MP カセットタイプ]、[カセット 1 タイプ]、[カセット 2 タイプ]、[カセット 3 タイプ］を設定します。

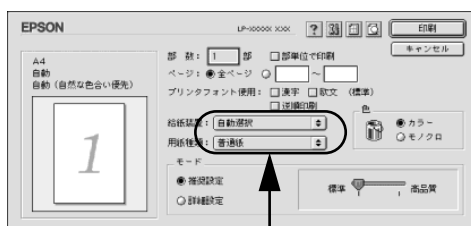
本書 221 ページ「操作手順の概要」

設定値：フツウシ / レターヘッド / サイセイシ / イロツキ /OHP シート */ ラベル *

* 用紙カセットの場合は選択できません。

2. **印刷実行時にプリンタドライバで［給紙装置］を［自動選択］に設定し、［用紙種類］の中から、印刷したい用紙のタイプを選択します。**

印刷を実行するとプリンタドライバは、指定した用紙のセットされている給紙装置から自動的に給紙します。

Windows［基本設定］ダイアログ

Macintosh［プリント］ダイアログ

Windows プリンタドライバの機能と関連情報

プリンタドライバの詳細説明と、Windows でお使いの際に関係する情報について説明しています。

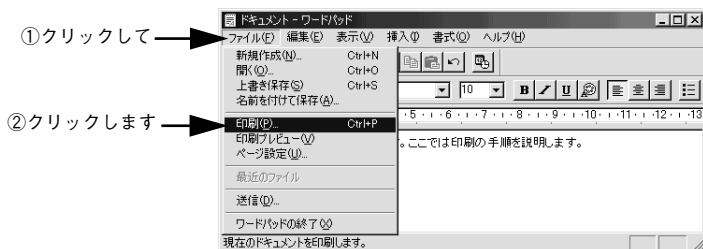
● プロパティの開き方 45
● [基本設定] ダイアログ 49
● [レイアウト] ダイアログ 63
● [ページ装飾] ダイアログ 72
● [環境設定] ダイアログ 82
● [ユーティリティ] ダイアログ 93
● EPSON プリンタウィンドウ !3 とは 94
● プリンタを共有するには 107
● プリンタ接続先の変更 133
● 印刷を高速化するには 139
● 印刷の中止方法 146
● プリンタソフトウェアの削除方法 148

プロパティの開き方

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトからの開き方

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて設定します。プリンタドライバのプロパティを開く方法は、アプリケーションソフトによって異なります。各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。ここでは Windows 98 に添付のワードパッドの場合を例に説明します。

1 ワードパッドの［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させます。

2 プリンタ名に EPSON　LP-9500C が選択されていることを確認して［プロパティ］（Windows XP の場合は［詳細設定］）ボタンをクリックします。

Windows 2000 のワードパッドのように、［印刷］ダイアログ内で直接プリンタのプロパティを操作できる場合があります。

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからの開き方

［プリンタ］（Windows XP の場合は［プリンタと FAX］）フォルダでは、コンピュータにインストールされているプリンタの設定・管理と、新しいプリンタの追加が実行できます。

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合の設定値は、アプリケーションソフトから開いた際の初期値になります。日常的に使う設定値は以下の手順であらかじめ設定しておいてください。

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いて、プリンタドライバを設定する方法はいくつもあります。ここでは代表的な手順を説明します。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

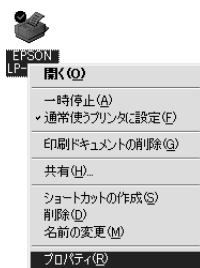
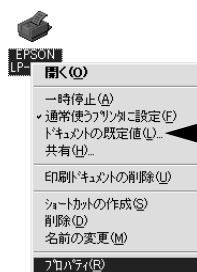
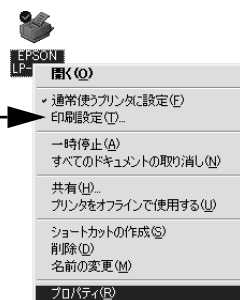
- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

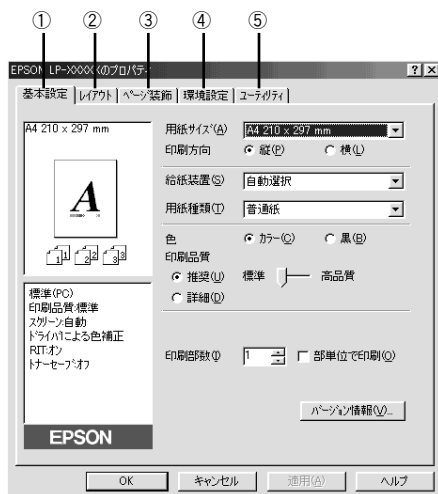
2 **LP-9500C　のプリンタアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［プロパティ］をクリックします。**

Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］または［プロパティ］を、Windows 2000/XP の場合は［印刷設定］または［プロパティ］をクリックでき、設定できる機能が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

ポイント

- プリンタを選択して、［ファイル］メニューから操作することもできます。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合、接続先のポートを変更するときには、［プロパティ］を選択します。プリンタドライバの設定値を変更するときは、［ドキュメントの既定値］または［印刷設定］を選択します。

プリンタドライバで設定できる項目

プリンタドライバで設定できる項目の概要は以下の通りです。詳細は参照先のページをご覧ください。

<例> Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

①印刷の基本設定

用紙サイズ、給紙方法、印刷方法など、印刷にかかわる基本的な設定を行います。

本書 49 ページ「[基本設定] ダイアログ」

②レイアウトの設定

拡大 / 縮小印刷や割り付け印刷など、レイアウトに関する設定を行います。

本書 63 ページ「[レイアウト] ダイアログ」

③ページ装飾

スタンプマークを重ねて印刷したり、日付やユーザー名を入れて印刷します。

本書 72 ページ「[ページ装飾] ダイアログ」

④プリンタの環境設定

プリンタの動作環境を設定したり、ステータスシートを印刷します。

本書 82 ページ「[環境設定] ダイアログ」

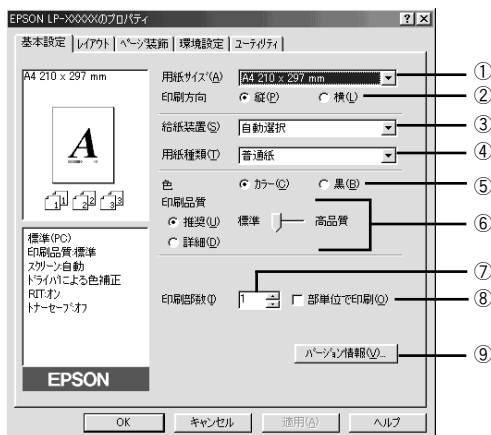
⑤ユーティリティの起動

プリンタの状態をモニタする EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動します。

本書 93 ページ「[ユーティリティ] ダイアログ」

［基本設定］ダイアログ

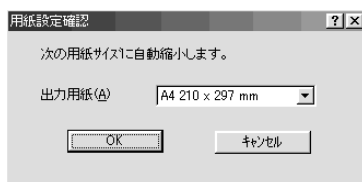
プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷にかかわる基本的な設定を行います。

< 例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

①用紙サイズ

アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの矢印［▲］［▼］をクリックして表示させてください。

- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバの［用紙サイズ］は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷したり、印刷できない場合があります。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合は、本機のサポートしないサイズが表示されます。本機がサポートしないサイズは選択しないでください。
本書 17 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

自動縮小印刷：

プリンタがサポートするサイズより大きい A2 などを選択した場合、以下の画面が表示されます。［出力用紙］のリストボックスで選択した用紙サイズに合わせて、自動縮小して印刷します。

ユーザー定義サイズ：
任意の用紙サイズを設定するには、リスト内の［ユーザー定義サイズ］を選択します。

設定できるサイズは以下の通りです。
用紙幅：90.1 ～ 311.1mm（3.55 ～ 12.25 インチ）
用紙長：148.0 ～ 457.2mm（5.83 ～ 18.00 インチ）
本書 61 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

②印刷方向
印刷する用紙の方向を、［縦］・［横］のいずれかクリックして選択します。アプリケーションソフトで設定した印刷の向きに合わせます。

③給紙装置
給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
MP カセット	MP カセットから給紙します。
用紙カセット 1/2/3*	オプションの増設カセットユニットの用紙カセットから給紙します。

* オプションの増設カセットユニットを装着し、プリンタドライバで設定すると表示されます。プリンタドライバの設定は、LP-9500CZ でも必要です。
本書 323 ページ「オプション装着時の設定（Windows）」

ポイント

- 選択した給紙装置に指定された用紙サイズがセットされていない場合や正しく検知されない場合は、エラーが発生します（用紙サイズチェック機能有効時）。
  本書 86 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して給紙します。
  本書 63 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

④用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

項　目	説　明
指定しない	普通紙タイプの用紙およびコート紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	普通紙タイプの用紙およびコート紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。給紙装置は［自動選択］を選択します。
普通紙（裏面）	表面を印刷した普通紙タイプの用紙の裏面に印刷する場合に選択します。
OHP シート、ラベル、厚紙、厚紙（小）	厚紙に印刷する場合に選択します。紙厚が 91～210g/㎡の場合に選択してください。［厚紙（小）］は用紙幅：182mm 未満、用紙長：257mm 未満の厚紙の場合に選択します。官製往復ハガキ、官製四面連刷ハガキに印刷する場合は［厚紙］を選択します。［給紙装置］には［MP カセット］が選択されます。
厚紙（裏面）、厚紙（小・裏面）	表面を印刷した厚紙の裏面に印刷する場合に選択します。官製往復ハガキ、官製四面連刷ハガキの裏面に印刷する場合は［厚紙（裏面）］を選択します。［給紙装置］には［MP カセット］が設定されます。

- 表面を印刷した用紙の裏面に印刷する場合は、印字品質の最適化のためにそれぞれの用紙に応じて［普通紙（裏面）］、［厚紙（裏面）］、［厚紙（小・裏面）］に設定してください。
- 官製ハガキや官製往復ハガキ、官製四面連刷ハガキの両面に印刷する場合に、片面の印刷後もう一方の面を印刷するときは［用紙種類］を［厚紙（裏面）］に設定してください（ハガキに裏面印刷する場合のみ設定します）。
- 操作パネルで用紙のタイプを設定していない場合は、「用紙タイプ選択機能」は使用できません。

⑤色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［黒］を選択します。［色］の設定によって、次の［印刷品質］の設定は異なります。

⑥ 印刷品質

印刷の品質を決定するさまざまな機能を設定します。

項目	説明
推奨	一般的に推奨できる条件で印刷します。ほとんどの場合、この［推奨］でよい印刷結果が得られます。［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）のどちらかを選択できます。通常は［標準］の設定で十分な印刷品質が得られます。［高品質］は、印刷品質を最優先にして印刷を行うときに選択してください。
詳細	［詳細］をクリックすると、プリセットメニューのリストボックスと［設定変更］/［保存 / 削除］ボタンが有効になります。

カラー印刷時には、以下のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック /CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
オートフォトファイン !4	EPSON独自の画像補正技術オートフォトファイン!4を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
ICM	Windows の ICM(Image Color Matching) 機能（Windows NT4.0 を除く）を使用してスキャナから取り込んだ画像と、プリンタの印刷結果の色合いを合わせて印刷します。
sRGB	スキャナやディスプレイなどの機器が sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチングを行って印刷します。お使いの機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック /CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

項目	説明
［設定変更］ボタン	［詳細設定］ダイアログが開き、詳細な設定ができます。 本書55 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
［保存 / 削除］ボタン	［詳細設定］ダイアログで設定した内容を保存 / 削除できます。 本書60 ページ「ユーザー設定の保存方法」 保存したユーザー設定は、プリセットメニューから選択できます。

⑦印刷部数

印刷する部数（1～999）を指定します。

⑧部単位で印刷

2部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、⑦の［印刷部数］で指定します。

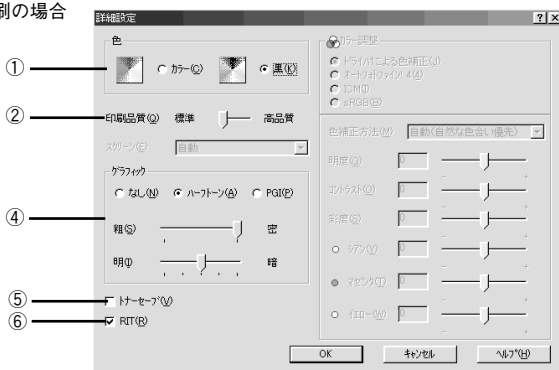
- アプリケーションソフトで部単位印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフトの設定をオフ（部単位印刷しない）にしてから、プリンタドライバで設定してください。
- 部単位の印刷は、装着しているオプションによって処理の仕方が異なります。
  - メモリを128MB以上に増設している場合は、メモリにデータを一時保存します。
  - HDDを装着している場合は、HDDにデータを一時保存します。
  - 128MB以上のメモリとHDDを装着している場合は、メモリとHDDにデータを一時保存します。
  - 上記以外の場合は、プリンタドライバで部単位処理を行います。

⑨［バージョン情報］ボタン

プリンタドライバのバージョン情報を示すダイアログが開きます。

［詳細設定］ダイアログ

［基本設定］ダイアログで［印刷品質］の［詳細］をクリックして、さらに［設定変更］ボタンをクリックすると、印刷条件の詳細な設定ができます。

①色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［黒］を選択します。［色］の設定によって、設定できるほかの印刷条件は異なります。

②印刷品質

印刷の解像度を［標準］(300dpi)または［高品質］(600dpi)のどちらかを選択できます。［高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、［標準］を選択してください。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、［印刷品質］を［標準］に設定してください。

③スクリーン（カラー印刷のみ）

スクリーン線数（lpi）を選択します。

項　目	説　明
自動	スクリーン線数を自動的に設定します。
階調優先	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

［基本設定］ダイアログの［用紙種類］で［OHP シート］を選択している場合は、OHP シート専用のスクリーンが用いられるので設定できません。

④グラフィック（モノクロ印刷のみ）

①「色」で［黒］を選択すると設定できます。

項　目	説　明
なし	グラフィックの印刷処理を行いません。グレースケールや中間色を表現せず、濃淡や色調のない画像になります。
ハーフトーン	グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。
PGI	PGI [*1]（Photo and Graphics Improvement）処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をPGI 処理してきれいに印刷できます。
粗密	［ハーフトーン］または［PGI］選択時の印刷粗密度をスライドバーで調整できます。［密］側にスライドするとより細かく、［粗］側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。
明暗	［ハーフトーン］または［PGI］選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。［明］側にスライドするとより明るく、［暗］側にスライドするとより暗くグラフィックを印刷します。

[*1] PGI：階調表現力を 3 倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷する EPSON 独自の機能。

- ［PGI］で印刷できない場合は、メモリを増設するか、［印刷品質］を［標準］に設定してください。
- アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、［PGI］を選択すると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は［PGI］以外の設定にして印刷してください。
- 粗密を［密］にして印刷するとグラフィックの細かい微妙な部分まで再現できますが、印刷した用紙をさらにコピーすると、グラフィックの中間調がつぶれて真っ黒になります。コピーをする場合は、［密］にしないで印刷することをお勧めします。

⑤トナーセーブ

印刷濃度を抑えることでトナーを節約（トナーセーブ）します。カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

カラー印刷の場合、トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑥RIT

RIT[*1]（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

*1　RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するEPSON独自の印刷機能。

- RIT機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合はRIT機能を使用しないでください。
- カラー印刷の場合、③の［スクリーン］の設定またはデータ上の色によってRIT機能が有効にならない場合があります。

⑦ ドライバによる色補正（カラー印刷のみ）

プリンタドライバによるカラー調整を行います。［ドライバによる色補正］を選択した場合は、以下の設定でカラーを調整できます。

ガンマ：

ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。この設定は、［ドライバによる色補正］を選択した場合にのみ有効です。

［1.5］	ガンマ 1.8 に比べて柔らかい感じの画像を印刷します。
［1.8］	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値 1.5 に比べ立体感がありメリハリのある画像を印刷することができます。
［2.2］	sRGB 対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。⑩の［sRGB］を選択しても同様の結果が得られます。

色補正方法：

色の補正方法を選択できます。

［自動（自然な色合い優先）］	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
［自動（鮮やかさ優先）］	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
［自然な色合い］	より自然な発色になるようにカラー調整します。
［鮮やかな色合い］	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
［色補正なし］	カラー調整しません。ICM 用プロファイルを作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

明度：

画像全体の明るさを調整します。

コントラスト：

画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度：

画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。

シアン、マゼンタ、イエロー：

各色の強さを調整します。

	-25	← 0 → +25
シアン	赤みが強くなります。	青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。	赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。	黄色（イエロー）が強くなります。

⑧オートフォトファイン !4（カラー印刷のみ）

EPSON 独自のオートフォトファイン !4 機能を使って、画像を調整します。ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や Photo CD のデータなどを自動的に補正して印刷します。［オートフォトファイン !4］を選択した場合は、以下の設定でカラーを調整します。

本書 409 ページ「オートフォトファイン !4」

項目	説明
色調	印刷する際の画像の色調の補正方法を、［標準］［硬調］［セピア］［鮮やか］［モノクロ］［色調補正なし］の項目から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。
効果	印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷します。［なし］［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンパス］［和紙］の中から選択することができます。リスト下のスライドバーは、加える効果の強弱（［ハード］、［ソフト］）を調整することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。
デジタルカメラ用補正	デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正をして印刷します。

- 画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が多少長くなります。
- オートフォトファイン !4 は、1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対して最も有効に機能します。256 色（8bit）などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

⑨ICM（カラー印刷のみ）

Windows の ICM（Image Color Matching）機能（Windows NT4.0 を除く）を使用して、スキャナから取り込んだ画像とプリンタの印刷結果の色合いを合わせるときに選択します。

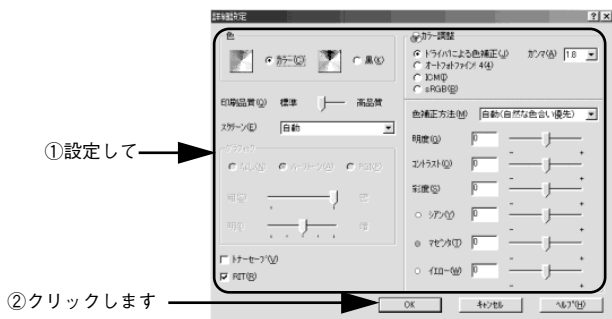
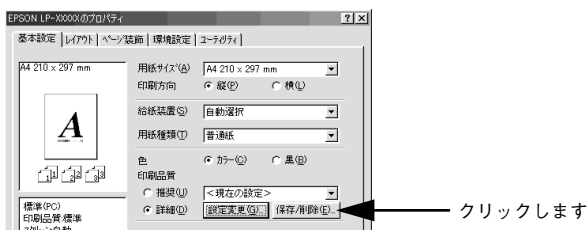
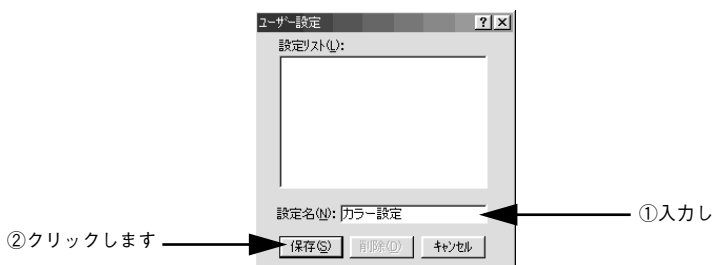
⑩sRGB*1（カラー印刷のみ）

スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。

*1　sRGB：Microsoft 社とヒューレットパッカード社が共同で制定した RGB の色の規格。

ユーザー設定の保存方法

ここでは、[詳細設定] ダイアログの設定を保存する方法、また、以前に保存した設定を削除する方法を説明します。

1 [詳細設定] ダイアログで各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

2 [保存 / 削除] ボタンをクリックします。

3 [設定名] に任意の名称を入力し、[保存] ボタンをクリックします。

これで、[基本設定] ダイアログのプリセットメニューから選択できるようになります。

- 設定を削除する場合は、[設定リスト] から削除する設定名をクリックして選択し、[削除] ボタンをクリックします。
- 10 件まで登録することができます。

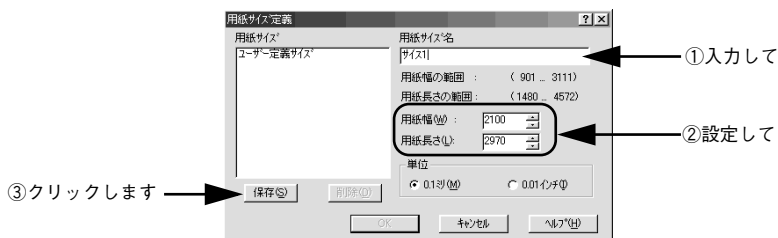
任意の用紙サイズを登録するには

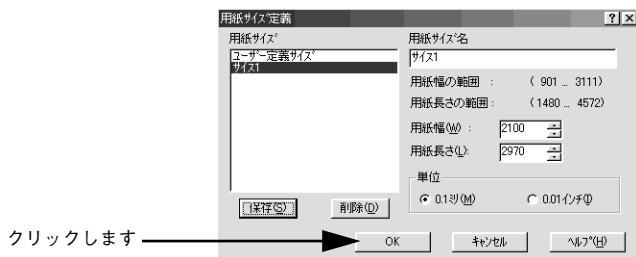
［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として登録することができます。

1 **プリンタドライバの［基本設定］ダイアログを開き、［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

2 **登録名を［用紙サイズ名］に入力し、登録したい［用紙幅］と［用紙長さ］を入力してから、［保存］ボタンをクリックします。**

数値の単位は、［0.1 ミリ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択できます。
設定できるサイズの範囲は次の通りです。

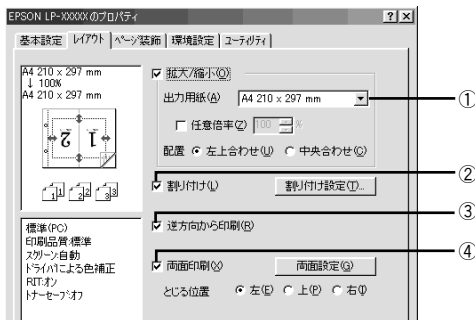
用紙幅：90.1 ～ 311.1mm（3.55 ～ 12.55 インチ）
用紙長：148.0 ～ 457.2mm（5.83 ～ 18.00 インチ）

- 登録できる用紙サイズの数は 20 件までです。
- すでに登録されている用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズを選択して保存し直します。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストからサイズ名をクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録された用紙サイズは保持されます。

3 ［OK］ボタンをクリックします。

これで、定義した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
本書 42 ページ「不定形紙への印刷」

［レイアウト］ダイアログ

プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログでは、印刷するページのレイアウトにかかわる設定を行います。

< 例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

① 拡大 / 縮小

拡大または縮小して印刷することができます。

☞ 本書 64 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

② 割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数と順序を設定するには、［割り付け設定］ボタンをクリックします。

☞ 本書 66 ページ「1 ページに複数ページのデータを印刷するには」

③ 逆方向から印刷

印刷データを 180 度回転して印刷します。

④ 両面印刷

オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に選択でき、両面印刷を行います。製本印刷の設定も行えます。

☞ 本書 68 ページ「両面印刷 / 製本印刷をするには」

両面印刷を行う場合、次の点に注意してください。

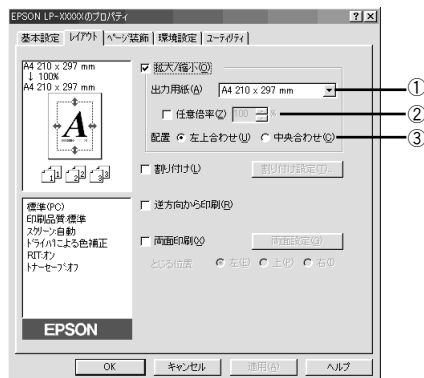
- 両面印刷の製本機能と割り付け機能を同時に設定することはできません。
- MP カセットまたは用紙カセットの用紙ガイドは、用紙サイズの目盛りに正しく合わせてください。用紙サイズが正しく検知されないと、両面印刷ができない場合があります。

両面印刷ユニットを使って自動両面印刷できる用紙については以下のページを参照してください。

☞ 本書 30 ページ「両面印刷ユニット（オプション）について」

拡大 / 縮小して印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［拡大 / 縮小］のチェックボックスをチェックすると、拡大 / 縮小機能が有効になり、以下の項目が設定できます。［基本設定］ダイアログで設定した用紙サイズの原稿を、指定したサイズに拡大または縮小して印刷します。

<例> Windows 98でアプリケーションソフトから開いた場合

① 出力用紙

プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）印刷するには、用紙サイズをリストから選択します。設定した情報を画面左側に表示します。

② 任意倍率

50 ～ 200% までの任意の倍率を 1% 単位で設定できます。この場合は、フィットページ印刷は行われません。

③ 配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

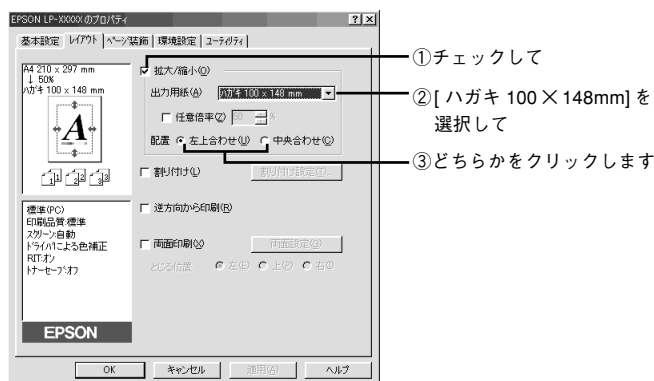
項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

フィットページ印刷の手順

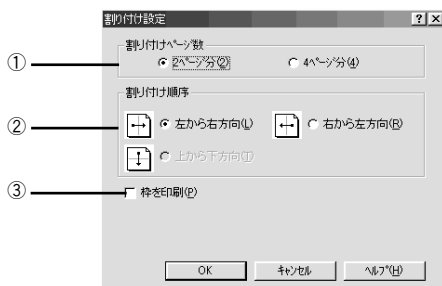
フィットページ機能を使って用紙サイズA4の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順は以下の通りです。

1. プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。

2. ［基本設定］ダイアログを開いて、［用紙サイズ］が［A4］になっていることを確認します。

3. ［レイアウト］ダイアログを開いて、各項目を設定します。

4. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。

1 ページに複数ページのデータを印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［割り付け］のチェックボックスをチェックして［割り付け設定］ボタンをクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが開いて以下の項目が設定できます。

①割り付けページ数

1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

②割り付け順序

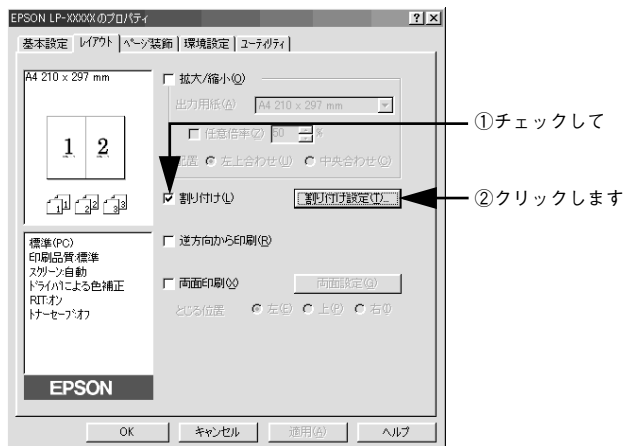
割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

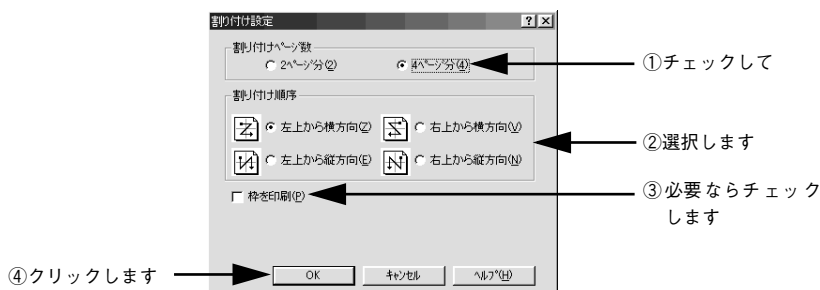
③枠を印刷

割り付けたページの周りに枠線を印刷します。

割り付け印刷の手順

4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. ［レイアウト］ダイアログを開いてから［割り付け設定］ダイアログを開きます。

2. ［4 ページ分］を選択して、［割り付け設定］ダイアログの各項目を設定します。

割り付けたページの周りに枠線を入れたいときは［枠を印刷］のチェックボックスをチェックします。

3. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。

両面印刷 / 製本印刷をするには

［レイアウト］ダイアログで［両面設定］ボタンをクリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

①とじしろ幅

両面印刷するときのとじしろ幅（余白）を、0 ～ 30mm の範囲で用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

②1 ページ目

両面印刷する場合、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

③製本する

［基本設定］ダイアログの［印刷方向］に応じて製本した場合の開き方を選択できます。

- ［印刷方向］が［縦］の場合は、［左開き］か［右開き］かを選択できます。
- ［印刷方向］が［横］の場合は、［下開き］のみ設定できます。

さらに、製本するページの単位を設定できます。

- ［全ページ］を選択すると、すべてのページをまとめて製本します。
- ［分割する］を選択して用紙枚数を指定すると、指定枚数ごとに製本します。最大 10 枚ごとまで分割することができます。

- ［製本する］をチェックすると、両面印刷の［とじる位置］と［とじしろ幅］の設定は無効になります。
- 部単位での印刷になります。

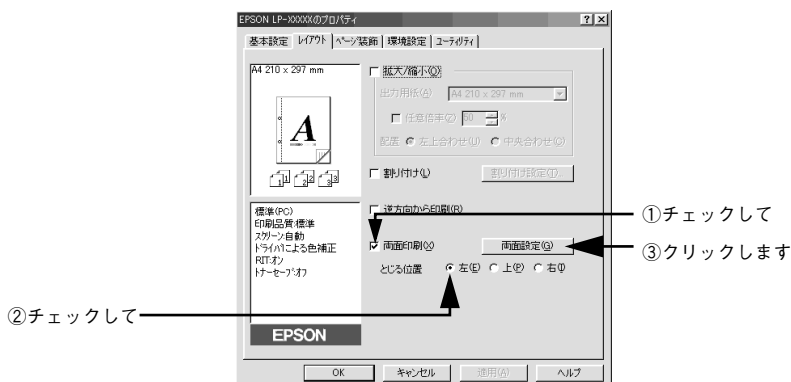
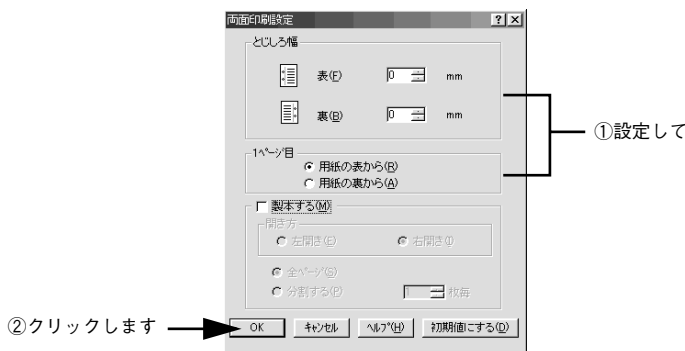
④［初期値にする］ボタン

両面印刷の設定を初期状態に戻します。

両面印刷の手順

A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する場合の手順は以下の通りです。

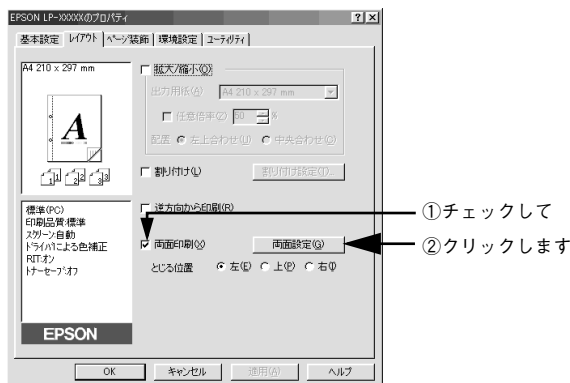
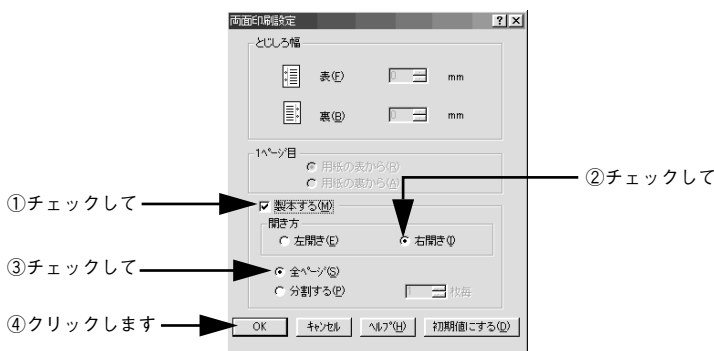
1. **プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（ここではA4）がセットされていることを確認します。**

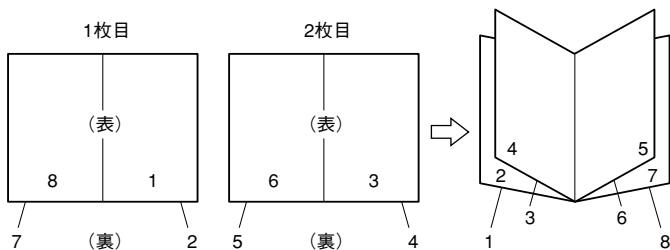
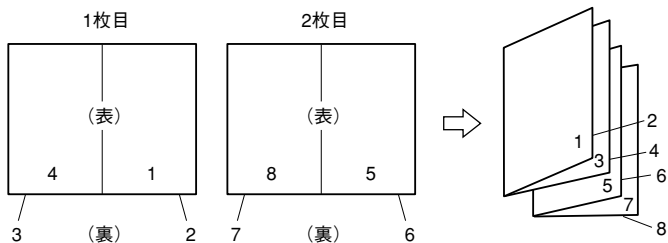
2. **［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。**
   ［両面印刷］と［とじる位置］の［左］をチェックして、［両面設定］ボタンをクリックします。

3. **［両面印刷設定］ダイアログの各項目を設定します。**
   各項目を設定してから、［OK］ボタンをクリックします。

4. **［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

製本印刷の手順

8 ページの印刷データ（縦長）を右開きになるように製本印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. **プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2. **［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。**
［両面印刷］をチェックして、［両面設定］ボタンをクリックします。

3. **［両面印刷設定］ダイアログの以下の項目を設定します。**
［製本する］と［開き方］の［右開き］、［全ページ］をチェックして、［OK］ボタンをクリックします。

4 ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。

以下のように印刷されますので､2枚の用紙をまとめて2つ折りにしてとじてください。

［製本する］の［分割する］を選択する（例：分割数 =1 枚ごと）と、以下のように印刷されます｡この場合は､1 枚ずつ2 つ折りにしてからまとめてとじます。

［ページ装飾］ダイアログ

［ページ装飾］ダイアログは、スタンプマーク印刷、フォームオーバーレイ印刷、ヘッダー / フッター印刷を行う場合に設定するダイアログです。

< 例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

①スタンプマーク

印刷データに ㊙ などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。印刷するスタンプマークを設定するには、［スタンプマーク設定］ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 75 ページ「スタンプマークを印刷するには」

②フォームオーバーレイ

フォームデータを重ね合わせて印刷します。

ポイント

- フォームオーバーレイとは、一定のフォーム（書式）データとアプリケーションソフトで作成したデータを重ね合わせて印刷する機能のことです。この機能を利用することにより、あらかじめ印刷された帳票などを用意する必要がなくなり、また、フォームの変更などに迅速に対応することができるようになります。
- 本ドライバにはフォームデータは添付されておりません。フォームデータを作成・編集するには、オプションのフォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）が必要です（オーバーレイユーティリティをインストールすると、［オーバーレイ設定］ダイアログの機能が拡張されます）。詳細はフォームオーバーレイユーティリティソフトに添付の取扱説明書を参照してください。
- ［環境設定］ダイアログの［拡張設定］－［印刷モード］で［標準（PC）］または［CRT 優先］を選択している場合は、フォームオーバーレイ印刷はできません。

  ☞ 本書 55 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

重ね合わせるフォームデータを選択するには、[オーバーレイ設定] ボタンをクリックして [オーバーレイ設定] ダイアログを開きます。

[フォーム] リスト：
フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）であらかじめ作成して登録しておいたフォーム名を、リストから選択します。選択したフォームデータを重ね合わせて印刷します。フォームを登録していない場合は、フォーム名は表示されません。

[詳細] ボタン：
- [フォーム]リストでフォーム名を選択して[詳細]ボタンをクリックすると、[フォーム詳細] ダイアログが開きます。印刷するフォームをこのダイアログで選択できます。
- [フォーム] リストで [フォーム名称なし] を選択して [詳細] ボタンをクリックした場合は、[フォーム指定] ダイアログが開きます。フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）で作成したフォームファイルや、本機に装着したオプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールに登録したフォームを指定できます。

ファイル指定：
コンピュータのハードディスクに保存しているファイルを指定する場合は、[ファイル指定] をクリックして、ファイル名（保存場所のパスを含む）を入力します。[参照] ボタンをクリックしてファイルを探し、直接指定することもできます。

ROM モジュール指定：（モノクロ印刷設定時のみ）

本機に装着したオプションのフォームオーバーレイROMモジュールにフォームを登録している場合は、［ROM モジュール指定］を選択できます。［ROM モジュール指定］をクリックしてから、使用するフォームの登録番号をリストから選択してください。ROM モジュールの情報を登録している場合は、［情報印刷］ボタンをクリックして、ROM モジュールに登録しているフォームの情報を印刷して確かめることができます。

オプションのフォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）をインストールすると、オーバーレイデータが作成できるように標準の［オーバーレイ］ダイアログの機能が拡張されます。詳細については、フォームオーバーレイユーティリティソフトに添付の取扱説明書を参照してください。

③ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックします。

［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号*）を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

* 部単位で印刷する場合に何部目であるかを示す番号

Windows NT4.0/2000/XP の場合、［ヘッダー / フッター］の設定は［動作環境設定］ダイアログでの［ドキュメント設定］の影響を受けます。

☞本書 91 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

スタンプマークを印刷するには

［ページ装飾］ダイアログで［スタンプマーク］のチェックボックスをチェックして［スタンプマーク設定］ボタンをクリックすると、［スタンプマーク設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

ビットマップマーク選択時

登録したビットマップマーク選択時

登録したテキストマーク選択時

①プレビュー部

選択しているスタンプマークが表示されます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン

オリジナルのビットマップ (BMP[*1] 画像) マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除します。

本書 78 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

[*1] BMP：画像ファイルを保存する際のファイル形式の 1 つ。

④1 ページ目のみ印刷

用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

⑤配置
スタンプマークを文書の［前面］または［背面］どちらに配置するかを選択します。［前面］に配置すると、印刷データの文字やグラフィックスがスタンプマークにかくれてしまう場合があります。

⑥濃度
スタンプマークの印刷濃度（薄い・濃い）を調整します。

⑦位置
スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します。

⑧オフセット
スタンプマークの印刷位置をスライドバーで調整できます。

［サイズ］、［位置］、［オフセット］を設定する場合、スタンプマークが印刷保証領域を超えないように注意してください。

⑨サイズ
印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを［－］側に移動するとより小さく、［＋］側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます。

⑩ファイル名（登録したビットマップマーク選択時のみ）
登録したビットマップマークを［マーク名］で選択した場合は、登録したビットマップのファイル名が表示されます。登録したビットマップファイルを変更する場合は、［参照］ボタンをクリックしてファイルを選択し直してください。

⑪テキスト（登録したテキストマーク選択時のみ）
登録したテキストマークを［マーク名］で選択した場合は、登録した文字列が表示されます。一時的に文字を追加して変更することもできます。登録した文字を変更する場合は、［追加 /削除］ボタンをクリックして同一マーク名で上書きしてください。

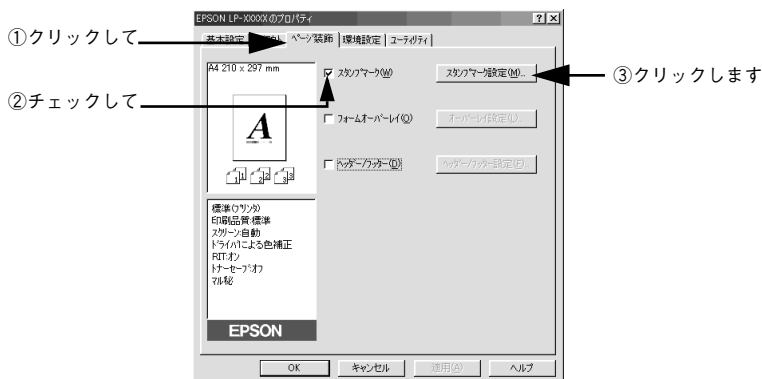
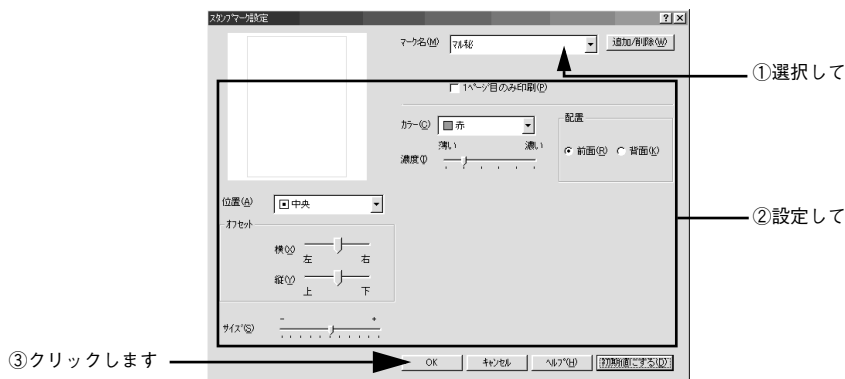
⑫フォント設定（登録したテキストマーク選択時のみ）
テキストマークを選択した場合は、登録したテキストのフォントおよびスタイル（形状）を、リストボックスの中から選択することができます。

⑬回転（登録したテキストマーク選択時のみ）
テキストマークを選択した場合は、テキストマークの角度を設定できます。入力欄に角度を直接入力するか、スライドバーで設定してください。

⑭［初期値にする］ボタン
［スタンプマーク］ダイアログの設定を初期値に戻します。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. [ページ装飾] ダイアログを開いてから、[スタンプマーク設定] ダイアログを開きます。

2. 印刷したいスタンプマークを選択して、各項目を設定します。

3. [OK] ボタンをクリックして [ページ装飾] ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。

オリジナルスタンプマークの登録方法

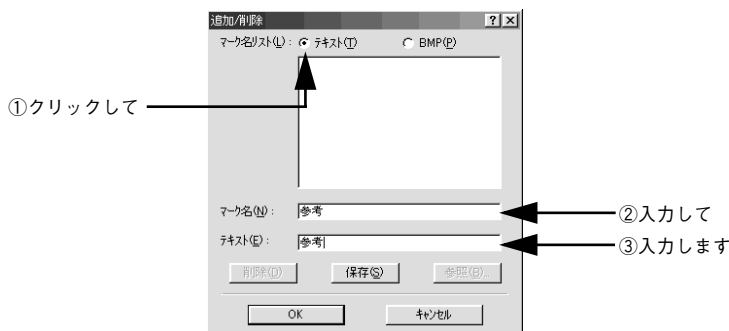
すでに登録されているスタンプマークのほかに、テキスト（文字）マークやビットマップ（画像）マークが登録できます。登録するマークの種類に合わせて、それぞれの手順をお読みください。

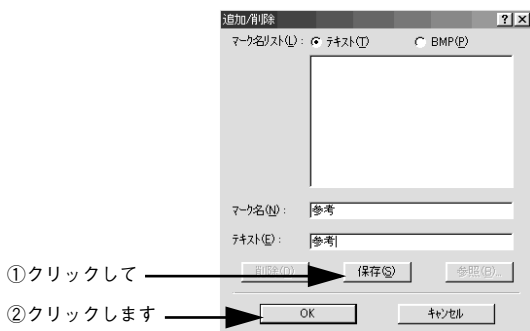
オリジナルスタンプマークは 10 件まで登録することができます。

テキストマークの登録方法

1 ［ページ装飾］ダイアログを開いてから、［スタンプマーク設定］ダイアログを開きます。

2 ［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

3 ［テキスト］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［テキスト］に登録したい文字を入力します。

直接［テキスト］に文字を入力すると、同じ文字が自動的に［マーク名］に入力されます。入力した文字と同じマーク名を付けたい場合に便利です。

4 ［保存］ボタンをクリックして、［OK］ボタンをクリックします。

これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのテキストマークが登録されました。

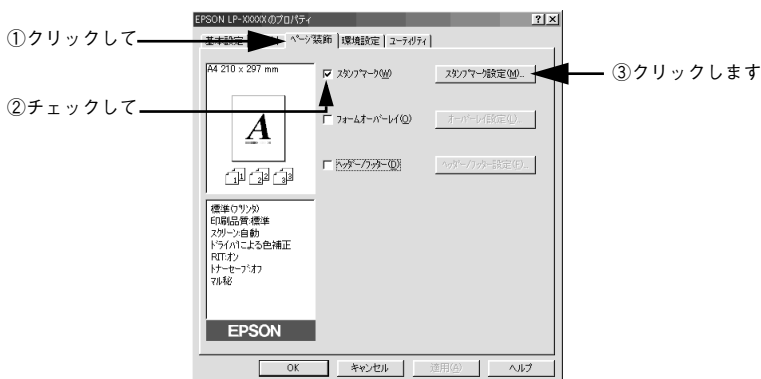
登録したスタンプマークを削除するには、削除したいマーク名を［マーク名リスト］から選択して［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、［スタンプマーク設定］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログの［OK］ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

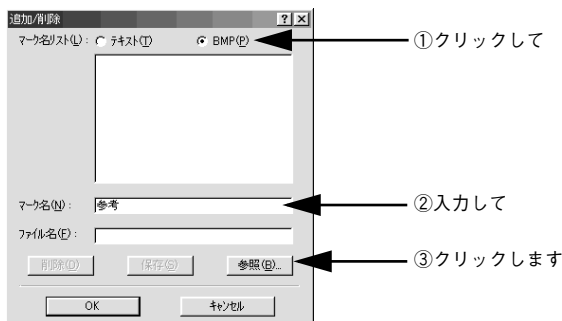
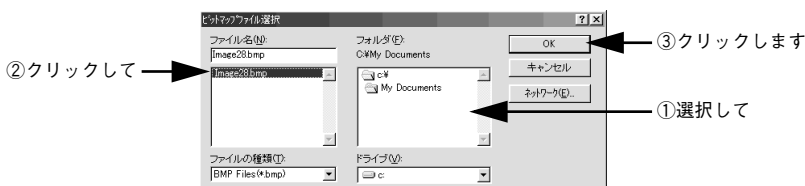
5 ［スタンプマーク設定］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

ビットマップマークの登録方法

1. アプリケーションソフトでスタンプマークを作成し、BMP 形式で保存します。

2. ［ページ装飾］ダイアログを開いてから、［スタンプマーク設定］ダイアログを開きます。

3. ［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

4. ［BMP］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［参照］ボタンをクリックします。

5 ❶ でスタンプマークを保存したフォルダを選択し､登録するスタンプマークのファイル名をクリックしてから、[OK] ボタンをクリックします。

6 [保存] ボタンをクリックして、[OK] ボタンをクリックします。

これで [スタンプマーク設定] ダイアログの [マーク名] リストにオリジナルのビットマップマークが登録されました。

ポイント

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいマーク名を [マーク名リスト] から選択して [削除] ボタンをクリックします。[削除] ボタンをクリックした後､[スタンプマーク設定] ダイアログとプリンタプロパティのダイアログの [OK] ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

7 [スタンプマーク設定] ダイアログで [OK] ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

［環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログは、お使いの OS や開き方によって画面のイメージや設定できる項目が異なります。

［プリンタ］フォルダから開いた場合

設定項目	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0/2000/XP 管理者	Windows NT4.0/2000/XP 管理者以外	Windows NT4.0/2000/XP 管理者	Windows NT4.0/2000/XP 管理者以外
		ドキュメントの既定値 / 印刷設定		プロパティ	
プリンタ（オプション情報）	○	―	―	○	△
ステータスシート印刷	○	○	○	○	○
拡張設定	○	○	○	―	―
動作環境設定	○	△	△	○	△

アプリケーションソフトから開いた場合

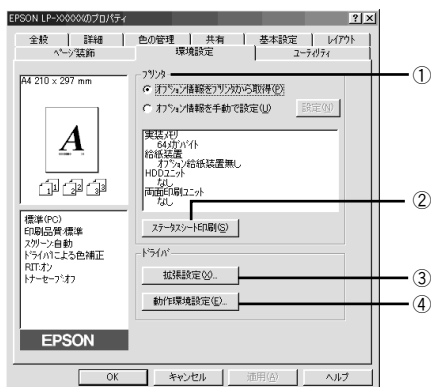
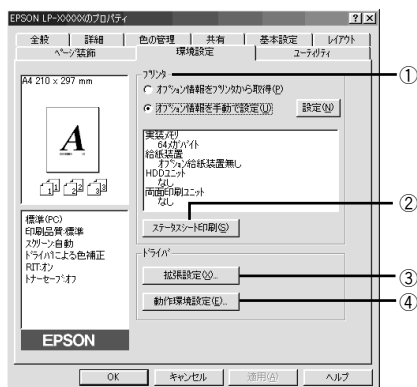
設定項目	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0/2000/XP 管理者	Windows NT4.0/2000/XP 管理者以外
プリンタ（オプション情報）	―	―	―
ステータスシート印刷	○	○	○
拡張設定	○	○	○
動作環境設定	△	△	△

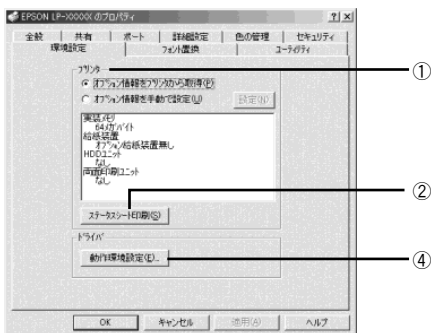
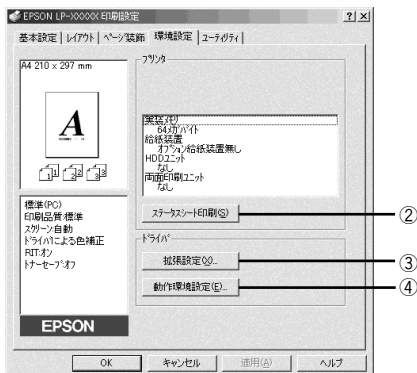
○ :選択可（ダイアログを開いて設定できます）
△ :確認のみ（選択できますが、設定できません）
― :非表示（選択・設定できません）

Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Power Users 以上の権限）のあるユーザーまたはアクセス許可を与えられた Users のみが、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーが設定を変更でき、［プロパティ］または［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］のどちらで［環境設定］ダイアログを開くかによって、設定できる項目（［拡張設定］または［動作環境設定］）が異なります。ダイアログの開き方については、以下のページを参照してください。

本書 45 ページ「プロパティの開き方」

以下に代表的な画面を掲載して項目の説明をします。

＜例＞ Windows 95/98/Me

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

アプリケーションソフトから開いた場合

＜例＞ Windows NT4.0/2000/XP

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

［プリンタ］フォルダから［ドキュメントの既定値］または［印刷設定］を選択して開いた場合
（アプリケーションソフトから開いた場合）

①プリンタ（オプション情報）

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開くと、プリンタに装着しているオプションの最新情報を表示します。本機では、実装しているメモリ容量とオプション（給紙装置など）の有無を表示します。オプション情報は、次のいずれかの方法で取得します。

オプション情報をプリンタから取得*	［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択してプリンタドライバを開いたときに、オプション情報を自動的に取得します。
オプション情報を手動で設定	［設定］ボタンをクリックして［実装オプション設定］ダイアログを開き、取り付けているメモリの容量やオプションを手動で設定します。 本書 85 ページ「［実装オプション設定］ダイアログ」

* EPSON プリンタウィンドウ !3 インストール時のみ有効

ポイント

アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いた場合（Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］、Windows 2000 /XP の場合は［印刷設定］を選択したとき）は、最新のオプション情報は表示されません。［設定］ボタンも表示されません。

②［ステータスシート印刷］ボタン

プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷します。

③［拡張設定］ボタン

印刷位置のオフセット値、白紙節約機能などの設定を行うときにクリックします。

本書 86 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

④［動作環境設定］ボタン

印刷データを一時的に保存するためのフォルダを指定します。

本書 91 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

［実装オプション設定］ダイアログ

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開き、［オプション情報を手動で設定］をクリックして［設定］ボタンをクリックすると、［実装オプション設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

設定を変更した場合は［OK］ボタンをクリックすることで有効になります。

①実装メモリ

装着しているメモリの容量の合計を、リストから選択します。単位はメガバイト（MB）です。標準搭載のメモリの容量は 64MB です。

②オプション給紙装置

オプションの給紙装置を装着していない場合は、［オプション給紙装置無し］をクリックして選択します。オプション給紙装置を装着している場合は、装着した給紙装置名をクリックして選択します。選択を解除するには、再度クリックします。
LP-9500CZ をお使いの場合は、お使いになる前に［用紙カセット 1］を必ず選択してください。

③HDD ユニット

オプションのハードディスクユニットを装着した場合は、チェックマークを付けます。

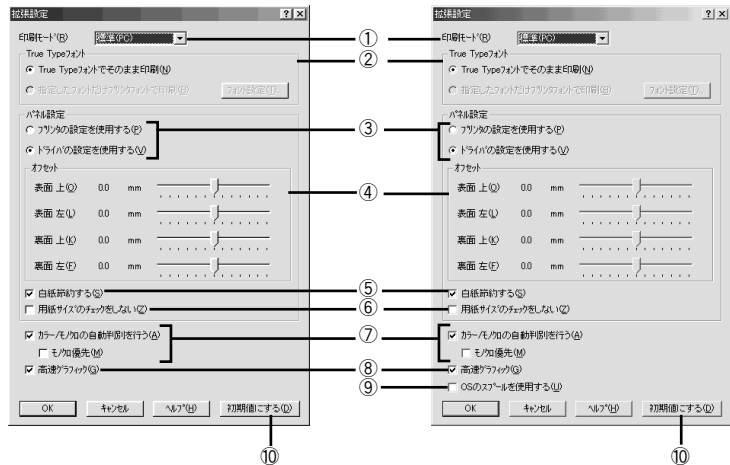
④両面印刷ユニット

オプションの両面印刷ユニットを装着した場合は、チェックマークを付けます。

［拡張設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［拡張設定］ボタンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

Windows NT4.0/2000/XP で、［プリンタ］フォルダ（Windows XP の場合は［プリンタと FAX］フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを開いた場合は表示されません。［プリンタ］フォルダ（Windows XP の場合は［プリンタと FAX］フォルダ）の［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いてください。

Windows 95/98/Me　　Windows NT4.0/2000

①印刷モード

印刷モードを選択します。

印刷モード	説 明
標準（PC） 標準（プリンタ）	印刷データをコンピュータまたはプリンタのどちらで主に処理するかを選択します。
CRT 優先	印刷データをすべてイメージデータとしてプリンタへ送ります。ほかの印刷モードで印刷しても、画面（CRT）通りの印刷結果が得られない場合に選択します。通常、このモードを選択する必要はありません。

- お使いのコンピュータの処理能力が高い場合は、[標準(PC)]を選択してください。プリンタの負荷を軽くすることができます。
- お使いのコンピュータの処理能力が低い場合は、[標準(プリンタ)]を選択してください。コンピュータの負荷を軽くすることができます。
- [CRT 優先]を選択した場合、[オートフォトファイン !4]、[割り付け]、[製本する]、[スタンプマーク]、[フォームオーバーレイ]、[指定したフォントだけプリンタフォントで印刷]は使用できません。
- [標準(PC)]を選択した場合、[フォームオーバーレイ]と[指定したフォントだけプリンタフォントで印刷]は使用できません。

②TrueType フォント

TrueType フォントをそのまま印刷するか、プリンタのフォントに置き換えて印刷するかを選択します。

TrueType フォントでそのまま印刷：
TrueType フォントをそのまま印刷します。

指定したフォントだけプリンタフォントで印刷：
TrueType フォントを、[フォントの置換設定]ダイアログで指定したプリンタフォントに置き換えることにより高速に印刷できます。[フォントの置換設定]ダイアログを開くには、[フォント設定]ボタンをクリックします。
本書 89 ページ「TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えるには」

- Windows 95/98/Me の場合、[プリンタ]フォルダからプリンタドライバのダイアログを開いてください。アプリケーションソフトから開いても、フォント置き換えの設定を変更できません。
- [印刷モード]が[標準(PC)]または[CRT 優先]の場合、フォントの置き換えはできません。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合、[プリンタ]フォルダからプリンタドライバのダイアログを開き、[フォント置換]タブでフォントの置き換えを指定します。[拡張設定]ダイアログの[フォント設定]ボタンをクリックしても、置き換えフォントのリストを表示するだけで、実際に置き換えるフォントを指定できません。

③プリンタの設定を使用する / ドライバの設定を使用する

以下の④[オフセット]、⑤[白紙節約する]、⑥[用紙サイズのチェックをしない]の項目について、操作パネルとプリンタドライバのどちらの設定を優先するかをクリックして選択できます。

項目	説明
プリンタの設定を使用する：	操作パネルの設定を優先します(プリンタドライバでは設定できません)。 本書 224 ページ「設定項目の説明」
ドライバの設定を使用する：	ここ(プリンタドライバ)での設定を優先します(操作パネルの設定を無視します)。

④オフセット
印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。1mm 単位で、次の範囲で設定できます。
上（垂直位置）：-30mm（上方向）～ 30mm（下方向）
左（水平位置）：-30mm（左方向）～ 30mm（右方向）

⑤白紙節約する
白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

⑥用紙サイズのチェックをしない
プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットしてある用紙サイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なっていてもエラーを発生することなく印刷します。

⑦カラー / モノクロの自動判別を行う、モノクロ優先
印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。［モノクロ優先］をチェックすると、カラーとモノクロのデータごとにプリンタの印刷機構を切り替えますので、印刷速度は遅くなりますが、カラーの ET カートリッジと感光体ユニットの寿命を延ばすことができます。

ポイント

［詳細設定］ダイアログの［印刷モード］で［CRT 優先］が選択されている場合は、カラー / モノクロの自動判別は行いません。

⑧高速グラフィック
グラフィック（円や矩形などを重ねて描いた図形）を高速に印刷します。グラフィックが正常に印刷できない場合チェックを外してください。

ポイント

グラフィックが正常に印刷されなかった場合は、チェックボックスのチェックを外してください。

⑨OS のスプールを使用する（Windows NT4.0/2000/XP）
Windows のスプール機能を使用します。アプリケーションソフトによっては、画面と異なる印刷結果になる、印刷時間が長くなるなどの問題が発生することがあります。この場合は、チェックを外してください。

⑩［初期値にする］ボタン
［拡張設定］ダイアログ内の設定を初期値に戻します。

TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えるには

Windows 95/98/Me と Windows NT4.0/2000/XP では、フォント置き換えを設定するダイアログが違います。お使いの OS に合わせて、以下の手順に従ってください。

［印刷モード］が［標準（PC)］の場合、フォントの置き換えはできません。
本書 86 ページ「印刷モード」

1. ［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開きます。

2. フォントを置き換えるためのダイアログを開きます。

- Windows 95/98/Me の場合

① ［環境設定］タブをクリックして開き、［拡張設定］ボタンをクリックします。

② ［指定したフォントだけプリンタフォントで印刷］をクリックし、［フォント設定］ボタンをクリックします。

- Windows NT4.0/2000/XP の場合

［フォント置換］タブをクリックします。

3 ［置換設定の組み合わせ］リストの中から、TrueTypeフォントをクリックして選択します。

4 ［プリンタフォント］リストから、置き換えるプリンタフォントをクリックして選択します。

5 ❸ と ❹ を繰り返して置き換えるフォントをすべて設定したら、［OK］ボタンをクリックします。

以上でフォント置き換えの設定は終了です。

［動作環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［動作環境設定］ボタンをクリックすると、［動作環境設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

- Windows NT4.0 の［ドキュメントの既定値］と Windows 2000/XP の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は、現在の設定状態を表示するだけで設定はできません。設定を変更する場合は、プリンタフォルダから表示する［プロパティ］から［動作環境設定］ダイアログを開いてください。
- 管理者権限のあるユーザー（Windows NT4.0/2000）または「コンピュータの管理者」アカウントのユーザー（Windows XP）のみ設定できます。

Windows 95/98/Me

Windows NT4.0/2000/XP

① 中間スプールフォルダ選択

スプールファイルや部数印刷する際の印刷データを一時的に保存するフォルダを指定します。通常は、設定を変更する必要はありません。

- Windows NT4.0/2000/XP で中間スプールフォルダを選択する場合は、選択するフォルダのアクセス権（またはアクセス許可）の設定がすべてのユーザーで「変更」または「フルコントロール」になっていることを確認してから選択してください。
- 印刷データを一時的に保存するフォルダの空き容量が少ないと、扱うデータによっては印刷できない場合があります。このようなときに空き容量の大きなドライブにある任意のフォルダを選択すると印刷できるようになります。

② ドキュメント設定（Windows NT4.0/2000/XP）

ヘッダー/ フッターの印刷を設定できます。[ページ装飾] ダイアログのヘッダー / フッターの設定は、ここでの設定によって下表のように影響を受けます。

<table>
<tr><td rowspan="4"></td><td colspan="3">［ヘッダー / フッターの設定を許可しない］</td></tr>
<tr><td>チェックなし</td><td colspan="2">チェックあり</td></tr>
<tr><td rowspan="2">－</td><td colspan="2">［ヘッダー / フッターの印刷］</td></tr>
<tr><td>チェックなし</td><td>チェックあり</td></tr>
<tr><td>［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター］チェックボックス</td><td>設定を変更できます。</td><td>チェックなしのまま設定は変更できません。</td><td>チェックありのまま設定は変更できません。</td></tr>
<tr><td>［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター設定］ボタン</td><td>設定を変更できます。</td><td>ボタンはクリックできません（設定変更不可）。</td><td>ボタンをクリックしてヘッダー / フッターの印刷内容を確認できますが、設定は変更できません。</td></tr>
<tr><td>説明</td><td>ヘッダー / フッターの印刷は［ページ装飾］ダイアログで設定できます。管理者権限のないユーザー（Windows NT4.0/2000）または「コンピュータの管理者」アカウントではないユーザー（Windows XP）でも自由にヘッダー / フッターの印刷を設定できます。</td><td>ヘッダー / フッターは印刷できません。</td><td>ヘッダー / フッターの印刷は［動作環境設定］ダイアログで設定します。［標準設定］ボタンをクリックして［ヘッダー / フッター設定］ダイアログを開き、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・日付・日付 / 時刻・部番号）を選択してください。</td></tr>
</table>

ポイント

- Windows NT4.0 の［ドキュメントの既定値］と Windows 2000/XP の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は設定できません。設定を変更する場合は、［プロパティ］から［動作環境設定］ダイアログを開いてください。
- ヘッダー/フッター印刷を管理する必要がある場合は、管理者権限のあるユーザー（Windows NT4.0/2000）または「コンピュータの管理者」アカウントのユーザー（Windows XP）で設定してください。

［ユーティリティ］ダイアログ

プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログでは、ユーティリティソフトのEPSON プリンタウィンドウ!3 にかかわる設定を行います。

①印刷中プリンタのモニタを行う

チェックマークを付けると、印刷時にプリンタのモニタを行い、プリンタのエラー状態のときにポップアップウィンドウを表示します。

- Windows NT4.0/2000/XP で、［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合は表示されません。［プリンタ］フォルダの［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いてください。
- NetBEUI を使用した直接印刷、IPP 印刷、Novell NDPS 印刷時、または 16 進ダンプモード時には［印刷中プリンタのモニタを行う］のチェックを外してください。

②EPSON プリンタウィンドウ !3

中央のアイコンボタンをクリックすると、プリンタの状態やトナー残量が監視できるEPSON プリンタウィンドウ !3 が起動します。

本書 94 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

③［モニタの設定］ボタン

EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定する場合にクリックします。

本書 97 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

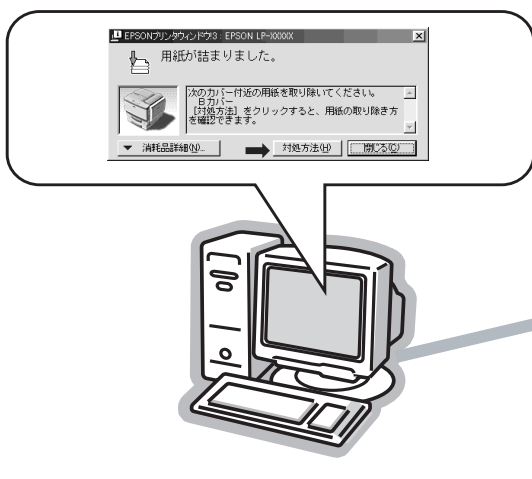
EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、以下の接続形態においてプリンタの状態をコンピュータ上でモニタできるユーティリティです。

- ローカル接続、TCP/IP 直接接続、Windows 共有プリンタ、NetWare 共有プリンタ

ポイント

NetBEUI を使用した直接印刷、IPP 印刷、Novell NDPS 印刷の場合はモニタすることができません。

また、ネットワークプリンタをモニタしてプリントジョブ情報を表示したり印刷終了のメッセージを表示することもできます。

ジョブ管理を行うための条件

ジョブ管理機能を使用するには、プリンタが以下のネットワーク形態で接続されている必要があります。

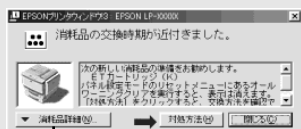
- EpsonNet Direct Print を使っての TCP/IP 接続
- Windows NT4.0 での LPR 接続
- Windows 2000/XP での Standard TCP/IP 接続または LPR 接続
- サーバ上で Windows NT4.0 のLPR、Windows2000/XP の Standard TCP/IP、LPR によって接続された共有プリンタ。ただし、クライアントのログオンユーザとサーバへの接続ユーザが異なる場合、ジョブ管理機能は使用できません。

注 意

- Ethernet ネットワークに接続して使用するには、オプションの Ethernet インターフェイスカードが必要です。
- NetWare および NetBEUI、EpsonNet Internet Print を利用してネットワーク印刷を行う場合、ジョブ管理機能は使用できません。

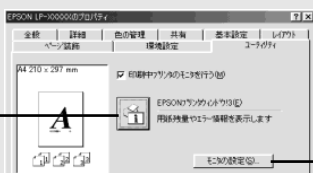
プリンタの状態を表示します

ポップアップウィンドウ

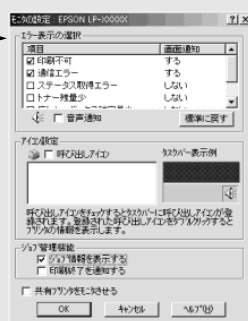
印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で確認することができます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開くには

- ［ユーティリティ］ダイアログから
- タスクバーの呼び出しアイコンから

動作環境を設定するには

［モニタの設定］ダイアログ

どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定することができます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 をお使いいただく前に

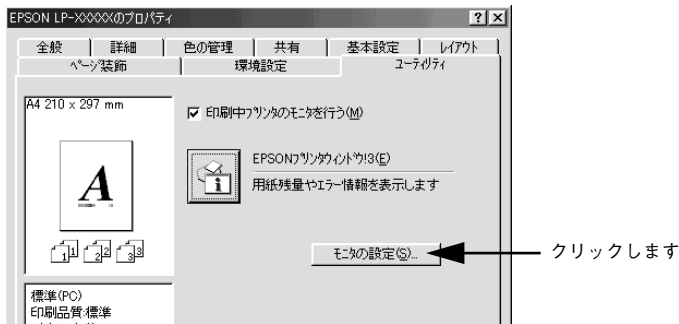
EPSON プリンタウィンドウ !3 をお使いいただく上での注意事項と制限事項について説明します。

- **Windows 95/98/Me で共有プリンタを監視する場合の注意事項**
  サーバ側とクライアント側において、コントロールパネルのネットワークおよび現在のネットワーク構成に、IPX/SPX 互換プロトコルあるいは TCP/IP プロトコルが設定されている必要があります。
- **Windows XP をご使用時の制限事項**
  Windows XP のリモートデスクトップ機能[*1]を利用して、移動先のコンピュータに直接接続されたプリンタから印刷することはできますが、通信エラーとなります。
  *1 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる機能

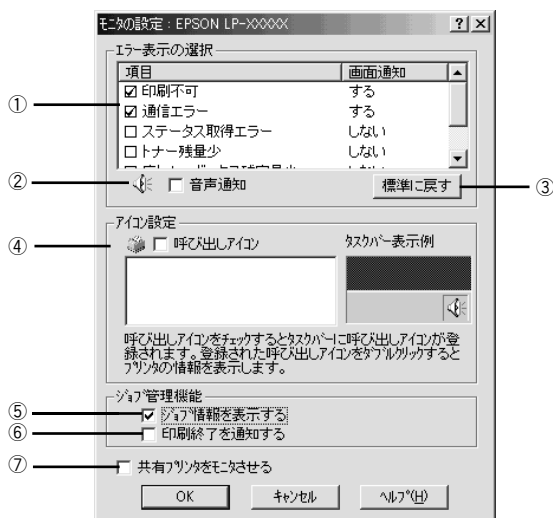
モニタの設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタさせるかなどを設定します。［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2 通りあります。

［方法 1］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［モニタの設定］ボタンをクリックします。

［方法 2］

上記［方法 1］のモニタ設定時に呼び出しアイコンを設定した場合は、Windows のタスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。

［モニタの設定］ダイアログ

①エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニングを通知するかを選択します。通知が必要な項目は、リスト内のエラー状況にチェックを付けます。チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウでお知らせします。

②音声通知

エラー発生時に音声でも通知します。

> お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻します。

④アイコン設定

［呼び出しアイコン］にチェックマークを付けると、EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせてクリックして選択できます。

> タスクバーに設定したアイコンをマウスの右ボタンでクリックすると、メニューが表示されて［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。

⑤ジョブ情報を表示する

ジョブ管理ができる場合にクリックしてチェックマークを付けると、「プリンタ詳細」ウィンドウにジョブ情報を表示します。詳しくは以下のページを参照してください。

本書 101 ページ「[ジョブ情報]ウィンドウ」

⑥印刷終了を通知する

ジョブ管理ができる場合にクリックしてチェックマークを付けると、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。

本書 102 ページ「[印刷終了通知]ダイアログ」

⑦共有プリンタをモニタさせる

ほかのコンピュータ（クライアント）から共有プリンタをモニタさせることができます。

本書 107 ページ「プリンタを共有するには」

共有プリンタに設定した場合は、必ずチェックマークを付けてください。チェックしないと、印刷に支障が出る場合があります。

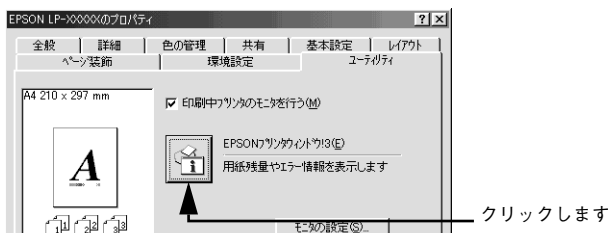
プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を確かめるために、次の 2 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。さらに、印刷中にエラーが発生した場合も［プリンタ詳細］ウィンドウを表示することができます。

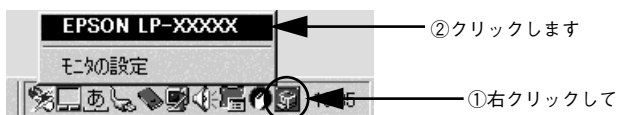
本書 100 ページ「[プリンタ詳細］ウィンドウ」

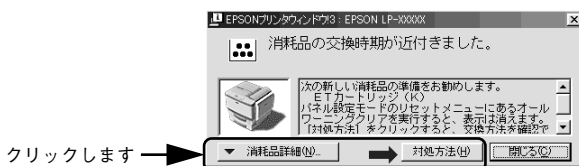
［方法 1］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［EPSON プリンタウィンドウ !3］アイコンをクリックします。プリンタプロパティの開き方は、以下のページをご覧ください。

本書 45 ページ「プロパティの開き方」

［方法 2］

［方法 1］の画面にある［モニタの設定］内の［アイコン設定］機能により、EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンを、Windows のタスクバーに表示させることができます。タスクバー上の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンで呼び出しアイコンをクリックしてからプリンタ名をクリックします。

本書 97 ページ「[モニタの設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタ上に表示されます。

- ［消耗品詳細］ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して［対処方法］ボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると対処方法を説明するダイアログが表示されます。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を表示したり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

本書 103 ページ「対処が必要な場合は」

③［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じます。

④用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズと用紙残量の目安を表示します。

⑤トナー

セットされている ET カートリッジのトナー残量の目安を表示します。

⑥感光体ユニット

各色の感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。

⑦廃トナーボックス

廃トナーボックスの空き容量が少なくなるとアイコンが点滅します。

⑧[対処方法] ボタン

プリンタに何らかの問題が起こり、このボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると、順を追って対処方法を説明します。

⑨消耗品

ジョブ管理ができる場合に［プリンタ詳細］ウィンドウを表示します。

⑩ジョブ情報

ジョブ管理ができる場合に［ジョブ情報］ウィンドウを表示します。

☞ 本書 101 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

ネットワークプリンタのジョブ情報をモニタするには、ジョブ管理を行うための条件を満たしている必要があります。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 94 ページ「ジョブ管理を行うための条件」

［ジョブ情報］ウィンドウ

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできる接続方法をご利用の場合に表示され、プリンタジョブ情報を表示します。

①ジョブ情報

ネットワークプリンタから取得したプリントジョブ情報を表示させるときにクリックします。

②消耗品

［プリンタ詳細］ウィンドウを表示させるときにクリックします。詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 100 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

③ジョブリスト

ジョブの状態（待機中、印刷中、印刷済、削除済）、文書名、ユーザー名、コンピュータ名を、ジョブごとに表示します。リスト一番左の赤い矢印は、印刷中のジョブのうち実際に印刷を行っているジョブを表しています。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、以下の情報は表示しません。

- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

④［情報の更新］ボタン
クリックすると、最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

⑤［印刷中止］ボタン
ジョブリストに表示されている印刷中または待機中のジョブをクリックして選択し、［印刷中止］ボタンをクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。

［印刷終了通知］ダイアログ

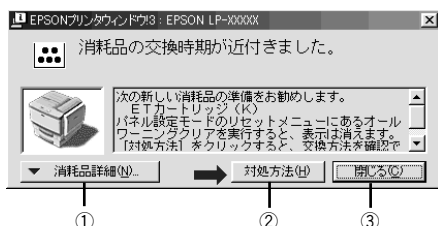
印刷の終了が通知できるように設定されている場合は、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法については、以下のページを参照してください。
本書 97 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

①印刷終了通知
印刷が終了したジョブのユーザー名、文書名、印刷総数、コンピュータ名を表示します。

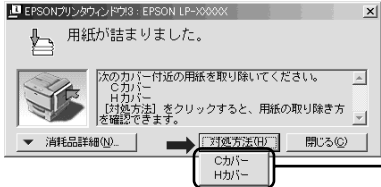
②［閉じる］ボタン
印刷の終了を確認したら、クリックしてダイアログを閉じます。

［ユーティリティ］ダイアログの［印刷中プリンタのモニタを行う］がチェックされていない場合は、印刷終了通知は行われません。
本書 93 ページ「［ユーティリティ］ダイアログ」

対処が必要な場合は

プリンタに何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウがコンピュータの画面上に表示されます。メッセージに従って対処してください。エラーが解消されると、自動的に閉じます。

①［消耗品詳細］ボタン

［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

☞ 本書 100 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

②［対処方法］ボタン

このボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると、順を追って対処方法を説明します。

ポイント

複数の対処が必要な場合、［対処方法］ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。必要に応じて項目を選択してください。

③［閉じる］ボタン

ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

共有プリンタを監視できない場合は

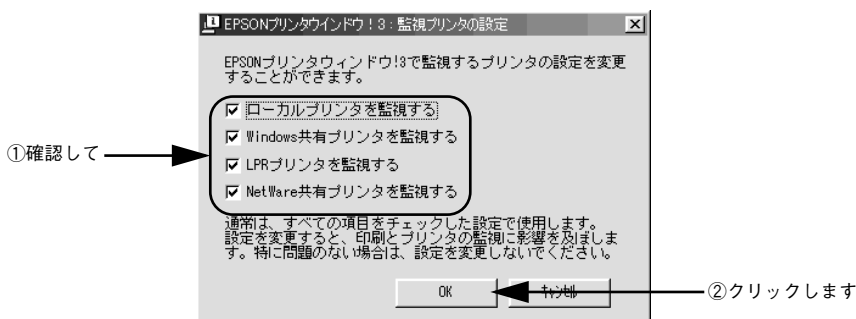
以下の設定がされているかを確認してください。

- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上のネットワークコンピュータのプロパティを開き、ネットワークコンポーネントに Microsoft ネットワーク共有サービスが設定されていること。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタの共有設定がされていて、EPSON プリンタウィンドウ !3 の［モニタの設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］がチェックされていること。

監視プリンタの設定

［監視プリンタの設定］ユーティリティは、EPSON プリンタウィンドウ !3 で監視するプリンタの設定を変更するためのユーティリティで、EPSON プリンタウィンドウ !3 とともにインストールされます。通常は設定を変更する必要はありません。何らかの理由で監視するプリンタの設定を変更したい場合のみご使用ください。

1. **監視プリンタの設定ユーティリティを起動します。**
Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］または［すべてのプログラム］から［Epson］にカーソルを合わせてから、［監視プリンタの設定］をクリックします。

2. **監視しないプリンタのチェックボックスをクリックしてチェックマークを外し、［OK］ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。**

以上で設定は終了です。

EPSON プリンタウィンドウ !3 のみのインストール手順

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、通常プリンタドライバと一緒にインストールされます。EPSON プリンタウィンドウ !3 のみを単独でインストールする手順は以下の通りです。

1. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2. 以下の画面が表示されたら、[ソフトウェアのインストール] をクリックして、[次へ] ボタンをクリックします。

3. [ソフトウェア選択] ボタンをクリックします。

4 ［EPSON プリンタウィンドウ !3］のみをチェックして、［OK］ボタンをクリックします。

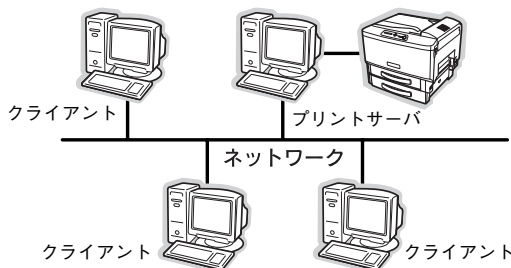
各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

［選択中止］ボタンをクリックすると前の画面に戻ります。

5 機種選択の画面が表示されたら、お使いのプリンタの機種名をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。

この後は画面の指示に従ってください。

プリンタを共有するには

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタをほかのコンピュータから共有することができます。ネットワークで共有するプリンタをネットワークプリンタと呼びます。プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

Windows のバージョンとアクセス権（Windows NT4.0/2000/XP）によって、ネットワークプリンタの設定方法（プリンタドライバのインストール方法）が異なります。設定を始める前に、必ず以下のページを参照してください。

☞ スタートアップガイド（紙マニュアル）42 ページ「Windows のプリンタ共有機能を使用したネットワークプリンタのセットアップ」

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバと、共有プリンタを利用するクライアントそれぞれの設定方法を説明します。お使いの Windows のバージョンに応じた設定手順に従ってください。また、ここではプリントサーバにはすでに本機のプリンタドライバがインストールされているものとして説明します。

- プリントサーバ側の設定

  ☞ 本書 108 ページ「Windows 95/98/Me プリントサーバの設定」
  ☞ 本書 111 ページ「Windows NT4.0/2000/XP プリントサーバの設定と代替 / 追加ドライバのインストール」

- クライアント側の設定

  ☞ 本書 118 ページ「Windows 95/98/Me クライアントでの設定」
  ☞ 本書 122 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
  ☞ 本書 124 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」

- 共有プリンタのプリントサーバ側で必ず共有プリンタをモニタできるように EPSON プリンタウィンドウ !3 を設定してください。

  ☞ 本書 96 ページ「モニタの設定」

- ここではネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあることを前提として説明しています。
- 画面は Microsoft ネットワークの場合です。

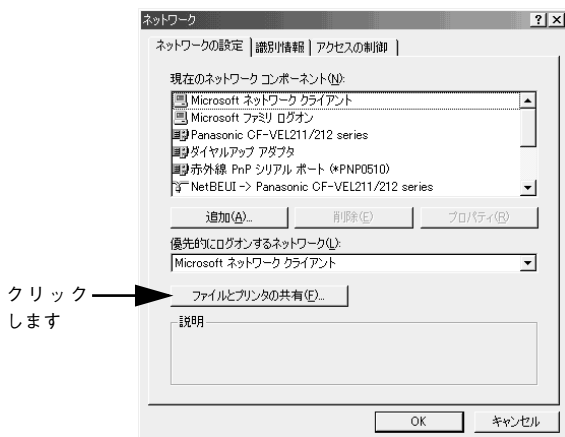
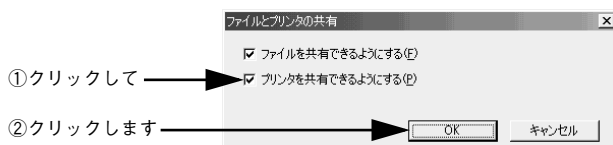
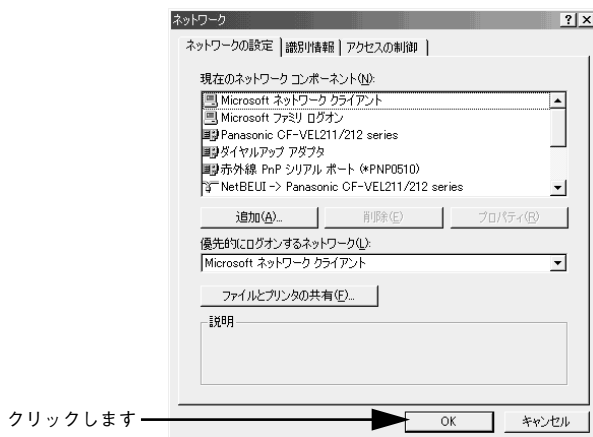
プリントサーバの設定

Windows 95/98/Me プリントサーバの設定

Windows 95/98/Me が稼働するプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

2. ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

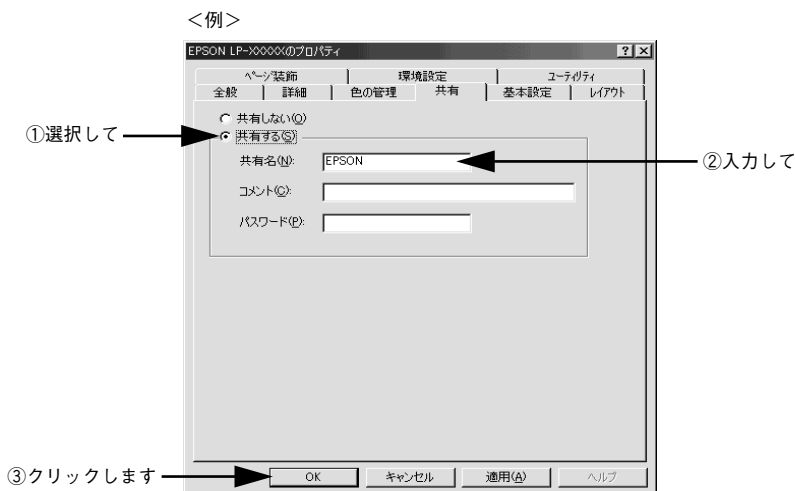
3. ［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックします。

4 ［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックします。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows 95/98/Me のCD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、1 の手順でコントロールパネルを開いて 6 から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 LP-9500C のアイコンを選択して、[ファイル] メニューの [共有] をクリックします。

8 [共有する] を選択して、[共有名] を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

必要に応じて、[コメント] と [パスワード] を入力します。

<例>

> **ポイント** エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）やー（ハイフン）を使用しないでください。

9 EPSON プリンタウィンドウ !3 の[モニタの設定]ダイアログで [共有プリンタをモニタさせる] をチェックします。

本書 96 ページ「モニタの設定」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

本書 118 ページ「クライアントの設定」

Windows NT4.0/2000/XP プリントサーバの設定と代替 / 追加ドライバのインストール

Windows NT4.0/2000/XP が稼働するコンピュータをプリントサーバとして設定する場合は、以下の手順に従ってください。また、代替 / 追加ドライバをプリントサーバにインストールする手順も同時に説明します。

- 代替/追加ドライバは、クライアントのプリンタドライバインストール作業を簡略化するためのものです。クライアント用の代替 / 追加ドライバをプリントサーバにインストールしておくと、クライアントごとに EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を用意しなくてもプリンタドライバのインストールが自動的に行えるようになります。
- 代替 / 追加ドライバ機能を利用してプリンタドライバをインストールした場合では、EPSON プリンタウィンドウ !3 はインストールされません。印刷に問題はありませんのでそのままお使いいただけますが、共有しているプリンタの状態をクライアント側から EPSON プリンタウィンドウ !3 を使って確認することはできません。
- EPSON プリンタウィンドウ!3 をインストールする場合や、代替 / 追加ドライバ機能を使用できない場合は、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってローカルプリンタとしてインストールし、プリンタの接続先をネットワークプリンタに変更します。クライアント側の具体的なインストール手順は、以下のページを参照してください。
  スタートアップガイド（紙マニュアル）37 ページ「コンピュータと直接接続したプリンタのセットアップ」
  本書 133 ページ「プリンタ接続先の変更」
- Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- Windows NT4.0で代替 /追加ドライバ機能を使用する場合は、Windows NT4.0 Service Pack 4 以降が対象となります。
- 代替 / 追加ドライバ機能は、Windows NT4.0 では「代替ドライバ」、Windows 2000/XP では「追加ドライバ」と表示されます。
- クライアントとサーバが同じ OS の場合は、代替 / 追加ドライバをインストールする必要がありません。

1. Windowsの［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタとFAX］を開きます。
   - Windows NT4.0/2000の場合

     ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。
   - Windows XPの場合

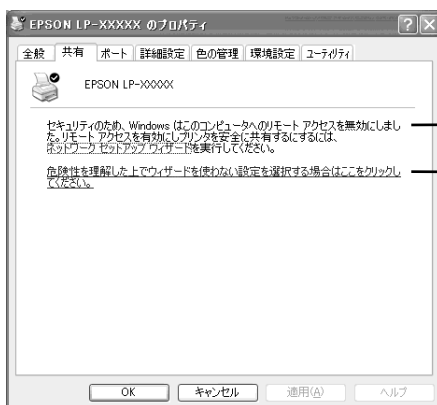
   ①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
   ［スタート］メニューに［プリンタとFAX］が表示されている場合は、［プリンタとFAX］をクリックして、❷へ進みます。

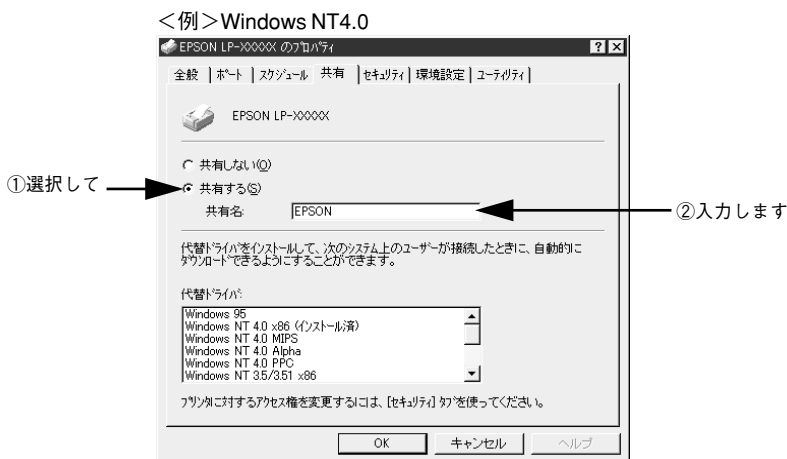
   ②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

   ③［プリンタとFAX］をクリックします。

2. LP-9500Cのアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。

ポイント

Windows XPで以下のダイアログが表示された場合は、どちらかを選択し、画面の指示に従ってプリンタ共有の準備をします。

3 **［共有する］/［このプリンタを共有する］を選択して、［共有名］を入力します。**

Windows XP の場合は、［このプリンタを共有する］を選択して［共有名］を入力します。

<例>Windows NT4.0

エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

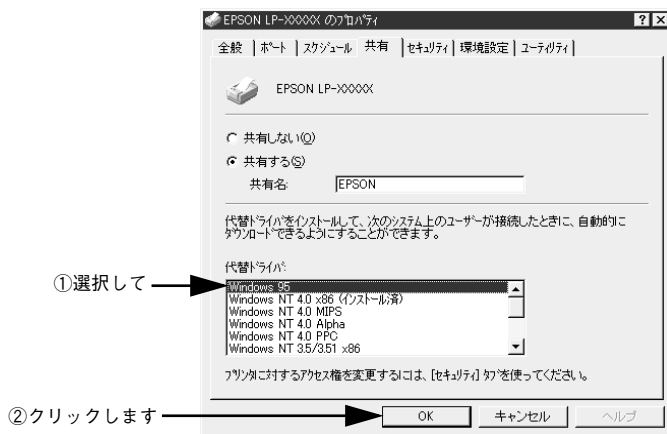
- 代替 / 追加ドライバをインストールする場合は、次の 4 へ進んでください。
- 代替 / 追加ドライバをインストールしない場合は、[OK] ボタンをクリックして、以下のページへ進んで各クライアント側の設定を行ってください。

本書 118 ページ「Windows 95/98/Me クライアントでの設定」
本書 122 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
本書 124 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」
本書 130 ページ「クライアントでEPSON プリンタソフトウェア CD-ROM が必要な場合　（インストールの続き）」

4 **クライアント用にインストールする代替 / 追加ドライバを選択します。**

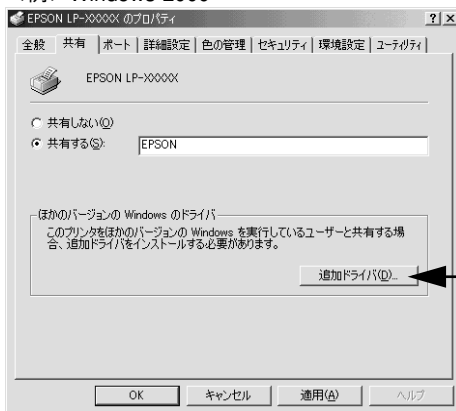
- **Windows NT4.0 プリントサーバの場合：**

① クライアントの Windows バージョンを選択します（クリックして、ハイライトさせます）。
Windows 95/98/Me クライアント用の代替 / 追加ドライバをインストールする場合は、［Windows 95］をクリックして選択します。

② ［OK］ボタンをクリックします。

- Windows NT4.0 クライアント用の代替 /追加ドライバ［Windows NT 4.0 x86］はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- ［Windows 95］以外の代替 / 追加ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していない OS の代替ドライバはインストールできません。

- **Windows 2000/XP サーバの場合：**

① [追加ドライバ] ボタンをクリックします。

<例>Windows 2000

② クライアントの Windows バージョンを選択します（チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます）。

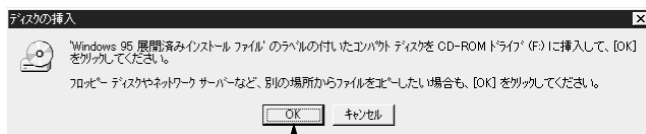
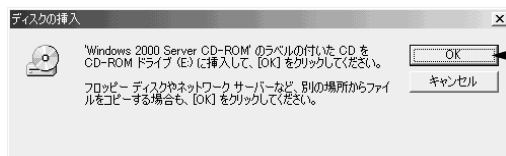
サーバ OS	クライアント OS	選択項目
Windows 2000	Windows 95/98/Me	Intel Windows 95 または 98
	Windows NT4.0	Intel Windows NT 4.0 または2000
Windows XP	Windows 95/98/Me	Intel Windows 95、98、および Me
	Windows NT4.0	Intel Windows NT4.0 または 2000

<例>Windows 2000

- Windows 2000/XP専用のプリンタドライバ[Intel Windows 2000]/[Intel Windows 2000 または XP] はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- 指定以外の追加ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していない OS の追加ドライバはインストールできません。

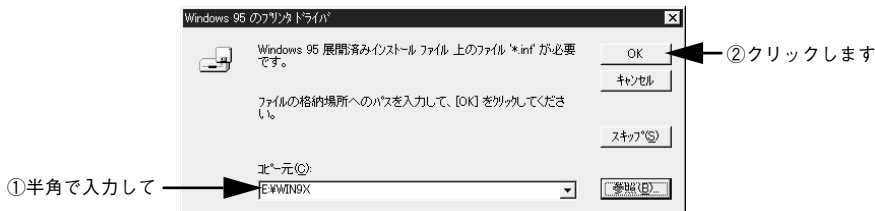
③ [OK] ボタンをクリックします。

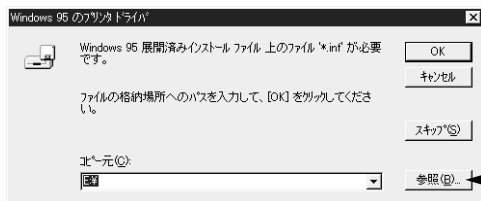
5 以下のメッセージが表示されたら、本機のEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットして［OK］ボタンをクリックします。

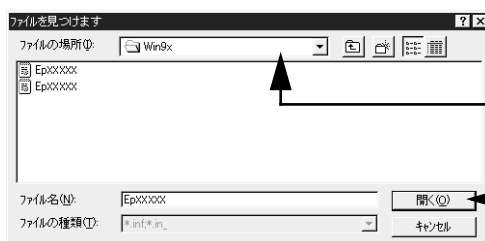
<例> Windows NT4.0 の場合

<例> Windows 2000 の場合

*CD-ROM ドライブの記号は環境によって異なります。

6 メッセージに表示されたクライアント用のプリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、［OK ］ボタンをクリックします。

4 で複数のクライアントを選択した場合は、5 へ戻ります。

* クライアント OS によってメッセージは多少異なります。

クライアントの OS	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0	Windows 2000/XP
セット先ドライブ例	D ドライブ E ドライブ		
入力例	D:¥WIN9X E:¥WIN9X	D:¥WINNT40 E:¥WINNT40	D:¥WIN2000 E:¥WIN2000

- 入力方法がわからない場合は、以下の手順で指定することができます。
  ①［参照］ボタンをクリックします。

  ②入力例に記載されているご利用の OS フォルダを［ファイルの場所］から選択します。

- Windows 2000/XP をご使用の場合は［デジタル署名が見つかりませんでした］といったメッセージが表示されることがあります。この場合は［はい］または［続行］をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本機に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

7 Windows 2000/XPの場合は、[閉じる]ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

Windows NT4.0 の場合は、代替 / 追加ドライバがインストールされるとプロパティは自動的に閉じます。

ネットワークプリンタに対するセキュリティ（クライアントのアクセス許可）を設定してください。印刷が許可されないクライアントは、プリンタを共有できません。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

8 EPSON プリンタウィンドウ !3 の[モニタの設定]ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］をチェックします。

本書 96 ページ「モニタの設定」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

本書 118 ページ「クライアントの設定」

クライアントの設定

ここでは、ネットワーク環境が構築されている状態で、ネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。

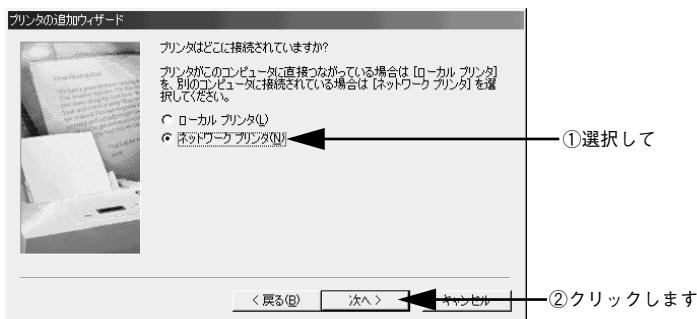
- Windows でプリンタを共有する場合は、プリントサーバを設定する必要があります。プリントサーバ側の設定については、以下のページを参照してください。
  スタートアップガイド（紙マニュアル）42 ページ「Windows のプリンタ共有機能を使用したネットワークプリンタのセットアップ」
  本書 108 ページ「プリントサーバの設定」
- ここでは、サーバを使用した環境での一般的な（Microsoft ワークグループ）接続方法について説明します。ご利用の環境によっては以下の手順で接続できない場合もあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ここでは、［プリンタ］フォルダからネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。Windows デスクトップ上の［ネットワークコンピュータ］や［マイネットワーク］からネットワークプリンタへ接続してプリンタドライバをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。
- 代替 / 追加ドライバ機能を利用してプリンタドライバをインストールした場合では、EPSON プリンタウィンドウ !3 はインストールされません。印刷に問題はありませんのでそのままお使いいただけますが、共有しているプリンタの状態をクライアント側から EPSON プリンタウィンドウ !3 を使って確認することはできません。
- EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールする場合や、代替 / 追加ドライバ機能を使用できない場合は、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってローカルプリンタとしてインストールし、プリンタの接続先をネットワークプリンタに変更します。クライアント側の具体的なインストール手順は、以下のページを参照してください。
  スタートアップガイド（紙マニュアル）37 ページ「コンピュータと直接接続したプリンタのセットアップ」
  本書 133 ページ「プリンタ接続先の変更」

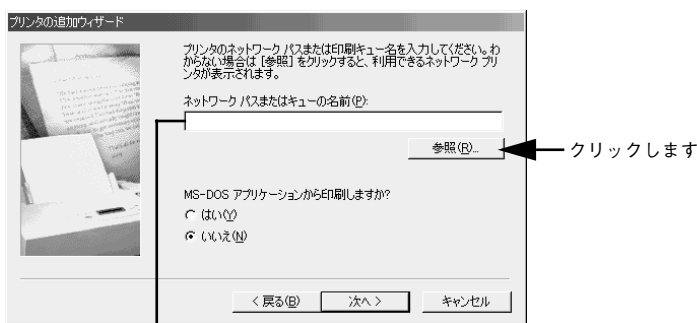
Windows 95/98/Me クライアントでの設定

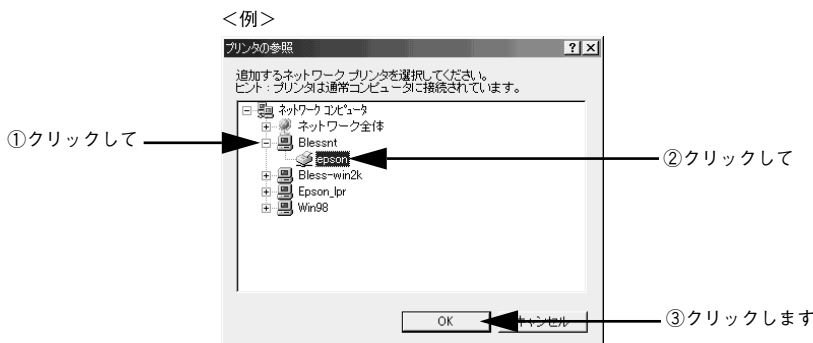
Windows 95/98/Me が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

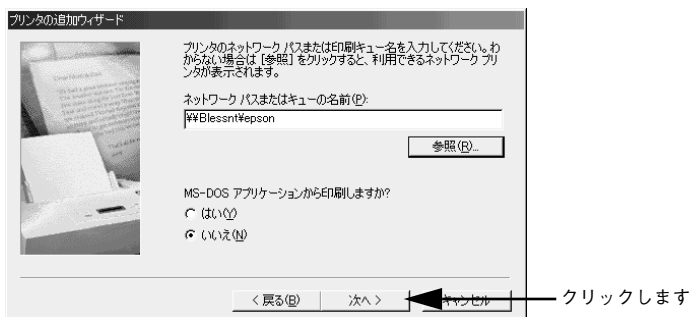
1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［ネットワークプリンタ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［参照］ボタンをクリックします。

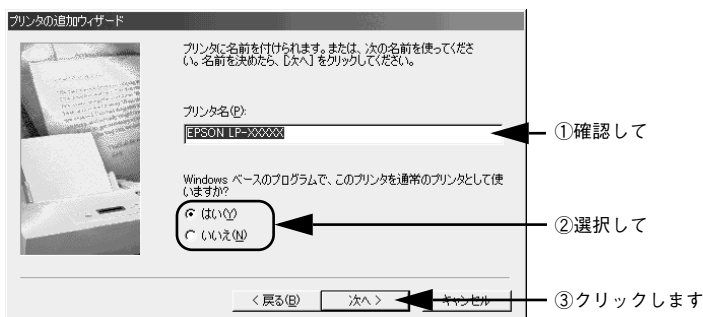
ご利用のネットワーク構成図が表示されます。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

5 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）の［+］をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

ポイント
プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

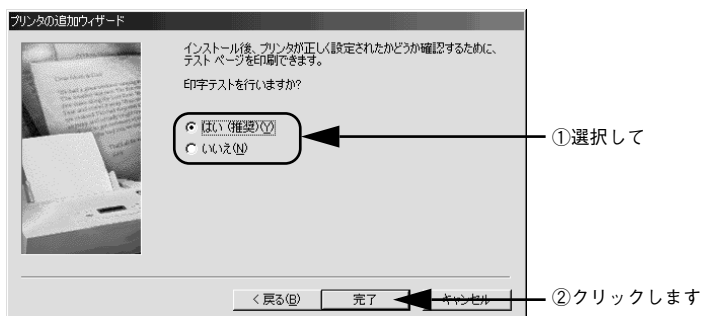
6 ［次へ］ボタンをクリックします。

ポイント
すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

- プリントサーバが Windows 95/98/Me の場合や、Windows NT4.0/2000/XP プリントサーバに Windows 95/98/Me 用の代替 / 追加ドライバをインストールしている場合は、次の 7 へ進みます。
- Windows NT4.0/2000/XPプリントサーバに代替/追加ドライバをインストールしていない場合は、以下のページへ進みます。

☞ 本書 130 ページ「クライアントで EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM が必要な場合 （インストールの続き）」

7 **接続するネットワークプリンタ名を確認し、通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

プリンタ名を変更することができます。変更したプリンタ名は、クライアントコンピュータ上での名前となります。

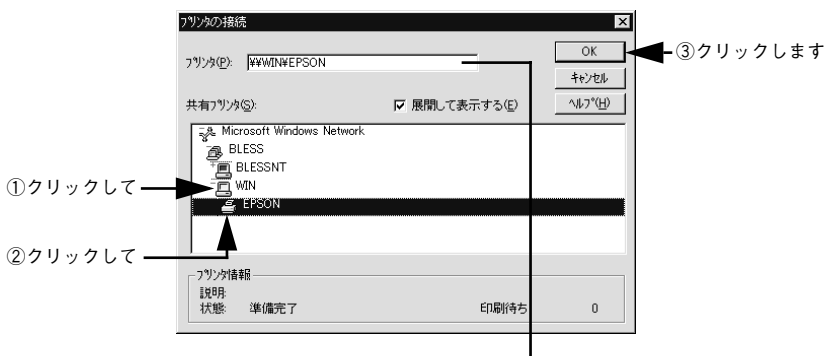
8 **テストページを印刷するかどうかを選択して［完了］ボタンをクリックします。**

印字テストを行う場合は、プリンタドライバのインストールが終了すると自動的に印字テストを行います。印字テストの終了ダイアログが表示されたら、正しくテストページが印刷されたかどうか確認して、［はい］または［いいえ］ボタンをクリックして対処してください。

以上でクライアントの設定は終了です。

Windows NT4.0 クライアントでの設定

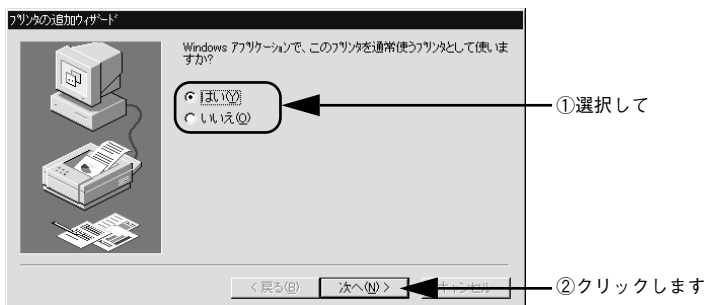
Windows NT4.0 が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。
2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。
3. ［ネットワークプリンタサーバ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

4. プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

- プリントサーバOS がWindows NT4.0/2000/XP で代替/追加ドライバ機能が使用できる場合は、次の 5 へ進みます。
- 代替/追加ドライバ機能が使用できない場合は、以下のページへ進みます。
本書 130 ページ「クライアントでEPSON プリンタソフトウェアCD-ROM が必要な場合 （インストールの続き）」

5 通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

6 ［完了］ボタンをクリックします。

以上でクライアントの設定は終了です。

Windows 2000/XP クライアントでの設定

Windows 2000/XP が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **Windowsの［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタとFAX］を開きます。**

- **Windows 2000の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

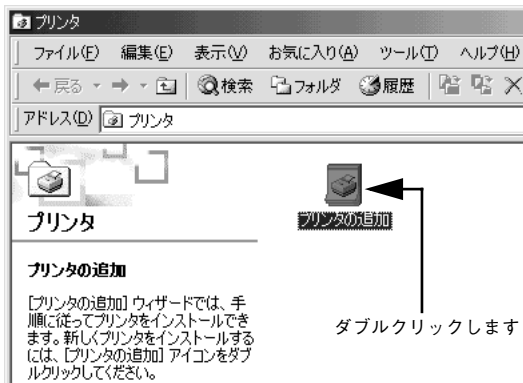
① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタとFAX］が表示されている場合は、［プリンタとFAX］をクリックして、❷へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタとFAX］をクリックします。

ポイント

Windows XP の場合は［プリンタとその他のハードウェア］画面で［プリンタを追加する］をクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動することもできます。起動後最初に表示された［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックして、❸へ進んでください。

2 プリンタの追加ウィザードを起動します。

- Windows 2000 の場合

①［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

②［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］ボタンをクリックします。

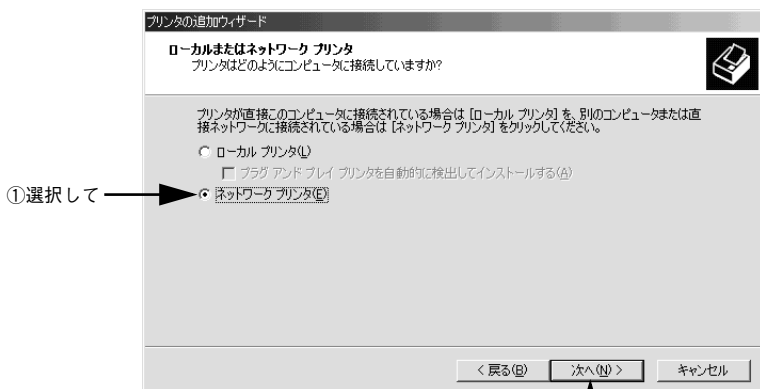
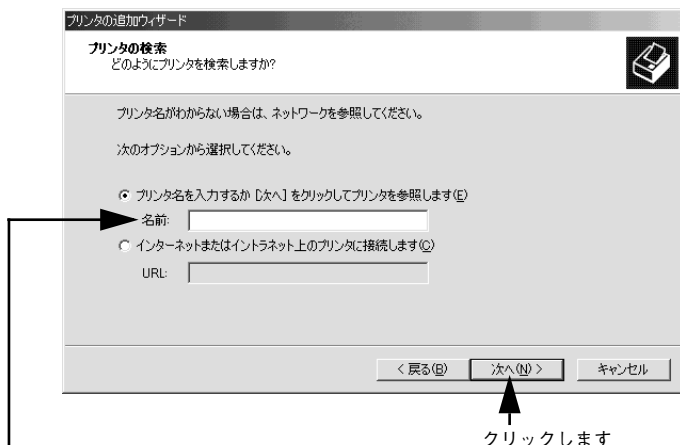
- Windows XP の場合

①［プリンタのタスク］の［プリンタのインストール］をクリックします。

②［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］ボタンをクリックします。

③ 使用する共有プリンタを探します。

- **Windows 2000 の場合**

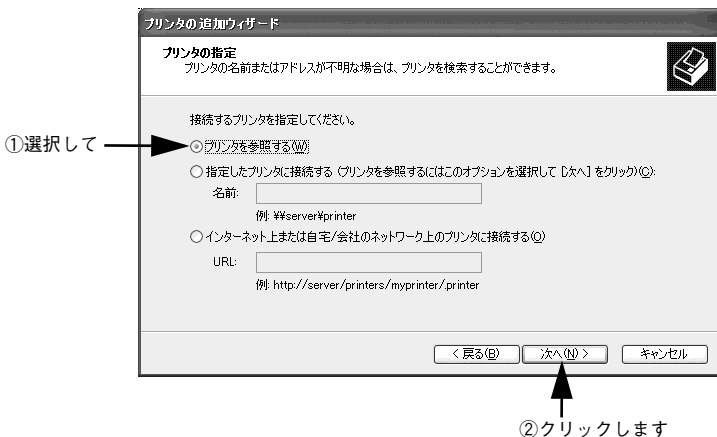
① [ネットワークプリンタ] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

② [プリンタ名を入力するか [次へ] をクリックしてプリンタを参照します] が選択されていることを確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥ 目的のプリンタが接続されているコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

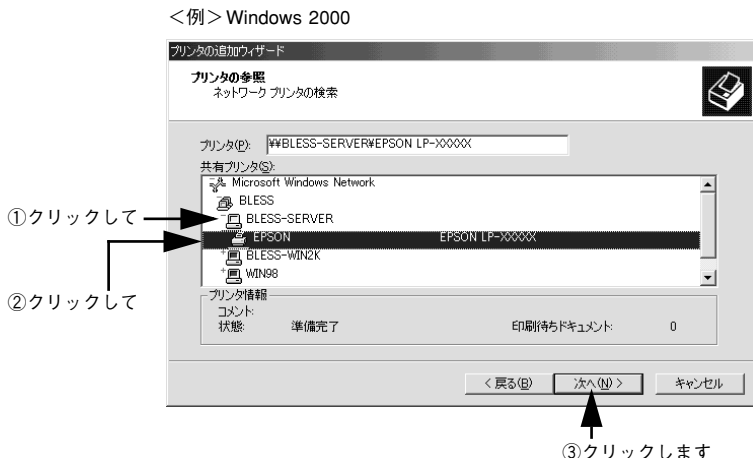
ポイント

ネットワーク上のプリンタの位置がわかっている場合は [名前] ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

• Windows XP の場合

① [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

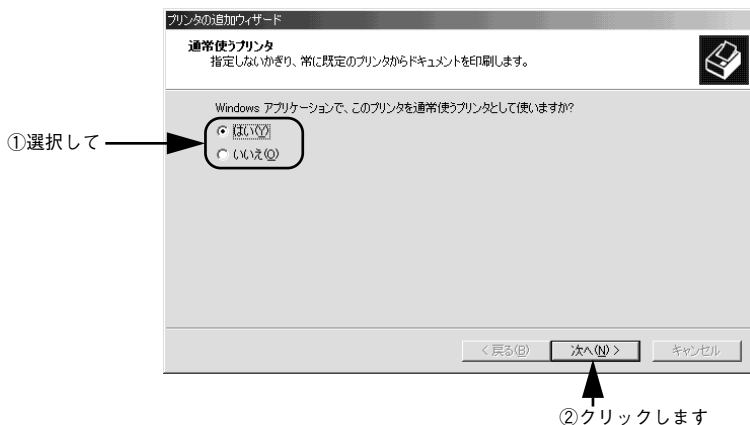
② [プリンタを参照する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

ネットワーク上のプリンタの位置がわかっている場合は、[指定したプリンタに接続する] をクリックして [名前] ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

❹ プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

<例>Windows 2000

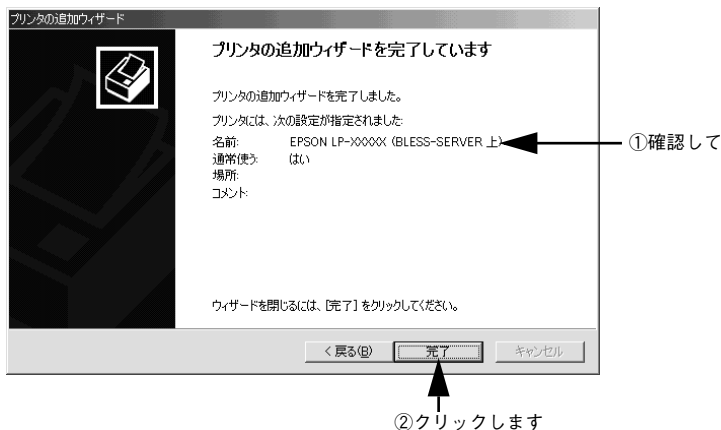
- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

- プリントサーバOSがWindows 2000/XPで、代替/追加ドライバ機能が使用できる場合は、次の❺へ進みます。
- 代替/追加ドライバ機能が使用できない場合は、以下のページへ進みます。

☞ 本書130ページ「クライアントでEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMが必要な場合　（インストールの続き）」

5 Windows 2000/XP の場合、通常使うプリンタとして利用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

＜例＞ Windows 2000

6 設定内容を確認して［完了］ボタンをクリックします。

＜例＞Windows 2000

以上でクライアントの設定は終了です。

クライアントで EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM が必要な場合（インストールの続き）

Windows NT4.0/2000/XPプリントサーバに代替 / 追加ドライバをインストールしていない場合や、Windows 95/98/Me プリントサーバと Windows NT4.0/2000/XP クライアントの組み合わせの場合は、クライアントでネットワークプリンタに接続してから以下の手順を続けてください。Windows のバージョンによって画面が多少異なりますが、基本的な手順は同じです。

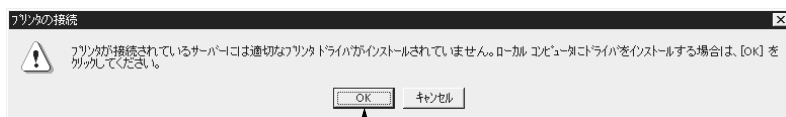
ポイント

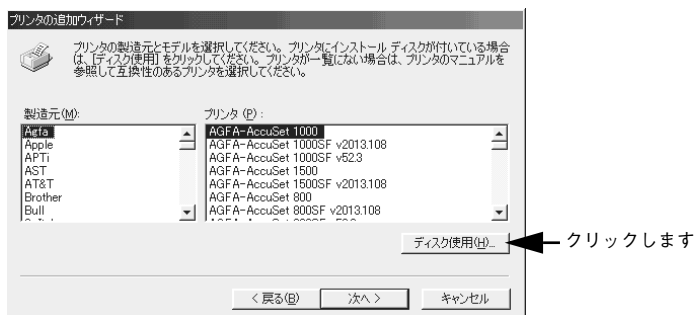
- Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- 代替/追加ドライバをインストールしている場合や、プリントサーバとクライアントで稼働する Windows が同じバージョンの場合は、プリンタドライバは自動的にインストールされますので、以降の手順は必要ありません。
- 代替 / 追加ドライバ機能を利用してプリンタドライバをインストールした場合では、EPSON プリンタウィンドウ !3 はインストールされません。印刷に問題はありませんのでそのままお使いいただけますが、共有しているプリンタの状態をクライアント側から EPSON プリンタウィンドウ !3 を使って確認することはできません。
- EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールする場合や、代替 / 追加ドライバ機能を使用できない場合は、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってローカルプリンタとしてインストールし、プリンタの接続先をネットワークプリンタに変更します。クライアント側の具体的なインストール手順は、以下のページを参照してください。

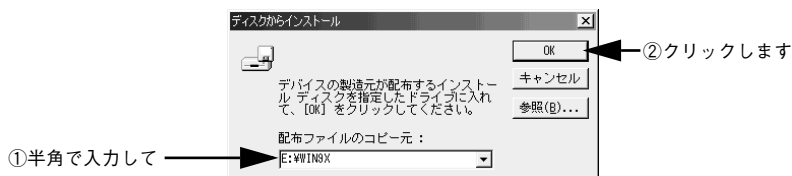
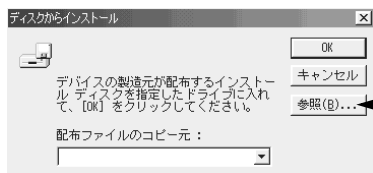
スタートアップガイド（紙マニュアル）37 ページ「コンピュータと直接接続したプリンタのセットアップ」

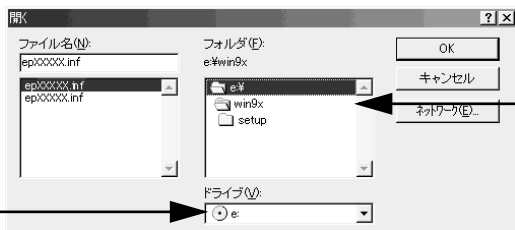
本書 133 ページ「プリンタ接続先の変更」

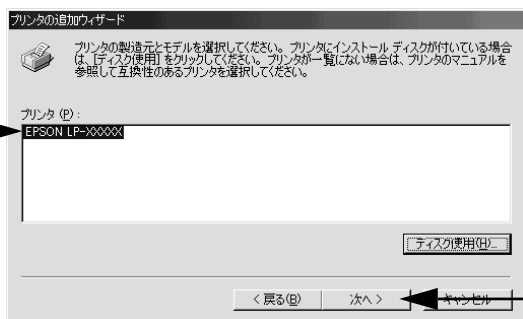
1 ネットワークプリンタに接続して以下のような画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

＜例＞Windows NT4.0 の場合

2 **［ディスク使用］ボタンをクリックします。**

同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタドライバをインストールします。

3 **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

4 **プリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、［OK ］ボタンをクリックします。**

クライアントの OS	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0	Windows 2000/XP
セット先ドライブ例	D ドライブ E ドライブ		
入力例	D:¥WIN9X E:¥WIN9X	D:¥WINNT40 E:¥WINNT40	D:¥WIN2000 E:¥WIN2000

- 入力方法がわからない場合は、以下の手順で指定することができます。
①［参照］ボタンをクリックします。

②［ドライブ］または［ファイルの場所］から［CD-ROM］のアイコンを選択し、入力例に記載されているご利用の OS フォルダを選択します。

- Windows 2000/XP をご使用の場合は［デジタル署名が見つかりませんでした］というメッセージを表示するダイアログが表示されることがあります。この場合は［はい］をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本機に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

5 EPSON LP-9500C をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。

6 この後は、画面の指示に従って設定してください。

プリンタ接続先の変更

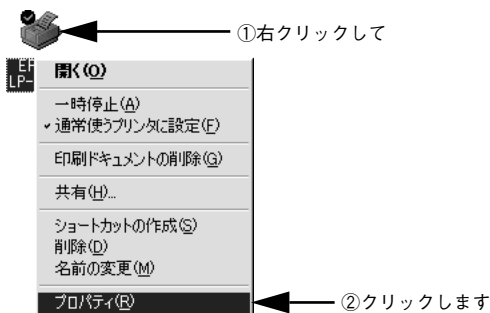
プリンタを接続しているコンピュータ側のポートを、必要に応じて追加または変更できます。コンピュータにローカル接続している場合は、プリンタドライバをインストールしたままの設定で使用できますので変更は不要です。
Windows NT4.0/2000/XP プリントサーバに代替 / 追加ドライバをインストールしていない場合や、Windows 95/98/Me プリントサーバと Windows NT4.0/2000/XP クライアントの組み合わせの場合は、クライアントにプリンタドライバをインストールしてから、以下の手順を行ってください。

プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。

Windows 95/98/Me の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1 Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

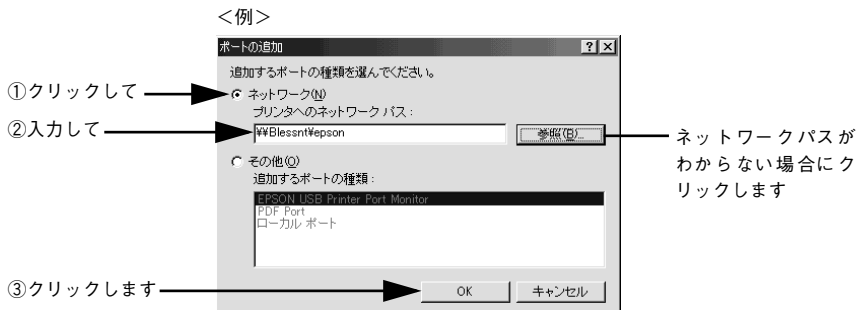
2 LP-9500C のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。

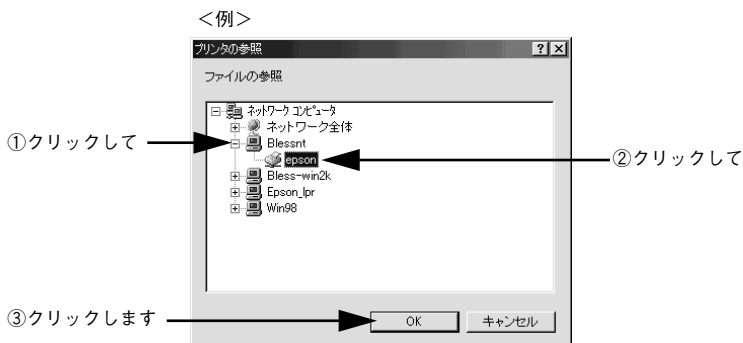
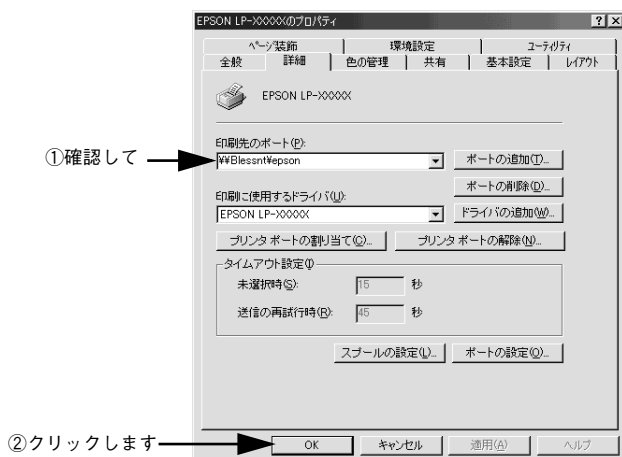
- すでに登録されているポートを指定する場合は、［印刷先のポート］から選択します。USB 接続の場合は［EPUSBx］を、パラレル接続の場合は［LPT1］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。
- ネットワークプリンタのポートを追加する場合は 4 に進みます。

［印刷先のポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］ボタンをクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

- PRN：EPSON PCシリーズ/NEC PCシリーズ標準の14ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。PRN が表示されない場合は LPT1 を選択します。
- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- EPUSBx：USB ポートです。Windows 98/Me をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します。EPSON プリンタ用の USB デバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 ［ネットワーク］をクリックし、［プリンタへのネットワーク パス］を入力して［OK］ボタンをクリックします。

［プリンタへのネットワーク パス］は以下のように入力します。
¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

ポイント

ネットワークプリンタへのパスがわからない場合は、［参照］ボタンをクリックして、以下のダイアログで目的のプリンタをクリックして［OK］ボタンをクリックします。

5 追加したポート名が［印刷先のポート］で選択されていることを確認してから、［OK］ボタンをクリックします。

以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ]/［プリンタと FAX］を開きます。

- **Windows NT4.0/2000 の場合**

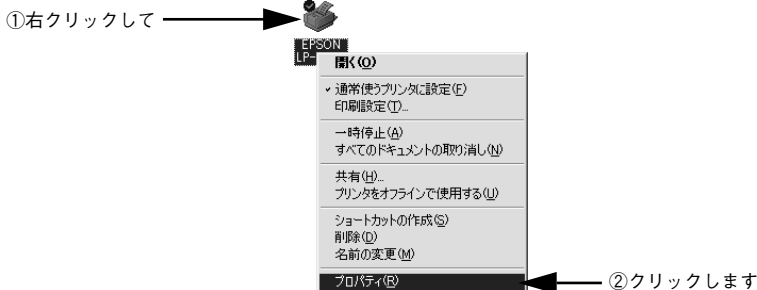
  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、**2** へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

2 LP-9500C のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。

すでに登録されているポートを指定する場合は、リスト内から選択してチェックマークを付けます。

［印刷するポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］ボタンをクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- USBx：USB ポートです。Windows 2000/XP をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 ［プリンタポート］ダイアログが表示されたら、［Local Port］を選択して［新しいポート］ボタンをクリックします。

5 ポート名を入力して［OK］ボタンをクリックします。

ポート名は以下のように入力します。

¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

＜例＞

6 ［プリンタポート］ダイアログの画面に戻りますので、［閉じる］ボタンをクリックします。

7 ポートに設定した名前が追加され、選択されていることを確認してから［OK］ボタンをクリックします。

以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

印刷を高速化するには

本機をパラレルインターフェイスケーブルで接続している場合、印刷データの転送方法としてDMA転送を利用することで、印刷を高速化することができます。

DMA転送とは

通常、印刷データはコンピュータのCPU（Central Processing Unit）を経由してプリンタへ送られます。しかし、CPUは同時にいくつもの処理をこなしているため、この方法ではCPUに負担がかかり、効率よくプリンタへ印刷データを送れません。

ECP[*1] コントローラチップを搭載したコンピュータの場合は、印刷データの流れを変更することで、CPUを経由しないでプリンタへ直接印刷データを送ることができます。その結果印刷速度が向上することになります。このような、データ転送の方法をDMA（Direct Memory Access）転送と呼びます。

*1　ECP：Extended Capability Port の略。パラレルポートの拡張仕様の一つ。

DMA転送を設定する前に

プリンタドライバでDMA転送を行う前に、以下の項目の確認と設定が必要です。

- **ご利用のコンピュータはDOS/V機でECPコントローラチップが搭載されていますか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。

- **ご利用のコンピュータでDMA転送が可能ですか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。

- **BIOSセットアップでパラレルポートの設定が［ECP］または［ENHANCED］になっていますか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただき、BIOS　を設定してください。

このBIOSの設定は、一旦本機のプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）してから行ってください。BIOS 設定後、再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
本書148ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」
スタートアップガイド（紙マニュアル）36ページ「セットアップ」

- **エプソン純正のパラレルケーブルでプリンタとコンピュータを接続していますか？**

以上の確認と設定が済みましたら、お使いのOSごとの説明に進んでください。

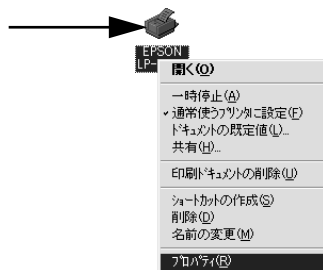
Windows NT4.0 の設定確認

Windows NT4.0 をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、本機のプリンタドライバを添付のプリンタソフトウェア CD-ROM からインストールしてください。そのまま DMA 転送をご利用いただくことができます。ここでは、設定が確実にされているかを確認します。

ポイント

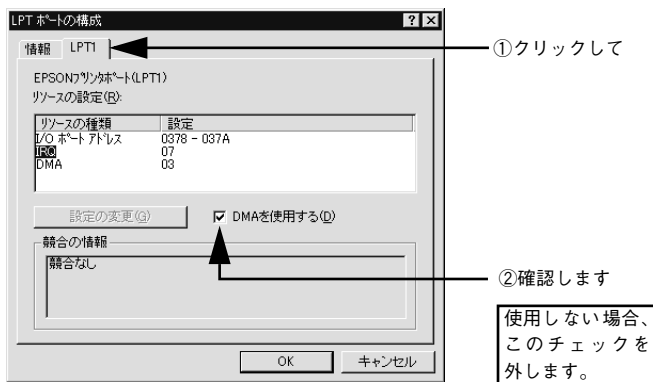
- BIOSの設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に本機のプリンタドライバを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタドライバをインストールしてください。
- DMA 転送をご利用になる場合、本機のプリンタドライバは以下のページの手順に従ってインストールされていることが必要です。
  スタートアップガイド（紙マニュアル）37 ページ「コンピュータと直接接続したプリンタのセットアップ」
- DMA転送で印刷できないなどの問題が発生した場合は、手順4の［DMA を使用する］のチェックを外してください。

1 Windows の［プリンタ］フォルダを開きます。

［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2 LP-9500C のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］のタブをクリックし、［ポートの構成］ボタンをクリックします。

4 本機が接続されているポートのタブをクリック、［DMA を使用する］のチェックボックスにチェックが付いていることを確認します。

チェックされていれば DMA を使用する設定になっています。コンピュータの LPT1 ポートにプリンタを接続している場合は、［LPT1］を選択します。

ポイント

コンピュータの拡張スロットに LPT ボードが装着されている場合、［LPT2］や［LPT3］が表示されます。

- LPT2やLPT3の構成情報には、拡張ボードで設定されているI/Oアドレスが表示されます。
- IRQ と DMA は、拡張ボードの設定を手動で設定する必要があります。設定方法は、［IRQ］と［DMA］をクリックして、［設定の変更］ボタンをクリックして設定してください。

以上で DMA 転送の設定確認は終了です。

Windows 2000/XP の設定

Windows 2000/XP をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM から EPSON プリンタポートをインストールしてください。

ポイント

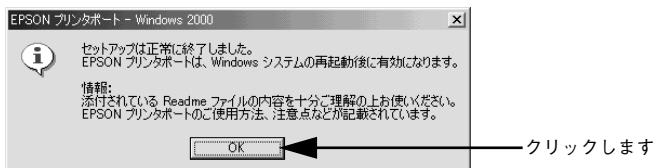
- BIOSの設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に本機のプリンタソフトウェアを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
- EPSONプリンタポートをインストールおよび設定するには、Windows 2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- 添付の Readme ファイルを必ず一読してからインストールを行ってください。Readme ファイルには、注意事項やトラブル発生時の対処方法などの情報が掲載されています。

1. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2. 以下の画面が表示されたら［LPT 接続時の印刷の高速化］をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［はじめにお読みください］をダブルクリックして参考情報をお読みいただいてから、［EPSON プリンタポートのインストール］をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

4 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

5 インストールが終了したら［OK］ボタンをクリックします。

6 Windows を再起動します。

設定した内容を有効にするために、必ず Windows を再起動させてから以降の作業に進んでください。

7 **本機のプロパティ画面を表示します。**

- **Windows 2000 の場合**

①［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

②LP-9500C のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

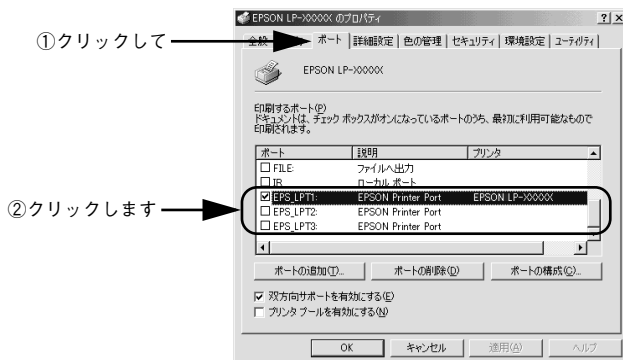
①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、8 へ進みます。

②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③［プリンタと FAX］をクリックします。

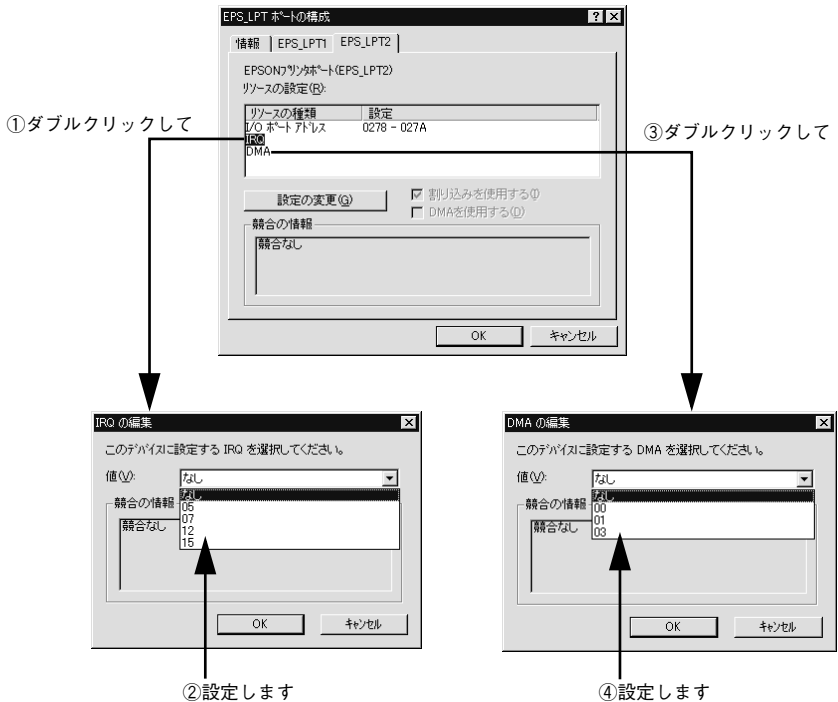
④LP-9500C のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

8 **［ポート］タブをクリックし、使用するパラレルポートを選択します。**

［印刷するポート］の中から、使用する［EPS_LPTx:］のチェックボックスをクリックしてチェックをつけます。

- EPS_LPT1：コンピュータ内蔵のパラレルポート専用
［EPS_LPT1］を使用する場合は、以上で EPSON プリンタポートの設定は終了です。［閉じる］ボタンをクリックして、［プロパティ］画面を閉じます。
- EPS_LPT2：市販のパラレルポート拡張ボード用
次の 9 へ進みます。
- EPS_LPT3：市販のパラレルポート拡張ボード用
次の 9 へ進みます。

❾ EPS_LPT2/3 を使用する場合は、以下の手順でIRQ、DMA の設定を行ってからコンピュータを再起動させせます。

① [ポートの構成] ボタンをクリックし、使用する EPS_LPT2 または EPS_LPT3 のタブをクリックします（拡張ボードが装着されている場合のみ EPS_LPT2、EPS_LPT3 が表示されます)。

② [IRQ]、[DMA] の設定を行います。[リソースの設定] から [IRQ]、[DMA] をダブルクリックし、拡張ボードで設定した値を設定します。

③ [OK] ボタンをクリックして [ダイアログ] 画面を閉じます。設定が変更された場合には、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されます。[プロパティ] 画面を閉じてから再起動してください。

これで EPS_LPT2/3 の設定が完了し、接続されているプリンタへの EPS_LPTx ポートの割り当てができるようになります。

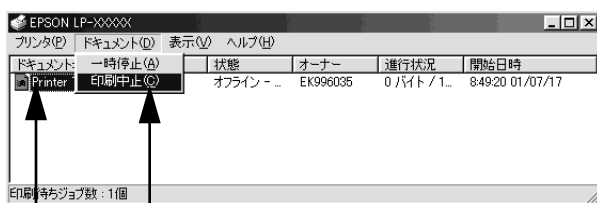
プリンタドライバを再インストールした場合には、❼ ～ ❾ に従って EPSON プリンタポートの再設定を行ってください。

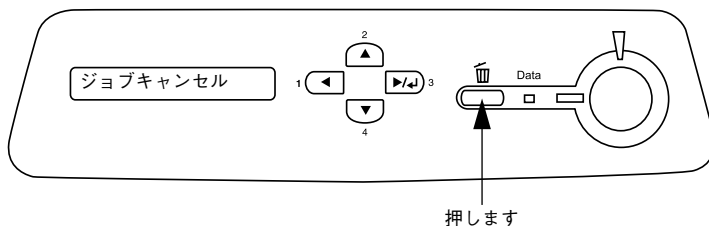
印刷の中止方法

プリンタドライバからの中止方法

コンピュータ上の印刷処理が続いているときは、以下の方法でデータを削除します。

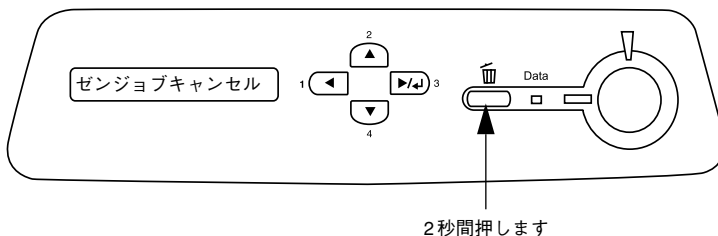
1 **画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。**

2 **中止したい印刷データをクリックして選択し、［ドキュメント］メニューの［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。**

処理済みのデータが印刷されてから表示が消え、印刷が中止されます。

プリンタの操作パネルからの中止方法

●印刷中のデータを削除するには

［ジョブキャンセル］スイッチを押します。
印刷中のデータ（ジョブ単位）が削除されます。

●プリンタが受信したすべての印刷データを削除するには

［ジョブキャンセル］スイッチを約 2 秒間押し続けます。
プリンタが受信したすべての印刷データが消去されます。

プリンタソフトウェアの削除方法

プリンタドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

Windows の場合

Windows の標準的な方法でプリンタソフトウェア（プリンタドライバ /EPSON プリンタウィンドウ !3/USB プリンタデバイスドライバ）を削除する手順を説明します。

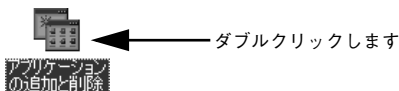
- USBプリンタデバイスドライバは、Windows 98/Meで本製品をUSB接続している場合にインストールされるデバイスドライバです。
- EPSON プリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットして表示される画面からも削除することができます。

1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

2 Windowsの［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。

- Windows 95/98/Me/NT4.0/2000
  ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。
- Windows XP
  ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

3 ［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開きます。

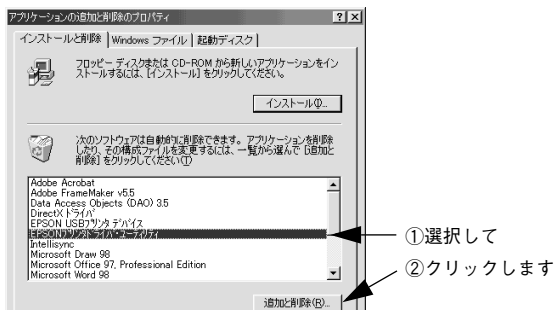
- Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合
  ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

- Windows XP の場合
  ［プログラムの追加と削除］をクリックします。

4 **削除するソフトウェアを選択して［追加と削除］ボタンをクリックします。**

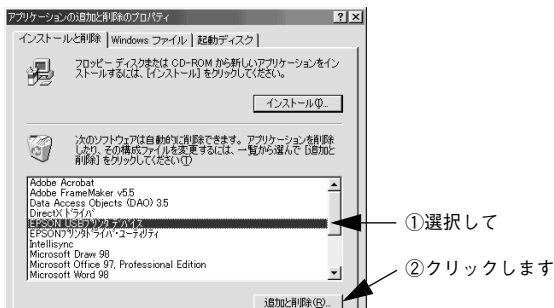
Windows 2000 の場合は［アプリケーションの追加と削除］、Windows XP の場合は［プログラムの追加と削除］をクリックしてから、削除対象となる項目をクリックして［変更 / 削除］ボタンをクリックします。

- **プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合：**

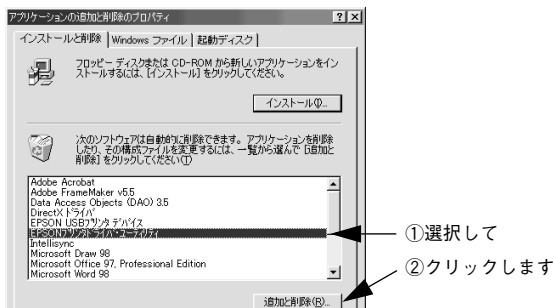
  ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックして、以下のページへ進みます。

  ☞ 本書 150 ページ「プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除」

- **USB プリンタデバイスドライバを削除する場合：**

  ［EPSON USB プリンタデバイス］は、Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合にのみ表示されます。［EPSON USB プリンタデバイス］をクリックして、以下のページへ進みます。

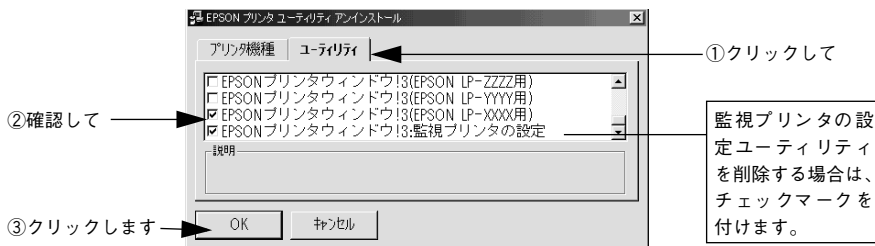
  ☞ 本書 152 ページ「USB プリンタデバイスドライバの削除」

インストールが不完全なまま終了していると［USB プリンタデバイス］の項目が表示されないことがあります。その場合は、プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［Epusbun.exe］ファイルを実行してください。

① コンピュータに「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。
②［エクスプローラ］などで CD-ROM に収録されたファイルを表示させます。
③［Win9x］フォルダをダブルクリックして開きます。
④［Epusbun.exe］アイコンをダブルクリックします。

- **EPSON プリンタウィンドウ !3 のみを削除する場合：**
  ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックして、以下のページへ進みます。
  ☞ 本書 152 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 のみの削除」

プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除

149 ページ手順 ❹ から続けてください。

❺ ［プリンタ機種］タブをクリックし、LP-9500C のアイコンを選択します。

❻ ［ユーティリティ］タブをクリックし、EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-9500C 用）にチェックマークが付いていることを確認して［OK］ボタンをクリックします。

監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、本機以外の EPSON プリンタウィンドウ !3 に対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。

7 **EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除確認のメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。**

EPSON プリンタウィンドウ !3(LP-9500C 用)の削除が始まります。

監視プリンタの設定ユーティリティを削除する場合は、次の確認メッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。

8 **削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。**

プリンタドライバの削除が始まります。

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを [通常使うプリンタ] として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを [通常使うプリンタ] に設定します。メッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

9 **終了のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。**

以上でプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除(アンインストール)は終了です。

プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

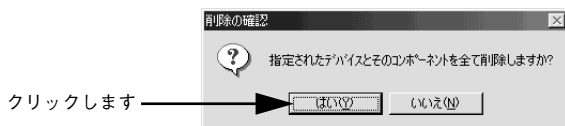
USB プリンタデバイスドライバの削除

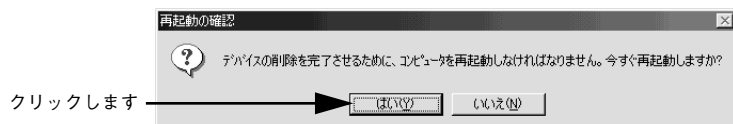
Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合のみ必要なデバイスドライバです。

- USB プリンタデバイスドライバを削除する前に、プリンタドライバを削除してください。
- USBプリンタデバイスドライバを削除すると、USB 接続しているほかのエプソン製プリンタも利用できなくなります。

149 ページ手順 4 から続けてください。

5 ［はい］ボタンをクリックします。

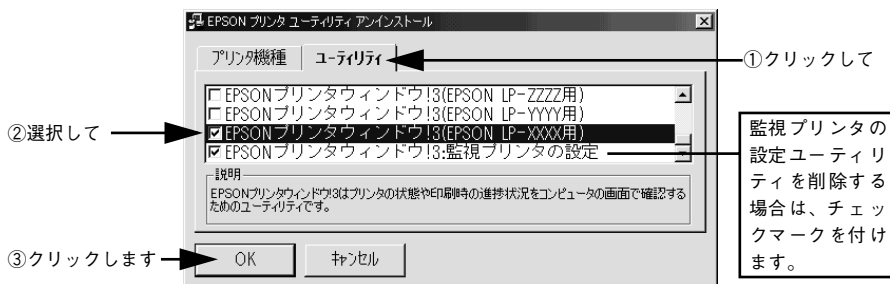
USB プリンタデバイスドライバの削除が始まります。

6 ［はい］ボタンをクリックします。

コンピュータが再起動します。

以上で USB プリンタデバイスドライバの削除は終了です。

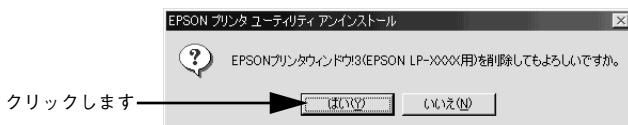
EPSON プリンタウィンドウ !3 のみの削除

149 ページ手順 4 から続けてください。

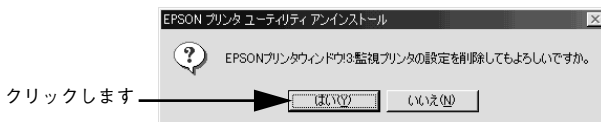
5 ［プリンタ機種］タブをクリックし、余白部分をクリックして何も選択されていない状態にします。

6 ［ユーティリティ］タブをクリックし、［EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-9500C 用)］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、本機以外の EPSON プリンタウィンドウ！ 3 に対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。

7 **削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。**

EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-9500C 用）の削除が始まります。

ポイント

監視プリンタの設定ユーティリティを削除する場合は、次の確認メッセージが表示されます。［はい］ボタンをクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。

8 **終了のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**

これで EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-9500C 用）の削除（アンインストール）は終了です。

ポイント

プリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ!3 を再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

代替 / 追加ドライバを削除するには

Windows 2000/XP プリントサーバにクライアント用の代替 / 追加ドライバをインストールしている場合は、以下の手順で代替 / 追加ドライバを削除（アンインストール）できます。

なお、Windows NT4.0 プリントサーバにインストールされている代替 / 追加ドライバは削除することができません。プリンタドライバ自体を削除しても代替 / 追加ドライバは削除されません。Windows NT4.0 の代替 / 追加プリンタドライバをバージョンアップする場合は、バージョンアップしたプリンタドライバを代替 / 追加ドライバとして再度インストールしてください。上書きインストールされた代替 / 追加ドライバは問題なく動作します。

ポイント

代替 / 追加ドライバ機能は、Windows NT4.0 では「代替ドライバ」、Windows 2000/XP では「追加ドライバ」と表示されます。

1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**

- **Windows 2000 の場合**

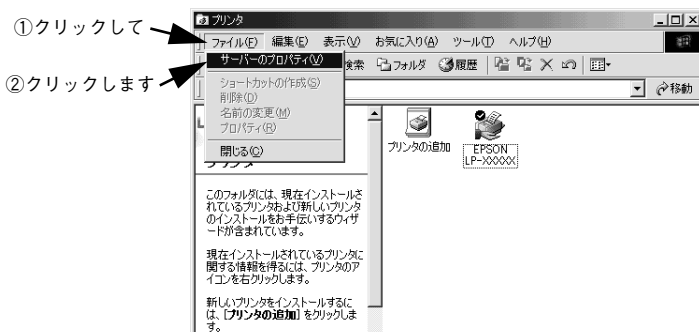
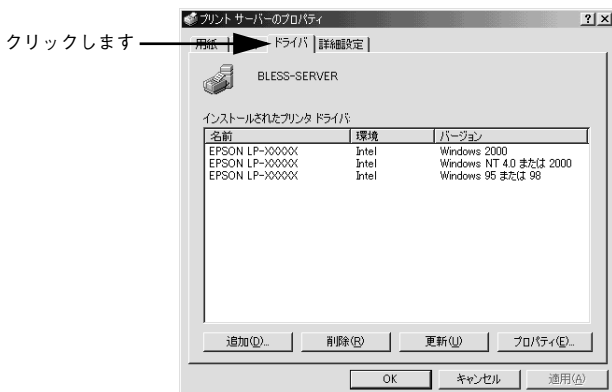
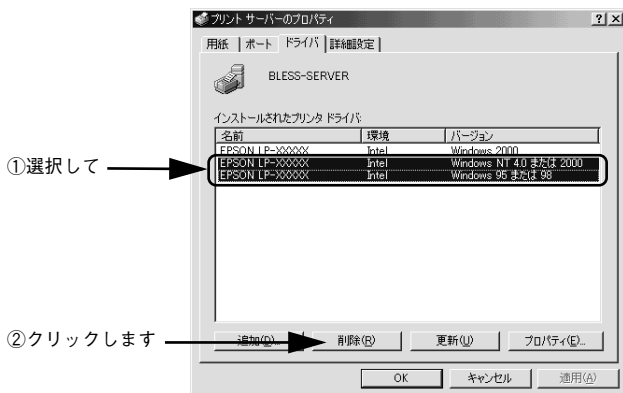
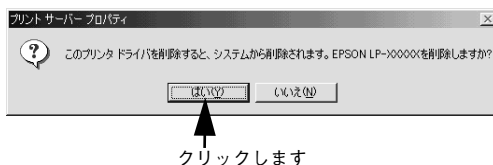
  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、3 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

3 **［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックします。**

4 ［ドライバ］タブをクリックして、［インストールされたプリンタ ドライバ］リストを開きます。

5 削除したい代替/追加ドライバをクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。

6 削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

7 ［閉じる］ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

以上で代替 / 追加ドライバの削除は終了です。

Macintosh プリンタドライバの機能と関連情報

プリンタドライバの詳細説明と、Macintosh でお使いの際に関係する情報について説明しています。

● 設定ダイアログの開き方 157
● [用紙設定] ダイアログ.. 159
● [プリント] ダイアログ.. 166
● [プリンタセットアップ] ダイアログ 193
● プリンタを共有するには 196
● EPSON プリンタウィンドウ !3 とは 203
● バックグラウンドプリントを行う........................... 211
● ColorSync について.. 213
● 印刷の中止方法.. 215
● プリンタソフトウェアの削除 216

設定ダイアログの開き方

ここでは、Macintosh アプリケーションソフトでの、基本的な印刷手順について説明します。

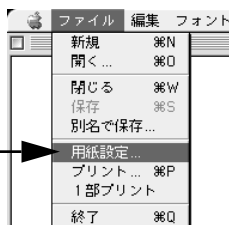
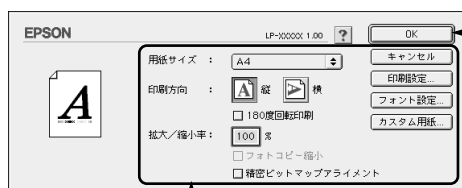
用紙設定の手順

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。ここでは、SimpleText を例に説明します。

ポイント

用紙設定をする前にセレクタで LP-9500C 用のプリンタドライバを選択してください。
スタートアップガイド（紙マニュアル）50 ページ「プリンタドライバの選択」

1. ［SimpleText］アイコンをダブルクリックして起動します。

2. ［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタの設定］など）を選択します。

3. **必要な項目を設定します。**

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。
本書 159 ページ「［用紙設定］ダイアログ」
本書 161 ページ「画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには」
本書 164 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

4. ［OK］ボタンをクリックして終了します。

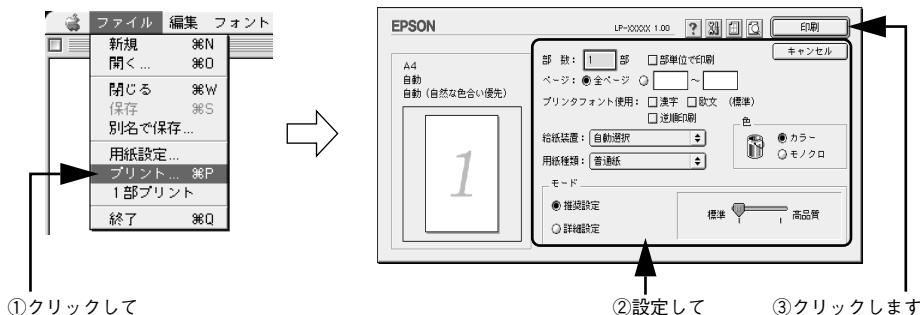
この後、印刷データを作成します。

印刷設定の手順

印刷する際に、プリンタドライバ上で印刷部数などを設定します。

ポイント

アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

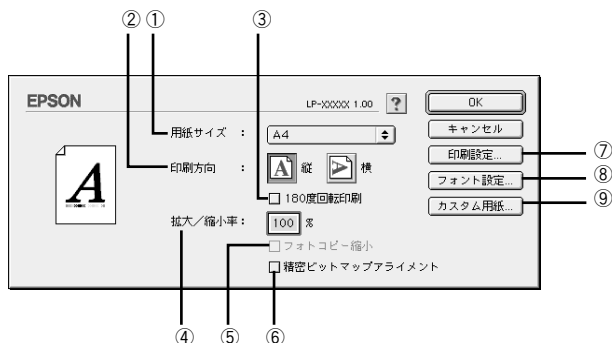
1. ［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

2. 印刷に必要な項目を設定します。OHP シート、ラベル、厚紙に印刷する場合は、［用紙種類］から印刷する用紙を選択します。

通常は、［プリント］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

本書 166 ページ「［プリント］ダイアログ」

3. ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

[用紙設定] ダイアログ

[用紙設定] ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

①用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをポップアップメニューから選択します。

本機で印刷できない用紙サイズを選択すると、A4 サイズの用紙にフィットページ印刷を行います。A4 サイズ以外の用紙にフィットページ印刷を行う場合は、[レイアウト] ダイアログで [フィットページ] を設定してください。
本書 180 ページ「[レイアウト] ダイアログ」

②印刷方向

用紙に対する印刷の向きを、[縦]・[横] のいずれかクリックして選択します。

③180 度回転印刷

印刷データを 180 度回転して印刷します。

④拡大 / 縮小率

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。拡大 / 縮小率を 25% ～ 400% まで、1% 単位で指定できます。

拡大 / 縮小印刷をすると、カラーの色合いが元データと比べて変わることがあります。

⑤フォトコピー縮小

[拡大 / 縮小率] が 100% 未満の場合に有効になります。指定した縮小率で用紙中央に印刷します。この場合、[精密ビットマップアライメント] は選択できません。

⑥精密ビットマップアライメント

印刷領域を約4% 縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷します。この場合、印刷位置は用紙の中央になります。なお、[フォトコピー縮小] を選択している場合は、選択できません。

⑦[印刷設定] ボタン

印刷に関する各種の設定を行います。印刷する直前に [プリント] ダイアログでも同様の項目を設定できます。設定できる項目については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 166 ページ「[プリント] ダイアログ」

⑧[フォント設定] ボタン

Macintosh のディスプレイ上で表示されているフォントをプリンタに内蔵されているフォントに置き換えるための設定を行います。設定方法については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 161 ページ「画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには」

⑨[カスタム用紙] ボタン

用紙のカスタム(不定形)サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、[用紙設定] ダイアログの [用紙サイズ] メニューから選択できます。

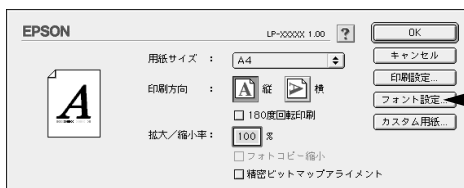
☞ 本書 164 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

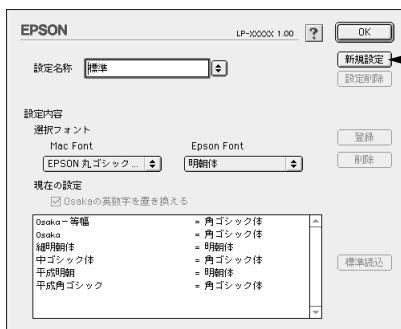
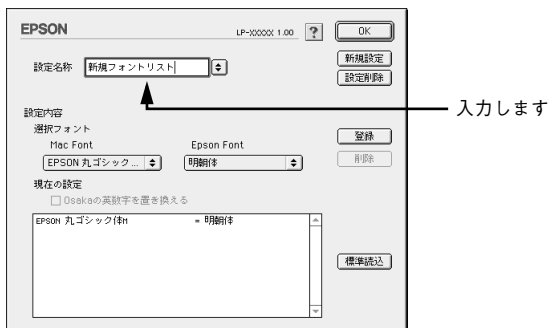
画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには

Macintosh のディスプレイ上で表示されているフォントを、プリンタに内蔵されているフォントに置き換えて印刷するための置き換えフォントの設定を行います。ここで設定した内容は、［プリント］ダイアログや［詳細設定］ダイアログで［プリンタフォント使用］のチェックボックスをチェックしたときに有効になります。プリンタフォントを使用して印刷すると、印刷速度が速くなります。

ポイント

以下の場合、フォントの置き換えはできません。
- [詳細設定] ダイアログの［印刷モード］［標準（Mac）］を選択した場合
- [詳細設定] ダイアログの［印刷モード］［CRT 優先］を選択した場合（モノクロ印刷時は除く）

1 ［用紙設定］ダイアログを開き、［フォント設定］ボタンをクリックします。

2 ［新規設定］ボタンをクリックします。

- すでに登録されている設定を変更する場合は、設定名称のポップアップメニューから選択し 4 へ進みます。
- すでに登録されている設定を削除する場合は、設定名称のポップアップメニューから選択し、［設定削除］ボタンをクリックします。

3 ［設定名称］ボックスに、登録名を入力します。

4 ［Mac Font］リストから置き換え対象となるフォントを選択し、［Epson Font］リストから置き換えるプリンタフォントを選択します。

［標準読込］ボタンをクリックすると、標準で用意している置き換えフォントの設定を読み込むことができます。

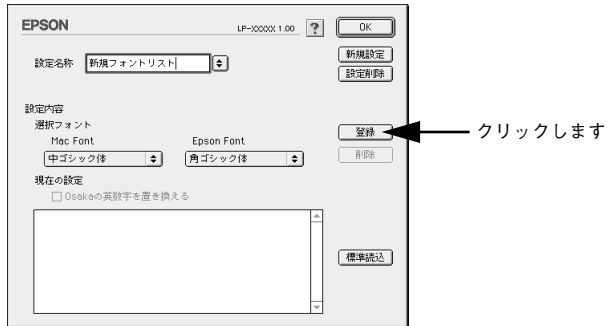
［標準］以外の置き換えフォント登録では、Osaka フォントに限り漢字フォントと英数字フォントを別々に置き換え設定できます。

①［Mac Font］リストから Osaka フォントを選択します。

②Osaka の英数フォントを置き換えるには、［Osaka の英数字を置き換える］をクリックしてチェックマークを付けます。Osaka の漢字フォントを置き換えるには［Osaka の英数字を置き換える］をクリックしてチェックマークを外します。

③［Epson Font］リストから置き換える英数フォントを選択します。

5 **［登録］ボタンをクリックします。**

- ［現在の設定］に登録されます。
- ［現在の設定］に登録された置き換えの設定を削除する場合は、［現在の設定］の一覧から選択し、［削除］ボタンをクリックします。

6 **他に置き換えたいフォントがある場合は、4 と 5 を繰り返します。**

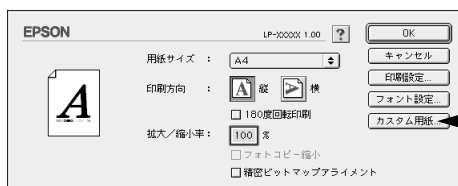
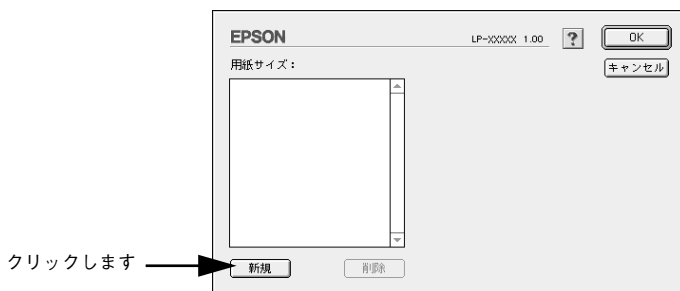
7 **［OK］ボタンをクリックします。**

以上で、置き換えフォントの登録が保存されました。

- 保存した置き換え方法を使用する場合は、［設定名称］のポップアップメニューから設定した名称を選択してください。
- 登録したフォント置き換えの設定は、［プリント］ダイアログや［詳細設定］ダイアログで［プリンタフォント使用］のチェックボックスをチェックしたときに有効になります。登録した置き換えフォントの設定は、［詳細設定］ダイアログからも選択できます。

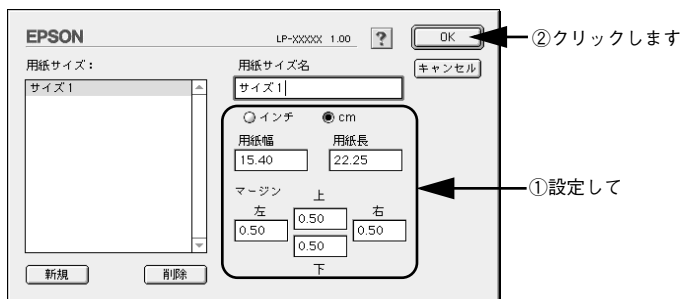
任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［カスタム用紙］として登録することができます。

1 ［用紙設定］ダイアログを開き、［カスタム用紙］ボタンをクリックします。

2 ［新規］ボタンをクリックします。

- 登録できる用紙サイズの数は、64 件までです。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］一覧から変更したい用紙サイズを選択します。
- 用紙サイズをクリックしてから［削除］ボタンをクリックすると、その用紙サイズは削除されます。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録した用紙サイズは保持されます。

3 **用紙サイズ名、単位（インチまたは cm）、用紙幅、用紙長、上下左右マージンを設定し、［OK］ボタンをクリックします。**

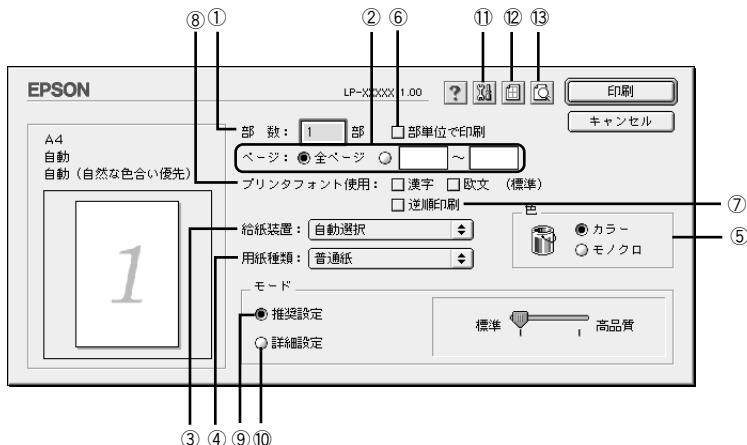
設定できるサイズの範囲は次の通りです。

- 用紙幅：9.01 ～ 31.11cm（3.55 ～ 12.25 インチ）
- 用紙長：14.80 ～ 45.72cm（5.83 ～ 18.00 インチ）

これで定義した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。

本書 42 ページ「不定形紙への印刷」

［プリント］ダイアログ

印刷する際、［プリント］ダイアログで印刷にかかわる各種の設定を行います。

① 部数

1 〜 999 の範囲で印刷部数を選択します。通常は 1 ページごとに指定した部数を印刷しますが、⑥の［部単位で印刷］を選択すると 1 部ごとにまとめて印刷します。

②ページ

すべてのページを印刷する場合は［全ページ］を選択します。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを 1 〜 9999 の範囲で入力します。

③ 給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探し給紙します。
MP カセット	MP カセットから給紙します。
用紙カセット 1*/2/3	オプションの増設カセットユニットの用紙カセットから給紙します。

* LP-9500CZ には、「用紙カセット 1」が標準装備されています。

- 選択した給紙装置に指定された用紙サイズがセットされていない場合や正しく検知されない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。
  本書 178 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。
  本書 180 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

④用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

項　目	説　明
指定しない	普通紙タイプの用紙およびコート紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	普通紙タイプの用紙およびコート紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。給紙装置は［自動選択］を選択します。
普通紙（裏面）	表面を印刷した普通紙タイプの用紙の裏面に印刷する場合に選択します。
OHP シート、ラベル、厚紙、厚紙（小）	厚紙に印刷する場合に選択します。紙厚が 91 ～ 210g/ ㎡の場合に選択してください。［厚紙（小）］は用紙幅：182mm 未満、用紙長：257mm 未満の厚紙の場合に選択します。官製往復ハガキ、官製四面連刷ハガキに印刷する場合は［厚紙］を選択します。［給紙装置］には［MP カセット］が選択されます。
厚紙（裏面）、厚紙（小・裏面）	表面を印刷した厚紙の裏面に印刷する場合に選択します。官製往復ハガキ、官製四面連刷ハガキの裏面に印刷する場合は［厚紙（裏面）］を選択します。［給紙装置］には［MP カセット］が設定されます。

- 表面を印刷した用紙の裏面に印刷する場合は、印字品質の最適化のためにそれぞれの用紙に応じて［普通紙（裏面）］、［厚紙（裏面）］、［厚紙（小・裏面）］に設定してください。
- 官製ハガキや官製往復ハガキ、官製四面連刷ハガキの両面に印刷する場合に、片面の印刷後もう一方の面を印刷するときは［用紙種類］を［厚紙（裏面）］に設定してください（ハガキに裏面印刷する場合のみ設定します）。
- 操作パネルで用紙のタイプを設定していない場合は、「用紙タイプ選択機能」は使用できません。

⑤色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

⑥部単位で印刷

2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。

- アプリケーションソフトで部単位印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフトの設定をオフ（部単位印刷しない）にしてから、プリンタドライバで設定してください。
- 部単位の印刷は、装着しているオプションによって処理の仕方が異なります。
  - メモリを128MB以上に増設している場合は、メモリにデータを一時保存します。
  - HDD を装着している場合は、HDD にデータを一時保存します。
  - 128MB以上のメモリとHDD を装着している場合は、メモリとHDD にデータを一時保存します。
  - 上記以外の場合は、プリンタドライバで部単位処理を行います。

⑦逆順印刷

先頭ページからではなく、最後のページから逆に印刷します。

⑧プリンタフォント使用

［フォント設定］ダイアログで登録した置き換えフォント設定に応じて、印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。置き換えフォントの登録については、以下のページを参照してください。

本書 161 ページ「画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには」

フォント	説 明
漢字	チェックマークを付けると、文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。
欧文（標準）	チェックマークを付けると、文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。

［詳細設定］-［印刷モード］で［標準（Mac)］または［CRT 優先］（モノクロ印刷時は置き換え可）を選択した場合、フォントおよび装飾文字の置き換えはできません。

⑨推奨設定モード

一般的に推奨できる条件で印刷できます。ほどんどの場合、この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。［推奨設定］を選択している場合は、印刷品質（解像度）を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）のどちらかに設定できます。

項目	説明
標準	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

⑩ 詳細設定モード

［詳細設定］をクリックすると、詳細設定メニューと［設定変更］/［保存 / 削除］ボタンが表示されます。

項目	説明
詳細設定メニュー	プリセットメニューおよび［保存 / 削除］ボタンで保存した設定を選択できます。
［設定変更］ボタン	クリックすると、［詳細設定］ダイアログが開きます。 本書 172 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
［保存 / 削除］ボタン	クリックすると、［プリント］ダイアログで設定した内容を保存または削除するためのダイアログが表示されます。［ユーザー設定名］を入力して、［登録］ボタンをクリックしてください。 EPSON LP-XXXXX x.xx 登録 キャンセル 削除 ユーザー設定 ユーザー設定名 私の設定 ②クリックします ①入力して 保存した設定を変更または削除できます。 • 設定を変更する場合は、最初に［プリント］ダイアログで設定を変更してから変更の対象となる設定名を［ユーザー設定］リストから選択し、［変更］ボタンをクリックしてください。 • 設定を削除する場合は、削除する設定名を［ユーザー設定］リストから選択して［削除］ボタンをクリックしてください。 EPSON LP-XXXXX x.xx 変更 キャンセル 削除 ユーザー設定 私の設定 ユーザー設定名 私の設定 ② クリックします（変更時） ② クリックします（削除時） ①選択して

カラー印刷時には、以下のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック／ＣＡＤ	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
オートフォトファイン !4	EPSON独自の画像補正技術オートフォトファイン!4を使用し､印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
ColorSync	ColorSync によるカラーマッチング（色合わせ）を行うときに適した設定です。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック／ CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

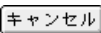
⑪ （［拡張設定］アイコン）

印刷位置のオフセット値、白紙節約機能、用紙サイズチェックなどの設定を行います。

本書 178 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

⑫ （［レイアウト］アイコン）

レイアウトに関する設定ができます。

本書 180 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

⑬ （［プレビュー］アイコン）

アイコンをクリックすると［印刷］ボタンが［プレビュー］ボタンに変わります。［プレビュー］ボタンをクリックすると、［プレビュー］ウィンドウが表示され、印刷結果をモニタ上で確認できます。

※※※EPSON LP-XXXXC用プリンタドライバについて※※※

このファイルにはEPSON LP-XXXXCプリンタドライバに関する注意事項、制限事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。
詳しい取り扱いに関しては、取扱説明書を参照してください。

--- 既にEPSONプリンタドライバをご使用のお客様へ ---
■従来のSEIKO EPSON社製 Macintosh プリンタドライバは、LP-XXXXCではご使用になれません。
必ずEPSON LP-XXXXC用プリンタドライバをご使用ください。

--- インストーラについて ---
■ウイルス感染防止プログラムが起動していると、正常にインストーラプログラムが動作しません。ウイルス感染防止プログラムをオフにしてから、インストールを開始して下さい。

--- ColorSync™について ---
■PageMaker6.0.1をお使いの方へ
ドライバ設定にてColorSyncをONにした際には、必ずPageMaker内のCMS設定（ColorSync設定）でカラーマネージメントをOFFにしてください。
■FreeHand 7をお使いの方へ
ドライバ設定にてColorSyncをONにした際には、必ずFreeHand 7の環境設定でカラーマネージメントをOFFにしてください。

--- フォント置換機能について ---
■フォント置換機能を使用する場合、ご使用のMacintoshにリュウミンライト-KL、中ゴシックBBBフォントをインストールすることをお勧めします。フォント置換機能をご使用の際に、文字が重なる、文字間隔が開きすぎる場合は、ご使用のMacintoshにこれらのフォントをインストールするか、［フォント置換する］のチェックを外してください。

--- USBポートについて ---
■USBポートに同一機種(LP-XXXXC)が複数台接続されている場合は、セレクタに［USBポート（1）］［USBポート（2）］…と表示されます。
■USBケーブルは、Macintoshとプリンタの電源が入っている状態でも抜き差しができます。ただし、一旦引き抜いたケーブルを再び差し込む際には、数秒の間隔を開けてください。
（間隔を開けないと、セレクタで選択できなくなったり印刷できなくなるなどの原因となります。）
■USBケーブルをご使用の場合は、Macintosh本体と直接接続することをお勧めします。Macintoshとプリンタの間にたくさんのUSB機器を接続すると、これらの機器に問題があった場合に、印刷できなくなることがあります。

--- 紙詰まりの対処、トナー交換の方法について ---
■プリンタで紙詰まりが発生した場合やトナーが減少してトナー交換が必要になった場合は、［EPSON プリンタウィンドウ!3］で対処方法の詳細が確認できます。［EPSON プリンタウィンドウ!3］の起動

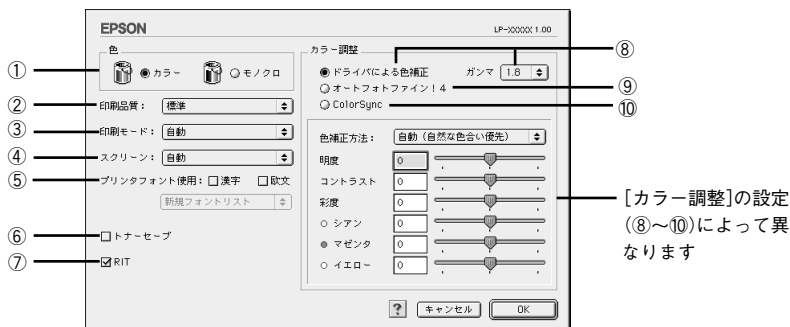
- 1 -

- ［用紙設定］ダイアログで［180 度回転印刷］を設定しても、ページを 180 度回転してプレビュー表示しません。
- 文字が図形より下にあっても、文字が上にプレビュー表示されます。

	:	表示するページを 1 ページごとに切り替えるボタンです。
1 / 3	:	表示させるページ番号を直接入力します。
キャンセル	:	［プレビュー］ダイアログを閉じるボタンです。
印刷	:	印刷を開始するボタンです。
	:	印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。
	:	印刷結果と同等のサイズで表示します。
	:	印刷データを拡大して表示します。

［詳細設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログの［モード設定］で［詳細設定］をクリックして［設定変更］ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが表示されます。印刷にかかわるさまざまな機能を詳細に設定できます。

カラー印刷の場合

モノクロ印刷の場合

①色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

②印刷品質

印刷品質とは印刷解像度のことで、［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）のどちらかを選択できます。

［高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、［標準］を選択してください。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、［印刷品質］を［標準］（解像度 300dpi）に設定してください。

③印刷モード

［印刷モード］は、［色］の設定によって異なります。

カラー印刷の場合

［色］を［カラー］に設定した場合は、以下の印刷モードが選択できます。

印刷モード	説 明
自動	お使いの環境によって［標準（Mac）］モードか、［標準（プリンタ）］モードかを自動で設定します。
標準（Mac） 標準（プリンタ）	印刷データを Macintosh またはプリンタのどちらで主に処理するかを選択します。
CRT 優先	印刷データをすべてイメージデータとしてプリンタへ送ります。ほかの印刷モードで印刷しても、画面（CRT）通りの印刷結果が得られない場合や印刷が非常に遅い場合に選択します。

- お使いの Macintosh の処理能力が高い場合は、［標準（Mac）］を選択してください。プリンタ側の負荷を軽くすることができます。
- お使いの Macintosh の処理能力が低い場合は、［標準（プリンタ）］を選択してください。Macintosh 側の負荷を軽くすることができます。
- ［標準（Mac）］または［CRT 優先］（モノクロ印刷時は置き換え可）を選択した場合、フォントの置き換えはできません。

モノクロ印刷の場合

［色］を［モノクロ］に設定した場合は、以下の印刷モードが選択できます。

印刷モード	説 明
標準	モノクロ印刷の場合は、通常［標準］を選択してください。プリンタドライバの標準モードでモノクロ印刷します。
CRT 優先	印刷データをすべてイメージデータとしてプリンタへ送ります。ほかの印刷モードで印刷しても、画面（CRT）通りの印刷結果が得られない場合に選択します。通常、このモードを選択する必要はありません。

④スクリーン（カラー印刷のみ）

スクリーン線数（lpi）を選択します。ほかに設定した印刷条件によっては、グレー表示して設定できない場合があります。

項 目	説 明
自動	スクリーン線数を自動的に設定します。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。
階調優先	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。

⑤プリンタフォント使用

［フォント設定］ダイアログで登録した置き換えフォント設定に応じて、印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。置き換えフォントの登録については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 161 ページ「画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには」

フォント	説 明
漢字	チェックマークを付けると、文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。
欧文（標準）	チェックマークを付けると、文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。

登録した置き換えフォント設定は、リストから選択できます。

③の［印刷モード］で［標準（Mac）］または［CRT 優先］（モノクロ印刷時は置き換え可）を選択した場合、フォントの置き換えはできません。

⑥トナーセーブ

印刷濃度を抑えることでトナーを節約（トナーセーブ）します。カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

カラー印刷の場合、トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑦RIT

RIT*（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

*RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の印刷機能。

- RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。
- カラー印刷の場合、④の［スクリーン］の関係で RIT 機能が有効にならない場合があります。

⑧ ドライバによる色補正（カラー印刷のみ）

プリンタドライバによるカラー調整を行います。［ドライバによる色補正］を選択した場合は、以下の設定でカラー調整できます。

ガンマ：

ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。この設定は、［ドライバによる色補正］を選択した場合にのみ有効です。

［1.5］	ガンマ 1.8 に比べて柔らかい感じの画像を印刷します。
［1.8］	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値 1.5 に比べ立体感がありメリハリのある画像を印刷することができます。
［2.2］	sRGB 対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。

色補正方法：

色の補正方法を選択できます。

［自動（自然な色合い優先）］	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
［自動（鮮やかさ優先）］	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
［自然な色合い］	より自然な発色になるようにカラー調整します。
［鮮やかな色合い］	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
［色補正なし］	カラー調整しません。ColorSync 用プロファイルを作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

明度：

画像全体の明るさを調整します。

コントラスト：

画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度：

画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。

シアン、マゼンタ、イエロー：

各色の強さを調整します

	-25	← 0 → +25
シアン	赤みが強くなります。	青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。	赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。	黄色（イエロー）が強くなります。

⑨オートフォトファイン !4（カラー印刷のみ）

EPSON 独自のオートフォトファイン !4 機能を使って、画像を調整します。ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や Photo CD のデータなどを自動的に補正して印刷します。［オートフォトファイン !4］を選択した場合は、以下の設定でカラーを調整します。

本書 409 ページ「オートフォトファイン !4」

項　目	説　明
色調	印刷する際の画像の色調の補正方法を、［標準］［硬調］［鮮やか］［セピア］［モノクロ］の項目から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。色調を補正しない場合は、チェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。
効果	印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷します。［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンバス］［和紙］の中から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。スライドバーでは、加える効果の強弱を調整することができます。効果を加えない場合は、チェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。
デジタルカメラ用補正	デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正をして印刷します。

- 画像のサイズや Macintosh の性能によっては印刷時間が多少長くなります。
- オートフォトファイン !4 は、1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対して最も有効に機能します。256 色（8bit）などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

⑩ ColorSync（カラー印刷のみ）

クリックしてチェックマークを付けると、ColorSync によるカラーマッチング（色合わせ）を行います。詳しくは、以下のページを参照してください。

本書 213 ページ「ColorSync について」

⑪ グラフィック（モノクロ印刷のみ）

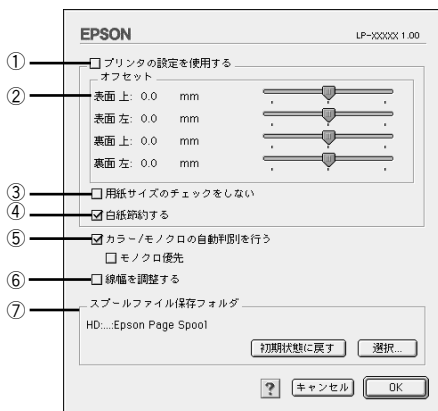
①「色」で［モノクロ］を選択すると設定できます。

項 目	説 明
白黒	グラフィックの印刷処理を行いません。グレースケールや中間色を表現せず、濃淡や色調のない画像になります。
ハーフトーン	グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。
PGI	PGI *1(Photo and Graphics Improvement) 処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をPGI 処理してきれいに印刷できます。
画質	［PGI］を選択したときのみ、［画質］を調整できます。印刷時間を短くしたい場合は［速度優先］に、印刷品質を上げたい場合は［品質優先］に設定します。
画像調整 *2	［ハーフトーン］または［PGI］選択時の印刷粗密度をスライドバーで調整できます。［細かい］側にスライドするとより細かく、［粗い］側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。
明暗調整	［ハーフトーン］または［PGI］選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。［薄い］側にスライドするとより明るく、［濃い］側にスライドするとより暗くグラフィックを印刷します。

*1 PGI：階調表現力を 3 倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷する EPSON 独自の機能。

*2 ［細かい］にして印刷するとグラフィックの細かい微妙な部分まで再現できますが、印刷した用紙をさらにコピーすると、グラフィックの中間調がつぶれて真っ黒になる場合があります。コピーをする場合は、［細かい］にしないで印刷することをお勧めします。

［拡張設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログの［拡張設定］アイコンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが表示されます。

①プリンタの設定を使用する

チェックマークを付けると、②〜④の項目について、プリンタの操作パネルで設定されている値を使用して印刷します。

②オフセット

印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。
上（垂直位置）: -30mm（上方向）〜 30mm（下方向）
左（水平位置）: -30mm（左方向）〜 30mm（右方向）

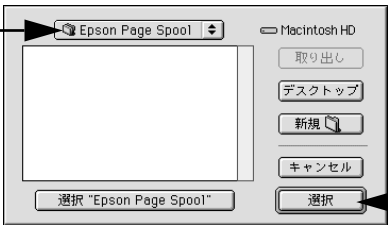
③用紙サイズのチェックをしない

チェックマークを付けると、プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットしてある用紙のサイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なってもエラーを発生することなく印刷します。

④白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないことで用紙を節約することができます。

⑤カラー / モノクロの自動判別を行う、モノクロ優先

印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。［モノクロ優先］をチェックすると、カラーとモノクロのデータごとにプリンタの印刷機構を切り替えますので、印刷速度は遅くなりますが、カラーのET カートリッジと感光体の寿命を延ばすことができます。

［詳細設定］ダイアログの［印刷モード］で［CRT 優先］が選択されている場合は、カラー / モノクロの自動判別は行いません。

⑥線幅を調整する

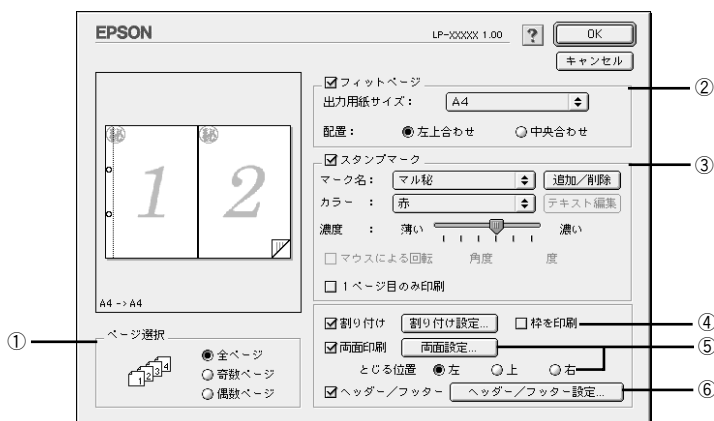
図形の線幅を 1.4 倍にして印刷します。図形を重ね合わせて印刷すると隙間が生じる場合などに隙間を埋めることができます。

⑦スプールファイル保存フォルダ

印刷処理用のスプールファイルをどこに保存するかを選択できます。

項 目	説 明
［選択］ボタン	［拡張設定］ダイアログで［選択］ボタンをクリックしてフォルダの選択ダイアログを表示させ、スプールファイルを保存したいフォルダを選択してから［選択］ボタンをクリックします。 ①選択して　Epson Page Spool　Macintosh HD　取り出し　デスクトップ　新規　キャンセル　選択 "Epson Page Spool"　選択　②クリックします
［初期状態に戻す］ボタン	スプールファイルの保存フォルダを初期状態に戻します。

［レイアウト］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［レイアウト］アイコンをクリックすると、［レイアウト］ダイアログが表示されます。レイアウトにかかわるさまざまな設定ができます。

①ページ選択

印刷データの全ページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

②フィットページ

印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを自動的に拡大 / 縮小して印刷します。

本書 182 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

- 拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- ［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。

③スタンプマーク

印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。

☞ 本書 184 ページ「スタンプマークを印刷するには」

④割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続した印刷データを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数、順序、枠線の有無を設定できます。

☞ 本書 189 ページ「1 ページに複数ページのデータを印刷するには」

⑤両面印刷

オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に選択でき、両面印刷を行います。

☞ 本書 191 ページ「両面印刷をするには」

⑥ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、[ヘッダー / フッター設定] ボタンをクリックします。

[ヘッダー / フッター設定] ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号*）を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

* 部単位で印刷する場合に何部目であるかを示す番号

拡大 / 縮小して印刷するには

［レイアウト］ダイアログ内のフィットページ機能を使います。フィットページとは、印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを拡大 / 縮小する機能のことです。
［フィットページ］をチェックし、印刷する用紙のサイズを選択してから印刷を実行します。

①出力用紙サイズ

プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）印刷するには、用紙サイズをリストから選択します。

②配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

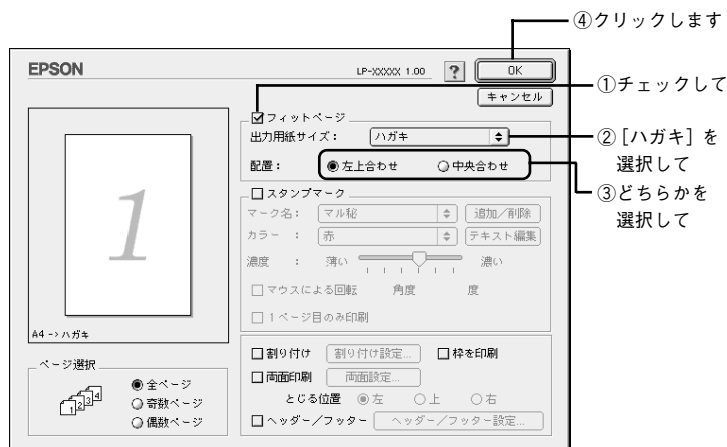
ポイント

- 拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- ［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。

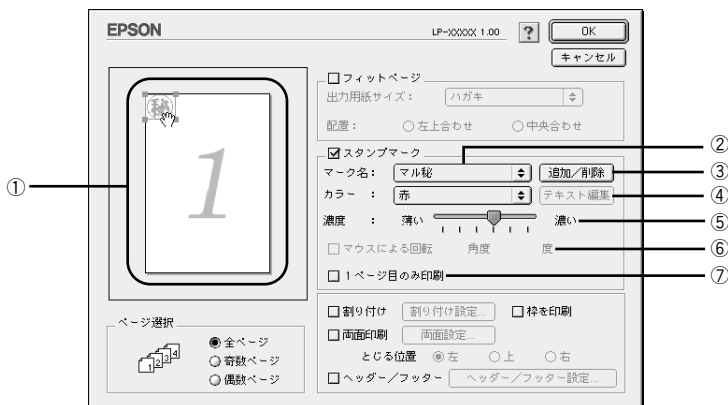
フィットページ印刷の手順

フィットページ機能を使って用紙サイズA4の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順は以下の通りです。

1. **プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2. **［レイアウト］ダイアログを開いて、各項目を設定します。**
この場合［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］は［A4］になります。

3. **［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。**

スタンプマークを印刷するには

［レイアウト］ダイアログ内のスタンプマーク機能を使います。

①プレビュー部

ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン

オリジナルのビットマップ（PICT [*1] 画像）マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除します。

*1 PICT：Macintosh の標準グラフィックファイル形式。

本書 186 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

④［テキスト編集］ボタン

登録したテキストマークを［マーク名］リストで選択してから［テキスト編集］ボタンをクリックすると、登録時と同じダイアログが表示されて、登録したテキスト、フォント、スタイルを変更することができます。

⑤濃度

スタンプマークの印刷濃度を、［濃度］バーで調整します。バーを［薄い］側に移動するとより薄く、［濃い］側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

⑥マウスによる回転 / 角度

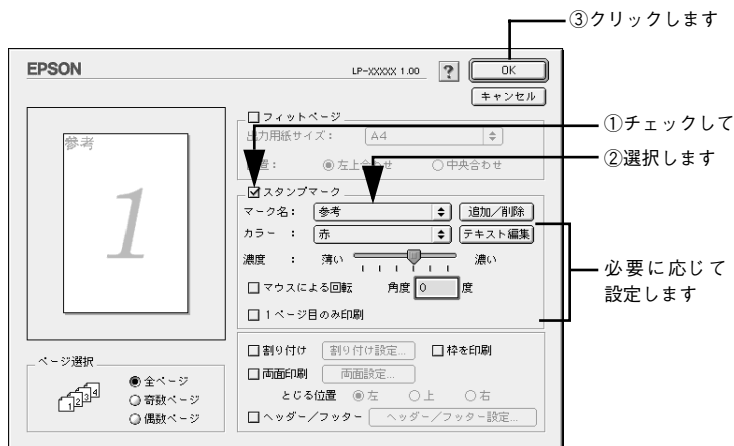
テキストマークを回転するときは、［マウスによる回転］をクリックしてチェックマークを付け、プレビュー部のマークをマウスで回転させるか、［角度］ボックスに回転角度を直接入力します。

⑦1 ページ目のみ印刷

用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

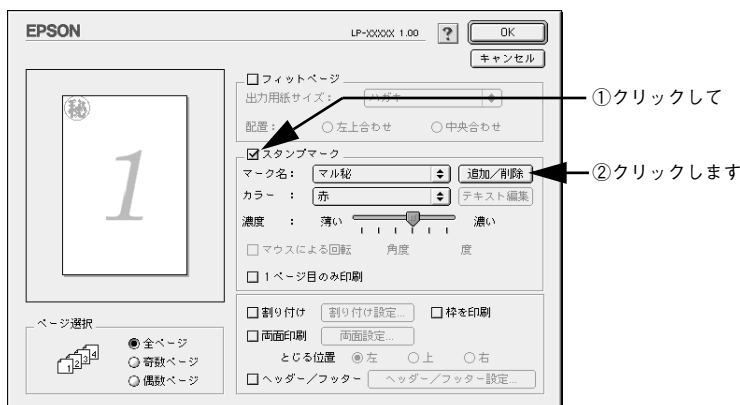
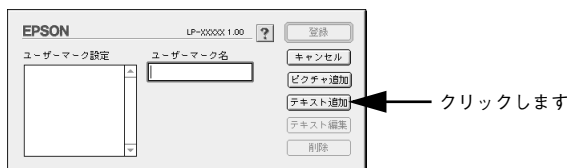
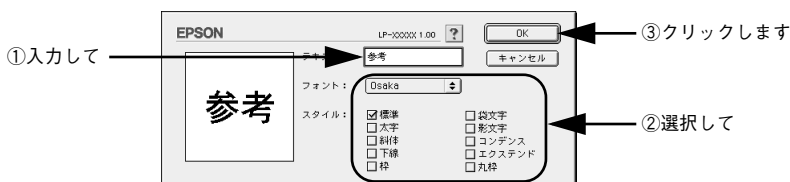
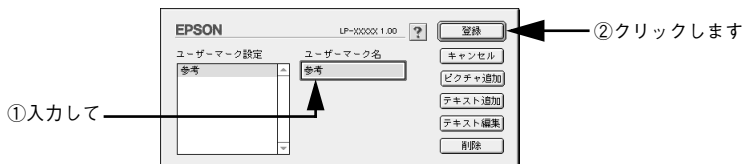
1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。

2. ［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

オリジナルスタンプマークの登録方法

すでに登録されているスタンプマークのほかに、テキスト（文字）マークやビットマップ（画像）マークが登録できます。登録するマークの種類に合わせて、それぞれの手順をお読みください。

- オリジナルスタンプマークは 32 件まで登録することができます。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録されたスタンプマークは保持されます。

テキストマークの登録方法

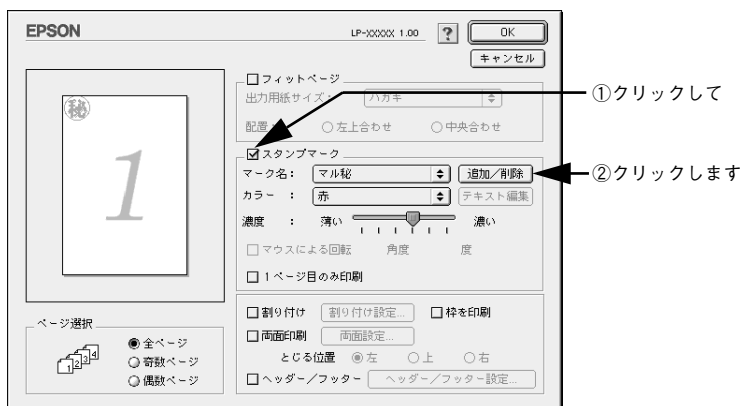
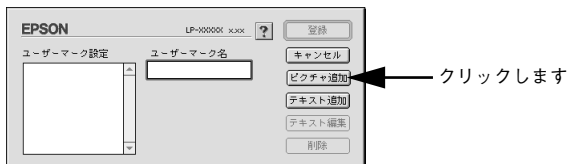
1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックマークを付け、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

2. ［テキスト追加］ボタンをクリックします。

3. ［テキスト］ボックスに文字を入力し、［フォント］と［スタイル］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

4 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］ボタンをクリックします。

これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

- 登録したテキストマークを変更するには、変更したいテキストマーク名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［テキスト編集］ボタンをクリックします。変更した後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。
- 登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

5 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。
画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

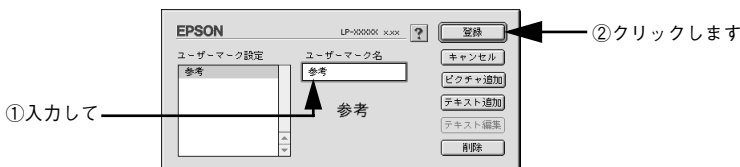
ビットマップマークの登録方法

1 アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT 形式で保存します。

2 ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックマークを付け、［追加 /削除］ボタンをクリックします。

3 ［ピクチャ追加］ボタンをクリックします。

4 ❶ で保存した PICT ファイル名を選択し、［開く］ボタンをクリックします。

［作成］ボタンをクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。

5 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］ボタンをクリックします。

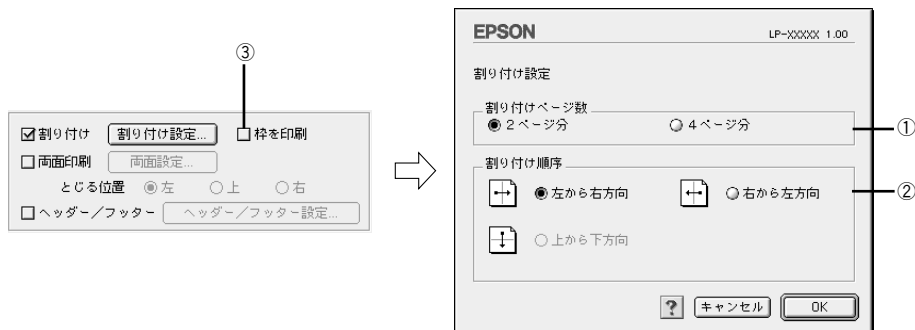
これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

ポイント

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

6 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

1 ページに複数ページのデータを印刷するには

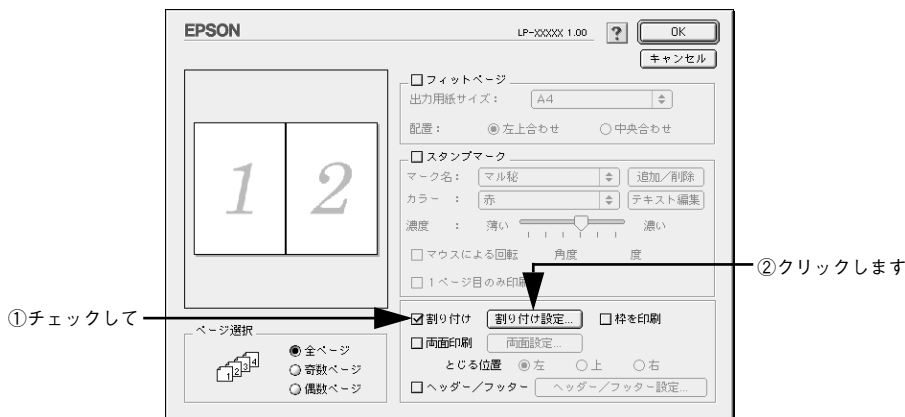
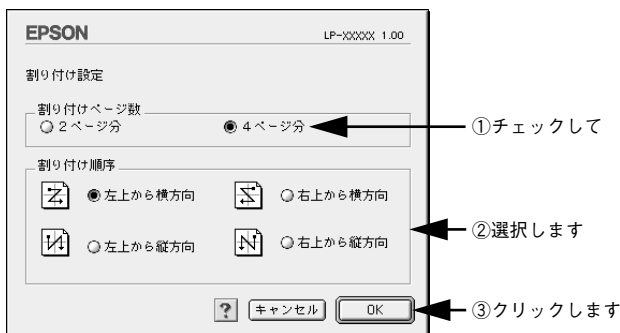
［レイアウト］ダイアログで［割り付け］をクリックしてチェックマークを付け、［割り付け設定］ボタンをクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが開いて以下の項目が設定できます。

① 割り付けページ数
1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

② 割り付け順序
割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

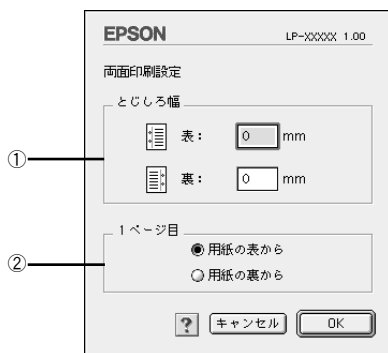
③ 枠を印刷
割り付けた各ページの周りに枠線を印刷します。

割り付け印刷の手順

4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。

2. ［割り付け設定］ダイアログの以下の項目を設定します。

3. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

両面印刷をするには

［レイアウト］ダイアログで［両面設定］をクリックしてチェックマークを付け、［両面設定］ボタンをクリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され以下の項目が設定できます。

①とじしろ幅

両面印刷するときのとじしろ幅を、0 〜 30mm の範囲で用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

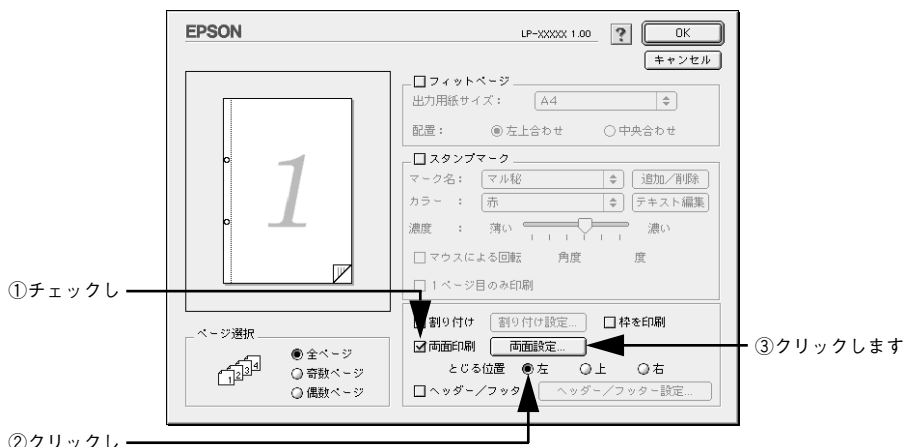
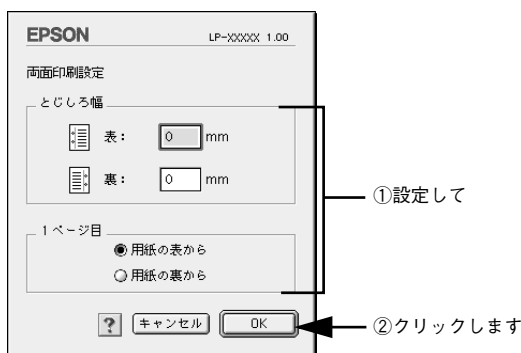
②1 ページ目

両面印刷する場合、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

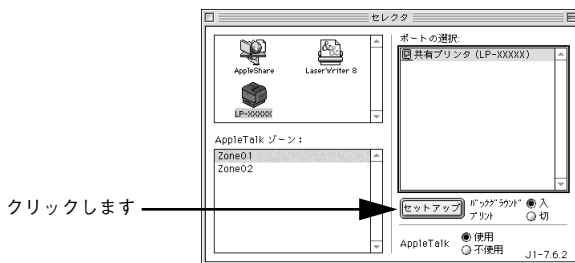
両面印刷の手順

A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（ここではA4）がセットされていることを確認します。

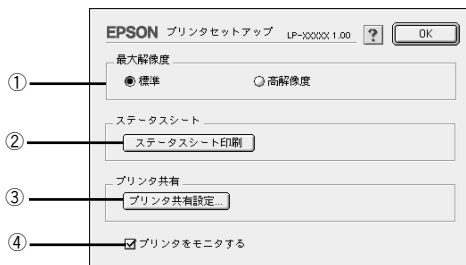
2. ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。

3. ［両面印刷設定］ダイアログの以下の項目を設定します。

4. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

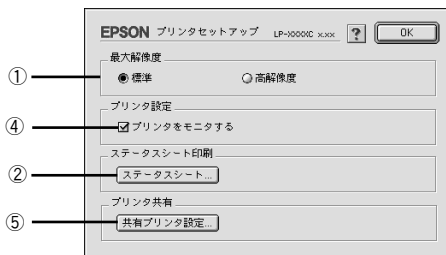
［プリンタセットアップ］ダイアログ

［プリンタセットアップ］ダイアログではプリンタの基本的な設定を行います。アップルメニューからセレクタを開いてプリンタを選択したら、［セットアップ］ボタンをクリックして、［プリンタセットアップ］ダイアログを開いて機能を設定してください。詳しくは、以下のページを参照してください。
☞ スタートアップガイド（紙マニュアル）50 ページ「プリンタドライバの選択」

印刷中は設定を変更できません。

本機はネットワーク上で共有することができます。共有を許可する Macintosh 側と共有プリンタを使用する側の Macintosh で、表示されるダイアログが以下のように異なります。

Macintosh でプリンタを共有するには、以下のページを参照してください。
☞本書 196 ページ「プリンタを共有するには」

共有を許可する側の Macintosh

本機にオプションのインターフェイスカードを装着してネットワークに接続している場合はそのまま本機を共有できるので、ここで［プリンタ共有］機能を設定することはありません（③の［プリンタ共有設定］ボタンはクリックできません）。

共有プリンタを使用する側の Macintosh

本機にオプションのインターフェイスカードを装着してネットワークに接続している場合はそのまま本機を共有できるので、上図の画面は表示されません。

① 最大解像度

プリンタが対応できる解像度をアプリケーションソフト側に伝えます。印刷を実行すると、アプリケーションソフトは伝えられた解像度の中から最適な解像度を選択し、データをプリンタドライバに渡します。

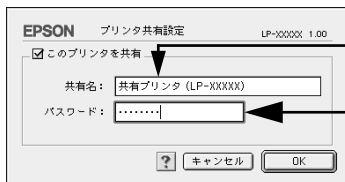
項目	説明
標準	本機の解像度を 72dpi/300dpi としてアプリケーションソフト側に伝えます。通常はこの設定で使用してください。
高解像度	本機の解像度を72dpi/300dpi/600dpiとしてアプリケーションソフト側に伝えます。

- 本項目は、印刷時の解像度を設定するものではありません。印刷解像度は印刷設定ダイアログの［モード設定］で設定します。
- 本項目は、使用しているアプリケーションソフトが対応している解像度に合わせて設定してください。
- ［プリント］ダイアログで［高品質］（600dpi）に設定して印刷するとエラーが発生することがあります。この場合、本項目を［標準］に設定すると印刷できるようになることがあります。

②［ステータスシート］ボタン

ステータスシートを印刷する場合にクリックします。プリンタの状態を表すダイアログが表示されますので、そのダイアログで［ステータスシート印刷］ボタンをクリックすると印刷されます。

③［プリンタ共有設定］ボタン

ネットワーク環境で本機を複数の Macintosh で共有するときにクリックします。プリンタ共有を許可する側の Macintosh で［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［プリンタ共有設定］ボタンをクリックして［プリンタ共有設定］ダイアログを表示させせます。ネットワーク上のほかの Macintosh のセレクタから選択できるように、共有するプリンタの［共有名］と、接続する際の［パスワード］を設定してください。

④プリンタをモニタする

共有プリンタを利用する側の［プリンタセットアップ］ダイアログで表示されます。EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を監視するかどうかを選択します。

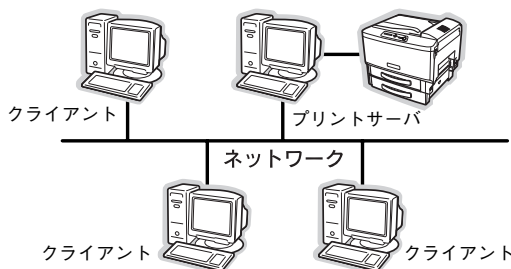
⑤［共有プリンタ設定］ボタン

ネットワーク環境の共有プリンタを使用するときにクリックできます。ネットワーク上でプリンタの共有を許可される側の Macintosh で［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［共有プリンタ設定］ボタンをクリックすると［共有プリンタの情報］ダイアログが表示されます。［共有プリンタの情報］ダイアログでは、共有プリンタに関する以下の情報を表示します。情報を確認したら、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

項目	説明
共有プリンタ名	共有プリンタの名前です。
コンピュータ名	プリンタが直接接続されている共有を許可する側のコンピュータ名です。
このプリンタで扱えないフォント	共有プリンタで使用できないフォントのリストを表示します。表示されたフォントは本機では使用できません。

リストに表示されているフォントで文書を作成した場合、別のフォントで印刷され、印刷結果は画面での表示と異なります。

プリンタを共有するには

プリンタを直接接続した Macintosh がネットワーク環境に接続されていれば、プリンタをほかの Macintosh から共有することができます。

プリンタに装着したオプションのインターフェイスカードを介してネットワーク環境に接続している場合は、ここでの手順に従って設定する必要はありません。ネットワーク上のどの Macintosh からでも直接セレクタからプリンタを選択して印刷することができます。

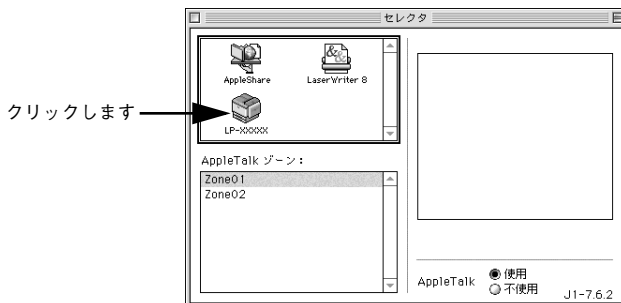
スタートアップガイド（紙マニュアル）50 ページ「プリンタドライバの選択」

プリンタを共有するには

ネットワーク上のほかのユーザーがプリンタを共有できるようにするには、プリンタを直接接続した Macintosh で以下の設定を行ってください。

1. **プリンタの電源をオン (I) にします。**

2. **Macintosh を起動した後、アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。**

3. プリンタドライバ［LP-9500C］を選択します。

ポイント

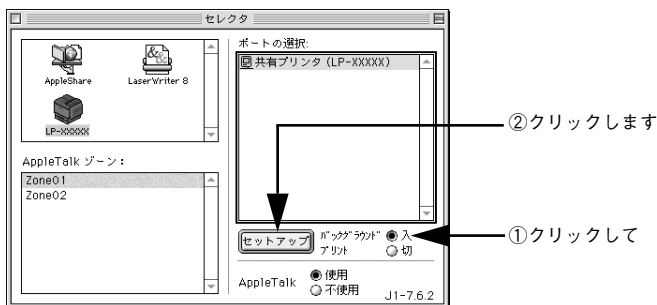
QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
スタートアップガイド（紙マニュアル）48 ページ「システム条件の確認」

4. USB ポートを選択します。

同機種のプリンタが複数接続されている場合は［USB ポート（1）］、［USB ポート（2）］などと表示します。使用するポート番号を選択します。

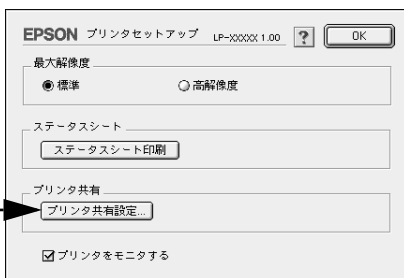
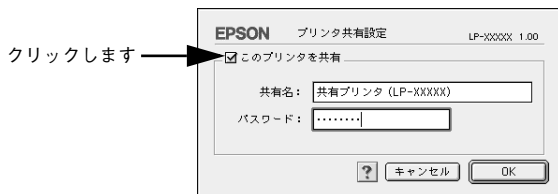
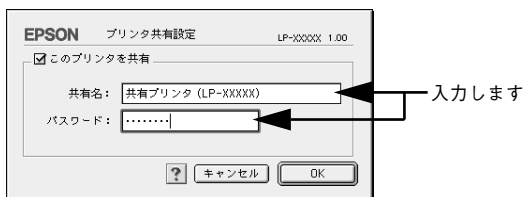
ポイント

USB 接続で［ポートの選択］に何も表示されない場合は、Macintosh とプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

5 ［バックグラウンドプリント］を［入］設定して、［セットアップ］ボタンをクリックします。

- ［バックグラウンドプリント］については、以下のページを参照してください。
  本書 211 ページ「バックグラウンドプリントを行う」
- ［セットアップ］ボタンをクリックして開く［プリンタセットアップ］ダイアログの詳細については、以下のページを参照してください。
  本書 193 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

ポイント

プリンタの共有を設定すると、［バックグラウンドプリント］は常に［入］に設定されます。プリンタの共有時は［切］に設定できません。

6 ［プリンタ共有設定］ボタンをクリックします。

7 ［このプリンタを共有］をクリックしてチェックマークを付けます。

8 ［共有名］と［パスワード］を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

- ここで入力したプリンタの［共有名］が、ネットワーク上のほかのユーザーのセレクタに表示されます。
- 共有プリンタを利用できるユーザーを制限するために、必ず［パスワード］を設定してください。
- 共有プリンタが作成されますので、以下のダイアログが表示されている間はしばらくお待ちください。

「共有プリンタ（LP-XXXXX）」を作成しています。しばらくお待ちください。

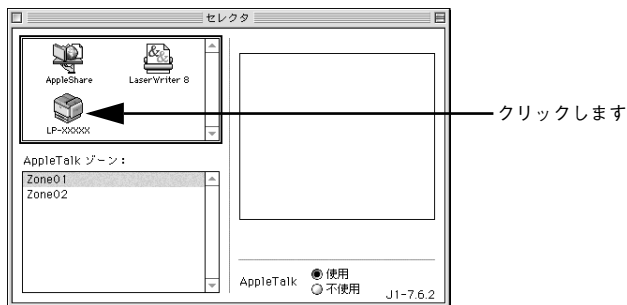
9 ［OK］ボタンをクリックして［プリンタセットアップ］ダイアログを閉じます。

10 ［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。

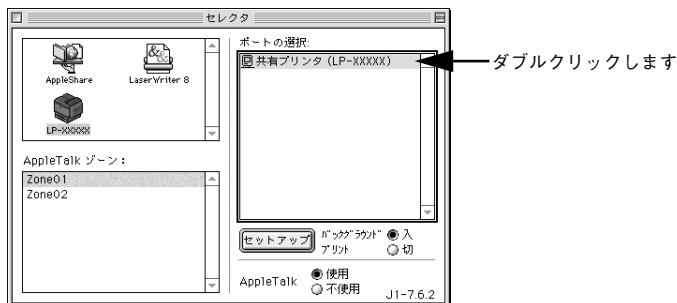
共有プリンタを使用するには

ネットワーク上の共有プリンタを使用するには、各ユーザーの Macintosh から以下の手順に従って共有プリンタに接続してください。

1. **ネットワーク上の共有プリンタの電源がオン（I）になっていることを確認します。**

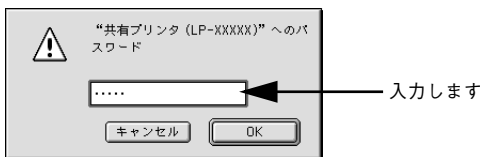
2. **Macintosh を起動した後、アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。**

3. **プリンタドライバ［LP-9500C］を選択します。**

QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
スタートアップガイド（紙マニュアル）48 ページ「システム条件の確認」

4 **共有プリンタをダブルクリックして選択します。**

- 共有プリンタのパスワードが変更されている場合は、5 へ進んでください。
- パスワードが変更されていない共有プリンタにすでに一度接続している場合や、共有プリンタにパスワードが設定されていない場合は、6 へ進んでください。

ポイント

- 共有プリンタの名前は、共有を許可している Macintosh のユーザーにお尋ねください。
- 共有プリンタの名前が表示されない場合や、共有プリンタの名前をダブルクリックしても何も表示されない場合は、Macintosh とプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。
- 共有プリンタのパスワードが変更されていない場合は、［セットアップ］ボタンを押すと［プリンタセットアップ］ダイアログが表示されます。6 へ進んでください。

5 **共有プリンタへ接続するためのパスワードを入力します。**

ポイント

共有プリンタのパスワードは、共有を許可している Macintosh のユーザーにお尋ねください。

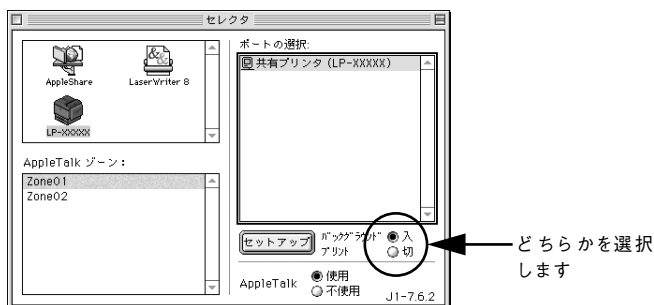
6 ［プリンタセットアップ］ダイアログで必要な設定を行ってから、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

設定の詳細については、以下のページを参照してください。

本書 193 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

7 ［バックグラウンドプリント］を設定します。

設定の詳細については、以下のページを参照してください。

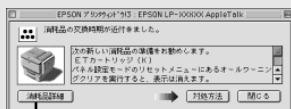
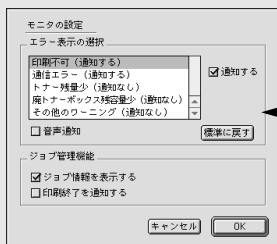
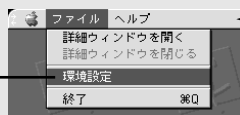
本書 211 ページ「バックグラウンドプリントを行う」

ポイント

［バックグラウンドプリント］を［入］にすると、印刷しながら Macintosh でほかの作業ができます。ただし、ご使用の Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなる場合があります。印刷速度を優先する場合は、［切］を選択してください。

8 ［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。

以上で共有プリンタに接続しました。このあとは、通常のプリンタのように［用紙設定］ダイアログや［プリント］ダイアログを設定して印刷してください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態を Macintosh 上でモニタできるユーティリティです。また、ネットワークプリンタをモニタしてプリントジョブ情報を表示したり、印刷終了のメッセージを表示することもできます。

［モニタの設定］ダイアログ

EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動して、［ファイル］メニューから［環境設定］をクリックすると、［モニタの設定］ダイアログが表示されます。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するかなどEPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定できます。

①エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニングを通知するかを選択します。通知が必要な項目は、リスト内のエラー状況を選択して、［通知する］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが表示されます。

②音声通知

エラー発生時に音声でも通知します。

お使いの Macintosh にサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻します。

④ジョブ情報を表示する

ジョブ管理ができる場合、［プリンタ詳細］ウィンドウにジョブ情報を表示します。

本書 208 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

⑤印刷終了を通知する

ジョブ管理ができる場合、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。

本書 209 ページ「［印刷終了通知］ダイアログ」

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確かめるために、次の方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。また、印刷中にエラーが発生した場合も［プリンタ詳細］ウィンドウを表示することが可能です。

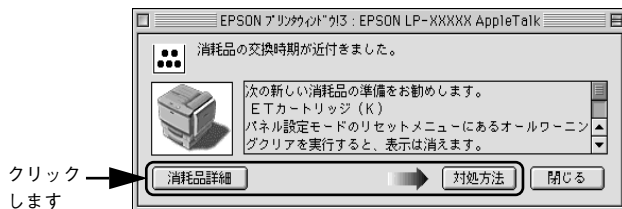
本書 206 ページ「[プリンタ詳細］ウィンドウ」

EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動する前に、監視したいプリンタが［セレクタ］で選択されているか確認してください。

［プリンタ詳細］ウィンドウの起動方法

［アップル］メニューから［EPSON プリンタウィンドウ !3］をクリックします。EPSON プリンタウィンドウ !3 が起動し、［プリンタ詳細］ウィンドウが表示されます。

アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウが Macintosh のモニタ上に表示されます。

- ［消耗品詳細］ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して［対処方法］ボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると対処方法を説明するダイアログが表示されます。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を表示し、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

本書 210 ページ「対処が必要な場合は」

③［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じます。

④用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズと用紙残量の目安を表示します。

⑤トナー

セットされている ET カートリッジのトナー残量の目安を表示します。

⑥感光体ユニット

各色の感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。

⑦廃トナーボックス

廃トナーボックスの空き容量が少なくなるとアイコンが点滅します。

⑧[対処方法] ボタン

プリンタに何らかの問題が起こり、このボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると、順を追って対処方法を説明します。

⑨消耗品詳細

ジョブ管理ができる場合に［プリンタ詳細］ウィンドウを表示します。

⑩ジョブ情報

ジョブ管理ができる場合に［ジョブ情報］ウィンドウを表示します。
☞ 本書 208 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

Ethernet 接続方法の場合に、［ジョブ情報］ が表示されます。
☞本書 204 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

ジョブ管理を行うための条件

ジョブ管理機能を使用するには、プリンタが以下の条件でネットワーク接続されている必要があります。

- Open Transport Ver. 1.1.1 以上

Ethernet ネットワークに接続して使用するには、オプションの Ethernet インターフェイスカードが必要です。

［ジョブ情報］ウィンドウ

Ethernet 接続されている場合に表示され、プリントジョブ情報を表示します。

①ジョブ情報

ネットワークプリンタから取得したプリントジョブ情報を表示するときにクリックします。

②消耗品詳細

［プリンタ詳細］ウィンドウを表示させるときにクリックします。詳細は、以下のページを参照してください。

本書 206 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

③ジョブリスト

ジョブの状態（待機中、印刷中、印刷済、削除済）、文書名、ユーザー名、コンピュータ名を、ジョブごとに表示します。リスト一番左の赤い矢印は、印刷中のジョブのうち実際に印刷を行っているジョブを表しています。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、以下の情報は表示しません。

- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

ポイント

プリンタを直接（ローカル）接続した Macintosh から印刷されたジョブは表示されません。

④［情報の更新］ボタン

ボタンをクリックすると、最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

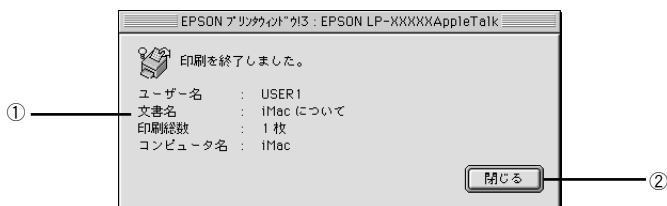
⑤［印刷中止］ボタン

印刷を中止するには、ジョブリストに表示されている印刷中または待機中のジョブをクリックして選択し、［印刷中止］ボタンをクリックします。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。

ポイント

印刷中止を実行した後でエラーが発生した場合は、EPSON プリンタウィンドウ!3 のメッセージに従ってエラーを解除してください。
本書 210 ページ「対処が必要な場合は」

［印刷終了通知］ダイアログ

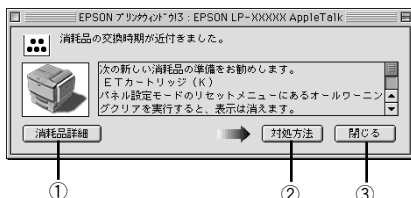
印刷の終了が通知できるように設定されている場合は、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法については、以下のページを参照してください。
本書 204 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

①印刷終了通知

印刷が終了したジョブのユーザー名、文書名、印刷総数、コンピュータ名を表示します。

②［閉じる］ボタン

印刷の終了を確認したら、クリックしてダイアログを閉じます。

対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウが Macintosh の画面上に表示されます。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解消されると、自動的に閉じます。

①［消耗品詳細］ボタン

［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

本書 206 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

②［対処方法］ボタン

順を追って対処方法を詳しく説明します。

ポイント

複数の対処が必要な場合、［対処方法］ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。必要に応じて項目を選択してください。

③［閉じる］ボタン

ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

バックグラウンドプリントを行う

バックグラウンドプリントとは、Macintosh がほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。

バックグラウンドプリントを行う場合は、Macintosh ツールバーの一番左の［アップル］メニューから［セレクタ］を選び、［バックグラウンドプリント］の［入］をクリックしてください。

［バックグラウンドプリント］を［入］に設定すると、印刷実行中も Macintosh で他の作業ができますが、Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなることがあります。印刷速度を優先する場合は、［バックグラウンドプリント］を［切］に設定してください。

印刷状況を表示する

［セレクタ］で［バックグラウンドプリント］を［入］にした場合、印刷実行時に EPSON プリントモニタ!3 が起動します。EPSON プリントモニタ !3 は、印刷中にツールバーの一番右の［アプリケーション］メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。

①プリント中

現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

②プリント待ち

印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③［プリント中止］ボタン

進行中の印刷（［プリント中］に表示されている印刷ファイルの印刷）を中止します。

印刷を一時停止したり再開するには、EPSON プリントモニタ !3 の［ファイル］メニューから［一時停止］や［印刷再開］を選択します。

④［削除］ボタン

印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、［プリント待ち］に表示されている印刷ファイルをクリックして、［削除］ボタンをクリックします。

ColorSync について

ColorSync とは

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。

このような場合の原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるためのカラーマネージメントシステムとしてMacintosh では ColorSync があります。本機は、この ColorSync 2.0/2.5 に対応しています。

- この ColorSync によるカラーマッチングを行うには、画像入力機器、画像取り込みアプリケーションソフト、画像出力機器、すべてが ColorSync に対応している必要があります。
- カラーマッチングについて説明していますので、詳しくは以下のページを参照してください。
本書 411 ページ「より高度な色合わせについて」

ColorSync を使用して印刷するには

本機で ColorSync を使用する場合は、次の基本手順に従ってください。

1 正確な色を再現できるように、ディスプレイのカラー調整（モニタキャリブレーション）を行います。

ディスプレイの調整が正しく行えない場合や、ディスプレイの劣化により正しく色を再現できない場合は、ディスプレイとプリンタの色を正確に合わせることができません。調整方法は、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

本書 411 ページ「より高度な色合わせについて」

2 お使いのディスプレイの特性を Macintosh で設定します。

使用しているディスプレイで再現できる色の特性を定義した ColorSync プロファイルを、[コントロールパネル] の [ColorSync] から選択してください。ColorSync のバージョンによって、設定方法は異なります。

ColorSync2.0 の場合	ColorSync2.5 の場合
① コントロールパネルから [ColorSync システム特性] を選択します。 ② お使いのディスプレイが選択されているか確認します。選択されていない場合は、[特性の設定] ボタンをクリックします。 ③ お使いのディスプレイをリストの中から選択し、[選ぶ] ボタンをクリックします。 お使いのディスプレイがリストにない場合は、最適なシステム特性についてディスプレイのメーカーにお問い合わせください。	① コントロールパネルから [ColorSync] を選択します。 ② お使いのディスプレイが [システム特性] の項目で選択されているか確認します。選択されていない場合は、お使いのディスプレイをポップアップメニューから選択します。お使いのディスプレイがポップアップメニューにない場合は、最適なシステム特性についてディスプレイのメーカーにお問い合わせください（そのほかの項目は、設定する必要はありません）。

3 印刷実行時に、ColorSync を設定します。

[プリント] ダイアログの [モード] を [詳細設定] に設定して、メニューから [ColorSync] を選択します。

本書 172 ページ「[詳細設定] ダイアログ」

ポイント

- ColorSync を使って印刷する画像をスキャナで取り込むときは、スキャナのドライバ（例 EPSON TWAIN）で ColorSync を選択してから画像を取り込んでください。
- ColorSync を使用する場合は、アプリケーションソフトを RGB モードに設定して作業してください。CMYK や Lab モードでは、正しく色合わせすることができません。
- 一部のアプリケーションソフト（Adobe PageMaker 6.5J 以降、Photoshop 4.0J 以降、Illustrator 7.0J 以降など）では、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます。この場合は、プリンタドライバの [詳細設定] ダイアログで [ドライバによる色補正] を選択して、[色補正方法] を [色補正なし] に設定してください。

印刷の中止方法

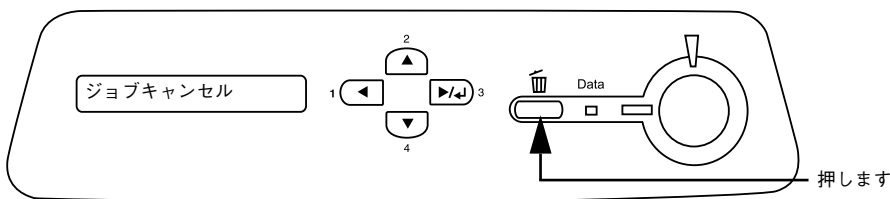
印刷処理を中止するときは、以下の方法で印刷データを削除します。

Macintosh からの中止方法

- **コマンド（⌘）キーを押したままピリオド（.）キーを押して、印刷を中止します。**
  アプリケーションソフトによっては、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷を中止するボタン（[キャンセル] など）をクリックして印刷を強制的に終了します。
- **バックグラウンドプリントを行っている場合は、EPSON プリンタモニタ !3 から印刷を中止します。**

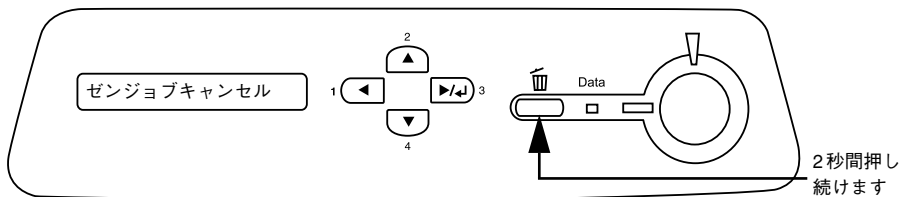
① EPSON プリントモニタ !3 を開いて、印刷状況を確かめます。
☞ 本書 212 ページ「印刷状況を表示する」

② EPSON プリントモニタ !3 で印刷を中止したり、待機中の印刷ファイルを削除します。
☞ 本書 212 ページ「印刷状況を表示する」

プリンタの操作パネルからの中止方法

●印刷中のデータを削除するには

[ジョブキャンセル] スイッチを押します。
印刷中のデータ（ジョブ単位）が削除されます。

●プリンタが受信したすべての印刷データを削除するには

[ジョブキャンセル] スイッチを約 2 秒間押し続けます。
プリンタが受信したすべての印刷データが消去されます。

プリンタソフトウェアの削除

何らかの理由でプリンタドライバを再インストールする場合や、プリンタドライバをバージョンアップする場合は、すでにインストールしているプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

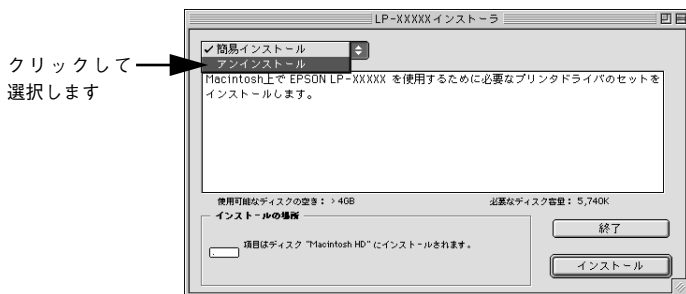
1. **起動しているアプリケーションソフトを終了し、Macintosh を再起動します。**

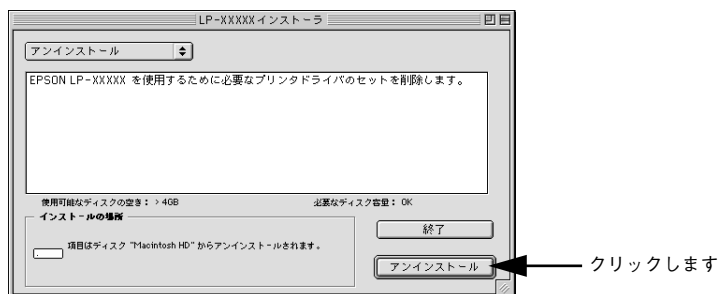
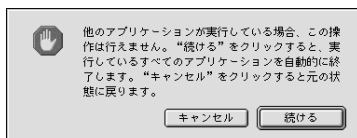
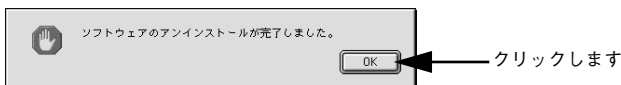
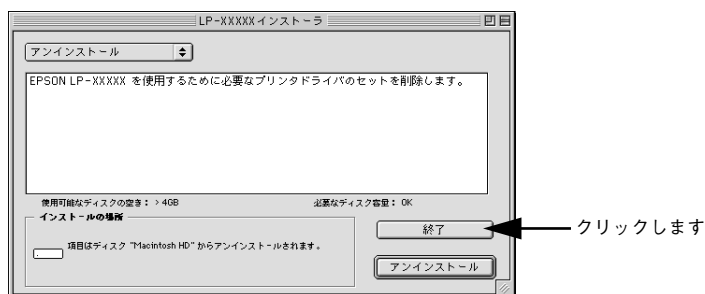
2. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh にセットします。**

3. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM 内の[プリンタドライバ ディスク]-[Disk1]の順に開き、［LP-9500C インストーラ］をダブルクリックします。**

   ［プリンタドライバ ディスク］フォルダが表示されていない場合は、［インストーラ］アイコンが表示されているフォルダ内を下にスクロールしてください。

4. **使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。**

5. **インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。**

6 ［アンインストール］ボタンをクリックします。

プリンタソフトウェアの削除が始まります。

以下の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］ボタンをクリックします。アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、［キャンセル］ボタンをクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタソフトウェアをアンインストールしてください。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

8 ［終了］ボタンをクリックします。

以上でプリンタソフトウェアの削除は終了です。

操作パネルからの設定

操作パネルから設定する場合の説明と、メッセージの内容やスイッチ操作によって実行できる機能について説明しています。

- 操作パネルによる設定 219
- 発生しているワーニングを確認するには 248
- IP アドレスを操作パネルから設定するには 249
- 印刷待機時の消費電力を効率よく節約するには 251
- プリンタの状態や設定値を印刷するには 252
- 16 進ダンプ印刷するには 253
- リセットの仕方.. 254
- 液晶ディスプレイの表示メッセージについて 255

操作パネルによる設定

ここでは、操作パネルでの設定変更の方法と設定モードの詳細について説明します。
通常の印刷に必要な設定はプリンタドライバで設定できますので、基本的に操作パネルで設定する必要はありません。また、操作パネルとプリンタドライバの双方で設定できる項目は、基本的にプリンタドライバの設定が優先されます。ただし、一部の設定項目については、どちらの設定を優先するかをプリンタドライバ上で選択することができます。

Windows：本書 86 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 178 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

操作パネルの設定において、一部の項目および設定値はそれに関するオプションが装着されているときのみ表示されます。

設定項目の内容をご覧いただき、必要な場合のみ操作パネルで設定してください。ただし、以下の項目については通常の印刷であっても設定する必要があります。

- MP カセットから給紙する場合
  →セットした用紙のサイズを設定してください。
  本書 18 ページ「MP カセットへの用紙のセット」

- 用紙タイプの選択機能を使用する場合
  →各給紙装置に用紙タイプを設定してください。
  本書 43 ページ「用紙タイプ選択機能」

操作パネルで設定を変更する際の注意事項

操作パネルで設定を変更する場合は、次の点に注意してください。

- 下記のメニューはプリンタの持つ特性を実行するためのものです。設定値は変更できません。

設定メニュー	設定項目
プリンタジョウホウメニュー	ステータスシート I/F カードジョウホウ *1 PS3 ステータスシート *2 PS3 フォントリスト *2 ROM モジュール A ジョウホウ *3 ROM モジュール B ジョウホウ *3
リセットメニュー	ワーニングクリア オールワーニングクリア リセット リセットオール セッテイショキカ
I/F カードセッテイメニュー	I/F カードショキカ *1

*1　オプションのインターフェイスカード装着時に表示されます。
*2　オプションの PS3 モジュール（LP95CPSROM）装着時に表示されます。
*3　オプションの ROM モジュール（LPFOLR4M2）が装着され、ROM モジュール内に情報がある場合のみ表示されます。

- 下記のメニューはプリンタの状態を表示するためのものです。設定値は変更できません。

設定メニュー	設定項目
プリンタジョウホウメニュー	C トナーザンリョウ M トナーザンリョウ Y トナーザンリョウ K トナーザンリョウ C カンコウタイライフ M カンコウタイライフ Y カンコウタイライフ K カンコウタイライフ ノベインサツマイスウ カラーインサツマイスウ B/W インサツマイスウ

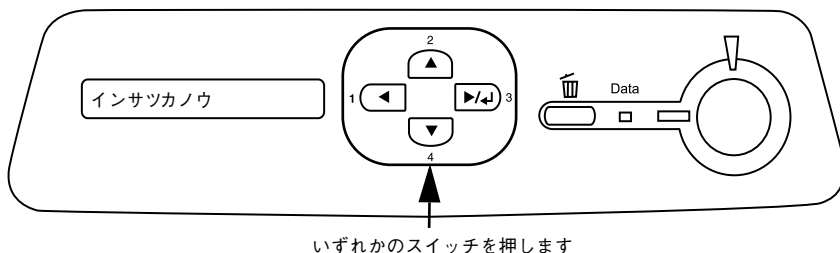
操作手順の概要

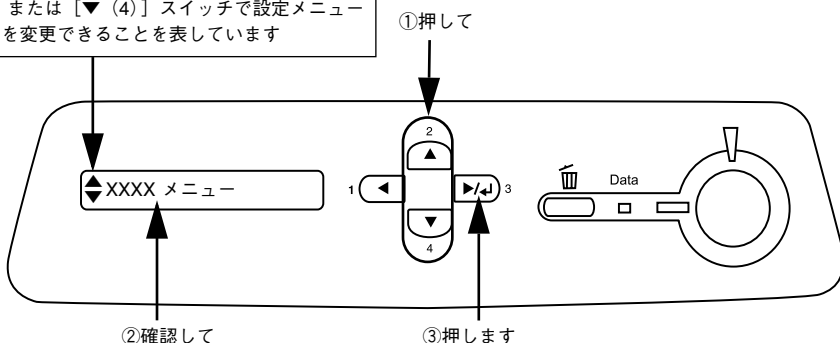
操作パネルでプリンタの設定を変更する場合は、液晶ディスプレイに［インサツカノウ］または［セツデン］と表示されている状態から、次の手順で操作します。

1 以下のページを参照して、変更または実行したい設定メニュー、設定項目、設定値を確認します。

本書 224 ページ「設定項目の説明」

2 液晶ディスプレイ右のいずれかのスイッチを押して、設定モードに入ります。

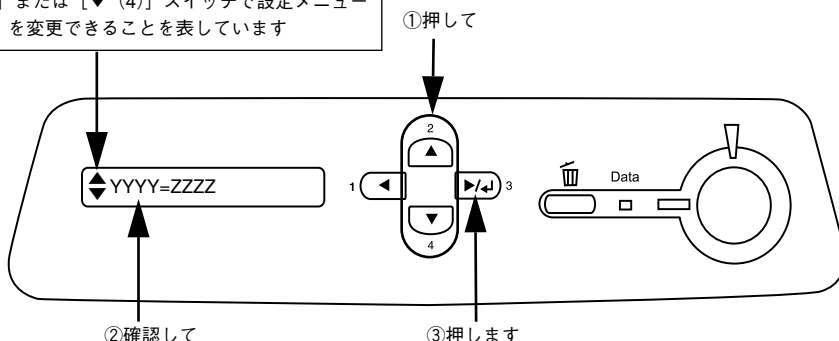
設定モードに入ると、液晶ディスプレイに［プリンタジョウホウメニュー］と表示されます。

3 設定メニューを選択します。

①［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して設定メニューの表示を切り替えます。
② 1 で確認した設定メニューが表示されていることを確認します。
③［▶/↵(3)］スイッチを押します。

次の手順（設定項目の階層）へ進みます。

❹ 設定項目を選択します。

① [▲(2)]または[▼(4)]スイッチを押して設定項目(YYYY)の表示を切り替えます。

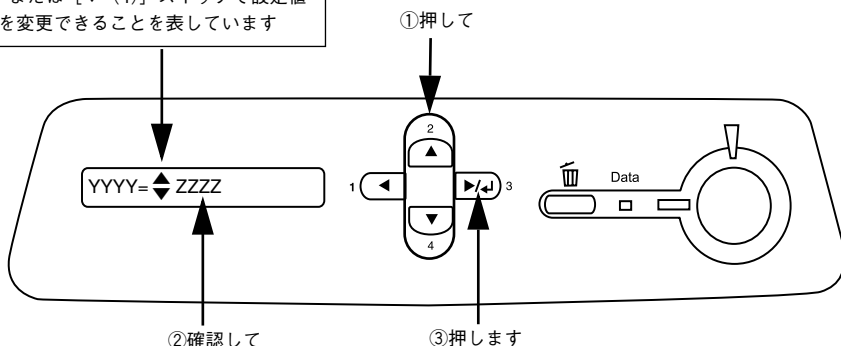
② ❶ で確認した設定項目が表示されていることを確認します。

③ 設定値を変更する設定項目の場合は、[▶/↵(3)] スイッチを押します。なお、設定値を表示するだけの設定項目や設定値のない設定項目もあります。

- 液晶ディスプレイに設定項目(YYYY)と設定値(ZZZZ)が表示されている場合は、次の ❺(設定値の階層)へ進んでください。

- 液晶ディスプレイに設定値を表示するだけの設定項目を選択した場合は、❻ へ進んでください。

- 液晶ディスプレイに設定項目(YYYY)だけが表示されている場合は、設定項目(YYYY)の機能が実行されます。ここで操作は終了です。機能実行後に、自動的に設定モードを抜けて通常の操作モードへ戻ります。

5 設定値を選択します。

①［▲（2）］または［▼（4）］スイッチを押して設定値（ZZZZ）の表示を切り替えます。
②❶で確認した設定値が表示されていることを確認します。
③［▶/↵（3）］スイッチを押します。

設定値が有効になり、設定項目の階層へ戻ります。

- ［▶/↵（3）］スイッチを押さないと、設定値が有効になりません。必ず押してください。
- 一部の設定は、プリンタの電源を一旦オフにして、再度オンにしてから有効になります。詳細は、以下のページを参照してください。

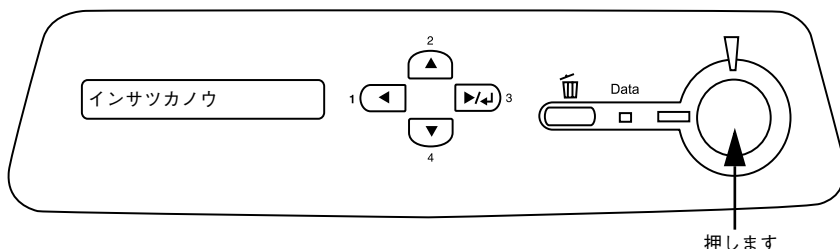
本書 224 ページ「設定項目の説明」

6 さらに設定を変更する場合は、❸から❹までの手順を繰り返します。

- ほかの設定メニューへ移動する場合は、［◀（1）］スイッチを 1 回押します。
- 設定を終了する場合は、❼へ進みます。

7［印刷可］スイッチを押して、設定モードを終了します。

設定モードが終了し、［インサツカノウ］または［セツデン］状態に戻ります。

- ［印刷可］スイッチを押すと、設定の途中でも［インサツカノウ］または［セツデン］と表示されている状態へ戻ることができます。
- ［◀（1）］スイッチを押すと、ひとつ前の階層へ戻ります。

設定項目の説明

本機は、用途に合わせてさまざまな設定ができます。ここでは、設定モードで変更できる設定メニューや設定項目、および設定値について説明します。

ポイント

- 次の一覧表で設定値の欄に「－」と記載している設定項目には、変更する設定値がありません。[▶/↵(3)] スイッチを押すと、各項目の設定を表示または印刷したり、機能を実行します。
- プリンタに取り付けていないオプション用の設定は表示されません。

□ で表示された項目は、プリンタドライバで設定および処理可能な項目です。この項目の設定は、プリンタドライバの設定が優先されます。
ただし、プリンタドライバの［拡張設定］ダイアログで［プリンタの設定を使用する］を選択した場合、以下の項目については操作パネルの設定が優先されます。
［ウエオフセット］、［ヒダリオフセット］、［ウエオフセット B］、［ヒダリオフセットB］、［ハクシセツヤク］、［ヨウシサイズフリー］

Windows：本書 86 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 178 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

設定メニュー	設定項目	設定値
プリンタジョウホウメニュー	ステータスシート	－
	I/F カードジョウホウ *1	－
	PS3ステータスシート *2	－
	PS3フォントリスト *2	－
	ROM モジュール A ジョウホウ *3	－
	ROM モジュール B ジョウホウ *3	－
	C トナーザンリョウ	－
	M トナーザンリョウ	－
	Y トナーザンリョウ	－
	K トナーザンリョウ	－
	C カンコウタイライフ	－
	M カンコウタイライフ	－
	Y カンコウタイライフ	－
	K カンコウタイライフ	－
	ノベインサツマイスウ	－
	カラーインサツマイスウ	－
	B/W インサツマイスウ	－

設定メニュー	設定項目	設定値
キュウシソウチメニュー	MP カセットヨウシサイズ	ジドウ（初期設定）、A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ（官製ハガキ）、W ハガキ（官製往復ハガキ）、Q ハガキ（官製四面連刷ハガキ）、LT（Letter）、HLT（Half-Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、GLG（Government Legal）、B（Ledger）、Executive（EXE）、F4、ヨウ 0、ヨウ 4、ヨウ 6、チョウ 3、カク 2、A3F
	カセット1ヨウシサイズ*4	A4、A3、B4、B5、LT（Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、B（Ledger）、F4
	カセット2ヨウシサイズ*4	A4、A3、B4、B5、LT（Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、B（Ledger）、F4
	カセット3ヨウシサイズ*4	A4、A3、B4、B5、LT（Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、B（Ledger）、F4
	MP カセットタイプ	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、サイセイシ、イロツキ、OHP シート、ラベル
	カセット 1 タイプ *5	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、サイセイシ、イロツキ
	カセット 2 タイプ *5	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、サイセイシ、イロツキ
	カセット 3 タイプ *5	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、サイセイシ、イロツキ
プリンタモードメニュー	パラレル	ジドウ（初期設定）、ESC/PS、ESC/P、ESC/Page、PS3*2
	USB	ジドウ（初期設定）、ESC/PS、ESC/P、ESC/Page、PS3*2
	I/F カード *1	ジドウ（初期設定）、ESC/PS、ESC/P、ESC/Page、PS3*2
インサツメニュー	ページサイズ	ジドウ（初期設定）、A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ（官製ハガキ）、W ハガキ（官製往復ハガキ）、Q ハガキ（官製四面連刷ハガキ）、LT（Letter）、HLT（Half-Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、GLG（Government Legal）、B（Ledger）、Executive（EXE）、F4、ヨウ 0、ヨウ 4、ヨウ 6、チョウ 3、カク 2、A3F
	ヨウシホウコウ	タテ（初期設定）、ヨコ
	カイゾウド	ハヤイ（初期設定）、キレイ
	RIT	ON（初期設定）、OFF
	トナーセーブ	シナイ（初期設定）、スル
	シュクショウ	OFF（初期設定）、80%
	イメージホセイ	1（初期設定）、2
	ウエオフセット	-30.0 ～ 30.0mm（初期設定 0mm）
	ヒダリオフセット	-30.0 ～ 30.0mm（初期設定 0mm）
	ウエオフセット B *6	-30.0 ～ 30.0mm（初期設定 0mm）
	ヒダリオフセット B *6	-30.0 ～ 30.0mm（初期設定 0mm）

設定メニュー	設定項目	設定値
プリンタセッテイメニュー	ヒョウジゲンゴ	ニホンゴ（初期設定）、English
	セツデンジカン	30 プン（初期設定）、60 プン、120 プン、180 プン
	I/F タイムアウト	20 ～600 ビョウ（初期設定 60 ビョウ）
	キュウシグチ	ジドウ（初期設定）、MP カセット、カセット 1[*5]、カセット 2[*5]、カセット 3[*5]
	MP カセットユウセン	スル（初期設定）、シナイ
	コピーマイスウ	1 ～ 999（初期設定 1）
	リョウメンインサツ[*6]	OFF（初期設定）、ON
	トジホウコウ[*6]	ロングエッジ（初期設定）、ショートエッジ
	カミシュ	フツウ（初期設定）、アツガミ、アツガミショウ、OHP シート
	シメン	オモテ（初期設定）、ウラ
	ハクシセツヤク	スル（初期設定）、シナイ
	ジドウハイシ	スル（初期設定）、シナイ
	ヨウシサイズフリー	OFF（初期設定）、ON
	ジドウエラーカイジョ	シナイ（初期設定）、スル
	ページエラーカイヒ	OFF（初期設定）、ON
	LCD コントラスト	0 ～ 15（初期設定 7）
リセットメニュー	ワーニングクリア	ー
	オールワーニングクリア	ー
	リセット	ー
	リセットオール	ー
	セッテイショキカ	ー
パラレル I/F セッテイメニュー	パラレル I/F[*7]	ツカウ（初期設定）、ツカワナイ
	ACK ハバ[*7]	ミジカイ（初期設定）、ヒョウジュン
	ソウホウコウ[*7]	ECP（初期設定）、OFF、ニブル
	ジュシンバッファ[*7]	ヒョウジュン（初期設定）、サイダイ、サイショウ
USB I/F セッテイメニュー	USB I/F[*7]	ツカウ（初期設定）、ツカワナイ
	USB SPEED[*7]	HS（初期設定）、FS
	ジュシンバッファ[*7]	ヒョウジュン（初期設定）、サイダイ、サイショウ

設定メニュー	設定項目	設定値
I/F カードセッテイメニュー *1	I/F カード *7	ツカウ（初期設定）、ツカワナイ
	I/F カードセッテイ *8	シナイ（初期設定）、スル
	IP アドレスセッテイ *8*9	パネル（初期設定）、ジドウ、PING
	IP*8*9	0.0.0.0 ～255.255.255.255 （初期設定：192.168.192.168）
	SM*8*9	0.0.0.0 ～255.255.255.255 （初期設定：255.255.255.0）
	GW*8*9	0.0.0.0 ～255.255.255.255 （初期設定：255.255.255.255）
	NetWare*8*9	ON（初期設定）、OFF
	AppleTalk*8*9	ON（初期設定）、OFF
	NetBEUI*8*9	ON（初期設定）、OFF
	I/F カードショキカ *8*9	―
	ジュシンバッファ *7	ヒョウジュン（初期設定）、サイダイ、サイショウ
ESC/PS カンキョウメニュー	レンゾクシ	OFF（初期設定）、F15 → B4 ヨコ、F15 → A4 ヨコ、F10 → A4 タテ
	モジコード	カタカナ（初期設定）、グラフィック
	キュウシイチ	8.5mm（初期設定）、22mm
	カッコクモジ	ニホン（初期設定）、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン
	ゼロ	0（初期設定）、Ø
	ヨウシイチ	ヒダリ（初期設定）、チュウオウ、チュウオウ-5、チュウオウ +5
	ミギマージン	ヨウシハバ（初期設定）、136 ケタ
	カンジショタイ	ミンチョウ（初期設定）、ゴシック
ESC/Pageカンキョウメニュー	フッキカイギョウ	スル（初期設定）、シナイ
	カイページ	スル（初期設定）、シナイ
	CR	CR ノミ（初期設定）、CR+LF
	LF	CR+LF（初期設定）、LF ノミ
	FF	CR+FF（初期設定）、FF ノミ
	エラーコード	OFF（初期設定）、ON
	フォントタイプ	1（初期設定）、2、3
	フォームオーバーレイ *10	OFF（初期設定）、ON
	フォームバンゴウ *10	1 ～ 512（初期設定 1）
PS3 カンキョウメニュー *2	PS3エラーシート	OFF（初期設定）、ON
	COLORATON	COLOR（初期設定）、MONO、TrueCol.
	IMAGE PROTECT	OFF（初期設定）、ON

*1 オプションのインターフェイスカード装着時のみ表示されます。
*2 PS3 モジュール（LP95CPSROM）装着時のみ表示されます。
*3 オプションの ROM モジュールが装着され、ROM モジュール内に情報がある場合のみ表示されます。
*4 プリンタが自動検知した用紙サイズを設定値として表示します。なお、[カセット 1 〜 3 ヨウシサイズ] は、増設カセットユニット（LPA3CZ1CU1）装着時のみ表示されます。
*5 増設カセットユニット装着時のみ表示されます。
*6 両面印刷ユニット（LPA3CRU1）装着時のみ表示されます。
*7 設定を変更した場合は、プリンタの電源を一旦オフにして、再度オンにする必要があります（電源再投入後、設定が有効になります）。
*8 設定が可能なインターフェイスカードの装着時のみ表示されます。
*9 [I/F カードセッテイ] を [スル] に設定すると、設定が表示されて変更できるようになります。
*10フォームオーバーレイ ROM モジュール（LPFOLR4M2）装着時、フォームデータが登録されている場合のみ表示されます。

プリンタジョウホウメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ステータスシート	現在のプリンタ設定の一覧（ステータスシート）を印刷します。
設定値	ー	設定値はありません。［▶/↵（3）］スイッチを押して印刷します。
設定項目	PS3 ステータスシート	PostScript3 プリンタとして使用する場合の、PS3 モードの情報（ステータスシート）を印刷します。
設定値	ー	設定値はありません。［▶/↵（3）］スイッチを押して印刷します。
設定項目	PS3 フォントリスト	PostScript3 プリンタとして利用できるフォントリストを印刷します。
設定値	ー	設定値はありません。［▶/↵（3）］スイッチを押して印刷します。
設定項目	I/F カードジョウホウ	オプションのインターフェイスカード装着時のみ表示されます。オプションインターフェイスカードに関する情報を印刷します。
設定値	ー	設定値はありません。［▶/↵（3）］スイッチを押して印刷します。
設定項目	ROM モジュール A/B ジョウホウ	ROM モジュールソケット A/B に装着されているオプションの ROM モジュールに、ROM モジュール情報が存在するときだけ表示します。
設定値	ー	設定値はありません。［▶/↵（3）］スイッチを押して印刷します。
設定項目	X トナーザンリョウ	ET カートリッジ内のトナーの残量を表示します。 X には C（= シアン）、M（= マゼンタ）、Y（= イエロー）、K（= ブラック）のいずれかが入ります。 〈表示〉 E＊＊＊＊F：100%≧ トナー残量＞ 75% E＊＊＊ F： 75%≧ トナー残量＞ 50% E＊＊ F： 50%≧ トナー残量＞ 25% E＊ F： 25%≧ トナー残量＞ 0%
設定値	ー	表示のみで変更はできません。 ［印刷可 ］スイッチを押して終了します。
設定項目	X カンコウタイライフ	感光体ユニットの寿命を表示します。 X には C（= シアン）、M（= マゼンタ）、Y（= イエロー）、K（= ブラック）のいずれかが入ります。 〈表示〉 E＊＊＊＊F：100%≧ 寿命＞75% E＊＊＊ F： 75%≧ 寿命＞50% E＊＊ F： 50%≧ 寿命＞25% E＊ F： 25%≧ 寿命＞ 0%
設定値	ー	表示のみで変更はできません。 ［印刷可］スイッチを押して終了します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ノベインサツマイスウ	プリンタを購入してから現在までに印刷した累計枚数を表示します。
設定値	ー	表示のみで変更はできません。 ［印刷可］スイッチを押して終了します。

設定項目	カラーインサツマイスウ	プリンタが現在までにカラー印刷した枚数を表示します。
設定値	ー	表示のみで変更はできません。 ［印刷可］スイッチを押して終了します。

設定項目	B/W インサツマイスウ	プリンタが現在までにモノクロ印刷した枚数を表示します。
設定値	ー	表示のみで変更はできません。 ［印刷可］スイッチを押して終了します。

キュウシソウチメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	MP カセットヨウシサイズ	MP カセットにセットした用紙サイズを設定します。
設定値	ジドウ*（初期設定）、A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ（官製ハガキ）、W ハガキ（官製往復ハガキ）、Q ハガキ（官製四面連刷ハガキ）、LT（Letter）、HLT（HalfLetter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、GLG（Government Legal）、B（Ledger）、Executive（EXE）、F4、ヨウ0、ヨウ4、ヨウ6、チョウ3、カク2、A3F	

* 印刷時に設定したサイズの用紙がセットしてある給紙装置を自動的に探し、その給紙装置から給紙します。

設定項目	カセット 1 ヨウシサイズ カセット 2 ヨウシサイズ カセット 3 ヨウシサイズ	増設カセットユニット装着時のみ表示され、用紙カセット（上から 1 ～ 3 段目）にセットした用紙サイズを表示します。
設定値*	A4、A3、B4、B5、LT（Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、B（Ledger）、F4	

* 用紙カセットにセットされている用紙サイズを自動検知して表示します。表示のみで変更できません。

設定項目	MP カセットタイプ	MP カセットにセットした用紙タイプを設定します。プリンタドライバで指定することにより、同サイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
設定値	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、サイセイシ、イロツキ、OHP シート、ラベル	

設定項目	カセット 1 タイプ カセット 2 タイプ カセット 3 タイプ	増設カセットユニット装着時のみ表示され、用紙カセット（上から 1 ～ 3 段目）にセットした用紙タイプを設定します。給紙装置ごとに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合、給紙装置ごとに用紙のタイプを設定してください。プリンタドライバで指定することにより、同サイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
設定値	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、サイセイシ、イロツキ	

プリンタモードメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	パラレル	プリンタが動作するモードをインターフェイスごとに設定します。ただし、[I/F カード] はオプションのインターフェイスカード装着時のみ表示されます。
	USB	
	I/F カード	
設定値	ジドウ（初期設定）	受信したデータに合わせて、自動的にプリンタモードを設定します。通常はこの設定で使用してください。
	ESC/PS	ESC/P スーパーモードになります。 DOS アプリケーションソフトを使用する場合は、コンピュータから送られてきたコマンド（コントロールコード）が ESC/P であるか、PC-PR201H であるかを自動判別します。ほとんどの DOS アプリケーションソフトでは、ESC/Page モードへの移行がサポートされていますので、この設定で使用できます。
	ESC/P	ESC/P（LP-1000）エミュレーションモードになります。 海外版 DOS アプリケーションソフトを使用する場合や、国内版 DOS アプリケーションソフトで、画面とは違う文字が印刷される場合などに設定します。
	ESC/Page	ESC/Page モードになります。 通常は設定する必要がありません。
	PS3	PostScript3 モードになります。 PostScript3 プリンタとしてのみ使用する場合に設定します。

インサツメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ページサイズ	アプリケーションソフトで作成した書類（これから印刷する書類）の用紙のサイズを設定します。
設定値	ジドウ（初期設定）、A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ（官製ハガキ）、W ハガキ（官製往復ハガキ）、Q ハガキ（官製四面連刷ハガキ）、LT（Letter）、HLT（Half-Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、GLG（Government Legal）、B（Ledger）、Executive（EXE）、F4、ヨウ 0、ヨウ 4、ヨウ 6、チョウ 3、カク 2、A3F	

設定項目	ヨウシホウコウ	用紙方向を選択します。
設定値	タテ（初期設定）	用紙の長辺を縦方向として印刷し、印刷結果が縦長（ポートレート）になります。
	ヨコ	用紙の長辺を横方向として印刷し、印刷結果が横長（ランドスケープ）になります。

設定項目	カイゾウド	印刷の解像度の選択をします。
設定値	ハヤイ（初期設定）	300dpi で印刷します。
	キレイ	600dpi で印刷します。

［カイゾウド］を［キレイ］（600dpi）にした場合、印刷するデータの容量が大きいと、メモリ不足で印刷ができない場合があります。このような場合は、［ハヤイ］（300dpi）で印刷してください。［キレイ］（600dpi）で印刷するには、プリンタのメモリを増設する必要があります。

設定項目	RIT	斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする輪郭補正機能（Resolution Improvement Technology）を設定します。
設定値	ON（初期設定）	輪郭を補正します。
	OFF	輪郭を補正しません。

設定項目	トナーセーブ	カラー印刷時は、色の表現力を低く抑えて印刷し、トナーの消費を約 30% 節約します。モノクロ印刷時は、輪郭部分のみを濃く印刷しトナーの消費を約 50% 節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。
設定値	シナイ（初期設定）	トナーセーブ機能を使用しません。
	スル	トナーセーブ機能を使用します。

設定項目	シュクショウ	印刷データを約 80% に縮小して印刷します。
設定値	OFF（初期設定）	100% 原寸のまま印刷します。
	80%	80% 縮小して印刷します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	イメージホセイ	イメージデータの補正方式を選択します。
設定値	1（初期設定）	標準の補正方式です。通常はこの設定で使用してください。
	2	● ESC/P または ESC/PS モードのとき： 罫線が正しく印刷されないときに設定します。 ● ESC/Page モードのとき： 本機に対応していないドプリンタライバを使用していて、複雑な図の印刷に問題があるときに設定します。

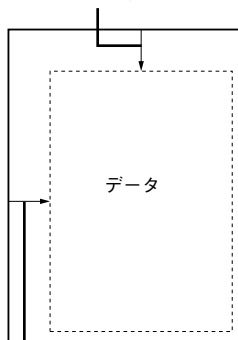
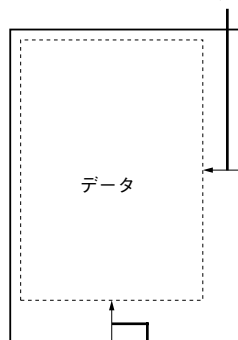
設定項目	ウエオフセット	用紙の上端に対して、印刷開始位置の上下オフセット値を設定します。
設定値	-30.0 ～ 30.0mm （初期設定：0mm）	オフセット値を -30.0mm（上方向）から 30.0mm（下方向）まで 0.5mm 単位で設定します。

設定項目	ヒダリオフセット	用紙の左端に対して、印刷開始位置の左右オフセット値を設定します。
設定値	-30.0 ～ 30.0mm （初期設定：0mm）	オフセット値を -30.0mm（左方向）から 30.0mm（右方向）まで 0.5mm 単位で設定します。

設定項目	ウエオフセット B	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に表示されます。用紙裏面の上端に対して、印刷開始位置の上下オフセット値を設定します。
設定値	-30.0 ～ 30.0mm （初期設定：0mm）	オフセット値を -30.0mm（上方向）から 30.0mm（下方向）まで 0.5mm 単位で設定します。

設定項目	ヒダリオフセット B	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に表示されます。用紙裏面の左端に対して、印刷開始位置の左右オフセット値を設定します。
設定値	-30.0 ～ 30.0mm （初期設定：0mm）	オフセット値を -30.0mm（左方向）から 30.0mm（右方向）まで 0.5mm 単位で設定します。

- オフセット値によっては、印刷結果がアプリケーション側のマージン設定に対してずれることがあります。
- オフセット値を0mm以外に設定した場合、印刷領域からはみ出た印刷データの一部が印刷されないことがあります。
- 上下左右のオフセット値は、以下のように設定します。

プリンタセッテイメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ヒョウジゲンゴ	液晶ディスプレイの表示を、日本語にするか、英語にするかを選択します。
設定値	ニホンゴ（初期設定）	日本語で表示します。
	English	英語で表示します。

設定項目	セツデンジカン	印刷待機時の消費電力を節約できます。最後の印刷が終了してから、設定した時間が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。
設定値	30 プン（初期設定）	節電状態になるまでの時間を 30 分に設定します。
	60 プン	節電状態になるまでの時間を 60 分に設定します。
	120 プン	節電状態になるまでの時間を 120 分に設定します。
	180 プン	節電状態になるまでの時間を 180 分に設定します。

設定項目	I/F タイムアウト	インターフェイスを自動切り替えで使用しているときの、タイムアウト時間を設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、設定されているタイムアウト時間中も別のインターフェイスはデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、印刷中のデータの受信が途切れてしまったページは、その時点で排紙されます。
設定値	20 ～ 600 ビョウ （初期設定 60 ビョウ）	1 秒単位で設定できます。

設定項目	キュウシグチ	給紙方法を選択します。
設定値	ジドウ（初期設定）	印刷時に指定したサイズの用紙がセットしてある給紙装置を自動的に検出し、その給紙装置から給紙します。
	MP カセット	MP カセットから給紙します。
	カセット 1	用紙カセット 1 から給紙します。
	カセット 2	用紙カセット 2 から給紙します。
	カセット 3	用紙カセット 3 から給紙します。

設定項目	MP カセットユウセン	プリンタドライバや操作パネルの設定で給紙装置が［自動選択］、かつ MP カセットと用紙カセットに同サイズの用紙がセットされている場合に、MP カセットからの給紙を優先するかどうかを設定します。
設定値	スル（初期設定）	MP カセットからの給紙を優先します。
	シナイ	用紙カセットからの給紙を優先します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	コピーマイスウ	印刷するデータが何ページもある場合、印刷する枚数を設定します。ここで設定した枚数を印刷した後、次ページのデータを印刷します。
設定値	1 ～ 999（初期設定：1）	設定した枚数分コピーして印刷します。

設定項目	リョウメンインサツ	オプションの両面印刷ユニット装着時のみ表示されます。両面印刷ユニットを使用するかしないかを設定します。
設定値	OFF（初期設定）	両面印刷ユニットを使用しません。
	ON	両面印刷ユニットを使用します。

両面印刷ユニットを装着した場合は、［ON］でご使用いただくことにより、用紙使用量の削減と森林資源の有効活用が可能になります。

設定項目	トジホウコウ	オプションの両面印刷ユニット装着時のみ表示されます。両面印刷の際に、用紙を綴じる位置を選択します。綴じしろは、［インサツメニュー］の各オフセットで設定します。
設定値	ロングエッジ（初期設定）	用紙の長辺側を綴じる位置にします。
	ショートエッジ	用紙の短辺側を綴じる位置にします。

設定項目	カミシュ	紙の種類を選択します。
設定値	フツウ（初期設定）	普通紙、再生紙、コート紙などを使用するときに選択します。
	アツガミ	紙厚が 91 ～210g/ ㎡の厚紙を使用する場合は［アツガミ］を選択してください。ハガキ、封筒などの特殊紙を使用する場合は［アツガミショウ］を選択してください。 なお、用紙サイズを［ハガキ］、［W ハガキ］、［Q ハガキ］、または封筒サイズにした場合は、自動的に厚紙対応モードに切り替わります（液晶ディスプレイの表示は変わりません）。
	アツガミショウ	
	OHP シート	専用 OHP シートを使用するときに選択します。

設定項目	シメン	両面印刷をする場合に、用紙の表裏のどちらを印刷するかを設定します。
設定値	オモテ（初期設定）	表面を印刷します。
	ウラ	裏面を印刷します。一度印刷した用紙の裏面に印刷するときに選択します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ハクシセツヤク	印刷するデータがないまま排紙コマンド（FF=0CH 等）が送られた場合に、白紙ページを印刷しないようにし、用紙を節約します。
設定値	スル（初期設定）	白紙ページを印刷しません。
	シナイ	そのまま白紙ページを印刷（排紙）します。

設定項目	ジドウハイシ	印刷データによっては最後に排紙コマンドを送らない場合があります。そのような場合に、プリンタ内に残ったデータを自動的に印刷して排紙できます。
設定値	スル（初期設定）	［プリンタセッテイメニュー］の［I/F タイムアウト］で設定した時間経過後、プリンタ内に残っているデータを自動的に印刷して、排紙します。
	シナイ	プリンタ内にデータが残っていても、自動排紙しません。

設定項目	ヨウシサイズフリー	［ヨウシコウカン xxxxx yyyy］と［ヨウシサイズエラー］のエラーを表示するかしないかを設定します。
設定値	OFF（初期設定）	上記 2 つのエラー状態を検出した場合、エラーメッセージを表示します。
	ON	上記 2 つのエラーメッセージを表示しません。

設定項目	ジドウエラーカイジョ	［ページエラーオーバーラン］、［ヨウシコウカン xxxxx yyyy］、［メモリオーバー　メモリガタリマセン］のエラーが発生した場合、自動的にエラー状態を解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。
設定値	シナイ（初期設定）	上記のエラーが発生した場合、ワーニングクリアを実行してエラー状態を解除しない限りプリンタの動作は一時停止します。
	スル	上記のエラーが発生した場合、メッセージを約5秒間表示した後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。

設定項目	ページエラーカイヒ	複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷する場合、印刷動作に対し画像データの作成処理が追い付かないためにページエラーが発生する可能性があります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。ただし、場合によっては印刷時間が長くなりますので、通常は［OFF］に設定し、ページエラーが発生するときだけ［ON］に設定します。
設定値	OFF（初期設定）	ページエラー回避機能を使用しません。
	ON	ページエラー回避機能を使用します。

［ページエラーカイヒ］を［ON］にすると、［メモリオーバー　メモリガタリマセン］エラーも回避できる場合があります。なお、［ON］にしても［メモリオーバー メモリガタリマセン］エラーが発生した場合は、メモリを増設してください（［ジュシンバッファ］の設定を［サイショウ］にすると、メモリを増設しなくてもエラーを回避できる場合があります）。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	LCD コントラスト	液晶ディスプレイに表示される文字の濃度を設定します。
設定値	0 ～ 15 （初期設定 7）	数字が小さいほど薄く、大きいほど濃く表示されます。

リセットメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ワーニングクリア	操作パネルの液晶ディスプレイに表示されている、ワーニングメッセージ（消耗品など交換部品に関するもの以外）を消します。
設定値	－	設定値はありません。[▶/↵（3）] スイッチを押して実行します。

設定項目	オールワーニングクリア	操作パネルの液晶ディスプレイに表示されているすべてのワーニングメッセージを消します。
設定値	－	設定値はありません。[▶/↵（3）] スイッチを押して実行します。

設定項目	リセット	プリンタをリセットします。液晶ディスプレイに「リセットシテクダサイ」と表示されたときに行ってください。現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データを破棄します。
設定値	－	設定値はありません。[▶/↵（3）] スイッチを押して実行します。

設定項目	リセットオール	プリンタをリセットオールします。電源をオンにした直後の状態までプリンタを初期化するときに行ってください。すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データを破棄します。
設定値	－	設定値はありません。[▶/↵（3）] スイッチを押して実行します。

設定項目	セッテイショキカ	プリンタのパネル設定値（インターフェイスの設定は除く *）をすべて初期化します（工場出荷時の設定に戻します）。
設定値	－	設定値はありません。[▶/↵（3）] スイッチを押して実行します。

* インターフェイスの設定を含めたすべてのパネル設定値を初期化するには、［ジョブキャンセル］スイッチを押したまま本機の電源をオンにします。

パラレル I/F セッテイメニュー

パラレルインターフェイスに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、必ず設定後にリセットオールまたは電源を一旦オフにして、再度オンにしてください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	パラレル I/F	パラレルインターフェイスを使用するかしないか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
設定値	ツカウ（初期設定）	パラレルインターフェイスを使用します。
	ツカワナイ	パラレルインターフェイスを使用しません。

設定項目	ACK ハバ	パラレルインターフェイスの ACK 信号のパルス幅を選択します。
設定値	ミジカイ（初期設定）	約 1μS に設定します。
	ヒョウジュン	約 10μS に設定します。

設定項目	ソウホウコウ	パラレルインターフェイスの双方向通信（IEEE 1284 準拠）のモード設定を行います。
設定値	ECP（初期設定）	双方向通信について、ECP モードに対応します。
	OFF	双方向通信を行いません。
	ニブル	双方向通信について、ニブルモードに対応します。

- ［ニブル］と［ECP］は、どちらも双方向通信のモードです。
- ［ECP］で使用するには、コンピュータのパラレルインターフェイスやアプリケーションソフトが ECP モードに対応している必要があります。
- コンピュータやアプリケーションソフトで特に指定がない場合は［ニブル］に設定してください。

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

USB I/F セッテイメニュー

USB インターフェイスに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後に必ずリセットオールまたは電源を一旦オフにして、再度オンにしてください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	USB I/F	USB インターフェイスを使用するかしないか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
設定値	ツカウ（初期設定）	USB インターフェイスを使用します。
	ツカワナイ	USB インターフェイスを使用しません。

設定項目	USB SPEED	USB インターフェイスの動作モードを選択します。お使いの機器に対応したモードを選択してください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
設定値	HS（初期設定）	すべての USB 接続機器に対応しています。通常は、この設定で使用します。
	FS	［HS］で正しく動作しない場合は、この設定で使用します。

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

I/F カードセッテイメニュー

本機に装着したオプションのインターフェイスカードに対する設定項目です。装着したインターフェイスによって設定できる項目は異なります（設定する必要のない項目は表示されません）。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールまたは電源を一旦オフにして、再度オンにしてください。

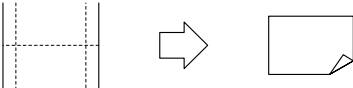
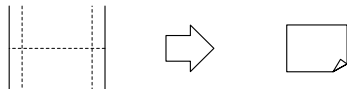
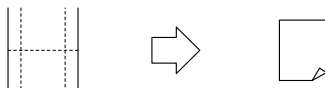
スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F カード	オプションのインターフェイスカードを使用するかしないか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
設定値	ツカウ（初期設定）	オプションのインターフェイスカードを使用します。
	ツカワナイ	オプションのインターフェイスカードを使用しません。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F カードセッテイ	装着しているインターフェイスカードの設定を、操作パネルで行うか行わないかを選択します。
設定値	シナイ（初期設定）	ネットワークの設定項目は設定できなくなります。プリンタが印刷可能な状態になると、自動的に［シナイ］に設定され、設定を変更できなくなります。
	スル	操作パネルでネットワークの設定を行うときに選択します。

設定項目	IP アドレスセッテイ	TCP/IP のIP アドレスの設定方法を選択します。[I/F カードセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	パネル（初期設定）	IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの値として、操作パネルで設定した値を使用します。
	ジドウ	ネットワーク上にある DHCP サーバから IP アドレスを自動取得します。
	PING	ネットワークから ARP コマンド /PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します。

ポイント

- 操作パネルから IP アドレスを設定する方法については、以下のページを参照してください。
  本書 249 ページ「IP アドレスを操作パネルから設定するには」
- ARPコマンド /PINGコマンドからの IP アドレスを設定する方法については、オプションのネットワーク I/F カードの取扱説明書をご覧ください。

設定項目	IP	TCP/IP のIP アドレスを000.000.000.000 から255.255.255.255 の範囲で設定します。 [I/F カードセッテイ] を［スル] に設定した場合に設定できます。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

設定項目	SM	TCP/IP のサブネットマスクを000.000.000.000 から255.255.255.255 の範囲で設定します。[I/F カードセッテイ] を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

設定項目	GW	TCP/IP のゲートウェイアドレスを000.000.000.000 から255.255.255.255 の範囲で設定します。 [I/F カードセッテイ] を［スル] に設定した場合に設定できます。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	NetWare	インターフェイスカードを装着したプリンタが NetWare 環境で使用できるかどうかを選択します。[I/F カードセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	ON（初期設定）	NetWare 環境で使用できます。
	OFF	NetWare 環境で使用できません。

設定項目	AppleTalk	インターフェイスカードを装着したプリンタが AppleTalk ネットワークで使用できるかどうかを選択します。[I/F カードセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	ON（初期設定）	AppleTalk ネットワークで使用できます。
	OFF	AppleTalk ネットワークで使用できません。

設定項目	NetBEUI	インターフェイスカードを装着したプリンタがNetBEUIを使用できるかどうかを選択します。[I/F カードセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	ON（初期設定）	NetBEUI を使用できます。
	OFF	NetBEUI を使用できません。

設定項目	I/F カードショキカ	インターフェイスカードの設定を初期化します。[I/F カードセッテイ］を［スル］に設定した場合に実行できます。
設定値	ー	設定値はありません。[▶/↵（3）] スイッチを押して実行します。

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

ESC/PS カンキョウメニュー

ESC/PS または ESC/P モードに対する設定項目です。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	レンゾクシ	• ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 • 連続紙用の印刷データを、単票紙（カット紙）用に縮小して印刷するかどうかを選択します。
設定値	OFF（初期設定）	縮小しません。
	F15 → B4 ヨコ	381 × 279.4mm（15 × 11 インチ）の連続紙へのデータを B4 横長の用紙に縮小して印刷します。
	F15 → A4 ヨコ	381 × 279.4mm（15 × 11 インチ）の連続紙へのデータを A4 横長の用紙に縮小して印刷します。
	F10 → A4 タテ	254 × 279.4mm（10 × 11 インチ）の連続紙へのデータを A4 縦長の用紙に縮小して印刷します。

設定項目	モジコード	• ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 英数カナ文字コードを切り替えます。コード表については、別売のリファレンスマニュアルを参照してください。
設定値	カタカナ（初期設定）	カタカナコード表を選択します。
	グラフィック	拡張グラフィックスコード表を選択します。

設定項目	キュウシイチ	• ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 用紙の印刷開始位置を選択します。
設定値	8.5mm（初期設定）	8.5mm にします。
	22mm	22mm にします。

設定項目	カッコクモジ	• ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国に対応するかを選択します。
設定値	ニホン（初期設定）、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン	

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ゼロ	• ESC/PS モードまたはESC/P モードで有効です。 • 英数カナ文字コードの「0」の書体を選択します。
設定値	0（初期設定）	「0」を選択します。
	0̸	「0̸」を選択します。

設定項目	ヨウシイチ	• ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 横方向の印字範囲（136 桁）の幅の中で、用紙をどの位置に合わせるかを選択します。中央を選択した場合は、さらにオフセット量を選択できます。アプリケーションソフトのプリンタ設定で PC-PR201H、シートフィーダを使用にしたときは、「チュウオウ」を選択してください。 なお、アプリケーションソフトの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されない場合があります。このときは、アプリケーションソフトで左右マージンを大きく設定してください。
設定値	ヒダリ（初期設定）	左合わせに設定します。
	チュウオウ	中央合わせに設定します。
	チュウオウ -5	中央合わせで、オフセット量を -5mm にします。
	チュウオウ +5	中央合わせで、オフセット量を +5mm にします。

設定項目	ミギマージン	• ESC/PS モードまたはESC/P モードで有効です。 • 右マージンを選択します。
設定値	ヨウシハバ（初期設定）	使用する用紙の印刷保証領域いっぱいにします。
	136 ケタ	用紙サイズに関係なく 136 桁（13.6 インチ）にします。136 桁に満たない用紙に印刷するときは、用紙の印刷保証領域を超える部分を切り捨てます。

設定項目	カンジショタイ	• ESC/PS モードまたはESC/P モードで有効です。 • 漢字に使用する書体を選択します。
設定値	ミンチョウ（初期設定）	明朝体を選択します。
	ゴシック	角ゴシック体を選択します。

ESC/Page カンキョウメニュー

ESC/Page モードに対する設定項目です。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フッキカイギョウ	印刷データが右マージン位置を超えたときに、自動的に改行して次の行の先頭から印刷を続けるかを選択します。
設定値	スル（初期設定）	自動復帰改行動作をします。
	シナイ	自動復帰改行動作をしません。

設定項目	カイページ	印刷データが改行のため下マージン位置を超えたときに、自動的に改ページして次のページに印刷するかを選択します。
設定値	スル（初期設定）	自動改ページ動作をします。
	シナイ	自動改ページ動作をしません。

設定項目	CR	CR（復帰）の動作を選択します。
設定値	CR ノミ（初期設定）	CR（復帰）動作のみを行います。
	CR+LF	CR（復帰）と同時に LF（改行）動作も行います。

設定項目	LF	LF（改行）の動作を選択します。
設定値	CR+LF（初期設定）	LF（改行）と同時に CR（復帰）動作も行います。
	LF ノミ	LF（改行）動作のみを行います。

設定項目	FF	FF（改ページ）の動作を選択します。
設定値	CR+FF（初期設定）	FF（改ページ）と同時に CR （復帰）動作も行います
	FF ノミ	FF（改ページ）動作のみを行います。

設定項目	エラーコード	文字コード表にない文字を受けたときの処理を選択します。
設定値	OFF（初期設定）	無視します。
	ON	スペースに置き換えます。

設定項目	フォントタイプ	「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、2 バイト系文字の全角フォントと半角フォントの優先度を選択します。
設定値	1（初期設定）	15 ポイント未満は半角フォントを優先し、15 ポイント以上は全角文字を優先して印刷します。
	2	全角フォントを優先して印刷します。
	3	半角フォントを優先して印刷します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フォームオーバーレイ	フォームオーバーレイ*印刷を実行するかしないかを選択します。フォームデータが書き込まれたオプションのフォームオーバーレイ ROM モジュール装着時のみ表示されます。
設定値	OFF（初期設定）	フォームオーバーレイ印刷を実行しません。
	ON	フォームオーバーレイ印刷を実行します。ここで設定すると、ESC/P モードでも実行できます。

設定項目	フォームバンゴウ	実行するフォームオーバーレイの番号*を選択します。フォームデータが書き込まれたオプションのフォームオーバーレイ ROM モジュール装着時のみ表示されます。
設定値	1 ～ 512 （初期設定：1）	オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールに登録したフォームオーバーレイ番号を選択します。

* フォームデータの作成または使用方法、フォームオーバーレイ ROM モジュールへの登録方法については、オプションの「フォームオーバーレイユーティリティ（EPSON Form!4）」に添付の取扱説明書を参照してください。

PS3 カンキョウメニュー

オプションのＰS3 モジュールを本機に装着し、PostScript3 プリンタとしてのみ使用する場合の設定項目です。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	PS3 エラーシート	PostScript エラー発生時に、エラー状態を記載したシートを印刷するかしないかを選択します。
設定値	OFF（初期設定）	PostScript エラー発生時にエラーシートを印刷しません。
	ON	PostScript エラー発生時にエラーシートを印刷します。

設定項目	COLORATION	PostScript でのカラー印刷モードを選択します。
設定値	COLOR（初期設定）	カラー印刷を行います。ユーザー定義のスクリーンを使用することができます。
	MONO	モノクロ印刷を行います。
	TrueCol.	TrueColor 印刷を行います。ユーザー定義のスクリーンは使用できません。

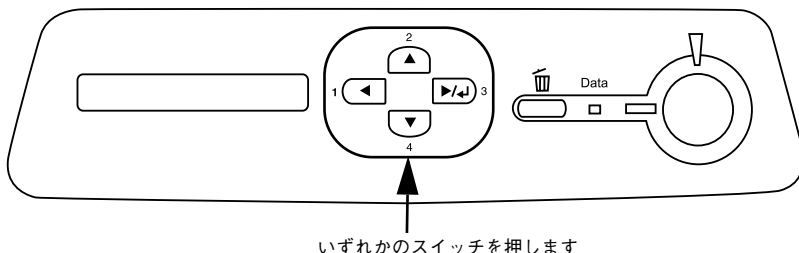
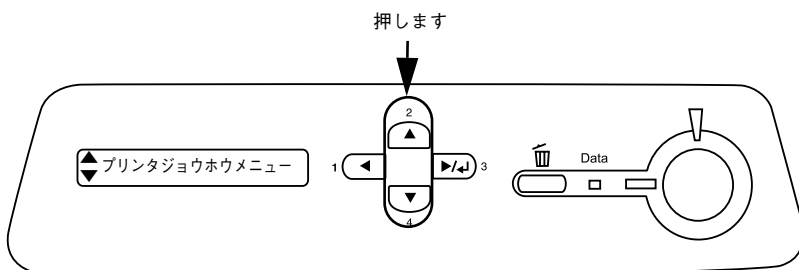
設定項目	IMAGE PROTECT	カラー印刷でメモリが不足する場合に、非可逆圧縮* を行うか可逆圧縮を行うかを設定します。
設定値	OFF（初期設定）	通常は可逆圧縮を行いますが、メモリが不足する場合は非可逆圧縮* を行います。
	ON	可逆圧縮を行います。［ON］を選択すると、印刷時間が長くなります。

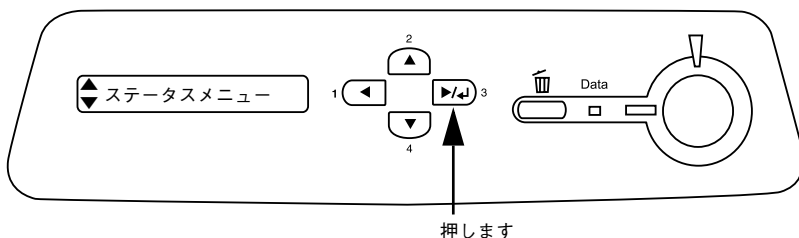
* データを元の状態に戻さない圧縮方法。少ないメモリで印刷できるよう効率よくデータを圧縮できますが、元の状態に戻さないので解像度が落ちたり、階調の再現性が低下したりします。

発生しているワーニングを確認するには

現在発生しているワーニングを液晶ディスプレイで確認することができます。

1 液晶ディスプレイ右のいずれかのスイッチを押して、設定モードに入ります。

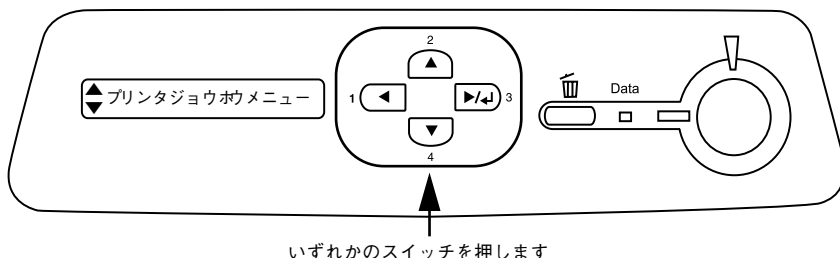
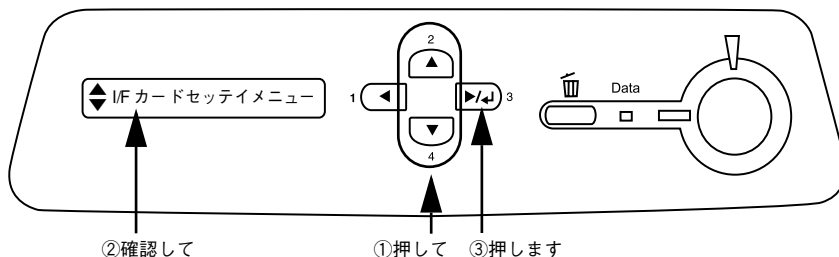
設定モードに入ると、液晶ディスプレイに［プリンタジョウホウメニュー］と表示されます。

2 ［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して、ステータスメニューを選択します。

3 ［▶/↵(3)］スイッチを押します。

現在のワーニングメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。複数のワーニングが発生している場合は、［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押すと、ワーニングメッセージの表示が切り替わります。

IP アドレスを操作パネルから設定するには

オプションのネットワーク I/F カードを取り付けた場合、プリンタの操作パネルから IP アドレスなどの TCP/IP の設定ができます。
ここでは、オプションのネットワークカードの IP アドレスを操作パネルから設定する方法を説明します。

- 操作パネル以外の設定方法についてはネットワーク I/F カードの取扱説明書をご覧ください。
- IP アドレスの取得方法には［パネル］［ジドウ］［PING］のいずれかを選択できますが、操作パネルから IP アドレスの設定を行う場合は、［パネル（初期設定)］を選択してください。

1 **液晶ディスプレイ右のいずれかのスイッチを押して、設定モードに入ります。**

設定モードに入ると、液晶ディスプレイには［プリンタジョウホウメニュー］と表示されます。

2 **［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［I/F カードセッテイメニュー］を表示させ、［▶/↵(3)］スイッチを押します。**

3 **液晶ディスプレイに［I/F カード＝ツカウ］と表示されていることを確認します。**

［I/F カード＝ツカワナイ］になっている場合は、次の操作を行います。
①［▶/↵(3)］スイッチを押して設定値の階層に進みます。
②［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［I/F カード＝ツカウ］にします。
③［▶/↵(3)］スイッチを押します。

4 **［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［I/F カードセッテイ］表示させ、設定値を［シナイ］から［スル］にします。**

① ［I/F カードセッテイ＝シナイ］の表示で［▶/↵(3)］スイッチを押して、設定値の階層に進みます。
② ［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［I/F カードセッテイ＝スル］にします。
③ ［▶/↵(3)］スイッチを押します。

5 **［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［IP アドレスセッテイ＝パネル］になっていることを確認します。**

［IP アドレスセッテイ＝ジドウ］または［IP アドレスセッテイ＝ PING］になっている場合は、次の操作を行います。
① ［▶/↵(3)］スイッチを押して設定値の階層に進みます。
② ［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［IP アドレスセッテイ＝パネル］にします。
③ ［▶/↵(3)］スイッチを押します。

6 **各アドレスを設定します。**

① ［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［IP］を表示させます。
② ［▶/↵(3)］スイッチを押して設定値の階層に進みます。
③ ［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して、希望の数値を表示させます。
④ ［▶/↵(3)］スイッチを押します。
必要に応じて①〜④の操作を繰り返します。

7 **各アドレスの設定が終了したら、［印刷可］スイッチを押します。**

設定モードを終了して［インサツカノウ］と表示されますが、ネットワーク I/F カードの初期化が終了するまでしばらくお待ちください。

設定直後は、ネットワーク I/F カードの初期化（ネットワーク I/F カードのランプが赤色に点灯*）が行われるため、プリンタの電源をオフにしたり、プリンタをリセットオールしたり、［I/F カードジョウホウ］を印刷したりしないでください。
*ランプの点灯状態については、ネットワーク I/F カードの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスが正しく登録されたかどうかは、ネットワーク I/F カードの初期化終了後に［プリンタジョウホウメニュー］の［I/F カードジョウホウ］を印刷することによって確認できます。
☞本書 220 ページ「I/F カードジョウホウ *1」

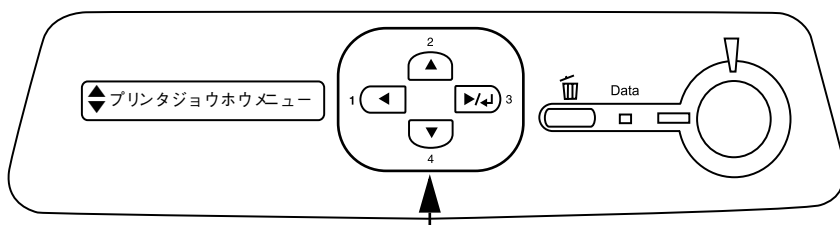
以上で TCP/IP の設定は終了です。

印刷待機時の消費電力を効率よく節約するには

節電機能とは、印刷待機時の消費電力を節約する機能です。設定時間（初期設定は30分）が経過すると節電状態になります。使用状況に応じて設定時間を変更することにより、効率的に消費電力を節約できます。
ここでは、操作パネルから節電状態に入るまでの時間を設定する方法を説明します。

- 変更した設定は、すべてのインターフェイスに対して有効です。
- 節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行いますので、印刷開始まで数分かかります。

1 液晶ディスプレイ右のいずれかのスイッチを押して、設定モードに入ります。

設定モードに入ると、液晶ディスプレイには［プリンタジョウホウメニュー］と表示されます。

いずれかのスイッチを押します

2 ［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［プリンタセッテイメニュー］を表示させ、［▶/↵(3)］スイッチを押します。

3 ［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［セツデンジカン=（現在の設定値）］を表示させ、［▶/↵(3)］スイッチを押します。

4 ［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して節電モードに入るまでの時間を変更し、［▶/↵(3)］スイッチを押します。

変更した設定値（30プン、60プン、120プン、180プン）が有効となり、設定項目の階層へ戻ります。

5 ［印刷可］スイッチを押して、設定モードを終了します。

設定モードが終了し、液晶ディスプレイに［インサツカノウ］または［セツデン］と表示されます。

以上で節電状態に入るまでの時間の設定は終了です。

プリンタの状態や設定値を印刷するには

プリンタの現在の状態や設定値を印刷したものをステータスシートといいます。ステータスシートを印刷すると、プリンタの現在の情報を確認できます。

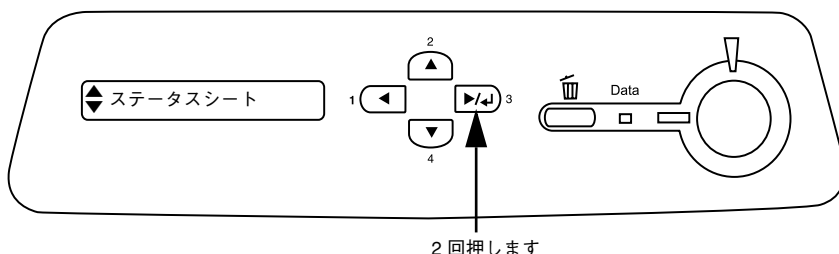
ステータスシートの印刷は、次の場合に行います。
- プリンタの動作に異常がないかを確認する場合
- プリンタの現在の設定を確認したい場合
- プリンタにオプションを取り付けた場合（取り付けたオプションが正しく認識されていれば、ステータスシートの印刷内容に、そのオプションが追加されます）

- ステータスシートはプリンタドライバからも印刷できます。
Windows：本書 82 ページ「[環境設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 193 ページ「[プリンタセットアップ] ダイアログ」
- ステータスシートがうまく印刷されないときは、以下のページを参照してください。
本書 360 ページ「困ったときは」

1 プリンタに用紙をセットし、電源をオンにして印刷可状態にします。

印刷可ランプが点灯し、液晶ディスプレイに［インサツカノウ］または［セツデン］と表示されていることを確認します。

2 ［▶/↵（3）］スイッチを 2 回押します。

液晶ディスプレイに［ステータスシート］と表示されます。

3 再度［▶/↵（3）］スイッチを押して、ステータスシートを印刷します。

- 液晶ディスプレイの表示とデータランプが点滅し、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒時間がかかります）。
- 印刷が終了すると印刷可ランプが点灯し、液晶ディスプレイに［インサツカノウ］または［セツデン］と表示されます。

以上でステータスシートの印刷は終了です。

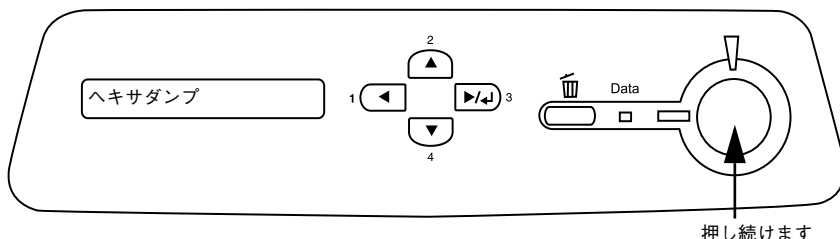
16 進ダンプ印刷するには

16 進ダンプ印刷は、コンピュータから送られてきたデータを 16 進数とそれに対応する英数文字で印刷する機能です。コンピュータからプリンタへ正しくデータが送られているかどうか確認できるので、自作プログラムのチェックなどに使うと便利です。

- 16 進ダンプ印刷は、ネットワーク接続時には使用できません。
- Windows で EPSON プリンタウィンドウ!3 を使用している場合は、[印刷中プリンタのモニタを行う］のチェックを外してください。
本書 93 ページ「[ユーティリティ］ダイアログ」

1 **プリンタに用紙をセットして、電源がオフであることを確認します。**

2 **［印刷可］スイッチを押しながら、電源をオンにします。**

液晶ディスプレイの表示が［ヘキサダンプモード］から［ヘキサダンプ］と表示されるまで、[印刷可］スイッチを押し続けます。

3 **コンピュータからプリンタへデータを送ります。**

プリンタは送られてきたデータを 16 進数とそれに対応する英数文字などで印刷します。

印刷中は電源をオフにしないでください。紙詰まりの原因になります。

4 **データランプが消灯したら、16 進ダンプ印刷は終了です。**

データランプが点灯している場合、プリンタ内に印刷されていないデータが残っています。この場合は［印刷可］スイッチを押して印刷不可状態にした後、[印刷可］スイッチを 2 秒間押すと、プリンタ内のデータが印刷されます。

5 **16 進ダンプ印刷が終了したら、電源をオフにして 16 進ダンプモードを解除します。**

次に電源をオンにしたときは、通常のモードで起動します。

リセットの仕方

リセット

リセットは、液晶ディスプレイに［リセットシテクダサイ］と表示されたときに行います。リセットすると、現在使用中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データを破棄し、エラーを解除をします。リセットは、操作パネルの設定モードで行います。以下のページを参照してください。

本書 238 ページ「リセット」

注 意

- ［リセットシテクダサイ］と表示された場合に、リセットオールを行わないように注意してください。リセットオールを行うと、メモリに保存された印刷データがすべて破棄され、電源をオンにした直後の状態まで初期化されます。
- プリンタが印刷データの処理をしているとき、あるいは一部の DOS アプリケーションソフトで印刷中もしくは印刷データ待ちのときにパネル設定を変更すると、［リセットシテクダサイ］と表示されることがあります。このときに正しくリセットを行わないとパネル設定で変更した内容が有効になりません。設定の変更は印刷データ処理終了後、またはリセット後に実行してください。

リセットオール

リセットオールを行うと、印刷中の印刷データの処理を中止します。また、電源をオンにした直後の状態まで初期化され、すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データを破棄します。リセットオールは、操作パネルの設定モードで行います。以下のページを参照してください。

本書 238 ページ「リセットオール」

液晶ディスプレイの表示メッセージについて

操作パネルの液晶ディスプレイには、メッセージが表示されます。表示されるメッセージには、ワーニングメッセージ、エラーメッセージ、ステータスメッセージの 3 種類があります。

ワーニングメッセージ

プリンタに何らかの問題が発生しています。以下の説明を参照して適切な処置をしてください。消耗品については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 285 ページ「オプションと消耗品の紹介」

ポイント

ワーニングメッセージは、操作パネルの設定モードの［ワーニングクリア］で消すことができます。

☞本書 238 ページ「ワーニングクリア」

表示・説明	処 置
＊＊＊＊トナーガ　スクナクナリマシタ 「＊＊＊＊」に表示される色のET カートリッジのトナー残量が少なくなりました。	このままの状態でも印刷可能です。新しい ET カートリッジを用意してください。「トナーカートリッジ　コウカン」のメッセージが表示されたら、新しい ET カートリッジと交換してください。
ROMモジュール　x　フォーマットエラー 書き込み可能で未フォーマットの ROM モジュールがソケット x に装着されています。	初めて書き込む ROM モジュールであれば問題ありません。［印刷可］スイッチを押して表示を消し、再度書き込みを行います。再度このメッセージが表示された場合は、ROM モジュールが破損している可能性があります。プリンタの電源をオフにした後、ROM モジュールを取り外してください。
カイゾウドヲ　オトシマシタ メモリ不足により、指定された解像度での印刷ができず、何らかの省略を行って印刷しました。	印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、リセットまたはリセットオールを行います。印刷後に表示を消すには、ワーニングクリアを実行します。 再度印刷するときは、解像度を下げるか、メモリを増設してください。
＊＊＊＊カンコウタイ　コウカン　マヂカ 「＊＊＊＊」に表示される色の感光体ユニットの寿命が近付きました。	このままの状態でも印刷可能です。新しい感光体ユニットを用意してください。「カンコウタイユニットコウカン」のメッセージが表示されたら、新しい感光体ユニットと交換してください。
ハイトナーボックス　コウカン　マヂカ 廃トナーボックスの空き容量が少なくなりました。	このままの状態でも印刷可能です。新しい廃トナーボックスを用意してください。「ハイトナーボックスコウカン」のメッセージが表示されたら、新しい廃トナーボックスと交換してください。
テイチャクユニット　コウカン　マヂカ 定着ユニットの寿命が近付きました。	このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。
テンシャユニット　コウカン　マヂカ 転写ベルトの寿命が近付きました。	このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。

表示・説明	処 置
ブスウシテイ デキマセンデシタ 指定した部数の印刷データを扱うためのメモリまたはハードディスクの容量が足りないため、1部だけ印刷します。	印刷するデータ量を少なくしてください。または、メモリを増設してください。
メモリノ ゾウセツヲ オススメシマス 印刷処理中にメモリ不足が発生しました。印刷は続行します。	印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、リセットまたはリセットオールを行います。 操作パネル表示を消すには、ワーニングクリアを実行します。メモリを増設してください。
ヨウシサイズエラー 給紙した用紙と設定されている用紙サイズが異なっています。	［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］に設定されている場合は、ワーニングクリアを実行します。 ［プリンタセッテイメニュー］の［ヨウシサイズフリー］を［ON］に設定すると、「ヨウシサイズエラー」のメッセージは表示されなくなります。
ヨウシタイプ エラー 印刷時に指定した用紙サイズと用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。	メッセージはワーニングクリアを実行すると消えます。 操作パネルの設定で、各給紙装置の用紙タイプの設定を確認してください。
セッテイヘンコウ　デキマセン	メッセージはワーニングクリアを実行すると消えます。
Hard Disk Full ハードディスクユニットの容量が限界値に達しました。	オプションのハードディスク容量がいっぱいになりました。データの処理が終了するまでお待ちください。
PS3 Hard Disk full ハードディスクユニットの容量が限界値に達し、プリンタフォントをインストールできませんでした。	リセットしてください。 新しいプリンタフォントをインストールしたい場合は、ハードディスクユニットから使用しないフォントを削除して、インストールしてください。 プリンタフォントのインストール方法については、「PostScript プリンタ セットアップガイド」を参照してください。削除方法についてはフォントに添付されている取扱説明書を参照してください。

エラーメッセージ

トラブルが発生した場合に、エラーメッセージを表示して印刷を停止します。印刷を再開するには、以下の説明を参照して、エラー状態の解除に必要な処置を行ってください。
用紙が詰まったときの対処については、以下のページを参照してください。
本書 373 ページ「用紙が詰まったときは」
消耗品の交換については、以下のページを参照してください。
本書 284 ページ「オプションと消耗品について」

表示・説明	処置
＊＊＊＊ カートリッジガ　アリマセン 「＊＊＊＊」に表示される色の ET カートリッジがセットされていません。	「＊＊＊＊」にはC、M、Y、Kのいずれかが表示され、取り付け、または交換が必要な ET カートリッジの色を示しています。 C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー K：ブラック 表示される色の ET カートリッジの取り付け、または交換を行います。取り付け後、前カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 本書 337 ページ「ET カートリッジの交換」
＊＊＊＊ トナーカートリッジ　コウカン 「＊＊＊＊」に表示される色の ET カートリッジがなくなりました。	
＊＊＊＊ カンコウタイガ　アリマセン 「＊＊＊＊」に表示される色の感光体ユニットがセットされていません。または正しくセットされていません。	「＊＊＊＊」にはC、M、Y、Kのいずれかが表示され、取り付け、または交換が必要な感光体ユニットの色を示しています。 C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー K：ブラック 表示される色の感光体ユニットの取り付け、または交換を行います。取り付け後、前カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 本書 327 ページ「感光体ユニットの交換」
＊＊＊＊ カンコウタイユニット　コウカン 「＊＊＊＊」に表示される色の感光体ユニットの寿命です。	
＊＊＊＊ カンコウタイガ　チガイマス 「＊＊＊＊」に表示される色の感光体ユニットが本機で使用可能なものと異なるか、セットされている色が正しくありません。	
＊＊＊＊ カンコウタイガ　コショウデス 「＊＊＊＊」に表示される色の感光体ユニットが故障しています。	感光体ユニットの交換を行います。 交換後、前カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 本書 327 ページ「感光体ユニットの交換」 再度発生したときは、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
ハイトナーボックス　イジョウ 廃トナーボックスが正しくセットされていません。	プリンタの電源がオンの状態で前カバーを開閉します。その後もエラーが表示される場合は、廃トナーボックスの交換を行います。交換後、前カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 本書 343 ページ「廃トナーボックスの交換」 エラー表示が消えない場合は、お買い上げの販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
ハイトナーボックス　コウカン 廃トナーボックスの空き容量がなくなりました。	廃トナーボックスの交換を行います。 交換後、前カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 本書 343 ページ「廃トナーボックスの交換」

表示・説明	処置
マエカバー　ガ　アイテイマス 前カバーが開いています。または確実に閉じていません。	前カバーを確実に閉じます。 前カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。
カバーA　ガ　アイテイマス A カバー（本体右側）が開いています。または確実に閉じていません。	A カバー（本体左側）を確実に閉じます。 A カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。
カバーE　ガ　アイテイマス E カバーが開いています。または確実に閉じていません。	E カバーを確実に閉じます。 E カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。
カバーF　ガ　アイテイマス F カバーが開いています。または確実に閉じていません。	F カバーを確実に閉じます。 F カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。
カバーG　ガ　アイテイマス G カバーが開いています。または確実に閉じていません。	G カバーを確実に閉じます。 G カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。
カバーH　ガ　アイテイマス オプションの両面印刷ユニットのHカバーが開いています。または確実に閉じていません。	両面印刷ユニットのHカバーを確実に閉じます。 両面印刷ユニットの H カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。
ユニットDM　ガ　ハズレテイマス オプションの両面搬送ユニット（DM）が装着されていません。	両面搬送ユニット（DM）を正しく取り付けます。 本書301 ページ「両面印刷ユニットの取り付け」 両面搬送ユニット（DM）を正しく取り付けるとエラー状態が解除されます。
カミヅマリ XXXX XXXXの部分に表示される箇所で紙詰まりが発生しました。 紙詰まりが複数の箇所で発生している場合、XXXXの部分には液晶ディスプレイに表示可能な範囲まで表示されます。	以下のページを参照して、XXXX の部分に表示される箇所から詰まった用紙を取り除いてください。 本書373 ページ「用紙が詰まったときは」 詰まった用紙をすべて取り除き、カバーを閉じるとエラー状態が解除され、詰まった用紙の印刷データから印刷を再開します。
xxxxx ヨコナガニ　イレテクダサイ 給紙方向に対し横長の状態でセットする用紙 xxxxx が縦長にセットされています。	用紙 xxxxx の向きを、給紙方向に対し横長の状態にしてセットし直します。
ヨウシコウカン xxxxx yyyy 給紙をしようとした給紙装置 xxxxx にセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズ yyyy が異なっています。	［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］に設定されている場合は、以下の 3 つのうち、いずれかの操作を行ってください（［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］を［スル］にしておくと、一定時間(5秒)後に、自動的にエラー状態を解除します）。 (1)給紙装置 xxxxx にサイズ yyyy の用紙をセットします。 本書 17 ページ「給紙装置と用紙のセット方法」 ［印刷可］スイッチを押して印刷します。 (2)用紙を交換しないで［印刷可］スイッチを押します。 セットされている用紙に印刷します。 (3)リセットまたはリセットオールを行います。

表示・説明	処置
ヨウシナシ xxxxx yyyy 以下のような場合に表示されます。 (1) 印刷のために給紙しようとした給紙装置 xxxxx に、用紙がセットされていません。 (2) すべての給紙装置に用紙がセットされていません。	(1) の場合 給紙装置 xxxxx にサイズ yyyy の用紙をセットすると、エラー状態が解除され印刷されます。 本書 17 ページ「給紙装置と用紙のセット方法」 (2) の場合 いずれかの給紙装置に用紙をセットすると、エラー状態が解除され印刷されます。
カミシュ　ガ　タダシクアリマセン プリンタドライバの設定またはセットした用紙が正しくありません。	プリンタドライバの設定とセットした用紙が正しいことを確認してから再度印刷します。 [印刷可] スイッチを押すと、印刷を再開します。
リョウメンインサツ　デキマセン オプションの両面印刷ユニットで両面印刷実行時、用紙のサイズまたは種類が両面印刷不可能な設定のため、両面印刷の実行を中止します。	操作パネルの [プリンタセッテイメニュー] の [ジドウエラーカイジョ] が [シナイ] の場合、[印刷可] スイッチを押します。[印刷可] スイッチを押すと、片面印刷で印刷を再開します。 操作パネルの [プリンタセッテイメニュー] の [ジドウエラーカイジョ] が [スル] の場合、一定時間 (5 秒) 後に、片面印刷で印刷を再開します。
リョウメン　ヨウシサイズ　エラー オプションの両面印刷ユニットで両面印刷実行時、用紙のサイズが両面印刷不可能な設定のため、両面印刷の実行を中止します。	
リョウメンインサツ　メモリガ　タリマセン オプションの両面印刷ユニットで両面印刷実行時、印刷データを扱うためのメモリが足りないため、表面側が印刷できません。 この場合、裏面側のみ印刷して排紙します。	操作パネルの [プリンタセッテイメニュー] の [ジドウエラーカイジョ] が [シナイ] の場合、[印刷可] スイッチを押します。裏面側のデータが次の用紙の表面に印刷され、排紙されます。 操作パネルの [プリンタセッテイメニュー] の [ジドウエラーカイジョ] が [スル] の場合、一定時間 (5 秒) 後に、裏面側のデータが次の用紙の表面に印刷され、排紙されます。
フェイスダウン　ハイシ　フル 排紙トレイがいっぱいです。	排紙トレイの用紙を取り除いてください。 [印刷可] スイッチを押すと、印刷を再開します。
ページエラー　オーバーラン 印刷内容が複雑で、プリンタの処理が追い付きません。	[プリンタセッテイメニュー] の [ジドウエラーカイジョ] が [シナイ] の場合は、以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) [印刷可] スイッチを押します。 (2)リセットまたはリセットオールを行います。 [プリンタセッテイメニュー] の [ページエラーカイヒ] を [ON] にすると、このエラーは発生しません。 [プリンタセッテイメニュー] の [ジドウエラーカイジョ] [スル] にしておくと、一定時間 (5 秒) 後に、自動的にエラー状態を解除します。

表示・説明	処置
メモリオーバー　メモリガタリマセン 処理中にメモリ不足が発生し、動作が続行できなくなりました。	［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］の場合は、以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) ［印刷可］スイッチを押します。 (2)リセットまたはリセットオールを行います。 再度印刷するときは、プリンタドライバで解像度を［標準］に設定するか、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げてください。または、メモリを増設してください。 ［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］を［スル］にしておくと、一定時間（5 秒）後に、自動的にエラー状態を解除します。
HDD エラー オプションのハードディスクユニットにエラーが発生しました。	プリンタの電源をオフにした後、ハードディスクユニットが正しく装着されているか確認します。エラーの表示が消えない場合は、お買い上げの販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
I/F カード　エラー 本機では使用できないインターフェイスカードが挿入されています。	電源をオフにした後、インターフェイスカードを取り外します。
ROM モジュール　x　カキコミエラー 書き込み不可の ROM モジュールに書き込もうとしたか、書き込みが正常に終了しませんでした。または、ソケット x に ROM モジュールが装着されていません。	プリンタの電源をオフにした後、ROM モジュールを確認します。
ROM モジュール　x　リードエラー 本機では利用できない ROM モジュールがソケット x に装着されています。	プリンタの電源をオフにした後、ROM モジュールを取り外します。 本機で使用可能な ROM モジュールかどうか型番などで確認してください。
コピーシステム　エラー オプションのコピーシステムユニットの一部が正しく装着されていません。	電源をオフにし、コピーシステムが正しく接続、装着されていることを確認してください。
Optional RAM　x　Error メモリを認識できません。	一旦電源をオフにし、正しいメモリを取り付けてください。
Invalid PS3 オプションの PostScript3 モジュールが正しく認識されません。	一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
Invalid IPDS オプションの ROM モジュールが正しく認識されません。	一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
Service Req xxxxx サービスコールエラーが発生しました。	一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、液晶ディスプレイの表示を書き写してから、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。

表示・説明	処置
サービスヘレンラククダサイ xxxx サービスコールエラーが発生しました。	一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、液晶ディスプレイの表示を書き写してから、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。

ステータスメッセージ

プリンタが正常に動作している場合は、現在の状態を表示します。
メッセージはアイウエオ順に記載してあります。

表示	説明
Formatting　HDD	ハードディスクユニットを初期化中です。
HDD　CHECK	ハードディスクユニットを確認中です。
RAM　CHECK	RAM を確認中です。
ROM　CHECK	ROM を確認中です。
ROM モジュール　×　カキコミチュウ	ソケット×の ROM モジュールにデータを書き込み中です。
インサツカノウ	印刷可状態で、プリンタに送られているデータがない状態です。
ウォームアップ	ウォーミングアップ中です。
エラーカイジョ　デキマセン	エラーを解除できません。
オフライン	印刷データの作成やデータ受信は行いますが、印刷動作を開始しない状態です。 ［印刷可］スイッチを押すことにより、現在の状態を表示します。
システムチェック	自己診断と、初期化を行っています。
ジョブ　キャンセル	何らかの警告が表示されたときに、リセットなどの操作によって印刷中の処理を中止しました。
セツデン	操作パネルで指定した時間が経過し、節電状態になっています。 データの受信、またはリセットで解除されます。
ゼンジョブ　キャンセル	何らかの警告が表示されたときに、リセットなどの操作によって印刷処理をすべて中止しました。
プリンタ　チョウセイチュウ	良好な印刷品質を保つために、プリンタが印刷機能の自動調整を行っています。 印刷実行中に本メッセージが表示された場合、印刷処理を一時中断します。 自動調整が完了するとメッセージが消え、自動的に印刷を再開します。
プリンタ　レイキャクチュウ	プリンタを冷却しています。しばらくお待ちください。
ヨウシ　ハイシチュウ	プリンタ内に残っている印刷データを、［印刷可］スイッチによって印刷・排紙中です。 （テスト印刷中の表示）
リセット	現在使用中のインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄し、エラーを解除中です。

表示	説明
リセット　オール	印刷を中止後、プリンタの電源をオンにした直後の状態まで初期化し、すべてのインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄しています。しばらくお待ちください。
リセットシテクダサイ	印刷実行中にパネル設定を変更しました。リセットを行ってください。直後に変更が反映されますが、印刷データはすべて削除されます。

添付されているフォントについて

本機に添付の CD-ROM に収録されているバーコードフォント（Windows のみ）の使い方と、TrueType フォントのインストール方法について説明しています。

● EPSON バーコードフォントの使い方（Windows）.. 264

● TrueType フォントのインストール方法 279

EPSON バーコードフォントの使い方（Windows）

通常バーコードを作成するには、データキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかに様々なコードやキャラクタを指定したり、OCR-B [*1] フォント（バーコード下部の文字）を指定する必要があります。EPSON バーコードフォントは、これらのバーコードやキャラクタを自動的に設定し、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルを簡単に作成、印刷することができます。

*1　OCR-B：光学的文字認識に用いる目的で開発され JISX9001 に規定された書体の名称。

EPSON バーコードフォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。EPSON バーコードフォントは、本機に同梱のプリンタドライバ上でのみ使用可能です。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	チェックデジット [*2]	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-A のバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-E のバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128のバーコードを作成します。
Interleaved 2of5	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7（CODABAR）	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

*2　チェックデジット：読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

注意事項

プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷するには、プリンタドライバで次のように設定してください。

ダイアログ	項目	設定値
［基本設定］-［詳細設定］	［色］	［黒］
	［印刷品質］	［高品質］
	［トナーセーブ］	チェックマークなし（OFF）
［レイアウト］	［拡大/縮小］	チェックマークなし（OFF）
	［割り付け］	チェックマークなし（OFF）

文字の装飾 / 配置について

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーライン等）、網掛けは行わないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は 90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔の変更は行わないでください。
- アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース（空白）部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。
（例＜＝＞ ⇨ ⟺ ）

入力時の注意について

- バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があり、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトで改行を示すマークの表示/非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお勧めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードについて」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお勧めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。
☞ 本書 276 ページ「各バーコードの概要」

トナーの濃度や紙質によっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れない場合があります。お使いの読み取り機で認識テストしてからご利用いただくことをお勧めします。

システム条件

EPSON バーコードフォントをご利用いただくには、Windows でのシステム条件のほかに以下の条件が必要です。
ハードディスク：15 ～ 30KB の空き容量（書体ごとに異なります）
システム条件について詳しくは、以下のページを参照してください。
☞ スタートアップガイド（紙マニュアル）36 ページ「システム条件の確認」

バーコードフォントのインストール

1. Windowsを起動してから、EPSONプリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2. 以下の画面が表示されたら［ソフトウェアのインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。

上記の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［setup.exe］をダブルクリックしてください。

3 ［ソフトウェア選択］ボタンをクリッククリックします。

4 以下の画面が表示されたら［バーコードフォント］にチェックが付いていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

プリンタドライバとEPSONプリンタウィンドウ!3がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

5 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

6. **インストールするバーコードフォントをチェックして［セットアップ実行］ボタンをクリックします。**

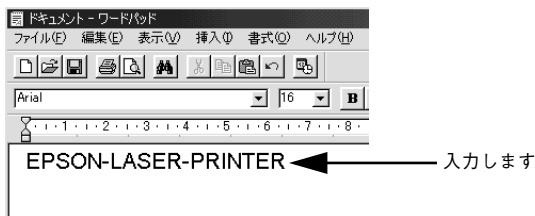
使用しないバーコードフォントは、クリックしてチェックマークを外してください。インストールされません。

7. **インストール終了のダイアログが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**

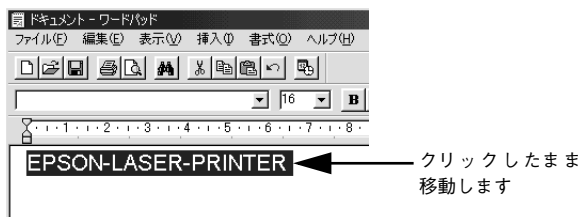
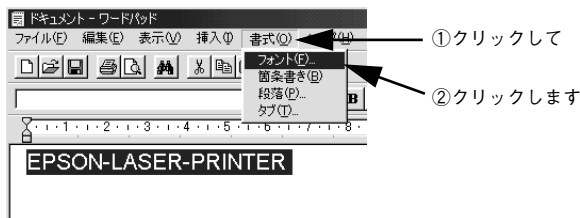
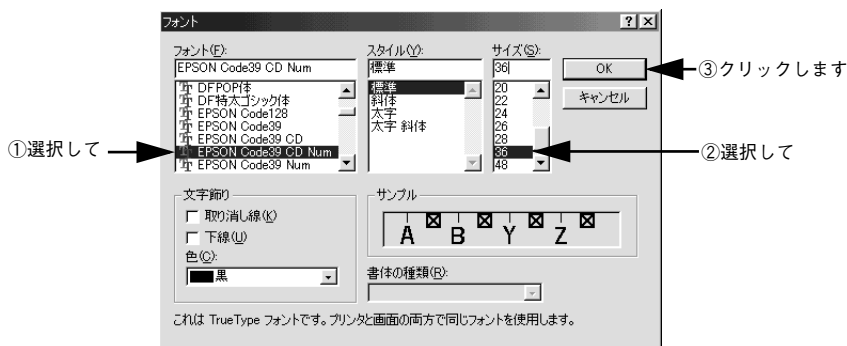
以上でEPSON バーコードフォントが Windows のフォントフォルダにインストールされました。

バーコードの作成

ここでは Windows 95/98/Me に添付のワードパッドを例に、EPSON バーコードフォントの印刷手順を説明します。

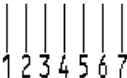
1. ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を入力します。

文字はすべて半角（1Byte）で入力してください。

2. 入力した文字をマウスでドラッグして選択します。

選択した範囲が反転表示になります。

3. ［書式］メニューをクリックし、［フォント］をクリックします。

4 ［フォント］の一覧から印刷したいEPSON バーコードフォントを選択し［サイズ］でフォントのサイズを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

Windows NT4.0/2000/XP では 96pt 以上のフォントサイズは使用できません。

5 入力した文字が、モニタ上で次のようにバーコードフォント表示されていることを確認します。

6 印刷を実行します。

入力したデータがバーコードとして印刷されます。

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバが エラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

各バーコードの概要

各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細 / 構成などについては、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

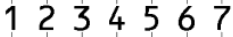
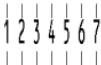
JAN-8（JAN 短縮バージョン）			
• JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。 • EPSON バーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 7 桁です。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 〜 9）		
入力するキャラクタの桁数	7 桁		
キャラクタのサイズ	52 〜 130pt（Windows NT/2000/XP は96pt まで） 保証サイズは 52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー • チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 に変換	印刷
	1234567	1234567	1234 5670

JAN-8 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）			
• JAN-8 ShortはJAN-8のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので､それ以外はJAN-8と同じ仕様です。 • バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。 • 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 〜 9）		
入力するキャラクタの桁数	7 桁		
キャラクタのサイズ	36 〜90pt 保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー • チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 Short に変換	印刷
	1234567	1234567	1234 5670

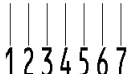
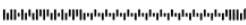
JAN-13（標準バージョン）			
● JAN-13 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の標準バージョン（13 桁）です。 ● EPSON バーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 12 桁です。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 〜 9）		
入力するキャラクタの桁数	12 桁		
キャラクタのサイズ	60 〜 150pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ● レフト / ライトマージン　● レフト / ライトガードバー ● チェックキャラクタ　● OCR-B　● センターバー			
印刷例	入力時	EPSON JAN-13 に変換	印刷
	123456789012	123456789012	1 234567 890128

JAN-13 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）			
● JAN-13 ShortはJAN-13のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-13と同じ仕様です。 ● バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。 ● 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 〜 9）		
入力するキャラクタの桁数	12 桁		
キャラクタのサイズ	36 〜 90pt 保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ● レフト / ライトマージン　● レフト / ライトガードバー ● チェックキャラクタ　● OCR-B　● センターバー			
印刷例	入力時	EPSON JAN-13 Short に変換	印刷
	123456789012	123456789012	1 234567 890128

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-A</th></tr>
<tr><td colspan="4">• UPC-A は、アメリカのUniversal Product Codeで制定されたUPC-AのRegularタイプです。（UPC Symbol Specification Manual）
• Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">11 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 ～ 150pt（Windows NT/2000/XP は96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックデジット　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-A に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>12345678901</td><td>12345678901</td><td>1 23456 78901 2</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-E</th></tr>
<tr><td colspan="4">• UPC-E は、アメリカのUniversal Product Code で制定された UPC-A のZero Suppression（余分な 0 を削除）タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">6 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 ～ 150pt（Windows NT/2000/XP は96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• OCR-B　• チェックデジット　• ナンバーシステム「0」のみ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-E に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456</td><td>123456</td><td>0 123456 5</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code39</th></tr>
<tr><td colspan="4">

- Code39 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
- EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントはCode39 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
- スペースを“_”（アンダーライン）に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“_”（アンダーライン）を入力してください。
- 1 行に2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間はTAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">英数字（A ～ Z、0 ～9）
記号（－ ． スペース ＄ ／ ＋ ％）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
● 左 / 右クワイエットゾーン ● スタート / ストップキャラクタ ● チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code39 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON Code39 CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>1 2 3 4 5 6 7 S</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code128</th></tr>
<tr><td colspan="4">

- Code128 は「JIS X 0504」として規格化されたものです。
- EPSON バーコードフォントはコードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Code128 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
- アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
- 1 行に 2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">全ての ASCII 文字（95 文字）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">26 〜 104pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン
• スタート / ストップキャラクタ
• コードセットの変更キャラクタ
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code128 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Interleaved 2of5</th></tr>
<tr><td colspan="4">
・Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。（USS Interleaved 2-of-5）
・EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。
・入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Interleaved 2of5 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
・Interleaved 2of5 は、キャラクタを 2 個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。
</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B の有無により異なります。（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
・左 / 右クワイエットゾーン　・スタート / ストップキャラクタ　・チェックデジット
・文字列先頭への 0 の挿入（合計文字数が偶数でない場合のみ）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON ITF に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON ITF CD Num に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>12345670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">NW-7（CODABAR）</th></tr>
<tr><td colspan="4">

- NW-7 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
- EPSONバーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントはNW-7 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
- スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSONバーコードフォントは残りのスタート / ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。
- スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的に A を挿入します。

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）、記号（－　＄　：　／　．　＋）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B の有無により異なります。（Windows NT/2000/XPは 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。

- 左 / 右クワイエットゾーン
- スタート / ストップキャラクタ（入力しない場合）
- チェックデジット

</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON NW-7 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON NW-7CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>A 1 2 3 4 5 6 7 4 A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">新郵便番号（カスタマ・バーコード）</th></tr>
<tr><td colspan="4">
• バーコードの詳細については、郵政省より発行の資料を参照してください。
• EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3 桁）ー新郵便番号（4 桁）ー住所表示番号（バーコードに変換後 13 桁まで）入力します。
• 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが､バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たない場合は、13 桁になるように末尾にコードを挿入します。
• アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。
</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 〜 9）、英文字（A 〜 Z）、記号（ー）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後
13 桁を超える桁数の文字は省略されます。</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">8 〜 11.5pt
保証サイズは 8pt、9pt、10pt、11.5pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• バーコードの上下左右 2mm の空白
• 入力時のー（ハイフン）の削除
• スタート / ストップコード
• 住所表示番号の 13 桁調整
• チェックデジット
</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON J-Postal Code に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123-4567</td><td>1 2 3 ー 4 5 6 7</td><td></td></tr>
</table>

TrueType フォントのインストール方法

ここでは、本機に添付の TrueType フォントのインストール方法を説明します。本機に添付のEPSON プリンタソフトウェア CD-ROM にはEPSON TrueType フォントが収録されています。TrueType フォントをインストールすることにより、アプリケーションソフトの書体に追加され、ポップやビジネス文書に表現力豊かな書類を作成することができます。

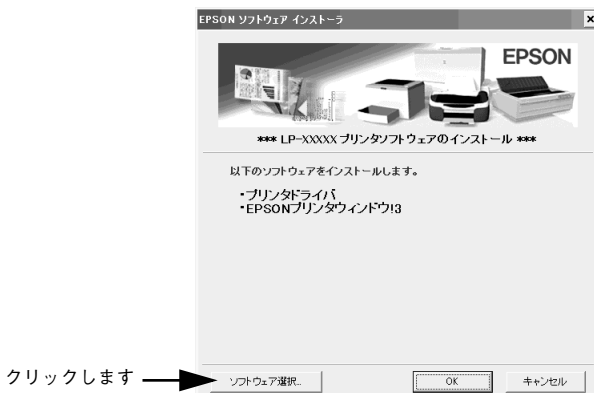
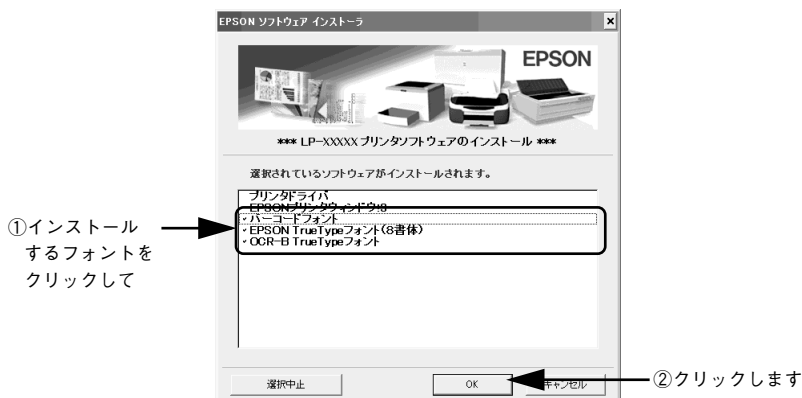
EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B 規格で規定されている文字以外のものも含まれています。OCR-B フォントとして読み取り用に使用される際は、トナー状況や用紙の種類によって読み取れない場合がありますので、事前に読み取り機で読み取れることを確認してからお使いください。

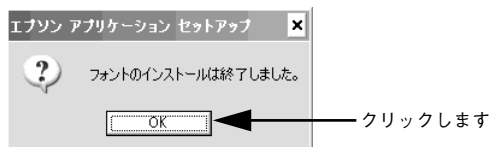
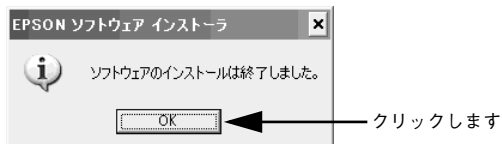
Windows でのインストール

1. Windowsを起動してから、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2. 次の画面が表示されたら、［ソフトウェアのインストール］をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

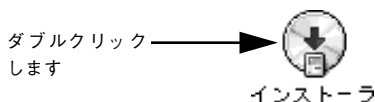
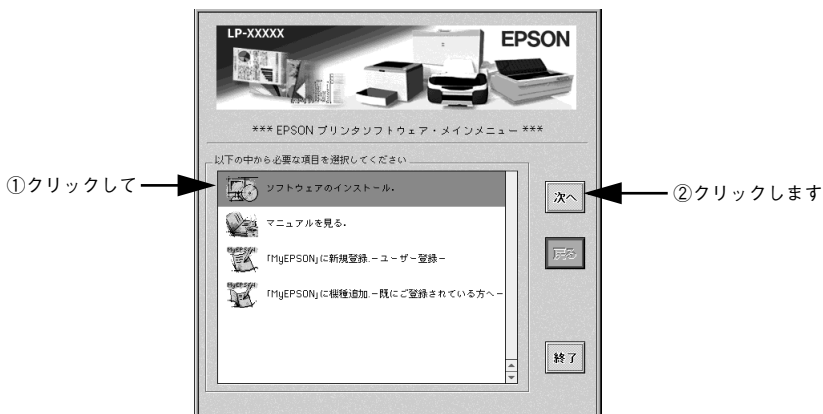
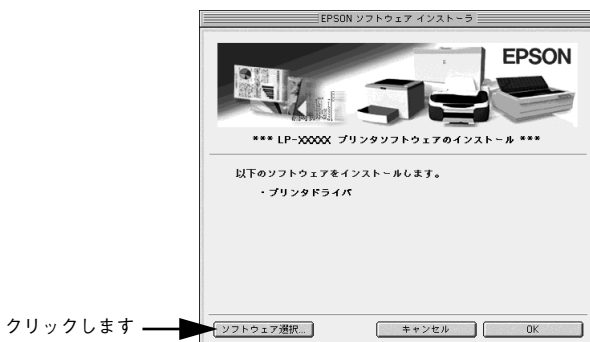
上の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］―［CD-ROM］―［setup.exe］をダブルクリックしてください。

3 ［ソフトウェア選択］ボタンをクリックします。

4 次の画面が表示されたら、インストールするフォントをクリックして［OK］ボタンをクリックします。

5 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

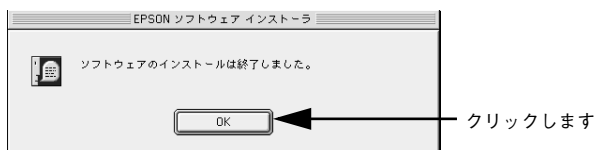
6 次の画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

7 次の画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

以上でTrueTypeフォントがWindowsのフォントフォルダにインストールされました。

Macintosh でのインストール

1. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh にセットします。

2. ［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。

3. 次の画面が表示されたら、［ソフトウェアのインストール］をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

4. ［ソフトウェア選択］ボタンをクリックします。

5 次の画面が表示されたら、［EPSON TrueType フォント（8 書体）のインストール］をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

6 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

7 次の画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

以上でフォントのインストールは終了です。

オプションと消耗品について

ここでは、オプションと消耗品の紹介と装着方法について説明します。

● オプションと消耗品の紹介 285
● 通信販売のご案内 291
● 増設メモリ /ROM モジュール /HDD の取り付け 292
● インターフェイスカードの取り付け........................ 298
● 両面印刷ユニットの取り付け 301
● 増設カセットユニットの取り付け.......................... 307
● LP-9500CZ をお使いのお客様へ 322
● オプション装着時の設定（Windows）.................... 323

オプションと消耗品の紹介

本機で使用可能なオプション（別売品）と消耗品の紹介をします。以下の記載内容は2002 年 10 月現在のものです。

パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェイスケーブルは、以下の通りです。

	メーカー	機　種	接続ケーブル	備考
DOS/V 系	EPSON、IBM、富士通、東芝、他各社	DOS/V 仕様機	PRCB4N	−
	NEC	PC-98NX シリーズ		
PC98 系	EPSON	EPSON PC シリーズデスクトップ	#8238	*1 *2
		EPSON PC シリーズ NOTE	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	*1 *2
	NEC	PC-9821 シリーズ（ハーフピッチ 36 ピン）	PRCB5N	*1
		PC-9801 シリーズデスクトップ（14 ピン）	#8238	*1 *2 *3
		PC-9801 シリーズ NOTE（ハーフピッチ 20 ピン）	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	*1 *2 *3

*1 拡張漢字（表示専用 7921 〜 7C7E）は印刷できません。
*2 Windows 95/98/Me の双方向通信機能および EPSON プリンタウィンドウ !3 は、コンピュータの機能制限により対応できません。
*3 ハーフピッチ 36 ピンのコンピュータには PRCB5N をご使用ください。

ポイント

- NEC PC-98LT/DO シリーズとは接続できません。
- NEC PC-9801LV/LX/LS/N シリーズは NEC 製の専用ケーブルを使用してください。
- 富士通 FM/R、FM TOWNS は富士通製の専用ケーブルを使用してください。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。
- ECP モード対応コンピュータを ECP モードで接続する場合、PRCB4N をご使用ください。

接続方法については以下のページを参照してください。
☞ スタートアップガイド（紙マニュアル）20 ページ「パラレルインターフェイスケーブルの接続」

USB インターフェイスケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、以下のオプションのケーブルを使用してください。

● EPSON USB ケーブル（型番：USBCB2）

ポイント

USB ハブ（HUB：複数のコンピュータをネットワーク環境へ接続するための中継機）を使用して接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してご使用いただくことをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、そのような場合はコンピュータの USB ポートに直接接続してください。

接続方法については以下のページを参照してください。

スタートアップガイド（紙マニュアル）20 ページ「USB インターフェイスケーブルの接続」

インターフェイスカード

プリンタに標準装備されていないインターフェイスを使用したい場合や、インターフェイスを増設したい場合に使用します。設定などについてはそれぞれのカードの取扱説明書を参照してください。

型番	名称	解説
PRIF4	シリアル I/F カード （バッファ：32KB）	本機をシリアルで接続するためのオプションです。
PRIF5E	IEEE1284 双方向パラレル I/F カード	本機に IEEE1284 規格準拠の双方向パラレルインターフェイスをもう 1 つ増設するためのオプションです。
PRIF13	IBM5577 プリンタエミュレーションカード	本機に装着することで、IBM5577-H02 プリンタのエミュレーションを実現するオプションです。
PRIFNW3S	100BASE-TX/10BASE-T マルチプロトコル Ethernet I/F カード	IPX/SPX 、TCP/IP 、AppleTalk 、NetBEUI に対応しています。本機を Ethernet 接続するためには、以下のいずれかのケーブルが必要です。 • Ethernet 100BASE-TX シールドツイストペアケーブル（カテゴリー5） • Ethernet 10BASE-T ツイストペアケーブル
PRIF14	IEEE1394 対応 I/F カード	本機に IEEE-1394 規格（FireWire）のインターフェイスを増設するためのオプションです。

取り付け方法については以下のページを参照してください。

本書 298 ページ「インターフェイスカードの取り付け」

両面印刷ユニット

用紙の両面に自動的に印刷するための装置です。
取り付け方法および使用方法は以下のページを参照してください。
☞ 本書 301 ページ「両面印刷ユニットの取り付け」
☞ 本書 30 ページ「両面印刷ユニット（オプション）について」

型　番	商品名	備　考
LPA3CRU1	両面印刷 ユニット	使用できる用紙 ● 用紙種類：普通紙、EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙 / コート紙 ● サイズ：A3、A4、B4、B5、A5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、Executive（EXE）、F4 ● 用紙厚：64 ～ 105g/ ㎡

増設カセットユニット

用紙カセットが 1 段装備されたユニットです。MP カセットの下に最大 3 段 [*1] まで装着することができます。これにより、標準搭載されている MP カセットを含めて最大で 4 段にすることができます。

[*1] LP-9500CZ には、増設カセットユニット 1 段が標準装備されています。

型　番	商品名	備　考
LPA3CZ1CU1	増設カセットユニット	使用できる用紙サイズ： A3、A4、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4

増設メモリ

市販の DIMM を使用して、プリンタの内部メモリを増設できます。メモリの増設は、以下のような場合に効果的です。

- 複雑な印刷データを高解像度で印刷できます。
- コンピュータを印刷処理から早く解放したり、アウトラインフォント使用時の処理を高速化できます。
  使用できるメモリの詳細についてはエプソン販売のホームページをご覧ください。
  http://www.i-love-epson.co.jp/

DRAM タイプ	SDRAM（シンクロナス DRAM）PC100 または PC133 仕様 CL=2
容量	64MB、128MB、256MB、512MB
形状	168 ピン DIMM（デュアルインラインパッケージ）
データバス幅	64bit
SPD	あり

取り付け方法については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 292 ページ「増設メモリ /ROM モジュール /HDD の取り付け」

フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）

フォームオーバーレイとは、フォーム（書式）とデータを個々に作成し、両者を重ね合わせて印刷することを指します。フォームとデータを同時に印刷するため、フォームが印刷済みの用紙を用意しなくても帳票などを印刷できます。
フォームオーバーレイユーティリティソフトは、フォームデータを作成、登録するためのユーティリティです。作成したフォームデータを使用しての印刷は Windows プリンタドライバ上で行います。

型　番	商品名
EPFORM4	EPSON Form!4（Windows 上で使用可能）

フォームオーバーレイ ROM モジュール

オプションのフォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）で作成したフォームデータ（書式のデータ）を登録するための ROM モジュールです。フォームオーバーレイ ROM モジュールに登録したフォームデータは、Windows プリンタドライバ上および DOS アプリケーションソフト上で呼び出して使用できます。

型　番	商品名
LPFOLR4M2	フォームオーバーレイ ROM モジュール（4MB）

取り付け方法については以下のページを参照してください。
本書 292 ページ「増設メモリ /ROM モジュール /HDD の取り付け」

ハードディスクユニット

プリンタフォントをインストールして使用したり、データサイズが大きなデータを印刷したりすることができます。

型　番	商品名
LPHD4	ハードディスクユニット

取り付け方法については以下のページを参照してください。
本書 292 ページ「増設メモリ /ROM モジュール /HDD の取り付け」

専用プリンタ台

本プリンタ専用のキャスター付きプリンタ台です。

型　番	商品名
CSCBN8B	LP-9500C/LP-9500CZ 専用プリンタ台（キャスター付き）

取り付け方法などについては専用プリンタ台に添付の取扱説明書を参照してください。

ET カートリッジ

ET カートリッジは、トナーの色によって 4 種類あります。

型　番	商品名	寿　命
LPCA3ETC3C	ET カートリッジ（シアン）	各色約 7,500 ページ（A4、画占率 5%）
LPCA3ETC3M	ET カートリッジ（マゼンタ）	
LPCA3ETC3Y	ET カートリッジ（イエロー）	
LPCA3ETC3K	ET カートリッジ（ブラック）	

各色約 7,500 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の印刷を行った場合 [*1]）まで印刷できます。ただし、使用状況（電源オン／オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷[*2]）、プリンタドライバの設定[*3] によりトナー消費量は異なります。

*1　最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合もあります。

*2　間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。間欠印刷時には寿命が半分以下になることがあります。

*3　プリンタドライバの設定については、以下のページを参照してください。

本書 400 ページ「感光体とトナーの寿命を延ばしたいときは」

詳細については以下のページを参照してください。

本書 337 ページ「ET カートリッジの交換」

廃トナーボックス

廃トナーボックスは、印刷時に出る余分なトナーを回収するボックスです。

型　番	商品名	寿　命	
LPCA3HTB2	廃トナーボックス（2 本セット）	カラー印刷（全色使用時 / 間欠印刷[*1]）	約 7,000 ページ（約 3,500 ページ× 2）
		モノクロ印刷（間欠印刷[*1]）	約 28,000 ページ（約 14,000 ページ× 2）

カラー印刷時は約 3,500 ページ（1 本）、モノクロ印刷時は約 14,000 ページ（1 本）まで印刷できます（A4 サイズの紙に面積比で各色約 5% の印刷を行った場合[*2]）。
ただし、使用状況（電源オン／オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷 [*1]）により廃トナーの回収状況は異なります。

*1　間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

*2　最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でもページ数は、増減します。

詳細については以下のページを参照してください。

本書 344 ページ「廃トナーボックスの交換手順」

感光体ユニット

感光体ユニットは、感光体に電荷を与えて印刷する画像を作る装置です。感光体（青い円筒部分）、感光体クリーナ、帯電ロール、廃トナーボックスで構成されています。本機で使用可能な感光体ユニットは以下の通りです。
また、感光体ユニットの交換時は、同じ色のETカートリッジも合わせて交換する必要があるため、以下の感光体ユニットには同色のET カートリッジが 1 本同梱されています。

型番	商品名	寿 命
LPCA3KUT4C	感光体ユニット（シアン）	各色約26,000 ページ
LPCA3KUT4M	感光体ユニット（マゼンタ）	
LPCA3KUT4Y	感光体ユニット（イエロー）	
LPCA3KUT4K	感光体ユニット（ブラック）	

各色約 26,000 ページまで使用できます。ただし、使用状況（電源オン／オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷*1）、プリンタドライバの設定*2 により実際の寿命は異なります。

*1 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。間欠印刷時には寿命が半分以下になることがあります。

*2 プリンタドライバの設定については、以下のページを参照してください。

本書400 ページ「感光体とトナーの寿命を延ばしたいときは」

詳細については以下のページを参照してください。

本書 327 ページ「感光体ユニットの交換」

リファレンスマニュアル

プリンタ制御コマンドの説明書です。ESC/Page または ESC/P コントロールコードを使用してプログラムを作成する方を対象としています。

商品名	機種固有情報について
ESC/Page リファレンスマニュアルー第4 版ー	ESC/Page リファレンスマニュアルの情報にはすべての機種に共通な情報と機種固有の情報があります。本機の機種固有情報につきましては、LP-9200 の項目をご覧ください。
ESC/P リファレンスマニュアルー第2 版ー	本機は ESC/P J84 に分類されます。

上記マニュアルにつきましてはエプソン OA サプライ（株）にてお取り扱いをしています。エプソン OA サプライ（株）のお問い合わせ先は、スタートアップガイド（紙マニュアル）の巻末をご覧ください。

通信販売のご案内

EPSON製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンOAサプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ：http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号：0120－251－528（フリーダイヤル）
	受付時間：月～金曜日　AM9:00～PM6:15 土曜日　AM9:00～PM5:00 （祝祭日、弊社指定休日を除く）

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日配送	当日PM4:30までのご注文受付分は、即日配送手配いたします（在庫分のみ）。
お届け予定日	本州・四国…翌日
	北海道・九州…翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払いください。
クレジットカード	お取扱いカード：UC、JCB、VISA、Master、NICOS
コンビニエンスストア振込（前払い）	ご注文承り後、注文明細入り見積書と請求書、振込用紙をお送りいたします。請求書到着後、2週間以内にお振り込みください。ご入金確認後、商品を発送させていただきます。利用可能なコンビニエンスストアなどの詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前にご審査、ご登録が必要になります。下記にご連絡ください。
	電話番号：0120－251－528（フリーダイヤル）

送料

お買い上げ金額の合計が4,500円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。4,500円未満（消費税別）の場合は、全国一律500円（消費税別）です。

消耗品カタログの送付

プリンタ消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの配送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。

増設メモリ /ROM モジュール /HDD の取り付け

取り付け手順

ここでは、増設メモリ /ROM モジュール /HDD（ハードディスクユニット）を取り付ける方法について説明します。取り付けできるオプションは以下の通りです（2002 年 10 月現在）。

オプション名	型番
増設メモリ	市販品*
フォームオーバーレイ ROM モジュール	LPFOLR4M2
ハードディスクユニット	LPHD4

*　増設できるメモリ（DIMM）の仕様は以下の通り

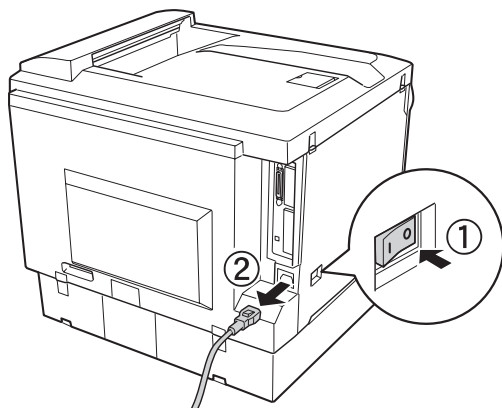
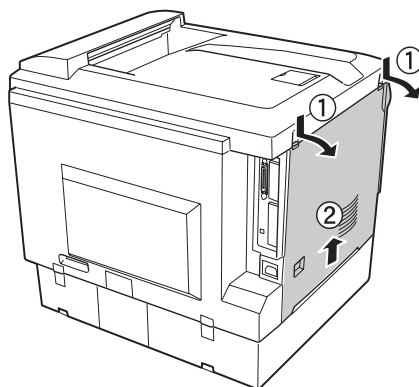
DRAM タイプ	SDRAM（シンクロナス DRAM）PC100 または PC133 仕様　CL=2
容量	64MB、128MB、256MB、512MB
形状	168 ピン DIMM（デュアルインラインパッケージ）
データバス幅	64bit
SPD	あり

取り付けは以下の手順に従って行ってください。HDD の取り付け作業にはプラスドライバが必要です。

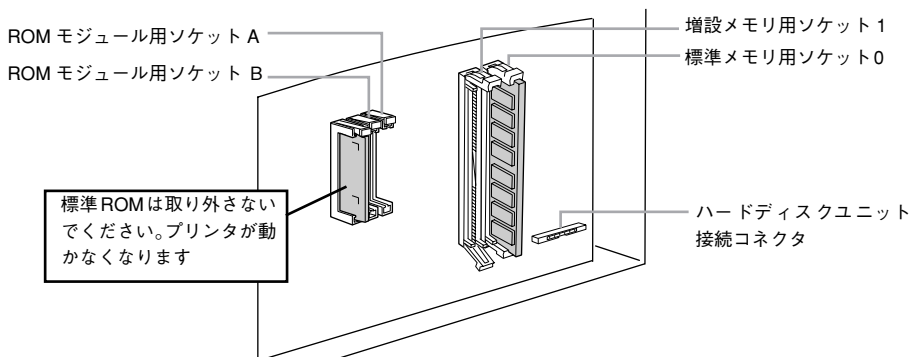
⚠警告　指示されている以外の分解はしないでください。けがや感電、火傷の原因となります。

⚠注意　オプションの装着は電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

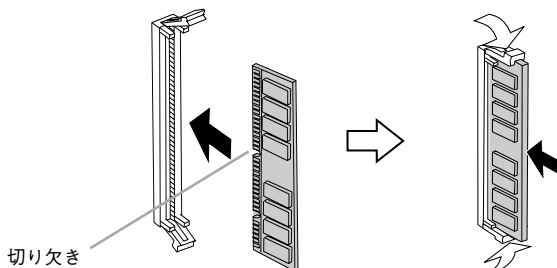
1. プリンタの電源をオフにし、電源ケーブルを取り外します。

2. 左カバーを取り外します。

> ⚠注意　左カバーを開けたときは、基板上の注意シールの貼ってある部分に手を触れないでください。基板上は高温になっている部分があるため、火傷のおそれがあります。

3 プリンタ本体内の増設メモリ用ソケット、ROM モジュール用ソケット、ハードディスクユニット接続コネクタの位置を確認します。

標準メモリ用ソケット 0 に装着されているメモリ（64MB）は大容量のものと交換することができます。ただし、ソケット0には必ずメモリを取り付けておいてください。プリンタが動作しなくなります。

4 次の手順で増設メモリ、ROM モジュール、ハードディスクユニットを取り付けます。

- 取り付ける際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 取り付ける方向を逆にしないように注意してください。

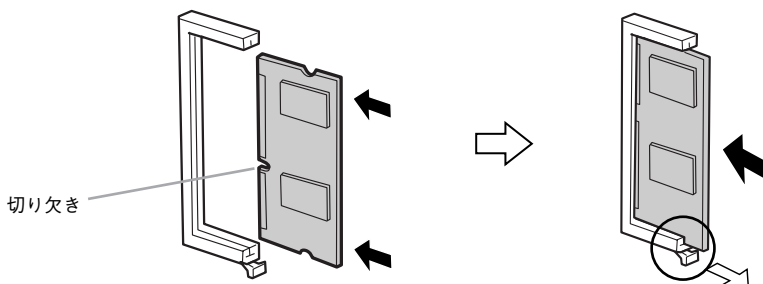
増設メモリを装着する場合：

どのソケットから装着してもかまいません。また、1枚のみの装着でもかまいません。ただし、ソケット0には必ずメモリを装着してください。
増設メモリの切り欠きの位置をソケットに合わせ、図のようにまっすぐにソケットに差し込みます。正しく差し込まれると、ソケット上下のツメで固定されます。

メモリを無理に押し込まないでください。スロットとメモリの取り付け方向を確認して、メモリが破損しないように、ゆっくりとスロットに押し込んでください。

ROM モジュールを装着する場合

ポイント

フォームオーバーレイ ROM モジュールにフォームを登録する場合は、ソケットAに装着します。登録したフォームを利用するには、ソケットAまたはBどちらに装着してもかまいません。

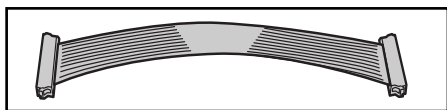
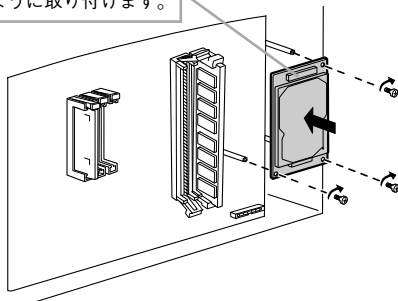
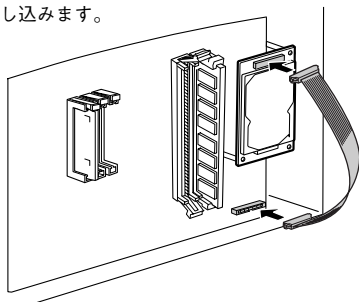
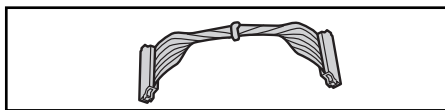
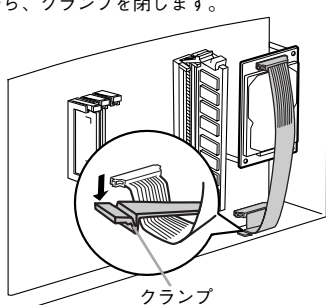
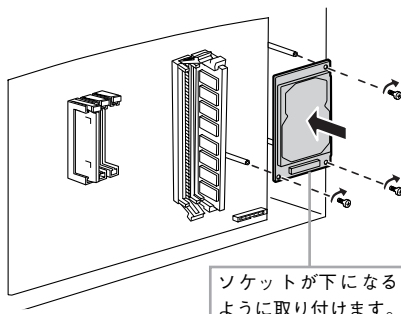
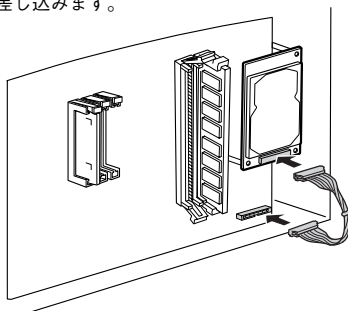
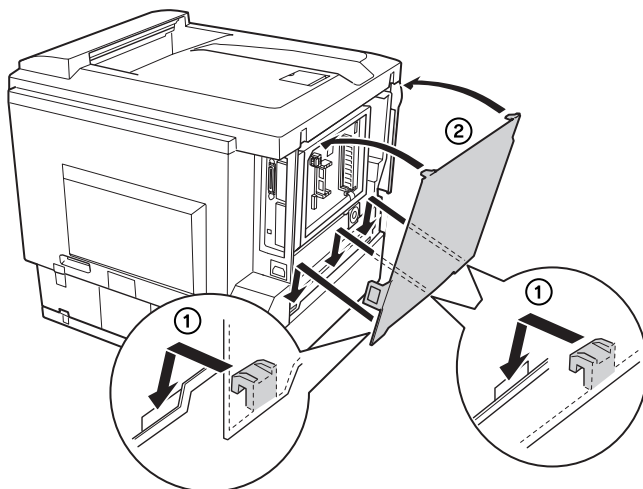
ROM モジュールの切り欠きの位置をソケットに合わせ、図のようにまっすぐソケットに差し込みます。正しく装着されると、ソケット上部のツメがROM モジュールの切り欠きにかみ合い、ソケット端の○印の部分が飛び出した状態になり、ROM モジュールが固定されます。

注 意

ROM モジュールを無理に押し込まないでください。スロットと ROM モジュールの取り付け方向を確認して、ROM モジュールが破損しないように、ゆっくりとスロットに押し込んでください。

ハードディスクユニットを装着する場合

ハードディスクユニットを取り付ける前に、ハードディスクユニットに以下のものがすべて同梱されていることを確認してください。

- ハードディスクユニット本体
- 接続ケーブル
- ネジ（4本。ただし本機では3本のみ使用）

同梱されている接続ケーブルの形状によって装着手順が異なります。ケーブルの形状を確認して、以下の作業を行ってください。なお、本作業にはプラスドライバが必要です。

①ハードディスクユニットに同梱されている3本のネジでハードディスクユニットを固定します。

②接続ケーブルのコネクタを、ハードディスクユニット上のソケットと基板上のソケットに差し込みます。

③クランプを開け、接続ケーブルを差し込んでから、クランプを閉じます。

①ハードディスクユニットに同梱されている3本のネジでハードディスクユニットを固定します。

②接続ケーブルのコネクタを、ハードディスクユニット上のソケットと基板上のソケットに差し込みます。

5 **左カバーをプリンタに取り付けます。**
左カバー下のツメ（3 箇所）をプリンタ側に引っかけてから取り付けます。

6 **取り外した電源ケーブルを元通りに取り付けます。**

7 **プリンタの［電源］スイッチのオン（ | ）側を押します。**

8 **ステータスシートを印刷して、プリンタが増設メモリ、ROM モジュール、ハードディスクユニットを正しく認識していることを確認します。**
ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく取り付けられているか確認できます。
本書 252 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」
正しく取り付けられているときは、［実装メモリ容量］の項目に標準搭載メモリ 64MB と増設したメモリ容量の合計値が印刷されます。

ポイント

- Windows をお使いの場合は、取り付けたオプション（増設メモリ /HDD）の設定をする必要があります。
  本書 323 ページ「オプション装着時の設定（Windows）」
- 本機は、メモリが効率的に使用されるような設定をプリンタのコントローラが自動的に行っていますので、キャッシュバッファや受信バッファの容量の設定は基本的に不要です。

以上で増設メモリ /ROM モジュール /HDD の取り付けは終了です。

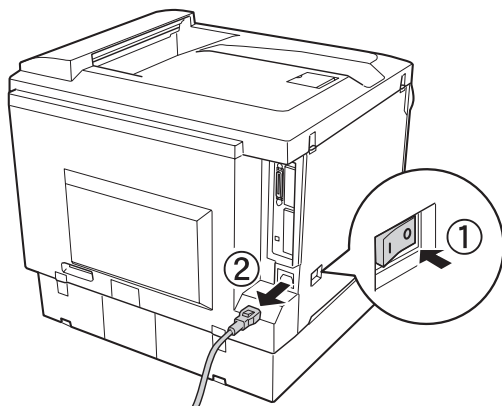
インターフェイスカードの取り付け

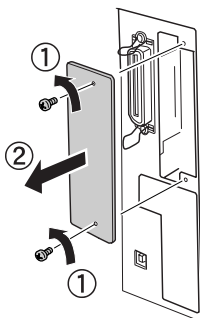
ここでは、インターフェイスカード（型番：PRIFNW3S）を取り付ける方法について説明します。取り付けは以下の手順に従って行ってください。インターフェイスカードを取り付ける前に、インターフェイスカードに添付の取扱説明書を参照して、同梱されているものがすべてそろっていることを確認してください。
取り付け作業にはプラスドライバが必要です。

⚠警告	指示されている以外の分解はしないでください。けがや感電、火傷の原因となります。

⚠注意	オプションの装着は電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

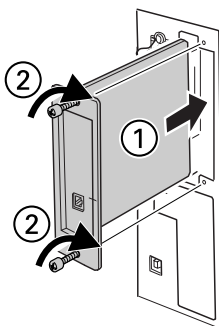
	インターフェイスカードの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

1 プリンタの電源をオフにし、電源ケーブルを取り外します。

2 **プリンタ背面のコネクタカバーを取り外します。**

コネクタカバーはネジ 2 個で固定されていますので、ネジを緩めて取り外します。

取り外したコネクタカバーとネジは、インターフェイス カードを取り外した際に必要となりますので、大切に保管してください。

3 **インターフェイスカードをスロットに差し込み、インターフェイスカードに付属のネジ（2 個）で固定します。**

① インターフェイスカードの上下両側をプリンタ内部の溝に合わせて差し込みます。

② インターフェイス カードのコネクタとプリンタ側のコネクタがしっかりかみ合うまで差し込んでから、ネジを締め付けて固定します。

4 **取り外した電源ケーブルを元通りに取り付けます。**

5 **プリンタの［電源］スイッチのオン（ | ）側を押します。**

6 ステータスシートを印刷して、インターフェイスカードが正しく装着されていることを確認します。

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく取り付けられているか確認できます。

本書 252 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

正しく取り付けられているときは、[インターフェイス]の項目に[I/F カード]と印刷されます。

以上でインターフェイスカードの取り付けは終了です。

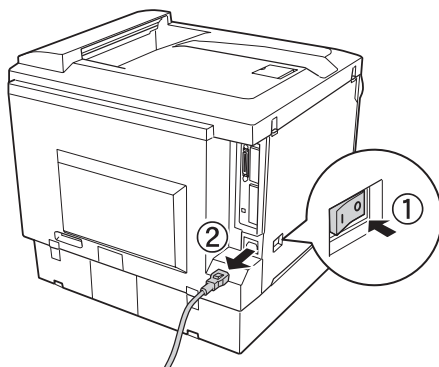
両面印刷ユニットの取り付け

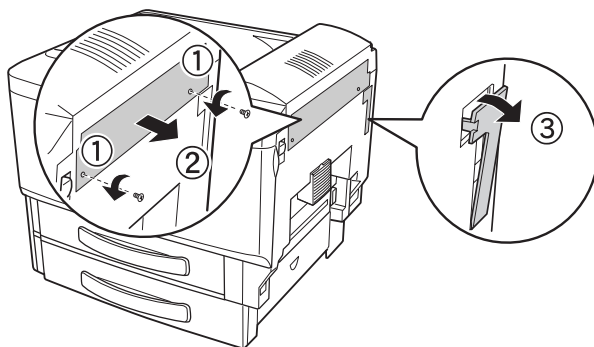
ここでは、本機に両面印刷ユニットを取り付ける方法について説明します。
両面印刷ユニットを取り付ける前に、両面印刷ユニットに以下のものがすべて同梱されていることを確認してください。また、取り付けられている保護材をすべて取り外してください。

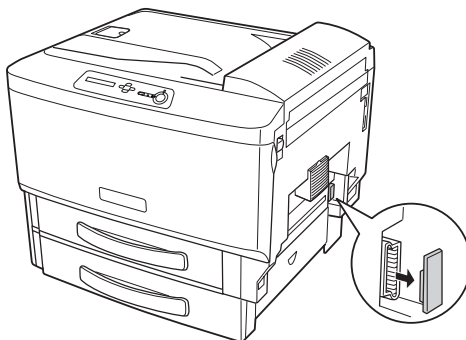
- 両面印刷ユニット本体
- 両面搬送ユニット（DM）
- 両面印刷ユニット取り外し工具
- コネクタカバー

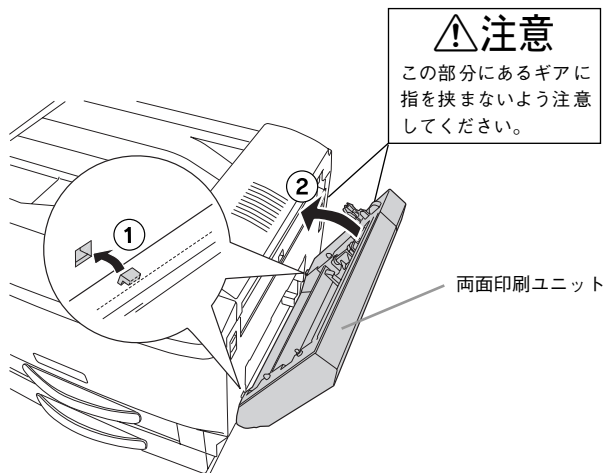
取り付け作業にはプラスドライバが必要です。
取り付けは以下の手順に従って行ってください。

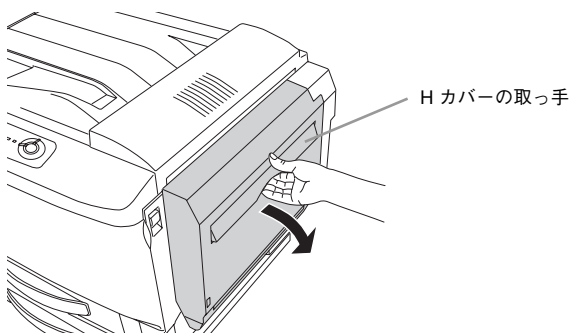
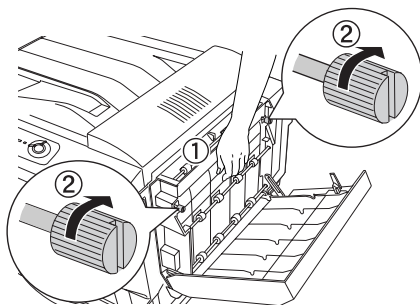
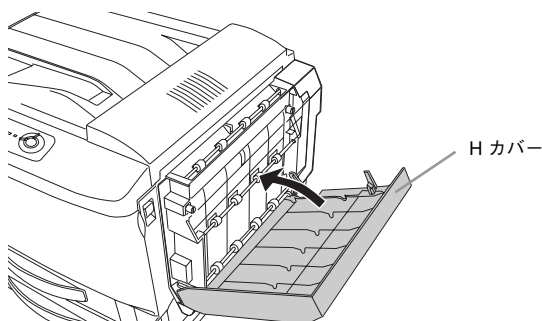
> ⚠注意　オプションの装着は電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

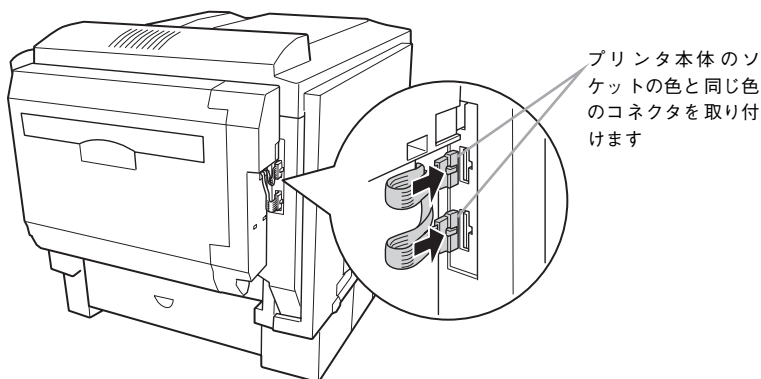
1　プリンタの電源をオフにし、電源ケーブルを取り外します。

⚠注意　両面印刷ユニットの取り付け部分にはギアがあります。保護カバーを取り外した状態でプリンタを使用しないでください。指を挟むなど、けがをするおそれがあります。

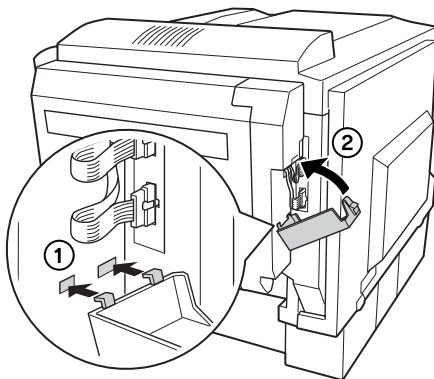
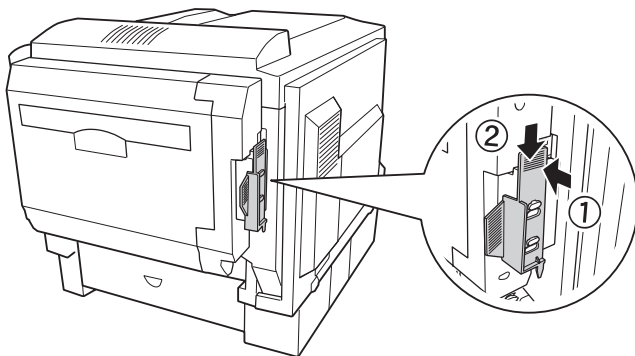
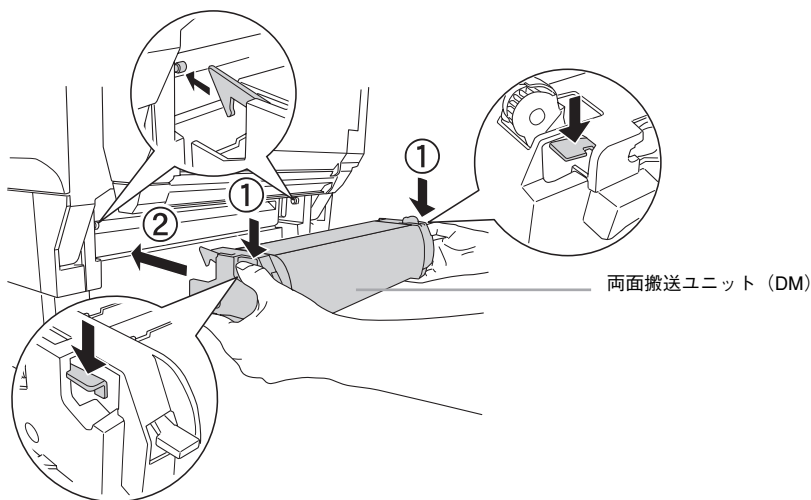
2 プリンタ右側の保護カバー（2 箇所）を取り外します。

保護カバー（2 箇所）が取り外しにくい場合は、A カバーを開けて、保護カバー裏側から押してください。

3 両面搬送ユニット（DM）用のコネクタカバーを取り外します。

4 **両面印刷ユニットをプリンタに取り付けます。**

① 両面印刷ユニット下部のツメ（2 箇所）をプリンタ側の溝に合わせて差し込みます。
② 両面印刷ユニットをプリンタ側にカチッと音がするまで押し込みます。

両面印刷ユニット右側の接続ケーブルを挟まないように注意してください。

5 **両面印刷ユニットのH カバーの取っ手を持ち上げて開けます。**

6 **両面印刷ユニットをプリンタ側に押し付けたまま、ネジ（2 本）で固定します。**

7 **両面印刷ユニットの H カバーを閉じます。**

8 **コネクタ（2本）をプリンタ右側奥のソケットに接続します。**

コネクタは、同じ色のソケットに接続してください。

9 **同梱されているコネクタカバーを両面印刷ユニットに取り付けます。**

① コネクタカバーの下のツメ（2 箇所）を両面印刷ユニット右側の穴に差し込みます。
② コネクタカバー上部を両面印刷ユニットにセットします。

10 **同梱されている両面印刷ユニット取り外し工具をプリンタ本体に取り付けます。**

11 **両面搬送ユニット（DM）左右のレバーを押し下げたまま、プリンタに水平に取り付けます。**

両面搬送ユニット（DM）を取り付けたら、しっかり取り付けられているか、少し上下に揺らして確認してください。

12 **取り外した電源ケーブルを元通りに取り付けてから、プリンタの［電源］スイッチのオン（｜）側を押します。**

13 **ステータスシートを印刷して、両面印刷ユニットを正しく認識していることを確認します。**

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく取り付けられているか確認できます。

本書 252 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

正しく取り付けられているときは、［給紙装置］の項目に［両面ユニット］と印刷されます。

ポイント

Windows をお使いの場合は、取り付けたオプションの設定をする必要があります。

本書 323 ページ「オプション装着時の設定（Windows）」

以上で両面印刷ユニットの取り付けは終了です。

増設カセットユニットの取り付け

取り付けの前に

増設カセットユニットを取り付ける前に、増設カセットユニットに以下のものがすべて同梱されていることを確認してください。また、取り付けられている保護材をすべて取り外してください。

- 増設カセットユニット本体
- 固定板（4 個）
- ネジ（4 個）
- 平コネクタケーブル（1 本）
- 小コネクタケーブル（1 本）
- 小コネクタケーブル用延長ケーブル（1本。2段目、3段目を増設する際に使用します。）

取り付け作業にはプラスドライバが必要です。

⚠警告

- 指示されている以外の分解は行わないでください。けがや感電、火傷の原因となります。
- オプションの取り付けは、電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

⚠注意

- プリンタ本体は、右側の方が左側より重くなっています。プリンタ本体を持ち上げる際に、重さの違いにご注意ください。
- オプションの両面印刷ユニットが装着されている場合は、両面印刷ユニットを取り外してからプリンタを持ち上げてください。
  本書 354 ページ「両面印刷ユニットの取り外し」
- 本機を持ち上げる際は必ず 3 人以上で作業を行ってください。
  本機の重量は、消耗品を含み LP-9500C は約 49kg、LP-9500CZ は約 57kg です。プリンタ本体を持ち上げる場合は、必ずプリンタ右側 / 左側 / 背面にある取っ手（くぼみの部分）に手をかけて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンタの落下によるけがの原因となります。またプリンタ本体に無理な力がかかるため、プリンタの損傷の原因となります。
  本書 349 ページ「プリンタの移動・運搬・長期保管」
- プリンタ本体を持ち上げる場合、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタの破損の原因となります。
- プリンタ本体を移動する場合は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- プリンタ本体をプリンタ台やキャスター（車輪）付きの台などに載せる場合、必ず台を固定してから作業を行ってください。作業中に台が思わぬ方向に動くと、けがやプリンタの損傷の原因となります。

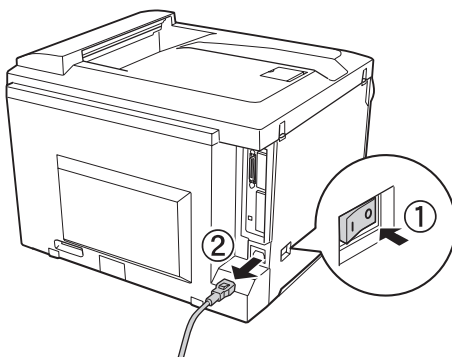
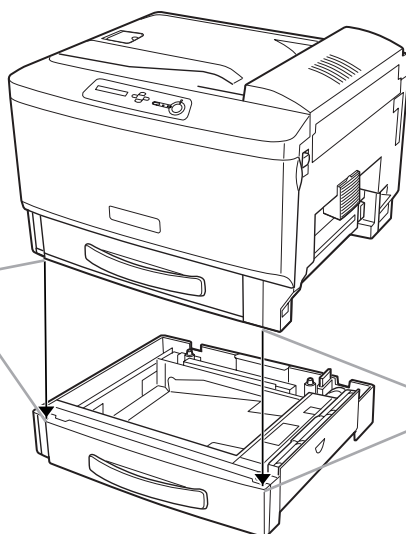
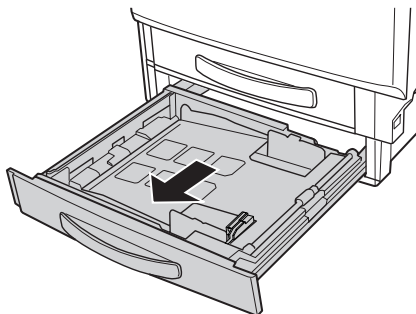
1 段目の増設カセットユニットを取り付ける手順（LP-9500C の場合）

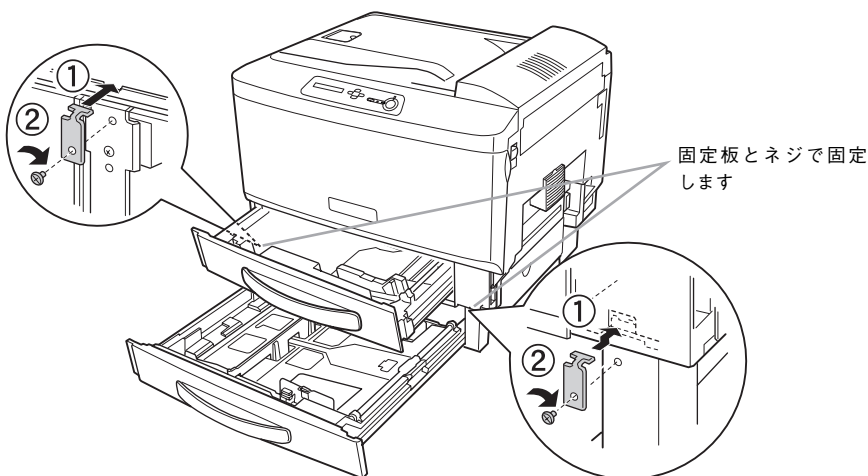
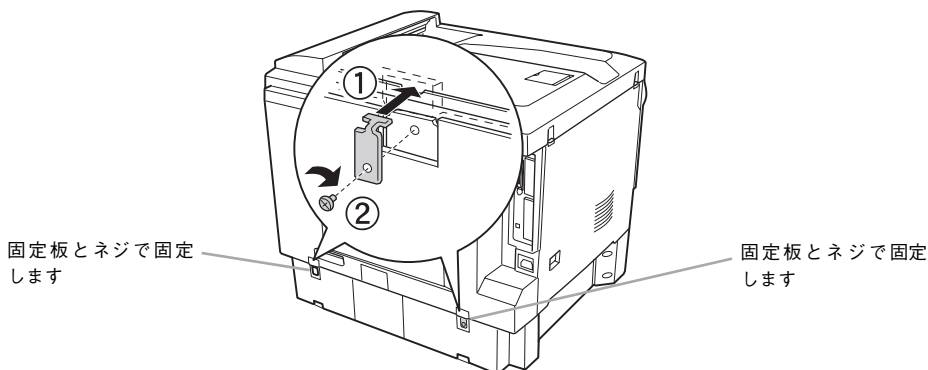
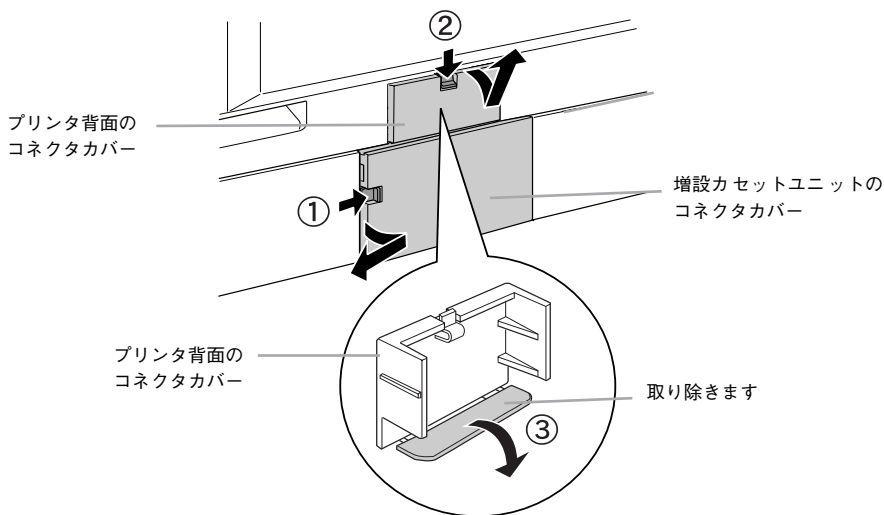
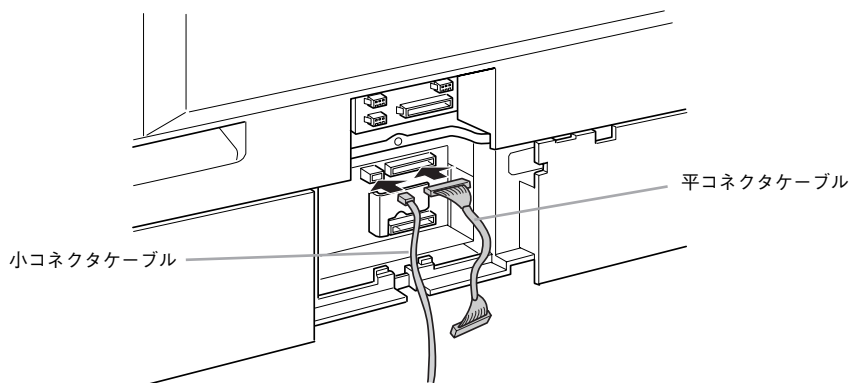
1 段目の増設カセットユニットを装着する手順を説明します。
LP-9500CZ は、標準で 1 段目の増設カセットユニットが装備されています。2 段目 / 3 段目の増設カセットユニットを取り付ける場合は、以下のページを参照してください。

本書 314 ページ「2 段目 /3 段目の増設カセットユニットを取り付ける手順」

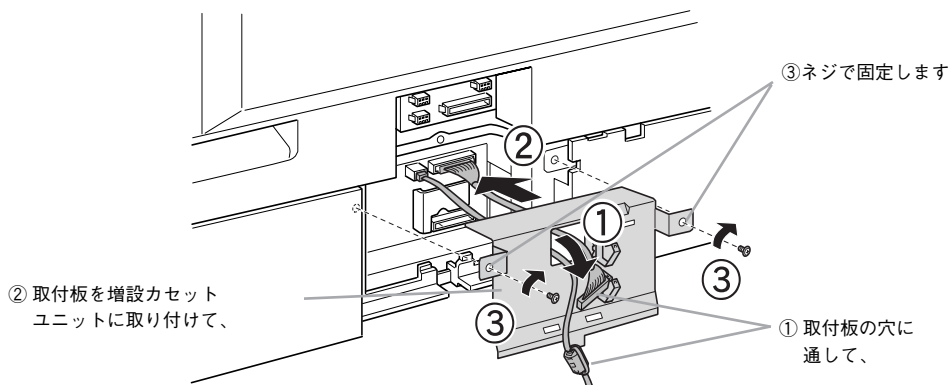
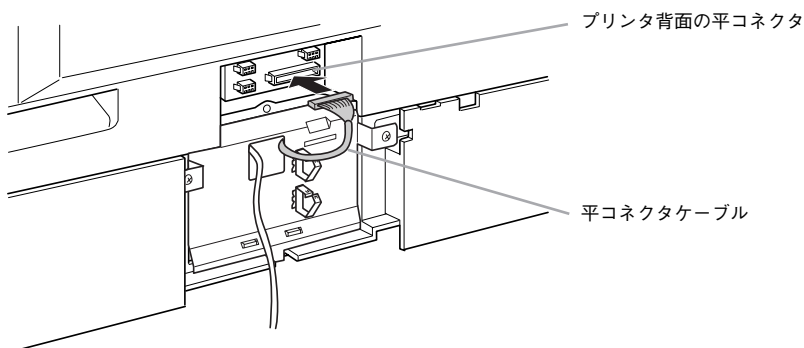
ポイント

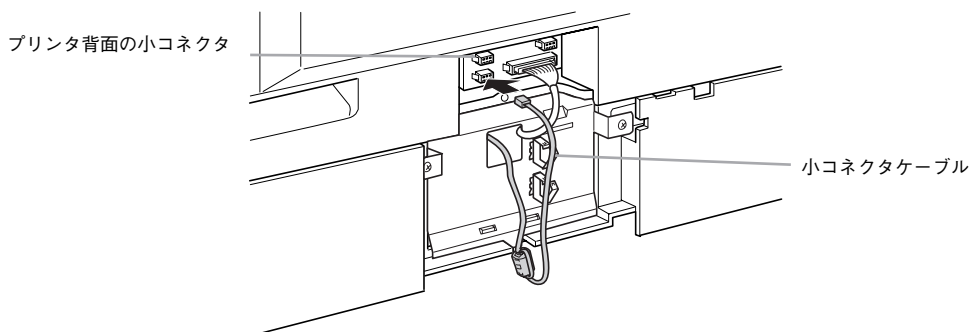
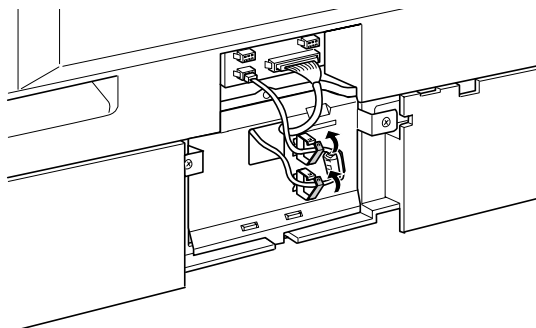
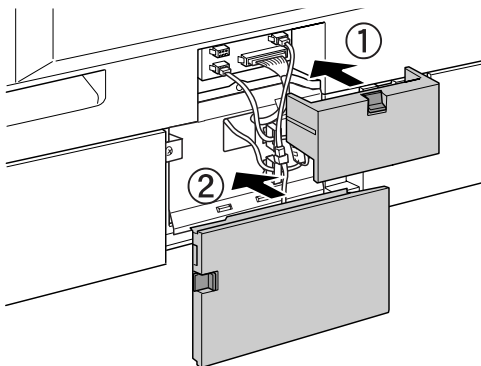
プリンタ台を取り付ける場合は、増設カセットユニットにプリンタ台を取り付けてから以降の作業を行ってください。プリンタ台の取り付け方法については、プリンタ台に添付の取扱説明書をご覧ください。

1. プリンタの電源をオフにし、電源ケーブルを取り外します。

2. 本機を持ち上げて水平に保ち、増設カセットユニットの上にプリンタ本体を置きます。

3 用紙カセットを引き出します。

用紙カセット内の底板の上にある透明のシートは、円滑に紙送りをするための付属品です。取り外さないでください。

4 MP カセットを少し引き出し、プリンタと増設カセットユニットの前面（2箇所）を固定板とネジで固定します。

5 プリンタと増設カセットユニットの背面（2 箇所）を固定板とネジで固定します。

6 ①増設カセットユニットのコネクタカバーを取り外します。
②プリンタ背面のコネクタカバーを取り外します。
③プリンタ背面のコネクタカバー下部を取り除きます。

7 増設カセットユニットのコネクタに、平コネクタケーブルと小コネクタケーブルを接続します。

ポイント

ケーブル両側のコネクタの形状は異なります。増設カセットユニットのコネクタとケーブルのコネクタの形状を確認して、同じ形状のコネクタ同士を接続してください。

8 取り付けた平コネクタケーブルと小コネクタケーブルを取付板の穴に通してから、取付板を1番下の増設カセットユニットに取り付けます。

9 **平コネクタケーブルをプリンタ背面の平コネクタに接続します。**

10 **小コネクタケーブルをプリンタ背面の小コネクタに接続します。**

プリンタ背面には、小コネクタが 3 つあります。空いている小コネクタに接続してください。

11 **小コネクタケーブルをフックで固定します。**

⑫ **プリンタ背面と増設カセットユニットのコネクタカバーを取り付けます。**

ケーブルを挟まないように注意してください。

⑬ **取り外した電源ケーブルを元通りに取り付けます。**

⑭ **プリンタの［電源］スイッチのオン（ | ）側を押します。**

⑮ **ステータスシートを印刷して、増設カセットユニットを正しく認識していることを確認します。**

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく取り付けられているか確認できます。

本書 252 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

正しく取り付けられているときは、［給紙装置］の項目に［カセット 1］（1 段目）が印刷されます。

Windows をお使いの場合は、取り付けたオプションの設定をする必要があります。

本書 323 ページ「オプション装着時の設定（Windows）」

以上で取り付けは終了です。

用紙カセットに用紙をセットする方法は、以下のページを参照してください。

本書 22 ページ「用紙カセットへの用紙のセット」

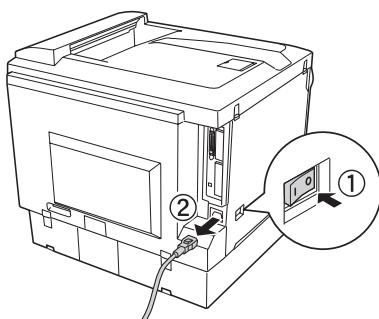
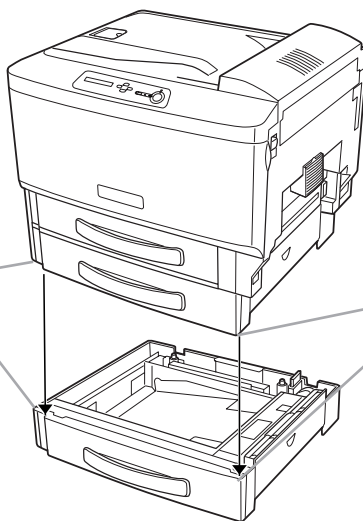
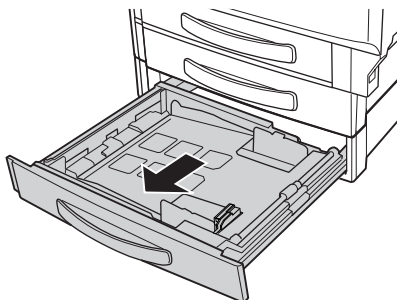
2 段目 /3 段目の増設カセットユニットを取り付ける手順

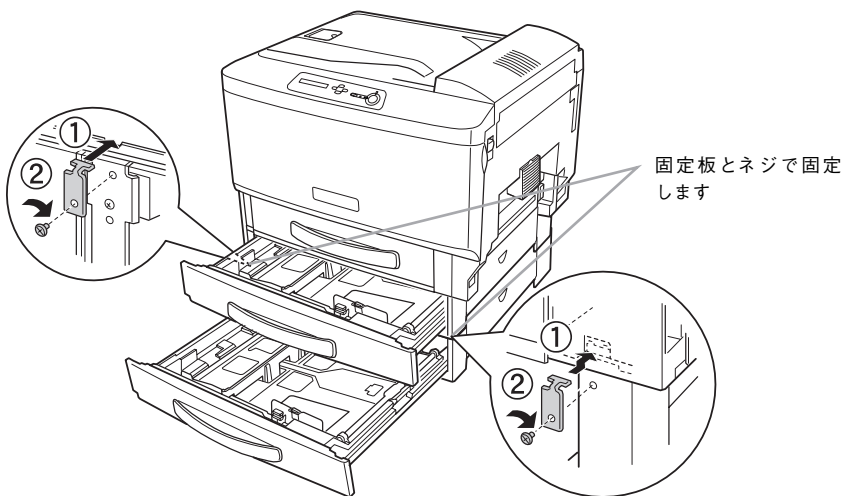
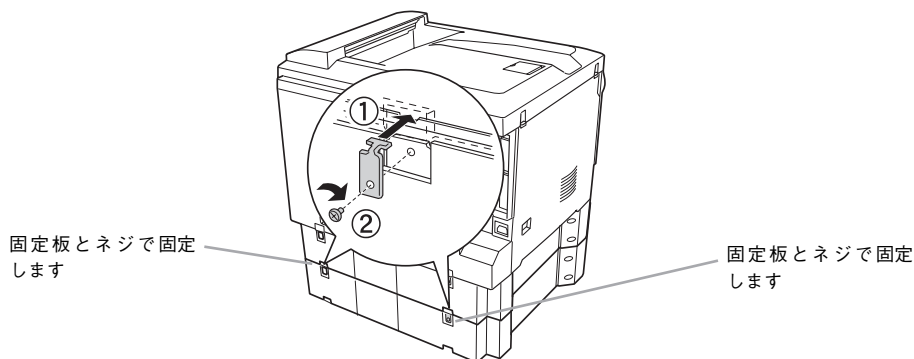
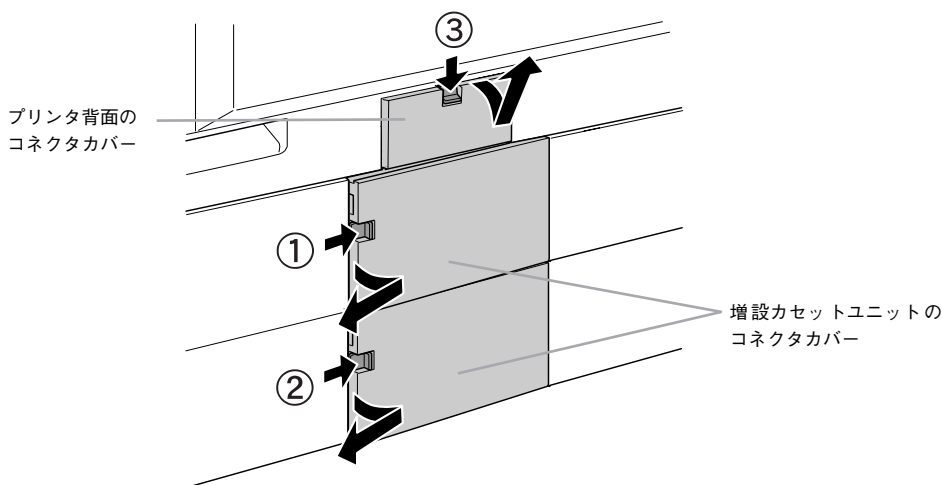
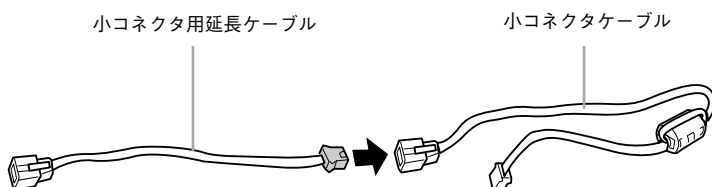
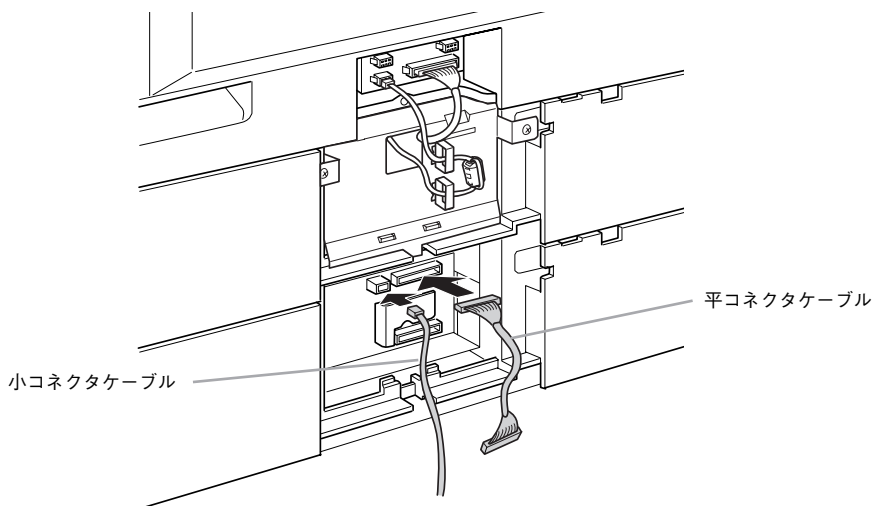
2 段目 /3段目の増設カセットユニットを装着する手順を説明します。
LP-9500C の場合は、増設カセットユニットが装備されていません。LP-9500C に 2 段目 /3 段目の増設カセットユニットを取り付ける場合は、最初に 1 段目の増設カセットユニットを取り付けてから以下の手順を行ってください。以下のページを参照してください。

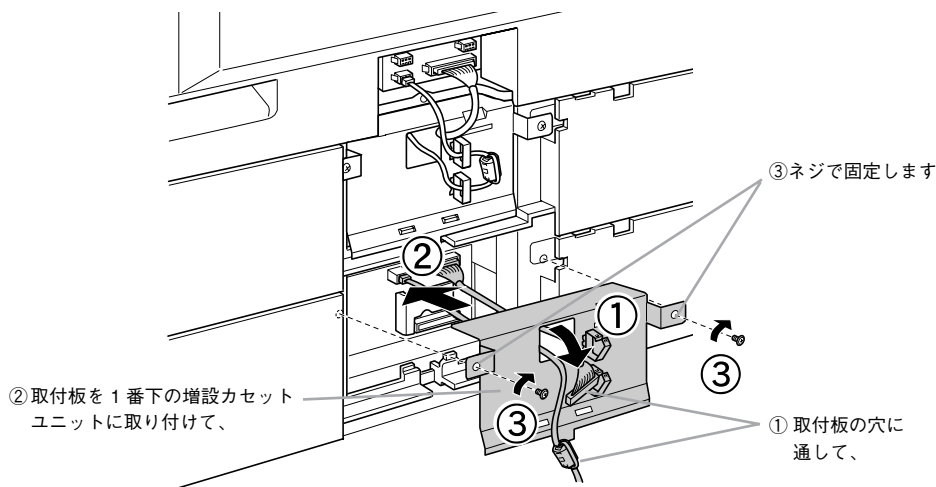
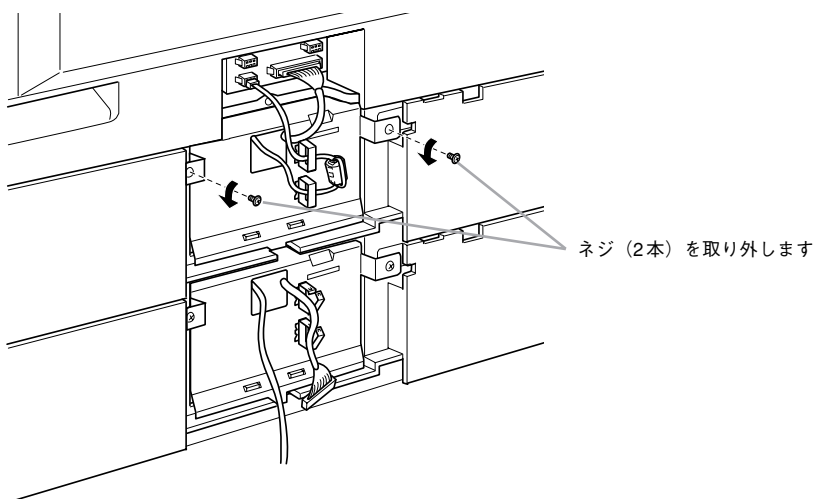
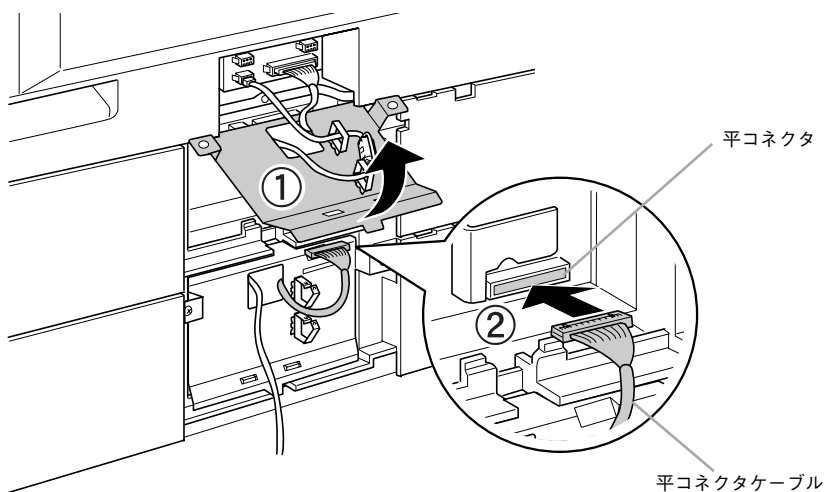
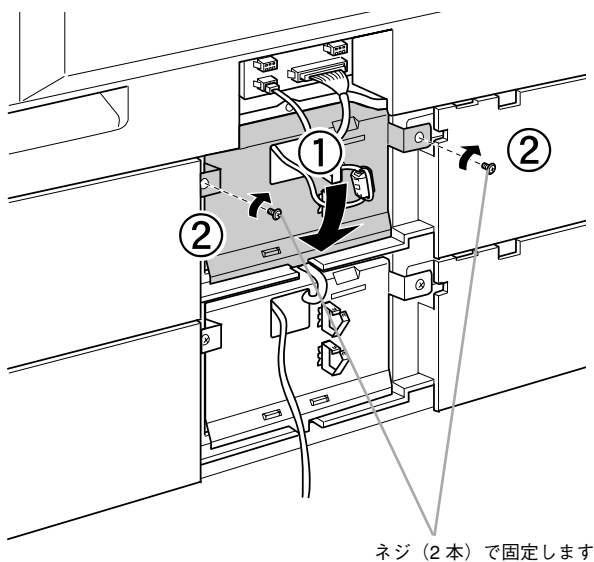
本書 308 ページ「1 段目の増設カセットユニットを取り付ける手順(LP-9500C の場合)」

ポイント

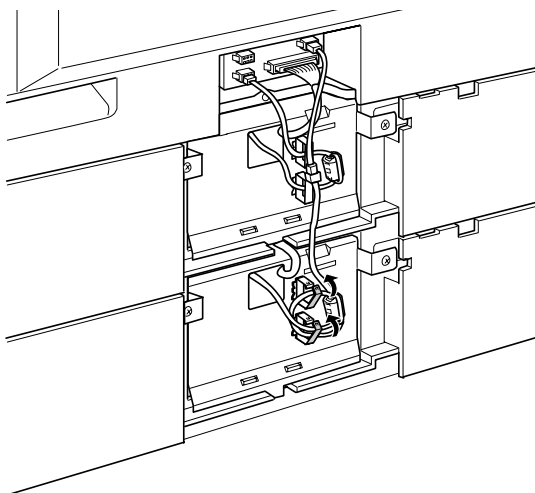
プリンタ台を取り付ける場合は、1 番下の増設カセットユニットにプリンタ台を取り付けてから以降の作業を行ってください。プリンタ台の取り付け方法については、プリンタ台に添付の取扱説明書をご覧ください。

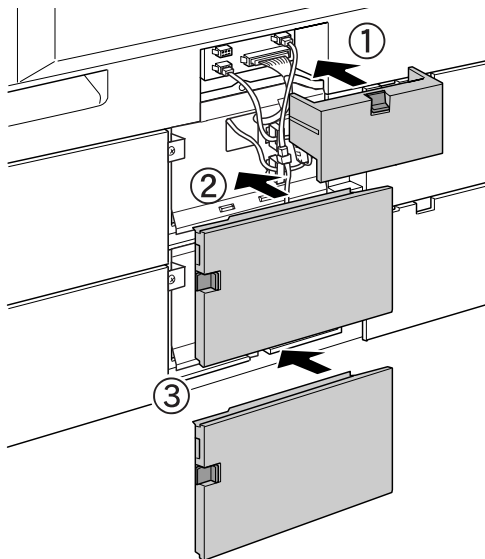
1. **プリンタの電源をオフにし、電源ケーブルを取り外します。**

2. **本機を持ち上げて水平に保ち、増設カセットユニットの上にプリンタ本体を置きます。**

3 用紙カセットを引き出します。

用紙カセット内の底板の上にある透明のシートは、円滑に紙送りをするための付属品です。取り外さないでください。

4 1 段上の用紙カセットを少し引き出し、増設カセットユニットの前面（2箇所）を固定板とネジで固定します。

5 増設カセットユニットの背面（2 箇所）を固定板とネジで固定します。

6 ①1 段目の増設カセットユニットのコネクタカバーを取り外します。
②2 段目（および3 段目）の増設カセットユニットのコネクタカバーを取り外します。
③プリンタ背面のコネクタカバーを取り外します。

7 増設カセットユニットに同梱の延長ケーブルを小コネクタケーブルに取り付けます。

8 増設カセットユニットのコネクタに、平コネクタケーブルと小コネクタケーブルを接続します。

ケーブル両側のコネクタの形状は異なります。増設カセットユニットのコネクタとケーブルのコネクタの形状を確認して、同じ形状のコネクタ同士を接続してください。

9 取り付けた平コネクタケーブルと小コネクタケーブルを取付板の穴に通してから、取付板を増設カセットユニットに取り付けます。

10 1段上の増設カセットユニットの取付板を取り外します。

11 平コネクタケーブルを 1 段上の増設カセットユニットの平コネクタに接続します。

12 1 段上の増設カセットユニットの取付板を元に戻し、ネジ（2 本）で固定します。

⑬ 小コネクタケーブルをプリンタ背面の小コネクタに接続します。

プリンタ背面には、小コネクタが 3 つあります。空いている小コネクタに接続してください。

⑭ 小コネクタケーブルをフックで固定します。

⑮ **プリンタ背面と増設カセットユニットのコネクタカバーを取り付けます。**

ケーブルを挟まないように注意してください。

⑯ **取り外した電源ケーブルを元通りに取り付けます。**

⑰ **プリンタの［電源］スイッチのオン（ | ）側を押します。**

⑱ **ステータスシートを印刷して、増設カセットユニットを正しく認識していることを確認します。**

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく取り付けられているか確認できます。

本書 252 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

正しく取り付けられているときは、［給紙装置］の項目に［カセット 1］（1 段目）、［カセット 2］（2 段目）、［カセット 3］（3 段目）が印刷されます。

ポイント

Windows をお使いの場合は、取り付けたオプションの設定をする必要があります。
本書 323 ページ「オプション装着時の設定（Windows）」

以上で取り付けは終了です。

用紙カセットに用紙をセットする方法は、以下のページを参照してください。

本書 22 ページ「用紙カセットへの用紙のセット」

LP-9500CZ をお使いのお客様へ

LP-9500CZ には、標準で増設カセットユニットが 1 段装着されています。Windows をお使いの場合は、プリンタをお使いになる前に Windows プリンタドライバで増設カセットユニットの装着状況を確認する必要があります。Windows プリンタドライバのインストール後、次ページを参照して、設定を行ってください。

☞ 本書 323 ページ「オプション装着時の設定（Windows）」

オプション装着時の設定（Windows）

メモリや給紙装置などのオプションを装着した場合、Windows プリンタドライバで装着状況を確認する必要があります。Windows プリンタドライバのインストール後、以下の手順でオプションの設定を行ってください。
LP-9500CZ の場合は、ご使用の前に必ずこのオプションの設定を行ってください。

- Windows NT4.0/2000/XP の場合、管理者権限（Administrators ）のあるユーザーでログオンする必要があります。
- ここでは Windows 98 のプロパティ画面を掲載しますが、その他の OS でも手順は同じです。

1 Windows の [プリンタ](Windows XP の場合は [プリンタと FAX])フォルダを開きます。

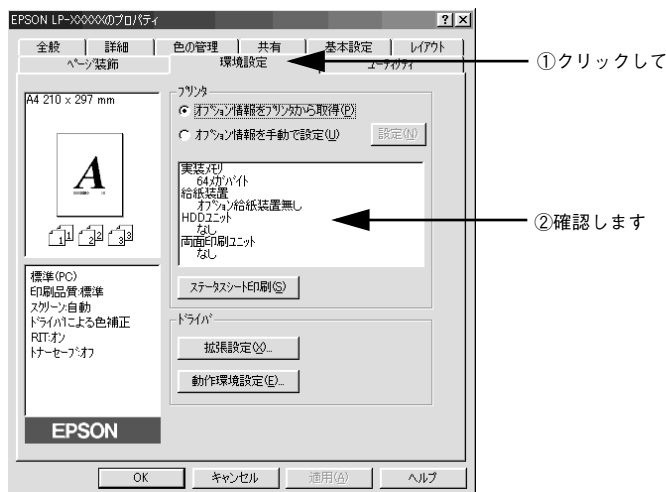
［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] の [プリンタとその他のハードウェア] をクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。

2 LP-9500C のアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

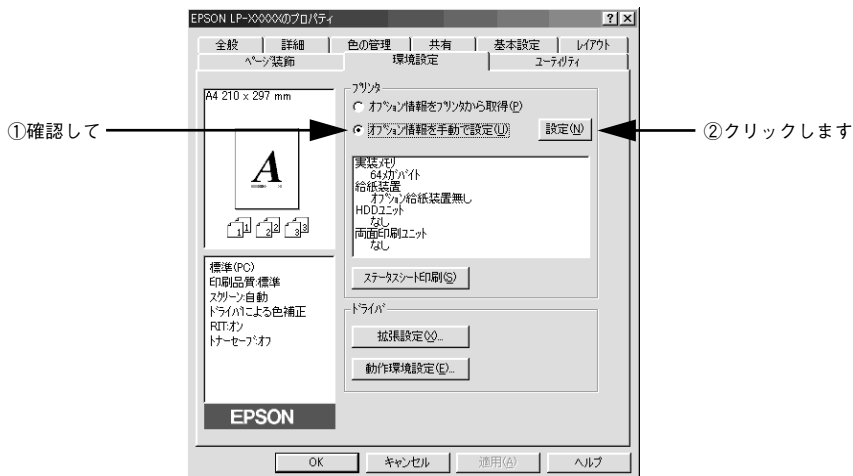
このときに、プリンタのオプション装着状況の確認を開始します。

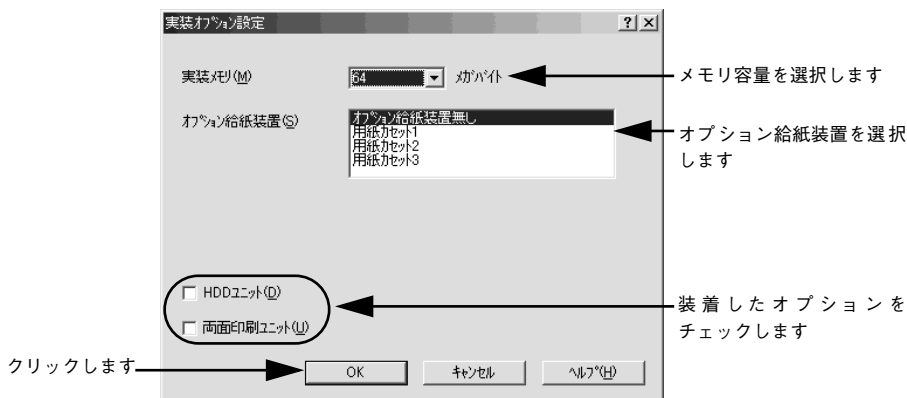
通信エラーが発生した場合は、[OK] ボタンをクリックしてエラーダイアログを閉じてください。手動でオプション情報を設定できます。

3 **［環境設定］タブをクリックし、オプション情報リストを確認します。**

- ［オプション情報をプリンタから取得］が選択された状態で自動的にオプション情報が取得できれば、装着したオプションをリストに表示します。**6** へ進みます。

- 装着しているオプションがリストに表示されない場合は、手動でオプション情報を設定します。**4** へ進みます。

4 **［オプション情報を手動で設定］をクリックして、［設定］ボタンをクリックします。**

［実装オプション設定］ダイアログが開きます。

5 **装着したオプションを選択して、［OK ］ボタンをクリックします。**

- ［実装メモリ］リストから、増設したメモリの容量を含めてプリンタの総メモリ容量を選択します。
- ［オプション給紙装置］リストで、装着したオプション給紙装置名をクリックして選択します。
- LP-9500CZ の場合は、［用紙カセット 1 ］を必ず選択してください。
- HDD ユニット / 両面印刷ユニットを装着した場合は、チェックボックスをチェックします。

6 **［OK ］ボタンをクリックして画面を閉じます。**

以上ですべてのセットアップは終了です。

ポイント

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく装着されているか確認できます。

本書 252 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

プリンタのメンテナンス

ここでは、メンテナンス方法や輸送 / 移動時の注意事項などについて説明しています。

● 感光体ユニットの交換 327
● ET カートリッジの交換.. 337
● 廃トナーボックスの交換 343
● プリンタの清掃.. 347
● プリンタの移動・運搬・長期保管.......................... 349

感光体ユニットの交換

感光体ユニットの交換時には、必ず同じ色のETカートリッジも交換します。ETカートリッジの交換時の注意事項については、以下のページを参照してください。

☞ 本書337ページ「ETカートリッジの交換」

感光体ユニットについて

感光体ユニットは、感光体に電荷を与えて印刷する画像を作る装置で、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの4種類があります。

本製品は純正感光体ユニット使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。

感光体ユニットの交換時は、同じ色のETカートリッジも合わせて交換してください。本機専用の純正感光体ユニットには、同じ色のETカートリッジが1本同梱されています。

型番	商品名
LPCA3KUT4C	感光体ユニット（シアン）：LPCA3ETC3C（ETカートリッジ）1本同梱
LPCA3KUT4M	感光体ユニット（マゼンタ）：LPCA3ETC3M（ETカートリッジ）1本同梱
LPCA3KUT4Y	感光体ユニット（イエロー）：LPCA3ETC3Y（ETカートリッジ）1本同梱
LPCA3KUT4K	感光体ユニット（ブラック）：LPCA3ETC3K（ETカートリッジ）1本同梱

各色約26,000ページまで使用できます。ただし、使用状況（電源オン／オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷*1）、プリンタドライバの設定*2により実際の寿命は異なります。

*1　間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。間欠印刷時には寿命が半分以下になることがあります。

*2　プリンタドライバの設定については、以下のページを参照してください。

☞ 本書400ページ「感光体とトナーの寿命を延ばしたいときは」

ポイント

EPSONプリンタウィンドウ!3と操作パネルの液晶ディスプレイに交換を促すメッセージが表示されたら、感光体ユニットと、同色のETカートリッジを新しいものに交換してください。

☞Windows：本書94ページ「EPSONプリンタウィンドウ!3とは」
☞Macintosh：本書203ページ「EPSONプリンタウィンドウ!3とは」
☞本書257ページ「エラーメッセージ」

感光体ユニットを交換する前に

交換時の注意

⚠警告 感光体ユニットは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

- 感光体ユニット下部の感光体（緑色の部分）には絶対手を触れないでください。印刷品質が低下します。また、感光体の表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。
- 寒い場所から暖かい場所に感光体ユニットを移動した場合は、室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから作業を行ってください。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも、感光体ユニットを 3 分以上放置しないでください。印刷品質が著しく低下するおそれがあります。交換時にしばらく置く必要がある場合は、布などで覆い光が当たらないようにしてください。
- 感光体ユニットを置く場合は、感光体の表面に傷が付かないよう、平らな机の上に置いてください。

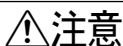
保管上の注意

- 感光体ユニットは、必ず専用の梱包袋に入れた状態で保管してください。
- 万一、感光体ユニットを使用しないのに梱包袋を開封してしまった場合、感光体ユニットを梱包袋に入れ、開封した箇所をしっかりと閉じて保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35 度
  湿度範囲：30 ～ 85%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

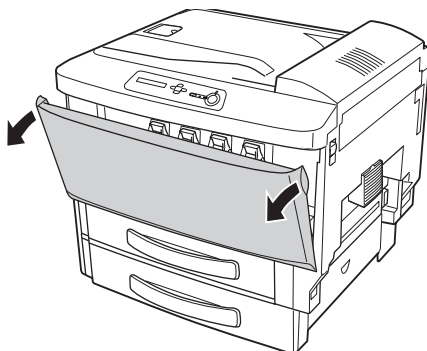
使用済み消耗品の回収について

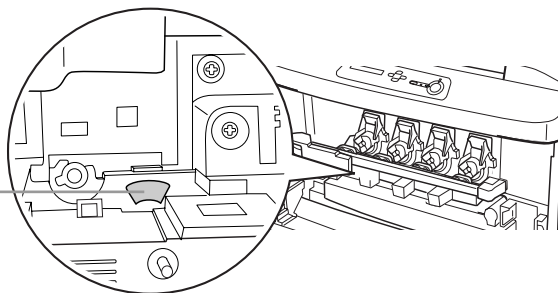
資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済み感光体ユニットの回収方法については、新しい感光体ユニットに添付されておりますご案内シートを参照してください。やむを得ず、使用済み感光体ユニットを処分される場合は、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

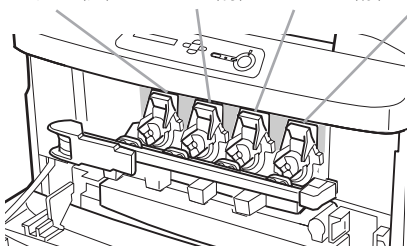
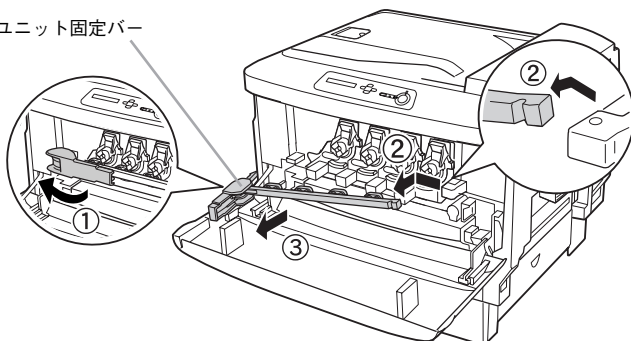
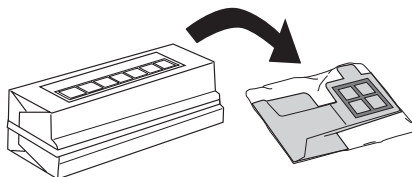
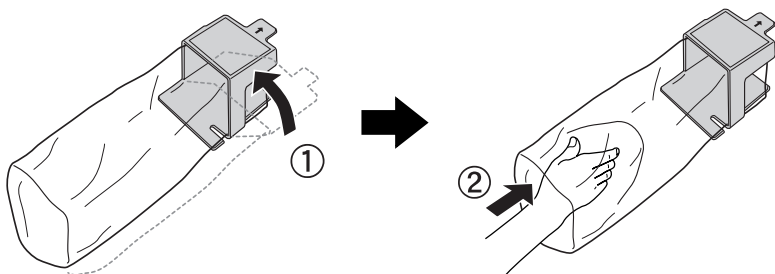
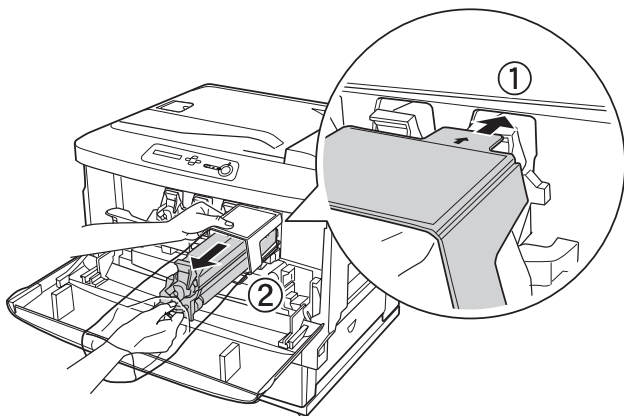
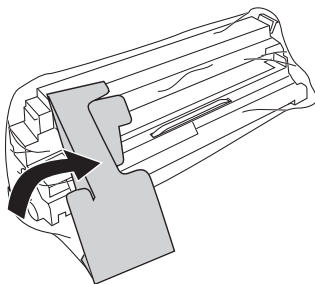
感光体ユニットの交換方法

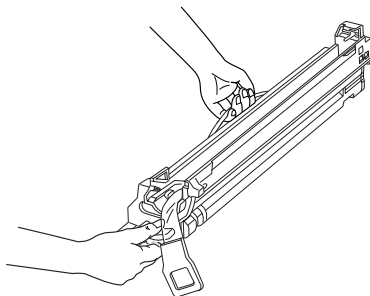
交換時期になった感光体ユニット（色）は、操作パネルの液晶ディスプレイに表示されるメッセージで確認できます。また、EPSON プリンタウィンドウ !3 でも交換を促すメッセージを表示します。
感光体ユニットの交換は以下の手順に従ってください。感光体ユニットの交換時は、同じ色の ET カートリッジも合わせて交換します。

⚠注意　交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

1. **操作パネルの液晶ディスプレイのメッセージを参照して、交換する感光体ユニットの色を確認します。表示されている色（K/C/M/Y）の新しい感光体ユニットを用意してください。**

2. **プリンタの前カバーを開けます。**

注意

紙詰まり発生時や電源オフ時などは感光体ユニットが引き出せない場合があります。下図の部分を確認し、赤色になっている場合は感光体ユニットを無理に引き出さないでください。詰まっている用紙を取り除いたり、プリンタの電源をオンにし直すと感光体ユニットを引き出せるようになります。

ポイント

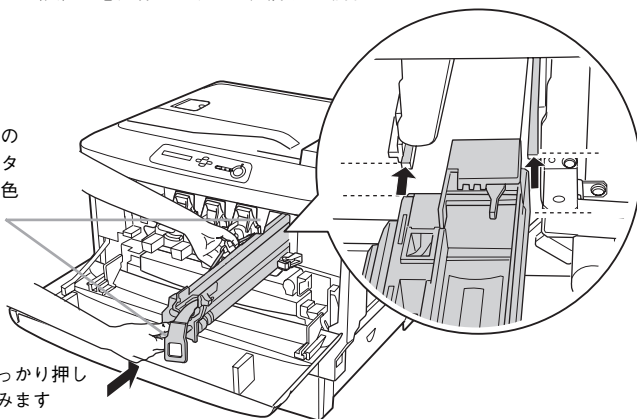
感光体ユニットの装着口には、セットする感光体ユニットの色が示してあります。色を確認して、同じ色の感光体ユニットをセットしてください。

3 感光体ユニット固定バーを解除して、プリンタ本体から取り外します。

4 最初に感光体ユニットを交換します。
感光体ユニットの梱包箱から感光体ユニット回収袋を取り出します。
感光体ユニットに回収袋が同梱されていない場合は、手順 6 に進んでください。

5 回収袋の開口部を四角く開き、袋の底部から図のように手を入れます。

6 回収袋の開口部先端を感光体ユニットの挿入口に図のように差し込みます（①）。
ET カートリッジが装着されたまま、感光体ユニット後端のツマミを持って手前に少し引き出してから、感光体ユニットを少し持ち上げるようにしてゆっくりと引き抜きます（②）。
回収袋が同梱されていない場合は、感光体ユニット後端のツマミを持って手前に少し引き出してから、感光体ユニットを少し持ち上げるようにしてゆっくりと引き抜きます（②）。続いて手順 8 に進んでください。
この場合、取り外しの際にトナーがこぼれることがありますので、開けたカバーの上に紙などを敷いて本作業を行ってください。

7 **感光体ユニットを回収袋ごとプリンタから取り出し、回収袋の開口部を図のように折り返します。**

8 **新しい感光体ユニットを梱包箱から取り出します。**

感光体ユニットは机の上などに置かず、必ず青色の取っ手を持ったままの状態で作業を行ってください。

- 感光体ユニットの保護材（上下の保護テープ）に付着したトナーが、保護テープを引き抜く際に手や衣服に付着することがありますのでご注意ください。万一、トナーが手や衣服に付着してしまったときはすぐに水で洗い流してください。トナーは人体に無害ですが、付着したまま放置すると落ちにくくなります。
- 感光体（緑色の部分）を他の部品に接触させないよう注意してください。
  感光体に傷や汚れが付くと、良好な印刷ができなくなります。
- 感光体ユニットの感光体（緑色の部分）には絶対手を触れないでください。また感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも3分以上放置しないでください。

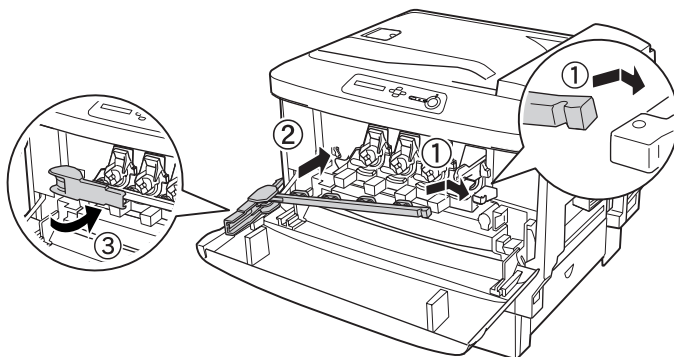
感光体ユニットの入っていた梱包箱や袋は、使用済みの感光体ユニットを回収する際に必要となります。梱包箱や袋は、次回の交換時まで大切に保管してください。

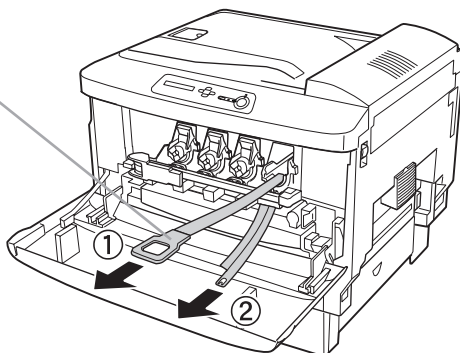
9 **感光体ユニット左右のガイド部をプリンタ内のレールに合わせて、まっすぐ押し込みます。**

感光体ユニットはプリンタの奥までしっかり押し込んでください。

<例> イエロー（黄）の感光体ユニットを装着する場合

ポイント

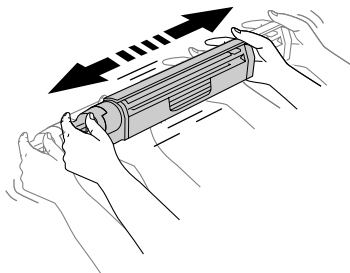
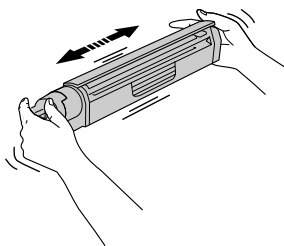
他の色の感光体ユニットを交換する場合は、手順 4 〜 6 を繰り返します。

10 **感光体ユニット固定バーを取り付けてから、ロックして固定します。**

⑪ 新しく取り付けた感光体ユニットの上下の保護テープを引き抜きます。

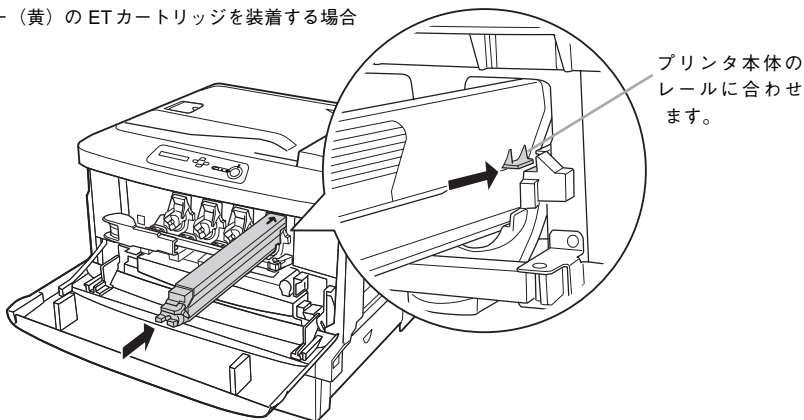
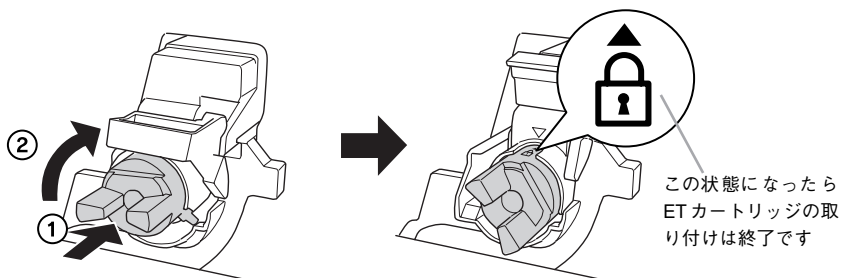
<例> イエロー（黄）のユニット保護テープを引き抜く場合

感光体ユニットの保護テープは、ET カートリッジを装着する前に必ず引き抜いてください。保護テープを引き抜かずに ET カートリッジを装着すると故障の原因となります。

⑫ 続いて、ET カートリッジを取り付けます。
新しい ET カートリッジを梱包箱から取り出します。

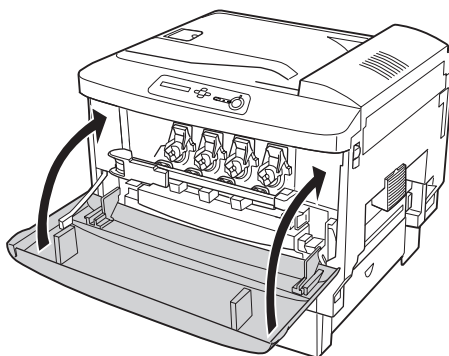
ET カートリッジの入っていた梱包箱や袋は、使用済みのカートリッジを回収する際に必要となります。梱包箱や袋は、次回の交換時まで大切に保管してください。

⑬ ET カートリッジを梱包箱から取り出し、両手で ET カートリッジを水平に持って、左右に強く 10 回以上振ります。

14. **ETカートリッジ内のトナーが均一な状態になるように、左右に軽く数回振ります。**

15. **ETカートリッジ先端の矢印を上に向け、水平に持ったまま装着口にまっすぐ差し込みます。**

ETカートリッジが装着口の奥に当たり、これ以上押し込めなくなるまで差し込みます。

<例>イエロー（黄）のETカートリッジを装着する場合

⑯ 差し込んだ ET カートリッジ後端のツマミを押し込みながら、図の矢印の方向に🔒マークが見えるまでしっかりと回します。

- ETカートリッジのツマミはしっかりと回してください。正しく取り付けられていないと、プリンタの前カバーが閉じない、トナー供給不足、トナー漏れなどの原因となります。
- プリンタに装着したETカートリッジは、トナーがなくなるまで取り出さないでください。トナーがなくなる前に取り出すと、トナー残量の計量が誤検出やトナー漏れなどの原因となります。

他の色の ET カートリッジを交換する場合は、手順 ⑫ 〜 ⑯ を繰り返します。

⑰ プリンタの前カバーを閉じます。

以上で感光体ユニットの交換は終了です。

ET カートリッジの交換

ET カートリッジについて

ET カートリッジは印刷画像を用紙上に形成するトナーの入った装置で、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの 4 色を組み合わせて印刷画像の色を再現します。
本製品は純正ET カートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。

型番	商品名
LPCA3ETC3C	ET カートリッジ（シアン）
LPCA3ETC3M	ET カートリッジ（マゼンタ）
LPCA3ETC3Y	ET カートリッジ（イエロー）
LPCA3ETC3K	ET カートリッジ（ブラック）

各色約 7,500 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の印刷を行った場合 *1）まで印刷できます。ただし、使用状況（電源オン／オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷 *2）、プリンタドライバの設定 *3 によりトナー消費量は異なります。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数は、増減します。

*2 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。間欠印刷時には寿命が半分以下になることがあります。

*3 プリンタドライバの設定については、以下のページを参照してください。

本書 400 ページ「感光体とトナーの寿命を延ばしたいときは」

EPSON プリンタウィンドウ !3 と操作パネルの液晶ディスプレイに交換を促すメッセージが表示表示されたら、新しい ET カートリッジに交換してください。

Windows：本書 94 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
Macintosh：本書 203 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
本書 257 ページ「エラーメッセージ」

交換時の注意

> ⚠警告　ET カートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

- ET カートリッジ装着部の色を確認して、同じ色のET カートリッジを装着してください。
- 一度プリンタに取り付けた ET カートリッジは再利用しないでください。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、ET カートリッジを室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから使用してください。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。

保管上の注意

- ET カートリッジは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 温度範囲 0 〜 35 度、湿度範囲 30 〜 80% の環境で保管してください。
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

使用済み消耗品の回収について

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済み ET カートリッジの回収方法については、新しい ET カートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。やむを得ず、使用済み ET カートリッジを処分される場合は、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

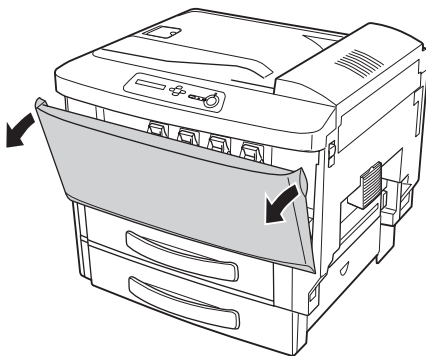
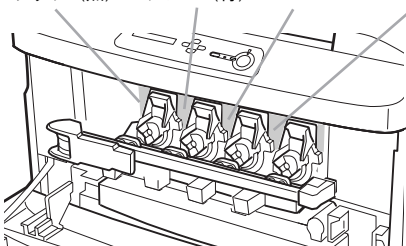
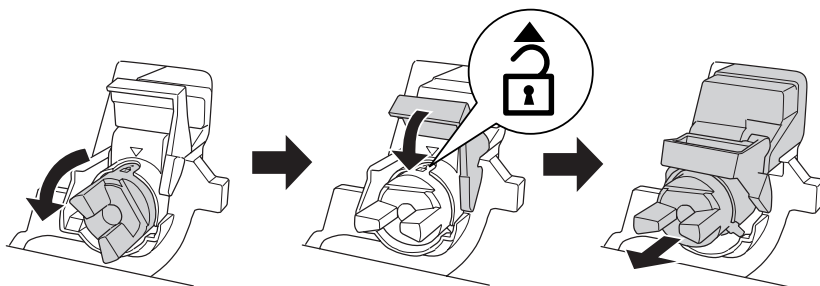
ET カートリッジの交換手順

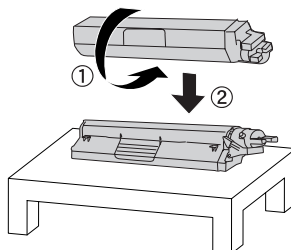
トナーのなくなったET カートリッジ（色）は、操作パネルの液晶ディスプレイに表示されるメッセージで確認できます。また、EPSON プリンタウィンドウ !3 でも交換を促すメッセージを表示します。ET カートリッジの交換は以下の手順に従ってください。

⚠注意 交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

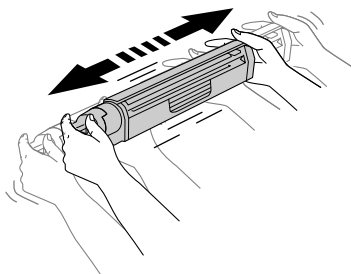
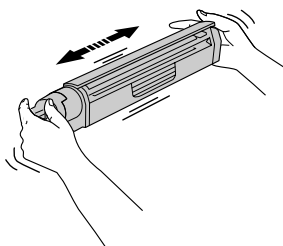
1. **操作パネルの液晶ディスプレイのメッセージを参照して、交換するET カートリッジの色を確認します。表示されている色（K/C/M/Y）の新しいカートリッジを用意してください。**

   ここでは、イエロー（黄）のET カートリッジを交換する場合を例にして説明します。

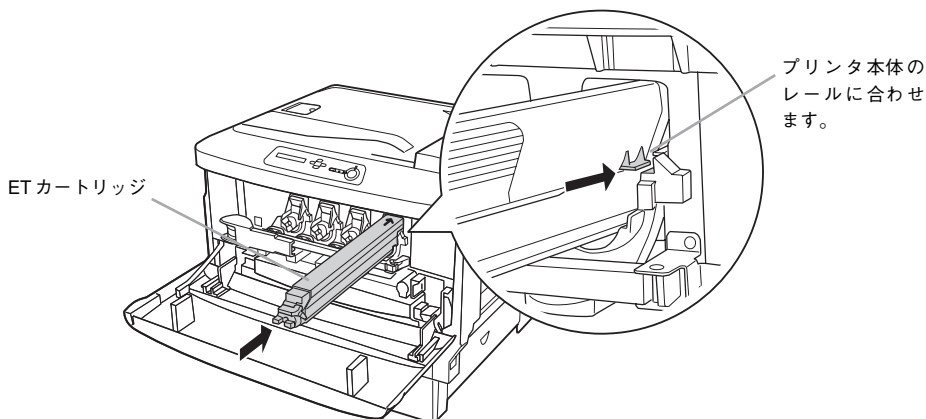
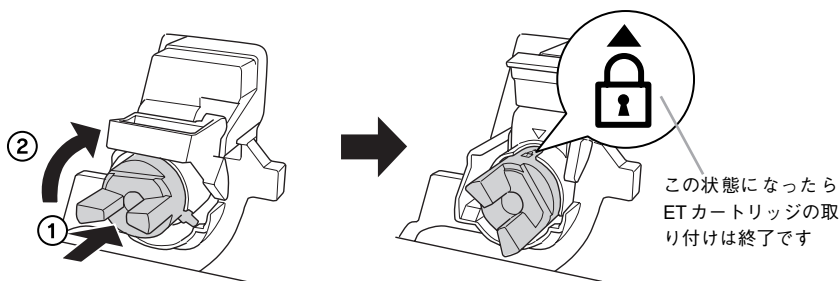
2. **プリンタの前カバーを開けます。**

ポイント ET カートリッジの装着口には、セットするET カートリッジの色が示してあります。色を確認して、同じ色のET カートリッジをセットしてください。

3 使用済みの ET カートリッジのツマミを回し、セットレバーを押し下げたまま持ち、ET カートリッジを手前に引き抜きます。

⚠警告 ET カートリッジは火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

ET カートリッジは、トナーがこぼれないように、引き抜いたときの上面を下にして、平らな面に置いてください。

4 新しい ET カートリッジを梱包箱から取り出します。

ET カートリッジの入っていた梱包箱や袋は、使用済みのカートリッジを回収する際に必要となります。梱包箱や袋は、次回の交換時まで大切に保管してください。

5 ETカートリッジを梱包箱から取り出し、両手でETカートリッジを水平に持って、左右に強く10回以上振ります。

6 ETカートリッジ内のトナーが均一な状態になるように、左右に軽く数回振ります。

7 ETカートリッジ先端の矢印を上に向け、水平に持ったまま装着口にまっすぐ差し込みます。

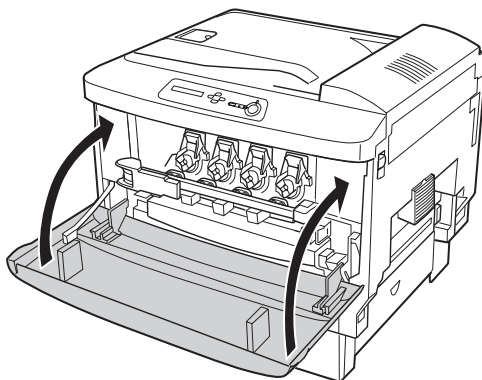
ETカートリッジが装着口の奥に当たり、これ以上押し込めなくなるまで差し込みます。

＜例＞イエロー（黄）のETカートリッジを装着する場合

8 差し込んだ ET カートリッジ後端のツマミを押し込みながら、図の矢印の方向に🔓マークが見えるまでしっかりと回します。

注 意

- ETカートリッジのツマミはしっかりと回してください。正しく取り付けられていないと、プリンタの前カバーが閉じない、トナー供給不足、トナー漏れなどの原因となります。
- プリンタに装着したETカートリッジは、トナーがなくなるまで取り出さないでください。トナーがなくなる前に取り出すと、トナー残量の誤検出やトナー漏れなどの原因となります。

ポイント

他の色の ET カートリッジを交換する場合は、手順 3 〜 7 を繰り返します。

9 プリンタの前カバーを閉じます。

以上で ET カートリッジの交換は終了です。

廃トナーボックスの交換

廃トナーボックスについて

廃トナーボックスは、印刷時に出る余分なトナーを回収するボックスです。
本製品は純正廃トナーボックス使用時に最良の状態で使用できるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、プリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。

型 番	商品名	寿 命	
LPCA3HTB2	廃トナーボックス（2 本セット）	カラー印刷（全色使用時 / 間欠印刷*1）	約 7,000 ページ（約 3,500 ページ× 2）
		モノクロ印刷（間欠印刷*1）	約 28,000 ページ（約 14,000 ページ× 2）

カラー印刷時は約 3,500 ページ（1 本）、モノクロ印刷時は約 14,000 ページ（1 本）まで印刷できます（A4 サイズの紙に面積比で各色約 5% の印刷を行った場合*2）。
ただし、使用状況（電源オン／オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷*1）により廃トナーの回収状況は異なります。

*1 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

*2 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でもページ数は、増減します。

EPSON プリンタウィンドウ !3 と操作パネルの液晶ディスプレイに交換を促すメッセージが表示されたら、新しい廃トナーボックスと交換してください。
Windows：本書 94 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
Macintosh：本書 203 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
本書 257 ページ「エラーメッセージ」

取り扱い上の注意

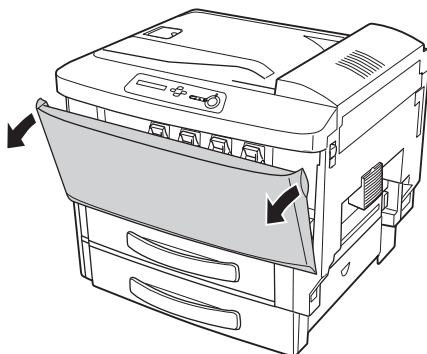
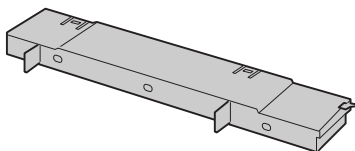
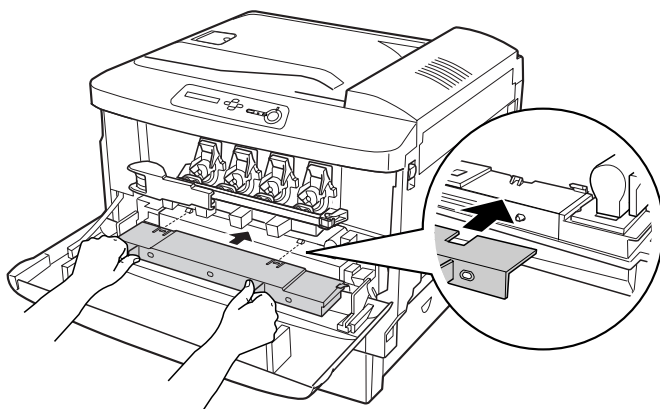
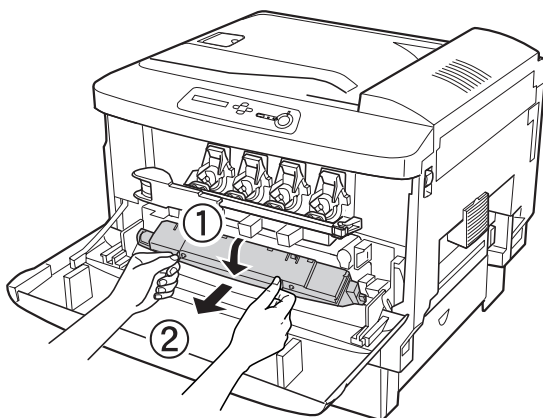
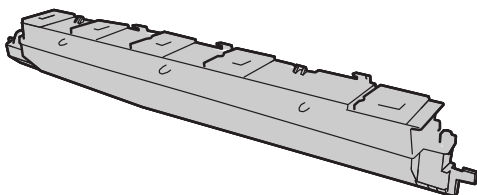
⚠警告 廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

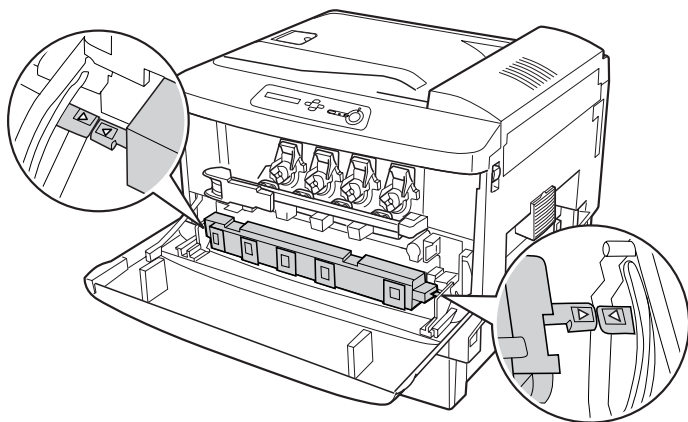
- 使用済みの廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。
- 使用済みの廃トナーボックスは、回収した廃トナーがこぼれないように、廃トナーボックス交換カバーを外さないでください。
- 使用済みの廃トナーボックスを処分される場合は、ポリ袋などに入れ、必ず地域の条例や自治体の指示に従って破棄してください。

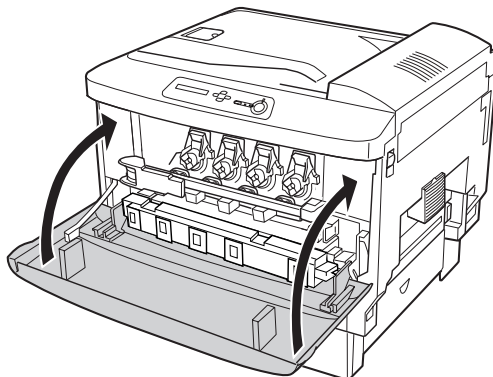
保管上の注意

- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35 度
  湿度範囲：30 ～ 85%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

廃トナーボックスの交換手順

1. プリンタの前カバーを開けます。

2. 新しい廃トナーボックスの梱包箱から、廃トナーボックス交換カバーを取り出します。

3. 廃トナーボックス交換カバーを、廃トナーボックスの上にカチッと音がするまで差し込みます。

4 **廃トナーボックス交換カバーのツマミを持って廃トナーボックスを、斜め手前に引き出して取り外します。**

5 **新しい廃トナーボックスを梱包箱から取り出します。**

6 **新しい廃トナーボックスの上部を手前に向けて前カバーの上に置きます。**

前カバー側面の▷および◁マークと廃トナーボックスの両端の▷および◁マークを図のように合わせて置いてください。

7 **プリンタの前カバーを閉じます。**

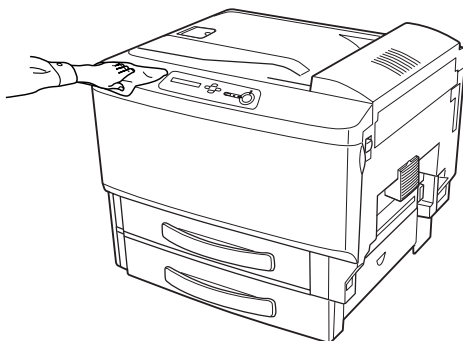
前カバーを閉じると、自動的に新しい廃トナーボックスがセットされます。また、廃トナーボックスの空き容量算出用のカウンタは、この時点でリセットされます。

以上で廃トナーボックスの交換は終了です。

プリンタの清掃

プリンタを良好な状態で使っていただくために、ときどき以下のようなお手入れをしてください。

⚠注意	プリンタの清掃は、電源をオフ（○）にしてコンセントから電源ケーブルを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

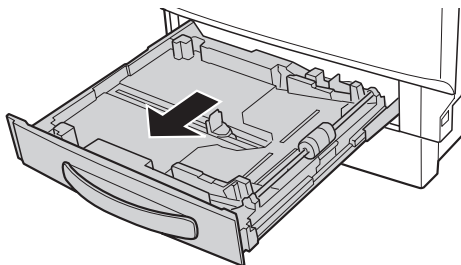
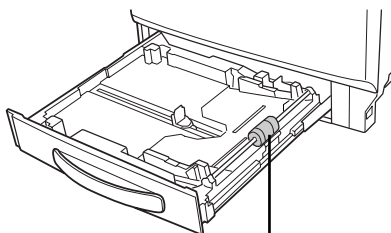
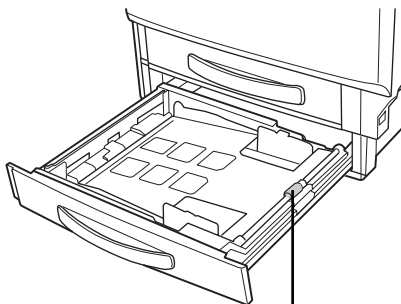
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。
- 固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷が付くおそれがあります。

プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。

給紙ローラのクリーニング

用紙が頻繁に詰まる場合や正常に給紙できない場合は、MP カセットおよび用紙カセットの給紙ローラをクリーニングしてください。

注 意

- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。
- プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。
- 固いブラシや布などでは拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

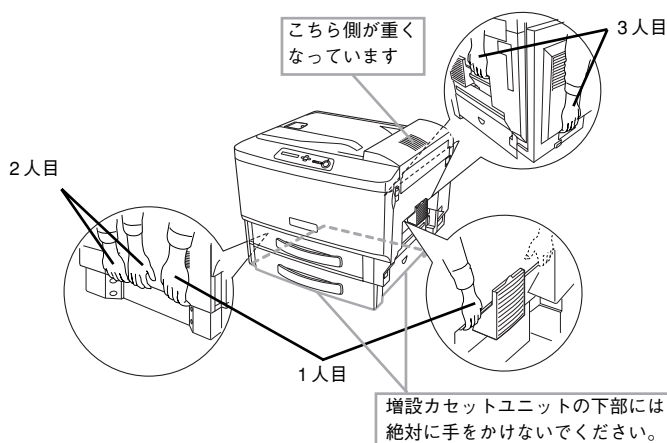
1. MP カセットまたは用紙カセットを止まるまで引き出します。

2. MP カセットまたは用紙カセットの給紙ローラのゴム部分を乾いた布でていねいに拭きます。

以上で給紙ローラのクリーニングは終了です。

プリンタの移動・運搬・長期保管

プリンタを移動・運搬・長期保管するときには、以下のように作業を行ってください。

⚠注意

- プリンタ本体は、右側の方が左側より重くなっています。プリンタ本体を持ち上げる際に、重さの違いにご注意ください。
- オプションの両面印刷ユニットが装着されている場合は、両面印刷ユニットを取り外してからプリンタを持ち上げてください。
  本書 354 ページ「両面印刷ユニットの取り外し」
- 本機を持ち上げる際は必ず 3 人以上で作業を行ってください。
  本機の重量は、消耗品を含み LP-9500C は約 49kg、LP-9500CZ は約 57kg です。プリンタ本体を持ち上げる場合は、必ずプリンタ右側 / 左側 / 背面にある取っ手（くぼみの部分）に手をかけて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンタの落下によるけがの原因となります。またプリンタ本体に無理な力がかかるため、プリンタの損傷の原因となります。

<例 >LP-9500CZ
（LP-9500C でも同じ位置に手をかけてください。）

- プリンタ本体を持ち上げる場合、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタの破損の原因となります。
- プリンタ本体を移動する場合は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- プリンタ本体をプリンタ台やキャスター（車輪）付きの台などに載せる場合、必ず台を固定してから作業を行ってください。作業中に台が思わぬ方向に動くと、けがやプリンタの損傷の原因となります。

近くへの移動

はじめに本機の電源をオフにして、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- 電源ケーブル
- インターフェイスケーブル
- MP カセット、用紙カセット内の用紙
- オプションの両面印刷ユニット（装着時のみ）

プリンタ台を装着している場合

オプションのプリンタ台にはキャスターが付いているため、持ち上げずに移動することができます。ただし、プリンタに衝撃を与えないよう、段差のある場所などでは移動しないよう注意してください。また、移動する前に必ずプリンタ台の固定を解除してください。

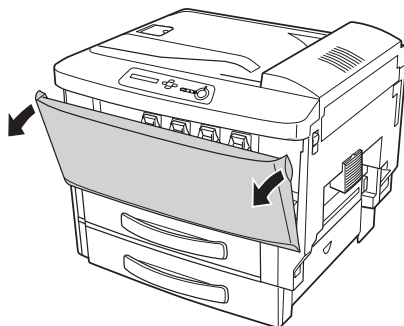
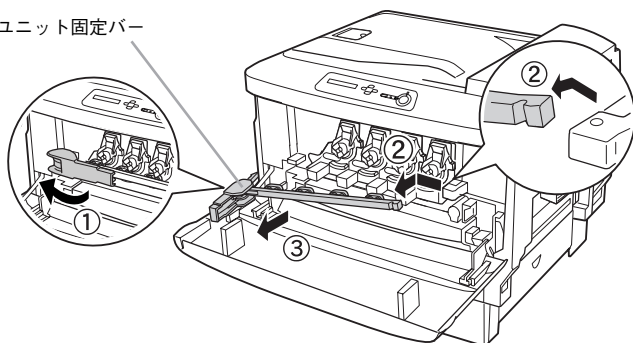
運搬するときは

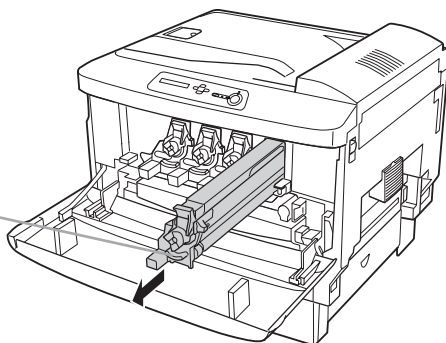
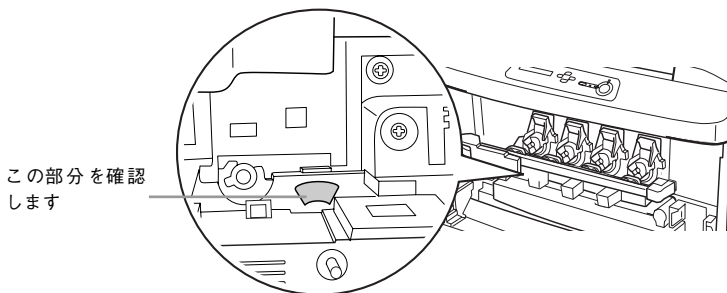
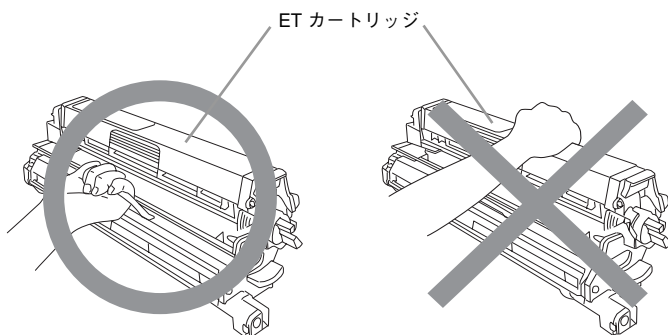
本機を輸送する場合、取り付けてあるすべての付属品およびオプション品を外し、震動や衝撃からプリンタ本体を守るために本製品の購入時に使用されていた保護材や梱包材を使用して、購入時と同じ状態に梱包する必要があります。本プリンタを輸送する場合は、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。

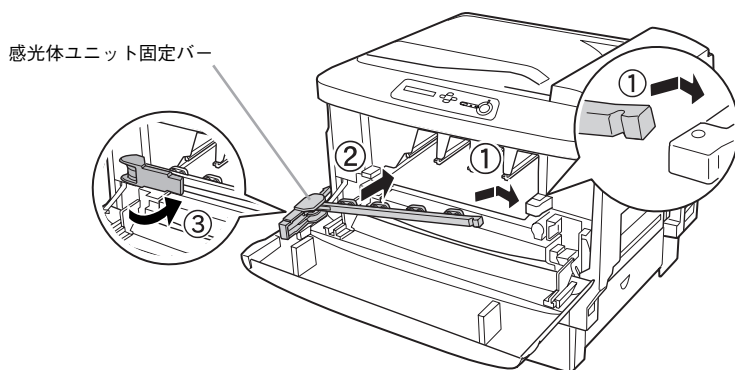
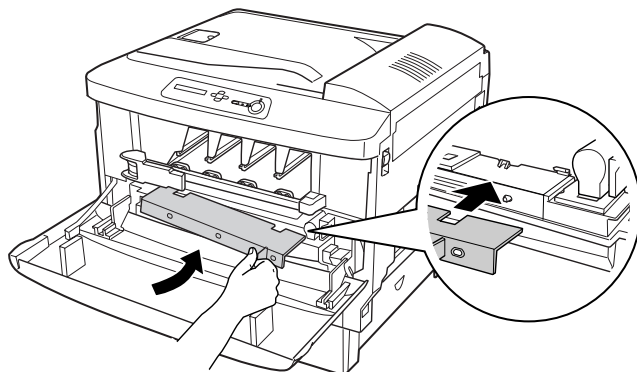
購入時にプリンタ内部に取り付けられていた廃トナーボックス運搬用カバーおよび保護材も必ず取り付けてください。確実に取り付けないと運搬時にトナー漏れや故障などの原因となります。

廃トナーボックス運搬用カバーの取り付け

本製品購入時に取り付けられていた廃トナーボックス運搬用カバーを取り付けます。

1 **前カバーを開けます。**

2 感光体ユニット固定バーを解除して、プリンタ本体から取り外します。

3 ETカートリッジが装着されたまま、すべての感光体ユニット（4本）を取り外します。感光体ユニット後端のツマミを持って手前に少し引き出してから、感光体ユニットを少し持ち上げるようにしてゆっくりと引き抜きます。

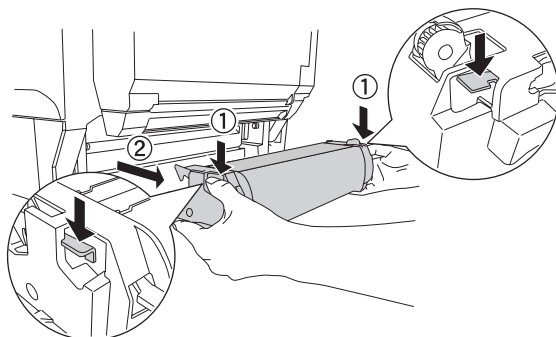
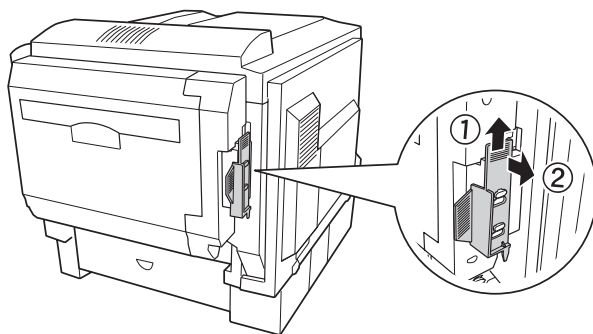
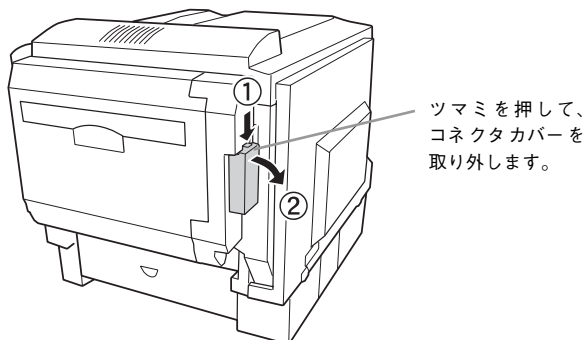
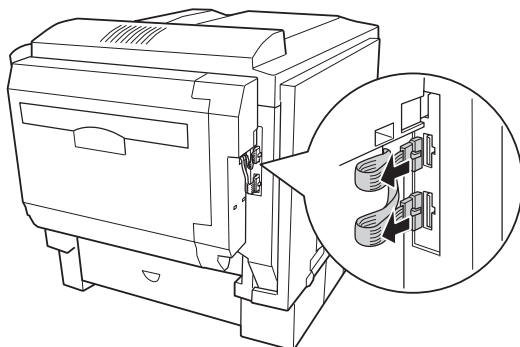
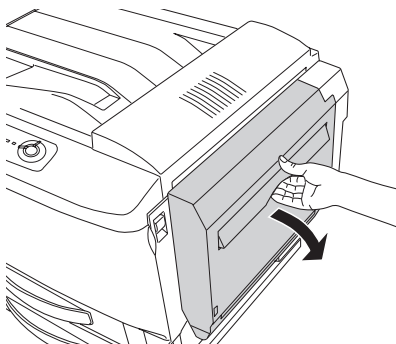
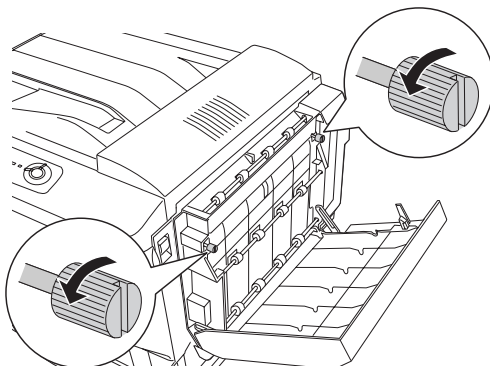
取り外しの際にトナーがこぼれることがありますので、開けたカバーの上に紙などを敷いて本作業を行ってください。

- 紙詰まり発生時や電源オフ時などは感光体ユニットが引き出せない場合があります。下図の部分を確認し、赤色になっている場合は感光体ユニットを無理に引き出さないでください。詰まっている用紙を取り除いたり、プリンタの電源をオンにし直すと感光体ユニットを引き出せるようになります。

- 取り外した感光体ユニットは、下図のように感光体ユニットの取っ手を持ってください。

- 感光体ユニット下部の感光体（緑色の部分）が汚れないように紙などをそっと巻き、そのまま感光体ユニットが入っていた黒い遮光袋に入れて、保護材を取り付け、梱包箱にしまってください。
- 取り外した感光体ユニットに直射日光や強い光を当てないでください。室内の明かりの下でもそのまま 3 分以上放置しないでください。
- 一時的に感光体ユニットを置く場合は、感光体の表面に傷が付かないよう、平らな机の上などに置いてください。

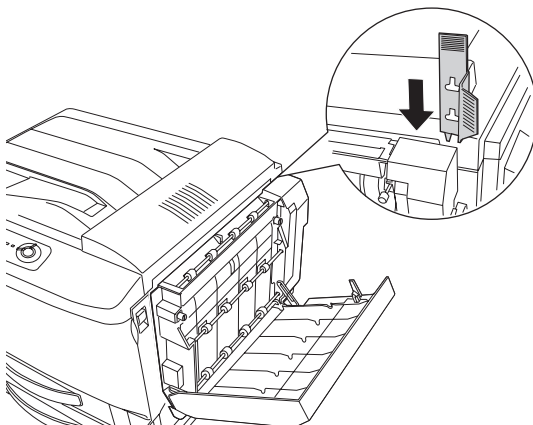
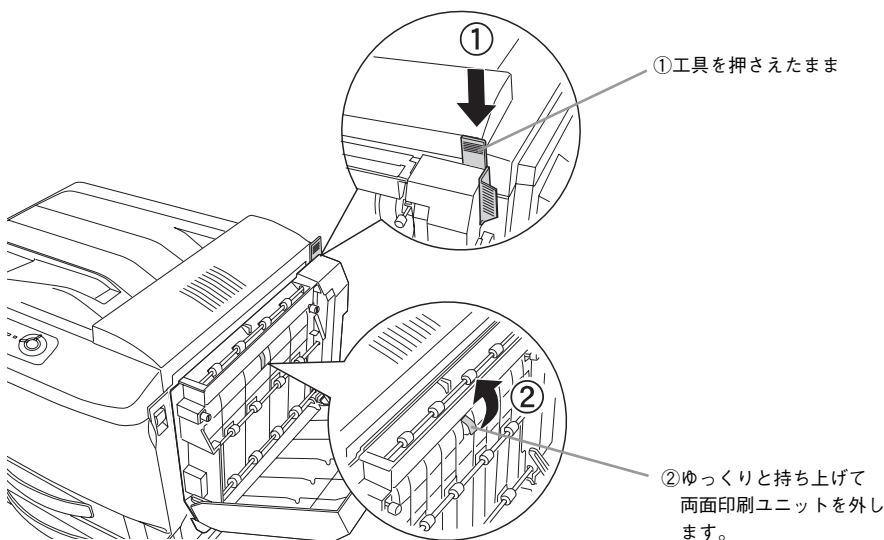
4 感光体ユニット固定バーを取り付けてから、ロックして固定します。

5 廃トナーボックス運搬用カバーを下図のように取り付けます。

6 前カバーを閉じます。

以上で廃トナーボックス運搬用カバーの取り付けは終了です。

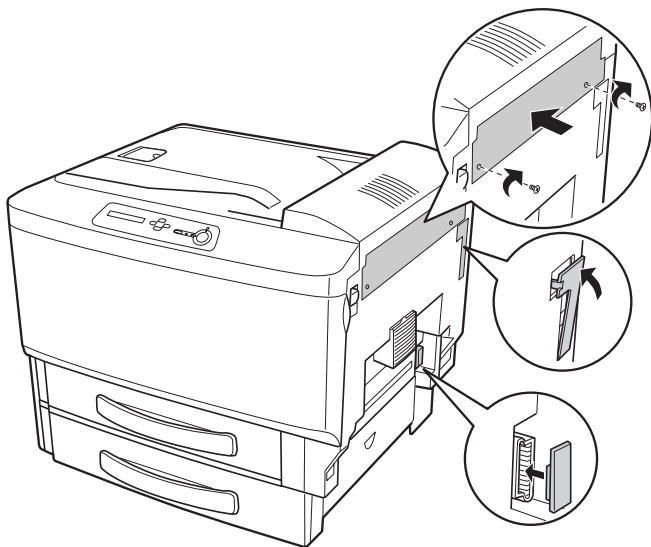
両面印刷ユニットの取り外し

オプションの両面印刷ユニットは、以下の手順で取り外します。

1. **両面搬送ユニット（DM）を取り外します。**

2. **両面印刷ユニットコネクタカバーに装着されている両面印刷ユニット取り外し工具を取り外します。**

3. **両面印刷ユニット右側のコネクタカバーを図のように取り外します。**

4 コネクタ（2本）を取り外します。

5 両面印刷ユニットのH カバーの取っ手を持ち上げてH カバーを開けます。

6 両面印刷ユニットのネジ（2 本）を図のように回して、両面印刷ユニットとプリンタ本体との固定を解除します。

7 **両面印刷ユニット取り外し工具を、プリンタ本体と両面印刷ユニットの間に差し込みます。**

両面印刷ユニットの側面と工具の間に隙間がないように合わせて、しっかりと差し込みます。

8 **両面印刷ユニット取り外し工具を押さえたまま、両面印刷ユニット取り外しレバーをゆっくりと持ち上げて両面印刷ユニットを取り外します。**

両面印刷ユニット取り外しレバーは、ゆっくりと持ち上げてください。ゆっくりと持ち上げないと、両面印刷ユニットが落下するおそれがあります。

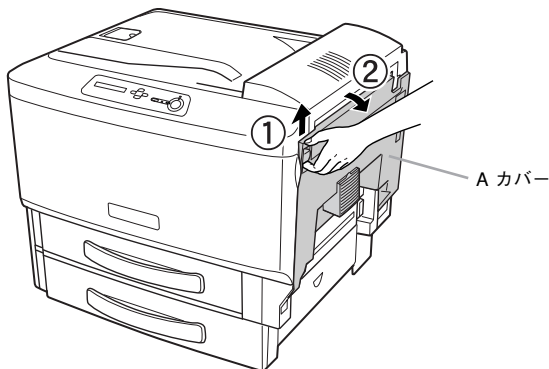
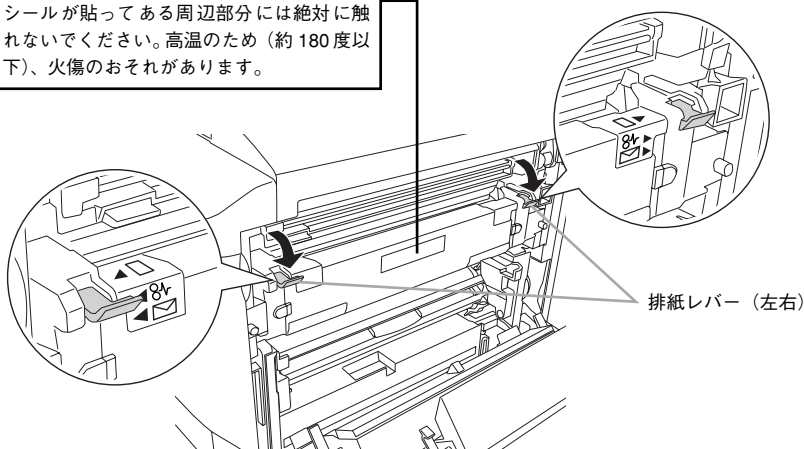
⚠注意　両面印刷ユニットを取り外した部分にはギアがあります。保護カバーを取り付けない状態でプリンタを使用しないでください。指を挟むなど、けがをするおそれがあります。

9 **両面印刷ユニット取り付け時に取り外した保護カバー（2 箇所）とコネクタカバー（1 箇所）を取り付けます。**

以上で両面印刷ユニットの取り外しは終了です。

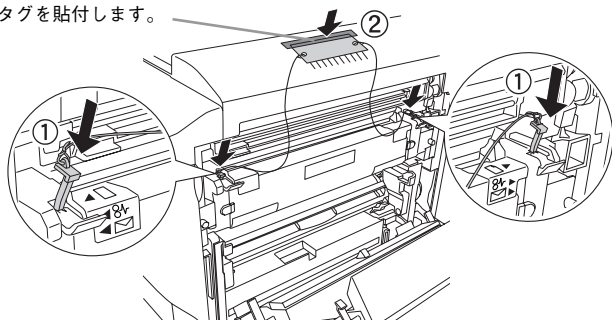
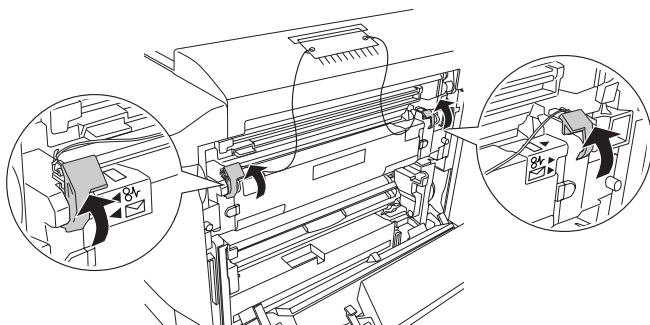
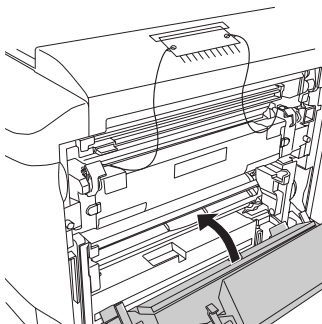
プリンタの長期保管

プリンタを 1 カ月以上ご使用にならない場合は、定着器保護のために、以下の手順で保護材を取り付けてください。

保護材は購入時に取り付けられていたものを再使用します。取り付けずに未使用のまま長期経過すると、定着器が故障するおそれがあります。

1. 本体右側の A カバーを開けます。

2. 排紙レバー（左右）を「 」マークの位置まで下げます。

3 **排紙レバー（左右）に保護材を取り付けます。**

①保護材は図のように取り付けます。

②保護材に付いているタグは図のように本体上部に貼付します。

4 **排紙レバー（左右）を「◀□」、「□▶」マークの位置に戻します。**

5 **Ａカバーを閉じます。**

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法について説明しています。

● 印刷実行時のトラブル 361
● 用紙が詰まったときは 373
● カラー印刷に関するトラブル 385
● 印刷品質に関するトラブル 387
● 画面表示と印刷結果が異なる 392
● USB 接続時のトラブル 394
● その他のトラブル 398
● どうしても解決しないときは 401

印刷実行時のトラブル

プリンタの電源が入らない

電源ケーブルが抜けていたり、ゆるんでいませんか？

電源ケーブルをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

コンセントに電源は来ていますか？

コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電化製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？

コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。
コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。

ポイント

以上の 3 点を確認の上で［電源］スイッチをオン（ I ）にしても電源が入らない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご相談ください。

ブレーカが動作してしまう

ブレーカの定格は十分ですか？

ブレーカの定格が十分であるにもかかわらずブレーカが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。または本機用に専用配線を用意してください。

印刷しない

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルか確認します。

☞ スタートアップガイド（紙マニュアル）20 ページ「コンピュータとの接続」

プリンタがデータを処理できません。

扱うデータ容量が大きすぎるなどの原因でプリンタ側でデータの処理ができません。プリンタにメモリを増設するか、印刷品質（解像度）を下げて印刷してください。

プリンタが印刷できない状態です。

プリンタの操作パネル上にある液晶ディスプレイの表示、またはランプの状態を確認します。以下のページを参照して、エラーを解除してから、[印刷可] スイッチを押します。

本書 255 ページ「液晶ディスプレイの表示メッセージについて」

コンピュータが画像を処理できません。

コンピュータの CPU やメモリによっては画像データを処理できない場合があります。印刷品質（解像度）を下げて印刷するか、メモリを増設してください。

ネットワーク上の設定は正しいですか？

ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。オプションの I/F カードの取扱説明書を参照して、ネットワークの設定を確認してください。

プリンタドライバの［印刷品質］の設定が［高品質］になっていますか？

［高品質］に設定すると、解像度 600dpi で印刷します。この設定で印刷するとプリンタのメモリが足りなくなり、メモリ関連のエラーが発生する場合があります。設定を［標準］（300dpi）にすると印刷できる場合があります。

Windows：本書 49 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Windows：本書 55 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 166 ページ「［プリント］ダイアログ」
Macintosh：本書 172 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

LP-9500C 用のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

Windows の場合

LP-9500C のプリンタドライバが、［コントロールパネル］の［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダにアイコンとして登録されていますか？ また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

  ① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。

  ② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

  ③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

2 ［通常使うプリンタに設定］になっているか確認します。

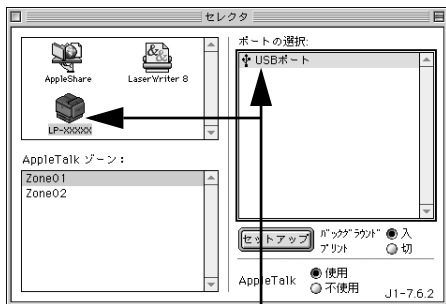
- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

  使用するプリンタ名（LP-9500C）を選択し、［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］が選択されているか確認します。

- **Windows XP の場合**

  ［プリンタと FAX］内のプリンタアイコンにチェックマークが付いていれば、［通常使うプリンタに設定］の状態になっています。プリンタアイコンにチェックマークが付いていない場合は、使用するプリンタ名（LP-9500C）を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

Macintosh の場合

LP-9500C 用のMacintosh プリンタドライバがセレクタ画面で正しく選択されているか、選択したプリンタが実際に接続したプリンタと合っているか確認してください。

選択したプリンタドライバが
正しいか確認します。

Windows のプリンタまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリンタまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

Windows 95/98/Me の場合

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] にカーソルを合わせ [プリンタ] をクリックします。

② 使用するプリンタ名をクリックして [ファイル] メニュー内の [一時停止] または [プリンタをオフラインにする] にチェックが付いている場合はクリックして外します。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

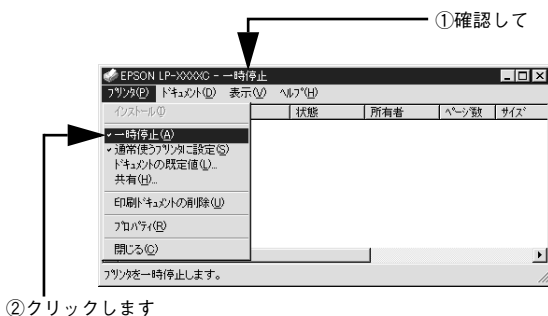
1. Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- Windows NT4.0/2000 の場合

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- Windows XP の場合

①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。

2. LP-9500C のアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］メニューの［一時停止］をクリックしてチェックを外します。

Windows プリンタドライバの［接続ポート］の設定が合っていません。

プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。

本書 133 ページ「プリンタ接続先の変更」

ステータス（状態）が画面表示できない

DMA 転送の設定になっていませんか？

DMA 転送の設定になっているとステータスを画面表示（モニタ）することができないことがあります。この場合は、コンピュータのBIOS 設定を「ECP」（またはENHANCED）以外にして、DMA 転送の設定を解除してください。

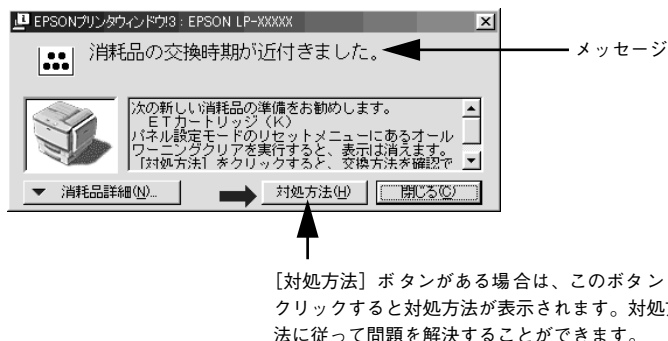
本書 139 ページ「印刷を高速化するには」

詳細はお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

プリンタがエラー状態になっている

コンピュータ画面上にワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？

問題が発生すると、コンピュータの画面上にポップアップウィンドウが開き、ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されます。メッセージが表示されている場合は、その内容を一読して必要な手段を講じてください。

＜例＞ Windowsの EPSON プリンタウィンドウ !3 の場合

操作パネルにある液晶ディスプレイにワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？

ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていたら、以下のページを参照して適切な処置をしてください。

本書 255 ページ「ワーニングメッセージ」
本書 257 ページ「エラーメッセージ」

「LPT1 に書き込みができませんでした」エラーが発生する

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

プリンタドライバの設定が正しくありません。

以下の項目を確認してください。

- プリンタプロパティの［詳細］タブの「印刷先のポート」が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
- プリンタプロパティの［詳細］タブの「スプールの設定」で「プリンタに直接印刷データを送る」の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- ECP モードでご利用の場合、ECP モード対応のケーブルで接続していることを確認し、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」（ECP がない場合は「Bi-directional」）に、ポートを「ECP プリンタポート（LPT1）」など（お使いの Windows によってポート名が異なる場合があります）に設定して印刷を行ってみてください。BIOS 設定について詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

Macintosh のセレクタでプリンタを選択していない

正しいプリンタドライバが選択されていません。

本機のプリンタドライバと正しい接続ポートを選択してください。

スタートアップガイド（紙マニュアル）50 ページ「プリンタドライバの選択」

Macintosh のセレクタにプリンタドライバまたはプリンタが表示されない

QuickDraw GX を使用していませんか？

本機のプリンタドライバは、QuickDraw GX に対応していません。QuickDraw GX を使用停止にしてください。

スタートアップガイド（紙マニュアル）48 ページ「システム条件の確認」

プリンタ名を変更していませんか？

ネットワークの管理者に確認して、変更したプリンタを選択してください。

AppleTalk ネットワークゾーンの設定が違います。

プリンタの接続されているゾーンを選択してください。

エラーが発生する

Macintosh をお使いの場合、MacOS 8.1 〜 9.x を使用していますか？

プリンタドライバの動作可能環境は、MacOS 8.1 〜 9.x です。それ以外の OS では使用できません。

スタートアップガイド（紙マニュアル）48 ページ「システム条件の確認」

印刷設定ダイアログの印刷モードの設定が［高品質］になっていませんか？

プリンタのメモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。印刷ダイアログの印刷モード設定を［標準］にすると印刷できる場合があります。それでも印刷できない場合は、次項目を参照してください。

Macintosh のシステムメモリの空き容量は十分ですか？

Macintosh のプリンタドライバは、Macintosh 本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。

給排紙されない

プリンタをプリンタの底面より小さな台の上に設置していませんか？

プリンタの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。プリンタの設置場所を確認してください。

プリンタは水平な場所に設置されていますか？

プリンタの下にはさまれている物はありませんか？
設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

本機で印刷可能な用紙を使用していますか？

印刷可能な用紙を使用してください。
☞ 本書 13 ページ「印刷できる用紙の種類」

両面印刷ユニットを使用した両面印刷時に、印刷可能な用紙を使用していますか？

両面印刷で使用できる用紙については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 30 ページ「両面印刷ユニット（オプション）について」

セットする前に用紙をさばきましたか？

複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなる場合があります。

用紙カセットがプリンタに正しくセットされていますか？

増設カセットユニット装着時は、用紙カセットを正しくセットしてください。
☞ 本書 22 ページ「用紙カセットへの用紙のセット」

セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？
ステータスシートまたは操作パネルで、MP カセットの用紙サイズを確認してください。
本書 252 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」
用紙サイズが正しく検知されていることを確認し、その用紙サイズをプリンタドライバでの設定と一致させてください。

プリンタドライバで給紙したい給紙装置を選択していますか？
プリンタドライバで使用する給紙装置を選択してください。
Windows：本書 49 ページ「[基本設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 166 ページ「[プリント] ダイアログ」

アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？
給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先する場合があります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

給紙ローラが汚れていませんか？
給紙ローラを拭いてください。
本書 348 ページ「給紙ローラのクリーニング」

紙詰まりエラーが解除されない

詰まった用紙をすべて取り除きましたか？
プリンタのカバー付近を確認してください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店にご連絡ください。

用紙を二重送りしてしまう

用紙どうしがくっついていませんか？
用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。

官製ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？
先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

本機で印刷可能な用紙を使用していますか？

用紙の仕様を確認し、印刷可能な用紙をお使いください。

本書 13 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙がカールする

正しい印刷面へ印刷していますか？

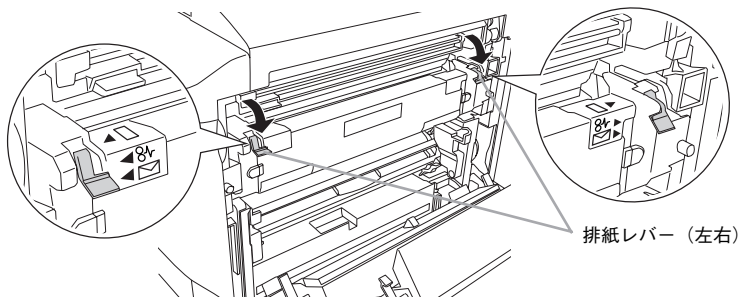
特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。

印刷した封筒にしわが寄る

排紙レバー（左右）を「◀ ✉」、「✉ ▶」マークの位置まで下げてから印刷してください

封筒に印刷すると、しわが寄ってしまう場合は、以下の操作を行ってから印刷してみてください。

① プリンタ本体右側の A カバーを開けます。

② 排紙レバー（左右）を「◀ ✉」、「✉ ▶」マークの位置まで下げます。

③ A カバーを閉じます。

- 排紙レバー（左右）を「◀ ✉」、「✉ ▶」マークの位置まで下げた後、封筒以外の用紙に印刷する場合は、必ず元の位置に戻してから印刷を開始してください。
- 左右の排紙レバーは、必ず同じ位置にしてください。左右のレバーの設定位置が異なると紙詰まりや印刷不良などの原因となります。

「通信エラーが発生しました」と表示される

プリンタに電源が入っていますか？

コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオン（ I ）にします。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲っていないかを確認してください（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください)。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？（ローカル接続時）

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

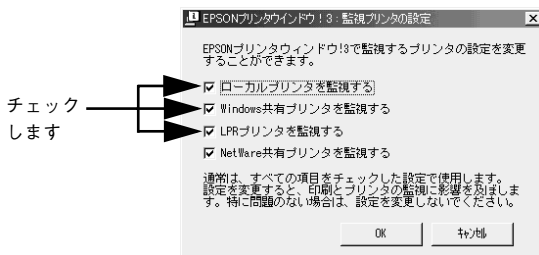
本書 285 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」
本書 286 ページ「USB インターフェイスケーブル」

ネットワークプリンタとして本機をお使いの場合に、印刷プロトコルとして IPX/SPX、Net BEUI、IPP を使用していませんか？

上記のプロトコルでは、印刷できますが、EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの監視ができません。TCP/IP または AppleTalk を使用してください。

［監視プリンタの設定］ユーティリティで、プリンタを監視しない設定にしていませんか？

［監視プリンタの設定］ユーティリティで、［ローカルプリンタを監視する］、［Windows 共有プリンタを監視する］、［LPR］をチェックしないと、本機を監視することができず、正常に印刷できません。必ずチェックしてください。

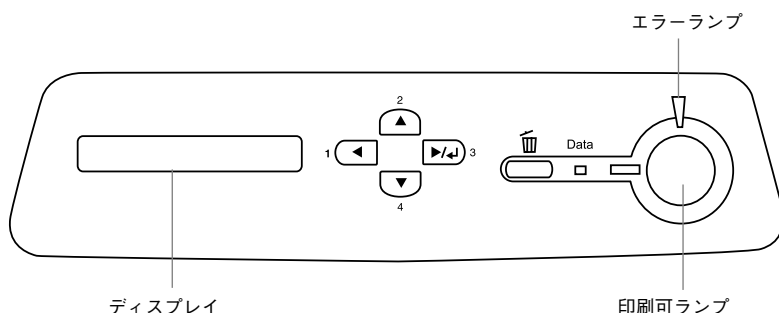
本書 104 ページ「監視プリンタの設定」

印刷が途中で中断されてしまう

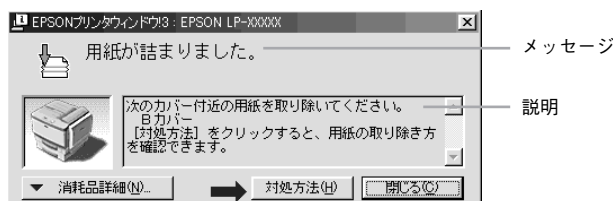
コンピュータのパラレルポートの BIOS 設定を、「ECP」または「ENHANCED」に変更していますか？

コンピュータのパラレルポートの BIOS 設定が「ECP」または「ENHANCED」以外になっていると、印刷が途中で中断されてしまうことがあります。この場合は、印刷データを効率よくプリンタに送るために、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」または「ENHANCED」に設定してください。また、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」または「ENHNACED」に設定できない、設定しても印刷が途中で中断されてしまう場合は、プリンタドライバで「全ページをスプールしてから印刷」を選択してください。

用紙が詰まったときは

用紙が詰まる主な原因と、詰まった用紙を取り除く方法を説明します。

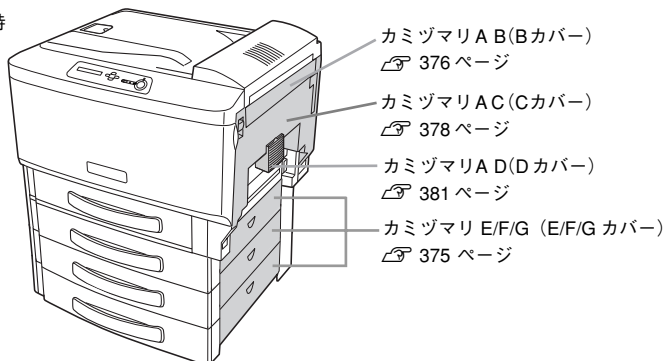
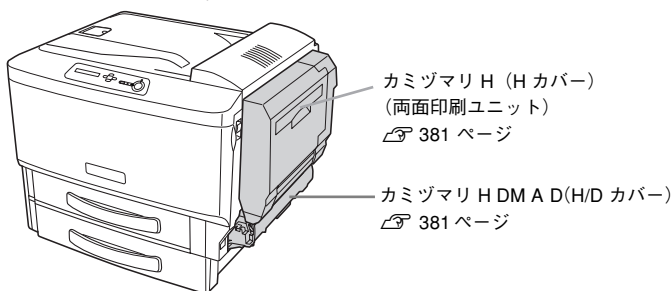
紙詰まりが発生したときは、操作パネルの印刷可ランプが消灯し、エラーランプが点灯してお知らせします。液晶ディスプレイには、「カミヅマリ XXXXX」のようなメッセージが表示されます。XXXXX には、紙詰まりが発生した箇所が表示されます。
本書の手順に従って用紙を取り除いてください。

また、EPSON プリンタウィンドウ !3 が紙詰まりをお知らせします。EPSON プリンタウィンドウ !3 では、「紙が詰まりました。」というメッセージと、紙詰まりが発生した箇所を示す説明が表示されます。[対処方法] ボタンをクリックすると、詰まった用紙を取り除く手順を説明します。説明に従って用紙を取り除いてください。

Windows：本書 94 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
Macintosh：本書 203 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

詰まった用紙は、以下のいずれかの箇所から詰まった用紙を取り除きます。詰まった用紙を取り除く箇所は、操作パネルのディスプレイ、または EPSON プリンタウィンドウ!3 の表示で確認できます。

増設カセットユニット装着時

カミヅマリ A B(Bカバー)
☞ 376 ページ
カミヅマリ A C(Cカバー)
☞ 378 ページ
カミヅマリ A D(D カバー)
☞ 381 ページ
カミヅマリ E/F/G（E/F/G カバー）
☞ 375 ページ

両面印刷ユニット装着時

カミヅマリ H（H カバー）
（両面印刷ユニット）
☞ 381 ページ
カミヅマリ H DM A D(H/D カバー)
☞ 381 ページ

紙詰まりの原因

紙詰まりの主な原因は以下のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、以下の点を確認してください。印刷できない用紙について詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 15 ページ「印刷できない用紙」

- プリンタが水平に設置されていない
- MP カセットまたは用紙カセットが正しくセットされていない
- 本機で使用できない用紙を使用している
- 吸湿して波打ちしている用紙を使用している
- 給紙ローラが汚れている

☞ 本書 348 ページ「給紙ローラのクリーニング」

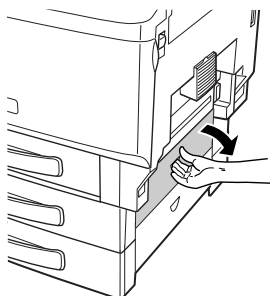
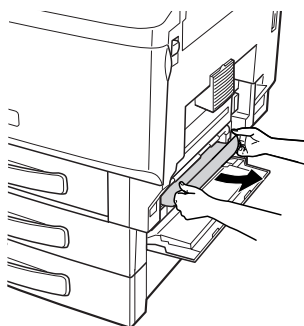
- 用紙を取り除く際に、用紙を破かないよう注意してください。用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。
- 印刷中に用紙を継ぎ足さないでください。複数枚の紙を同時に給紙して紙詰まりの原因となる可能性があります。
- 紙詰まりが頻繁に発生する場合は、用紙を 1 枚ずつセットして印刷を行ってください。

カミヅマリ E/F/G

増設カセットユニットの右側カバー付近で紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネルの液晶ディスプレイ	カミヅマリ E/F/G
EPSON プリンタウィンドウ !3	用紙が詰まりました。 次のカバー付近の用紙を取り除いてください。 E カバー F カバー G カバー

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。ここでは、E カバーを例に説明します。F/G カバーの場合も同様の手順で作業を行います。

1. 本体右側の E カバーを開けます。

2. 用紙の端を持ち、破れないようにゆっくりと引き抜きます。

E/F/G カバーを開けても用紙が発見できない場合は、用紙カセットをゆっくり引き出して、用紙カセット内に詰まっている用紙がないか確認し、用紙をセットし直してください。

☞本書 22 ページ「用紙カセットへの用紙のセット」

3 **Eカバーを閉じます。**

ポイント

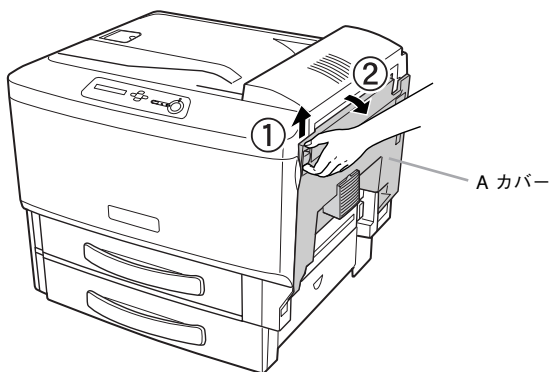
- 紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、E/F/G カバーを閉じることで解除されます。
- E/F/G カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「カバー E/F/G ガアイテイマス」と表示されます。E/F/G カバーをしっかりと閉じてください。

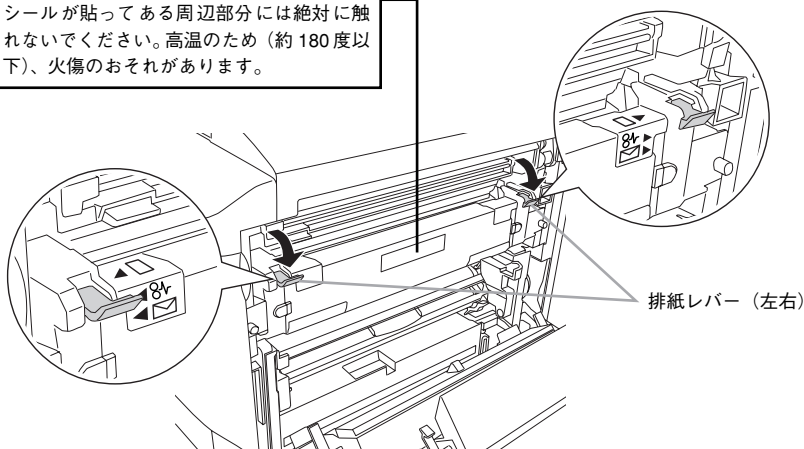
カバーを開けても詰まった用紙が発見できない場合は、用紙カセット内で詰まっている用紙がないか確認してください。

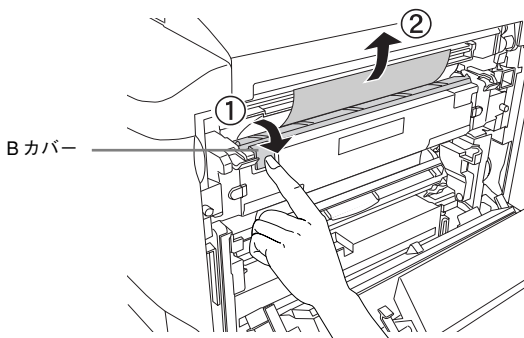
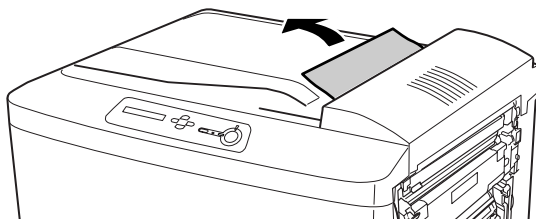
カミヅマリ A B

本体内部の B カバー付近で紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネルの液晶ディスプレイ	カミヅマリ A B
EPSON プリンタウィンドウ !3	用紙が詰まりました。 次のカバー付近の用紙を取り除いてください。 B カバー

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 **本体右側の A カバーを開けます。**

2 排紙レバー（左右）を「8↯」マークの位置まで下げます。

- 排紙レバー（左右）の横にある「◀ ✉」マークおよび「✉ ▶」マークの位置まで排紙レバーを下げないでください。この位置まで下げると、詰まった用紙を取り出すことができなくなる場合があります。
- 左右のレバーは、必ず同じ位置にしてください。左右のレバーの設定位置が異なると紙詰まりなどの原因となります。

3 Bカバーを開けたまま、詰まっている用紙の端を持って破れないようにゆっくりと引き抜きます。

4 **詰まった用紙が排紙口から出ている場合は、排紙口から用紙をゆっくりと引き抜きます。**

5 **A カバーを閉じます。**

A カバーを閉じると排紙レバーも元の位置に戻ります。

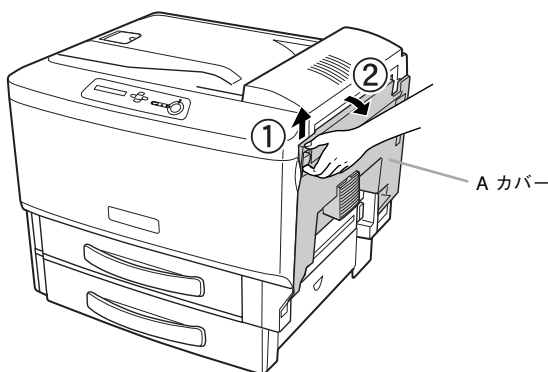
- 紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じることで解除されます。
- A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「カバー A ガアイテイマス」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

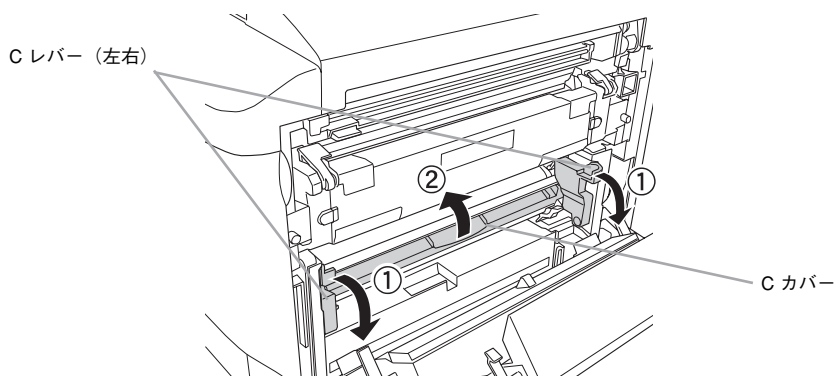
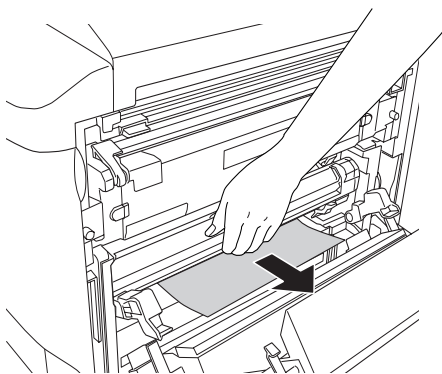
カミヅマリ A C

本体右側の C カバー付近で紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネルの液晶ディスプレイ	カミヅマリ A C
EPSON プリンタウィンドウ !3	用紙が詰まりました。 次のカバー付近の用紙を取り除いてください。 C カバー

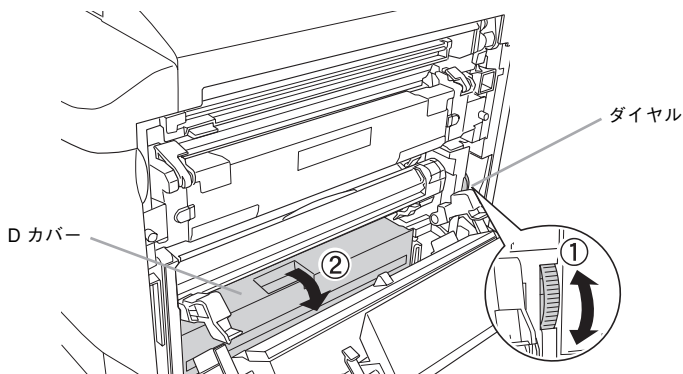
以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

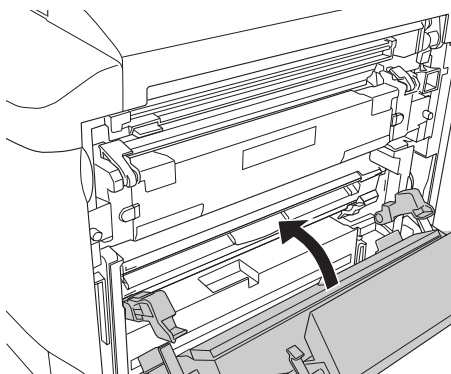
1 **本体右側の A カバーを開けます。**

2 **以下の手順で詰まった用紙を確認します。**

Cレバー（左右）を手前に倒してから、Cカバーを上方向に開けます。

3 **Cカバーを開けたまま詰まっている用紙の端を持ち、破れないようにゆっくりと引き抜きます。**

用紙が取り除けたら**5**へ進みます。詰まった用紙が発見できない場合は**4**へ進みます。

4 **C レバー（右）の右横にある緑色のダイヤルを上下の方向に回します。詰まっている用紙の端を持ち、破れないようにゆっくりと引き抜きます。**

詰まっている用紙が発見できない場合は、D カバー付近を確認してください。

本書 383 ページ「D カバー付近の確認」

5 **A カバーを閉じます。**

A カバーを閉じると C レバー（左右）も元の位置に戻ります。

- 紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じることで解除されます。
- A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「カバー A ガアイテイマス」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

取り外した両面搬送ユニット（DM）は、元通り取り付けてください。

カミヅマリ H/H DM A D/A D

オプションの両面印刷ユニット内部、または本体内部の D カバー付近で紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

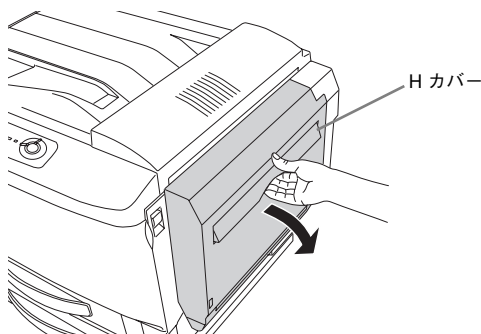
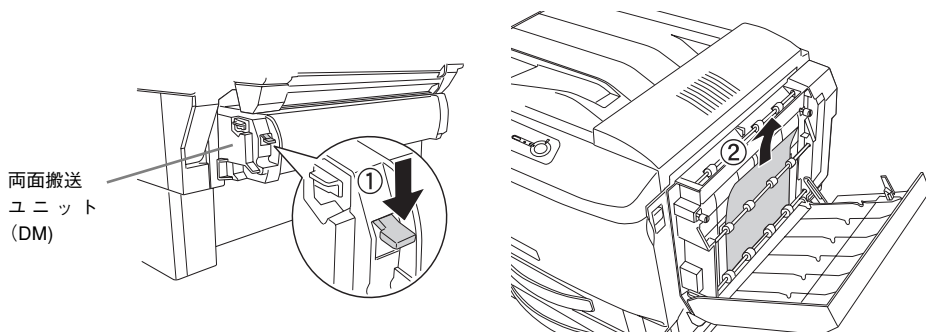
表示部	メッセージ
操作パネルの液晶ディスプレイ	カミヅマリ H/H DM A D/A D
EPSON プリンタウィンドウ !3	用紙が詰まりました。 次のカバー付近の用紙を取り除いてください。 H カバー D カバー

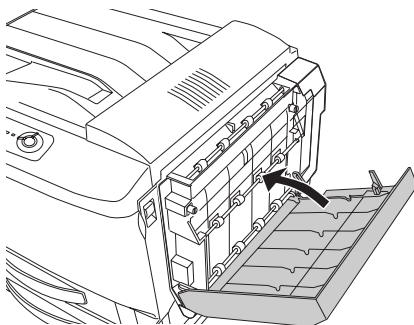
紙詰まりの箇所を以下の手順で調べ、詰まった用紙を探して取り除いてください。

両面印刷ユニットが装着されていない場合は、「D カバー付近の確認」の 2 へ進んでください。
本書 383 ページ「D カバー付近の確認」

両面印刷ユニット内部の確認

両面印刷ユニットが装着されている場合は、以下の手順で用紙を取り除いてください。

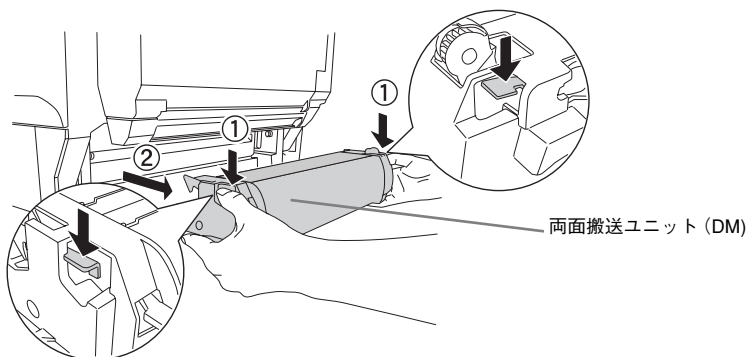
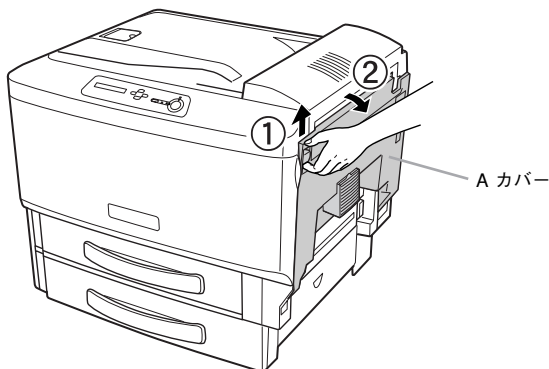
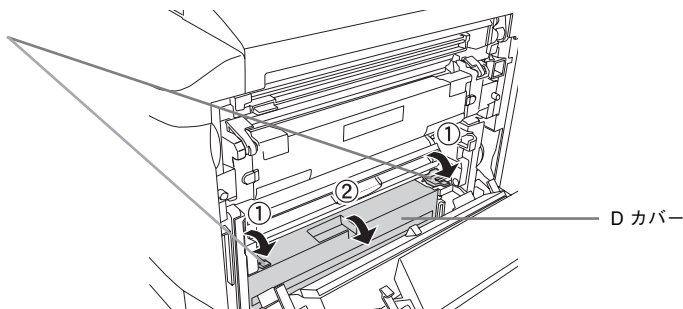
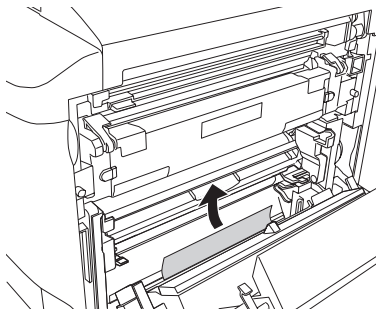
1 **両面印刷ユニット右側の H カバーを開けます。**

2. 両面搬送ユニット（DM）左側にある青色のレバーを下げたまま、詰まっている用紙の端を持ち、破れないようにゆっくりと引き抜きます。

詰まっている用紙が引き抜けない場合は、A カバーを開閉してから、両面搬送ユニット（DM）を取り外してください。取り外し方は、「D カバー付近の確認」の ❶ と同じです。
本書 383 ページ「D カバー付近の確認」

3. H カバーを閉じます。

- 紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、H カバーを閉じることで解除されます。
- H カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「カバー H ガアイテイマス」と表示されます。H カバーをしっかりと閉じてください。

詰まった用紙が見つからない場合は、両面搬送ユニット（DM）を外して本体内部の D カバー付近を確認します。

D カバー付近の確認

4 **オプションの両面搬送ユニット（DM）の左右のレバーを押し下げたまま取り外します。両面搬送ユニット（DM）が装着されていない場合は、5 へ進みます。**

詰まっている用紙があれば、用紙の端を持ち、破れないようにゆっくりと引き抜きます。

5 **本体右側の A カバーを開けます。**

6 **給紙レバー（左右）を下げてから D カバーを開けます。**

7 詰まっている用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

ポイント

詰まった用紙が発見できない場合は、MP カセットまたは用紙カセットを引き出して、用紙をセットし直してください。

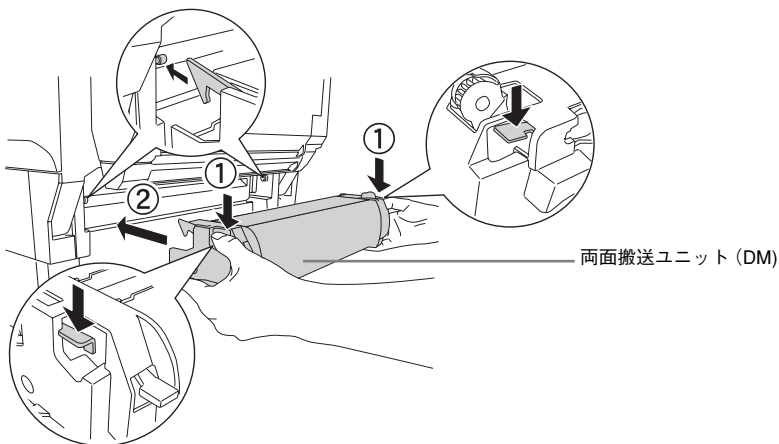
本書 18 ページ「MP カセットへの用紙のセット」
本書 22 ページ「用紙カセットへの用紙のセット」

8 **A カバーを閉じます。**

A カバーを閉じると給紙レバーと D カバーも元の位置に戻ります。

ポイント

- 紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを開閉することで解除されます。
- A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「カバー A ガアイテイマス」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

9 **④ で取り外した両面搬送ユニット（DM）を取り付けます。**

カラー印刷に関するトラブル

カラー印刷ができない

プリンタドライバの設定が、カラー印刷になっていますか？

- Windows の場合、プリンタドライバの［基本設定］ダイアログまたは［詳細設定］ダイアログで［色］が［黒］に設定されているとカラー印刷ができません。
  本書 49 ページ「［基本設定］ダイアログ」
  本書 55 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
- Macintosh の場合、プリンタドライバの［プリント］ダイアログまたは［詳細設定］ダイアログで［色］が［モノクロ］に設定されているとカラー印刷ができません。
  本書 166 ページ「［プリント］ダイアログ」
  本書 172 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

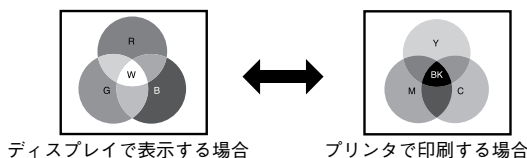
ソフトウェアの設定がカラーデータになっていますか？

ソフトウェア上でカラーデータになっているか確認してください。

画面表示と色合いが異なる

出力装置（ディスプレイとプリンタ）の違いによる差です。

ディスプレイ表示とプリンタで印刷した時の色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。
テレビやディスプレイなどでは、赤（R）・緑（G）・青（B）の“光の三原色”と呼ばれる 3 色の組み合わせで様々な色を表現します。どの色も光っていない状態が黒、3 色全てが光っている状態が白となります。
一方、カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、シアン（C）・イエロー（Y）・マゼンタ（M）の“色の三原色”を組み合わせています。全く色を付けないのがもちろん白で、3 色を均等に混ぜた状態が黒になります。

ディスプレイで表示する場合　　プリンタで印刷する場合

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変更が必要になり、完全に一致させることは難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせ込み）を行うのが、ICM（Windows NT4.0 を除く）や ColorSync（Macintosh）です。
本書 411 ページ「より高度な色合わせについて」

Macintosh でシステム特性の設定を行いましたか？（ColorSync）

ColorSync が正しく動作するためには、入力機器・使用アプリケーションが ColorSync に対応している必要があります。また、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。

☞ 本書 213 ページ「ColorSync について」

プリンタドライバのオートフォトファイン !4 を有効にしていませんか？

オートフォトファイン !4 は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン !4 を有効にしてあると、表示画面と色合いが異なる場合があります。

☞ Windows：本書 55 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 172 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

普通紙を使用していませんか？

カラー印刷の場合は、使用する用紙によって仕上がりイメージがかなり異なります。最良の印刷結果を得るには、「EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙」の使用をお勧めします。

中間調の文字や、細い線がかすれる

［階調優先］/［自動］に設定していませんか？

細い線や細かい模様などを再現する場合には、［詳細設定］ダイアログの［スクリーン］を［解像度優先］に設定してください。

☞ Windows：本書 55 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 172 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

色むらが生じる

［解像度優先］/［自動］に設定していませんか？

微妙な色合いを再現する場合には、［詳細設定］ダイアログの［スクリーン］を［階調優先］に設定してください。

☞ Windows：本書 55 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 172 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

印刷品質に関するトラブル

ETカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品は純正ETカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなどプリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。ETカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。本製品で使用できるETカートリッジの当社純正品については、以下のページを参照してください。

☞ 本書337ページ「ETカートリッジの交換」

きれいに印刷できない

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

☞ Windows：本書55ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書172ページ「［詳細設定］ダイアログ」

［RIT］機能を使用して印刷していますか？

文字をきれいに印刷したい場合は［RIT］機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータの場合は、［RIT］機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。

☞ Windows：本書55ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書172ページ「［詳細設定］ダイアログ」

印刷品質（解像度）を［高品質］（600dpi）に設定していますか？

印刷品質（解像度）を［高品質］（600dpi）に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データの場合、メモリ不足で印刷できない場合があります。その場合は、印刷品質（解像度）を［標準］（300dpi）に戻すか、メモリを増設してください。

☞ Windows：本書49ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書166ページ「［プリント］ダイアログ」

ETカートリッジまたは感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。

新しいETカートリッジまたは感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書337ページ「ETカートリッジの交換」
☞ 本書327ページ「感光体ユニットの交換」

EPSONプリンタウィンドウ!3が「解像度を落としました」というメッセージを表示しましたか?

印刷するのに十分なメモリをプリンタに増設してください。必要なメモリの目安は以下のページを参照してください。

本書406ページ「カラー印刷のポイント」

印刷が薄い(うすくかすれる、不鮮明)

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換してください。

ETカートリッジにトナーが残っていますか?

トナー残量を確認して、新しいETカートリッジに交換してください。

本書337ページ「ETカートリッジの交換」

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。

新しい感光体ユニットに交換してください。

本書327ページ「感光体ユニットの交換」

トナーセーブ機能を使用していませんか?

トナーセーブ機能を解除してください。

Windows:本書55ページ「[詳細設定]ダイアログ」
Macintosh:本書172ページ「[詳細設定]ダイアログ」

汚れ(点)が印刷される

使用中の用紙は適切ですか?

以下のページを参照し印刷できる用紙を使用してください。

本書13ページ「印刷できる用紙の種類」

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。

何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。

本書327ページ「感光体ユニットの交換」

周期的に汚れがある

プリンタ内の定着器、または用紙経路が汚れていませんか?

用紙を数枚印刷してください。

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。

何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。

本書 327 ページ「感光体ユニットの交換」

指でこするとにじむ

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙は適切ですか？

以下のページをを参照して印刷できる用紙を使用してください。

本書 13 ページ「印刷できる用紙の種類」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバ［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。

Windows：本書 49 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 166 ページ「［プリント］ダイアログ」

塗りつぶし部分に白点がある

使用中の用紙は適切ですか？

「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。

本書 13 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。

表（印刷）面を上に向けてセットしてください。

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。

新しい ET カートリッジに交換してください。

本書 337 ページ「ET カートリッジの交換」

用紙が湿気を含んでいるかまたは乾燥しすぎている可能性があります。

新しい用紙と交換してください。用紙は、密閉可能な容器に入れ湿気をさけて保管してください。

用紙全体が塗りつぶされてしまう

感光体ユニットが損傷または劣化している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 本書 327 ページ「感光体ユニットの交換」

縦線が印刷される

感光体ユニットが損傷または劣化している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 本書 327 ページ「感光体ユニットの交換」

何も印刷されない

一度に複数枚の用紙が搬送されている可能性があります。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

ET カートリッジにトナーが残っていますか？
トナー残量を確認して、新しい ET カートリッジに交換してください。
☞ 本書 337 ページ「ET カートリッジの交換」

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 本書 327 ページ「感光体ユニットの交換」

裏面が汚れる

用紙経路が汚れていませんか？
数ページ印刷してください。プリンタ内部に通紙することで汚れが取れる場合があります。
☞ 本書 327 ページ「感光体ユニットの交換」

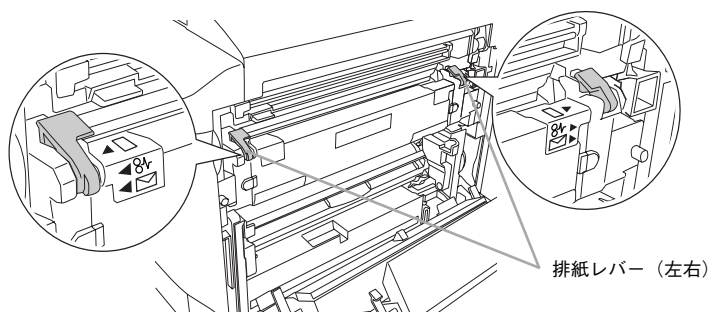
用紙両端の汚れ、C カバー付近での紙詰まり、給紙ミスの多発

排紙レバー（左右）の設定位置が異なっていませんか？

左右の排紙レバーは、必ず同じ位置にしてください。左右のレバーの設定位置が異なると用紙両端部が汚れたり、C カバー付近での紙詰まりや給紙ミスの多発などの原因となります。

以下の手順で確認してください。

①プリンタ本体右側の A カバーを開けます。

② 左右の排紙レバーが同じ位置になっていることを確認します。

③ A カバーを閉じます。

画面表示と印刷結果が異なる

画面と異なるフォント / 文字 / グラフィックスで印刷される

プリンタの使用環境に問題はありませんか？

画面と異なるフォントや文字、グラフィックスで印刷される場合は、まず印刷を中止してください。

☞ Windows：本書 146 ページ「印刷の中止方法」
☞ Macintosh：本書 215 ページ「印刷の中止方法」

再度印刷を実行してみてください。再度同様の現象が発生する場合は、以下の点を確認してください。

- 使用環境の仕様に合った推奨ケーブルが正しく接続されていますか。
- お使いのコンピュータは本機の仕様に適合していますか。
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできますか。

ページの左右で切れて印刷される

印刷データの横幅サイズは、プリンタドライバで設定した用紙サイズに収まりますか？

たとえば、WEB ブラウザでインターネットの WEB サイトを印刷すると、ページの左右で印刷が切れてしまうことがあります。原因は、プリンタドライバの［用紙サイズ］設定が WEB サイトの横幅サイズと合っていないからです。この場合は、より大きなサイズの用紙をプリンタにセットして、それに合った［用紙サイズ］を選択して印刷してください。

☞ Windows：本書 49 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 159 ページ「［用紙設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトによっては、用紙の余白を設定できる場合があります。余白が広く設定されていることが原因で、ページの左右で印刷が切れることが考えられます。たとえば、Microsoft Internet Explorer（WEB ブラウザ）の場合は、［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択して、［余白］の値を小さく設定して印刷してみてください。なお、本機では用紙の左右上下とも最低 5mm の余白が必要です。

より大きなサイズの用紙が利用できない場合は、プリンタドライバの［フィットページ］印刷機能を使用すると、使用する用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小して印刷できます。

☞ Windows：本書 64 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」
☞ Macintosh：本書 182 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

画面と異なる位置に印刷される

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？

アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。

Windows：本書 49 ページ「[基本設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 159 ページ「[用紙設定] ダイアログ」

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要になる場合があります。

プリンタドライバで［オフセット］の調整をしてください。

Windows：本書 86 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 178 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

罫線が切れたり文字の位置がずれる

アプリケーションソフトでお使いのプリンタの機種名を使用するプリンタに設定していますか？

各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、使用するプリンタをお使いのプリンタの機種名に設定してください。

設定と異なる印刷をする

アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定が一致していますか？

印刷条件の設定は、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、ご利用の状況により異なりますので、設定と違う印刷をプリンタが行う場合は、各設定を確認してください。

USB 接続時のトラブル

インストールできない

お使いのコンピュータはWindows 98/Me/2000/XP プレインストールマシンまたはWindows 98 プレインストールされていてWindows Me/2000/XP にアップグレードしたマシンですか？

Windows 95 からWindows 98/Me/2000へアップグレードしたコンピュータやUSBポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについてはコンピュータメーカーへご確認ください。

スタートアップガイド（紙マニュアル）36 ページ「システム条件の確認」

印刷できない（Windows）

プリンタドライバの接続先は正しいですか？

新たにUSB 対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。

1. **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**

- **Windows 98/Me/2000 の場合**

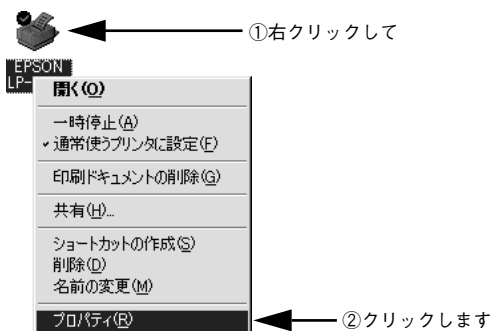
  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタとFAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタとFAX］をクリックします。

❷ LP-9500C のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

❸ ［詳細］/［ポート］タブをクリックして［印刷先のポート］/［印刷するポート］を確認します。

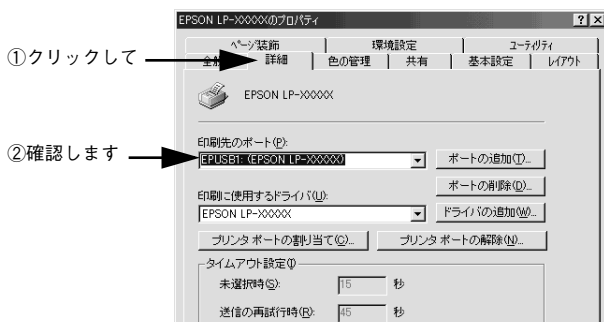
- **Windows 98/Me の場合**

① ［詳細］タブをクリックします。
② ［印刷先のポート］で［EPUSBx: (EPSON LP-9500C)］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

- **Windows 2000/XP の場合**

① ［ポート］タブをクリックします。
② ［印刷するポート］で［USBx］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

＜例＞ Windows 98 の場合

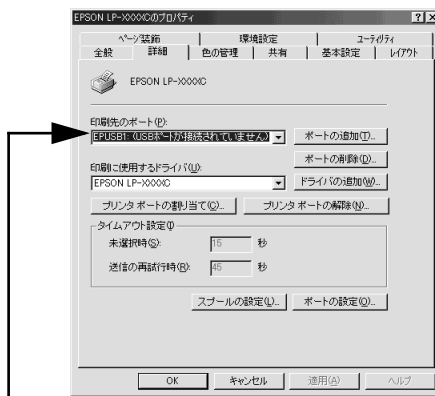
①クリックして
②確認します

ポイント

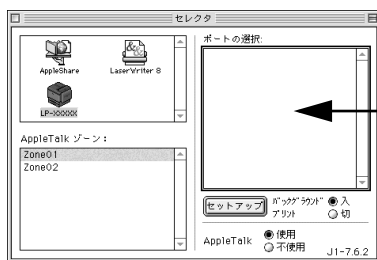
- パラレルケーブルでご利用の場合は、リストボックスから LPT1 を選択します。
- Windows 98/Me をお使いの場合で上記の表示がないときは､USB デバイスドライバがインストールされていないか、正常にインストールされていない可能性があります。プリンタソフトウェアを一旦削除してから再インストールしてください。
  本書 148 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない

プリンタの電源がオンになっていますか？

プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにして、USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

Windows の場合

正しく表示されていない

Macintosh の場合

プリンタ名が表示されていない

USB ハブに接続すると正常に動作しない

本機を USB ハブの 1 段目以外に接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できます。コンピュータに直接接続された 1 段目以外の USB ハブに本機を接続していて正常に動作しない場合は、USB ハブの 1 段目に接続してお使いください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。

USB ハブが正しく認識されていますか？

Windows の［デバイスマネージャ］の＜ユニバーサルシリアルバス＞の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。

- 正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本機の USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。
- USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合せください。

その他のトラブル

印刷に時間がかかる

節電モードになっていませんか？
節電状態から印刷を実行すると、印刷開始の前にウォームアップを行いますので、排紙されるまでに時間がかかる場合があります。

操作パネル上に「プリンタチョウセイチュウ」と表示されていませんか？
画占率の高いデータの印刷時や連続印刷時などには、良好な印刷品質を保つために、印刷の途中でプリンタが動作を一時的に停止して内部機能の自動調整を行うことがあります。自動調整が完了すると印刷を自動的に再開しますので、そのままお待ちください。

Macintosh をお使いの場合、アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては十分ですか？
アプリケーションソフトへのメモリの割り当て量を増やしてください。

Macintosh をお使いの場合、バックグラウンドプリントを［入］にしていませんか？
ご利用の Macintosh によっては、バックグラウンドプリントを［入］にしておくと印刷に時間がかかることがあります。バックグラウンドプリントを［切］に設定して印刷してください。
☞ 本書 211 ページ「バックグラウンドプリントを行う」

ファイルサイズの大きな画像データを印刷していませんか？
処理時間のかかる大きなサイズの画像データを印刷する場合は、プリンタのメモリの増設をお勧めします。プリンタのメモリサイズが大きい方が、より効率よく印刷できる場合があります。

割り付け / 部単位印刷を同時に行うと、部単位で用紙を分けられない

アプリケーションソフトの部単位印刷を指定していませんか？
アプリケーションソフトで部単位印刷の指定を行わないで、プリンタドライバで部単位印刷を指定してください。
☞ Windows：本書 49 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Windows：本書 63 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 166 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 180 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

Windows 共有プリンタへ印刷すると通信エラーが発生する

プリントサーバのEPSON プリンタウィンドウ!3［モニタ設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］にチェックが付いていますか？

プリントサーバにインストールされている本機のEPSON プリンタウィンドウ!3［モニタ設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］にチェックが付いていないとクライアントからプリンタの状態を取得できないためエラーが発生します。

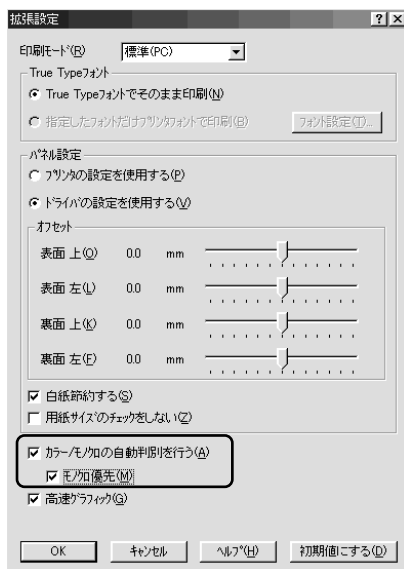
本書97 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

周辺の電化製品やパソコン機器に異常が発生する

電源容量が十分に確保されていない環境においては、本機と同一の電源ラインに接続されている蛍光灯にチラつきが発生したり、パソコンがリセットするなどの現象が発生する可能性があります。

本機と蛍光灯、パソコンなどが接続されている電源ラインを分離してください（分電盤から独立して引かれた電源ラインへの接続をお勧めします）。

感光体とトナーの寿命を延ばしたいときは

［カラー /モノクロの自動判別を行う］と［モノクロ優先］をオンにすると、モノクロ印刷時はブラックの感光体とトナーを使用し、他の色の感光体とトナーはほとんど使用しません。そのため、モノクロ印刷を大量に行う場合、ブラック以外の感光体ユニット /ET カートリッジの寿命を延ばすことができます。ただし、カラーとモノクロのデータごとに印刷機構を切り替えますので、印刷速度は遅くなります。

☞ Windows：本書 86 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 178 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まずプリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。その上でそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

操作パネルからステータスシートが印刷できますか？

本書 252 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

印刷できる	印刷できない

印刷できる	印刷できない
プリンタ本体は正常に動作しています。コンピュータからステータスシートが印刷できますか？ 本書 Windows 82 ページ「［環境設定］ダイアログ」 Macintosh 193 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」	**プリンタ本体のトラブルです。** 保守契約をされていますか？

できる	できない	している	していない

できる	できない	している	していない
エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。 インフォメーションセンターのご相談先はスタートアップガイド(紙マニュアル)の巻末に記載されています。	ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。 ネットワーク接続でお使いの場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。	保守契約店にご相談ください。	「保守サービスのご案内」をご覧ください。 本書 419 ページ「保守サービスのご案内」

ポイント

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称をご確認のうえ、ご連絡ください。

付録

● きれいなカラー印刷をするために......................... 403
● サービス・サポートのご案内 415
● プリンタの仕様 421

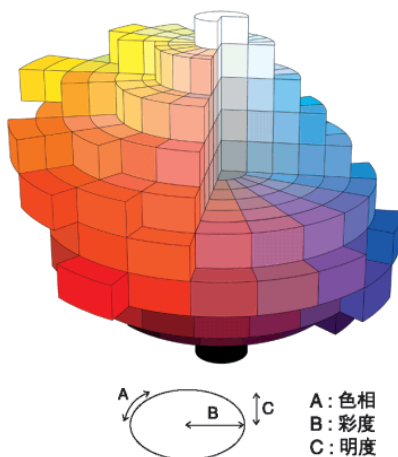
きれいなカラー印刷をするために

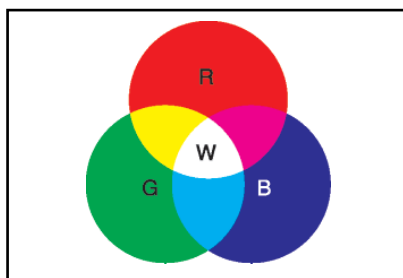
色の概念

普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される“色”にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」について説明しています。

色の要素

一般に「色」というと赤や青などの色相（色合い）を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相の他に彩度、明度という要素があります。
彩度は鮮やかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。
明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。
右の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

A：色相
B：彩度
C：明度

ディスプレイの発色プロセス<加法混色>

色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、赤(R)、緑(G)、青(B)の3色の光が見えます。これは「光の三原色」と呼ばれるもので、光はこれら3色の組み合わせでさまざまな色を表現します。
この方法は、どの色も光っていない状態（全てが0: 黒）を起点に、全ての色が光っている状態（全てが100: 白）までを色を加えることで表現するため、CRTディスプレイで表現される色は、加法混色（加色法）と呼ばれます。

R: 赤　G: 緑　B: 青　W: 白

プリンタ出力の発色プロセス<減法混色>

Y:黄　M:マゼンタ　C:シアン　BK:黒

理論的にはCMYの3色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒(BK)インクを使用し、CMYBKの4色で印刷します。

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。
例えば「赤いインク」の場合、次のようになります。
一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。この光が赤いインクに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体（インク）が赤く見えるのです。
このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色のRGBではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン(C)、マゼンタ(M)、黄色(Y)の3色です。この3色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。

出力装置による発色の違い<ディスプレイとプリンタ出力>

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRTディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。
この加法混色（RGB）→減法混色（CMY）変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの表示はディスプレイの調整状態によっても変化するため、ディスプレイ表示とプリンタからの出力結果を完全に一致させることはできません。このように発色方法の違いにより、ディスプレイ表示と実際の印刷出力の色合いに差異が生じます。ただし、これらの差異をできる限り合わせこむことも可能です。
☞ 本書411ページ「より高度な色合わせについて」

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画(CMY)→ディスプレイ(RGB)→印刷(CMY)の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものもあります。

印刷解像度について

ディスプレイに表示される画像やプリンタで印刷される画像は、小さなドット（点）で構成されています。印刷解像度は、1インチ（約2.54cm）あたりにいくつの点があるかをdpi（dots per inch）という単位で表現し、この値が大きい方がきめの細かい印刷結果を得ることができます。
本機の印刷解像度は、300dpiまたは600dpiのいずれかを選択することが可能です。［詳細設定］ダイアログの解像度（Windows）/印刷品質（Macintosh）で「標準」（300dpi）または「高品質」（600dpi）を選択します。600dpiを選択すると、きめの細かいきれいな画像が印刷できますが、印刷時間は長くなります。また扱うデータ量が大きくなるため、メモリの増設が必要になる場合があります。
印刷の目的に合わせて印刷解像度を選択してください。

イメージ図

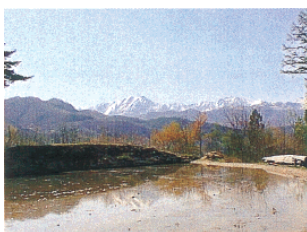
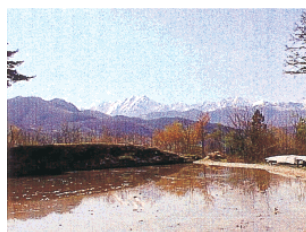
● 300dpi

● 600dpi

スクリーン線数について（解像度優先/階調優先）

印刷される画像の色の濃淡は、用紙上のトナーの点の密度を変化させることで表現します。この点の密度をスクリーン線数と呼び、1インチ（約2.54cm）あたりの密度をlpi（lines per inch）という単位で表現し、この値が大きい方が精密な印刷結果を得ることができます。
プリンタドライバ上で［解像度優先］を選択すると、スクリーン線数を高めに設定して細い線や細かい模様を正確に再現した印刷結果が得られます。
［階調優先］を選択すると、スクリーン線数をやや低めに設定して細い線や細かい模様などは正確に再現できない場合がありますが、色調の変化などをよりなめらかに表現した印刷結果が得られます。
［自動］を選択すると、印刷するデータに対して適したスクリーン線数を自動的に選択して印刷します。

イメージ図

●階調優先

●解像度優先

カラー印刷のポイント

8 ～ 16 色程度のイラストを印刷する場合は、プリンタドライバやアプリケーションソフトでカラー印刷を行う設定さえしておけば、特別な準備や調整は不要です。しかし、本書の出力サンプルや販売店でご覧になった写真のような印刷を行うには、印刷データの調整やパソコン環境の整備が必要です。

カラー画像の印刷と必要メモリの関係

カラー画像の印刷には多くのメモリを必要とします。
印刷に必要なメモリの量は、画像データのサイズや印刷時の設定によって変わります。
必要メモリの量に関係する印刷時の設定は、次の 2 つがあります。

- 印刷サイズ
- 解像度（[標準] 300dpi/ [高品質] 600dpi）

実際の印刷で必要となるプリンタのメモリの量は、印刷データやアプリケーションソフトにより異なりますが、通常使用における目安として下表を参考にしてください。また推奨のメモリサイズをプリンタに実装させることで、印刷速度の改善など、より効率的な印刷が可能になります。なお DTP 出力などで複雑な印刷にご使用の場合は、1024MB（最大時）まで増設することをお勧めします。

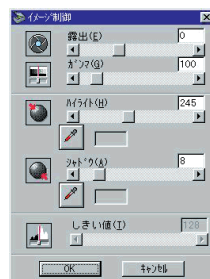
	印刷サイズ	解像度	必要メモリ	推奨メモリ
片面	A4	標準	64MB	64MB
		高品質	64MB	64MB
	A3	標準	64MB	64MB
		高品質	64MB	96MB
両面	A4	標準	64MB	64MB
		高品質	64MB	64MB
	A3	標準	64MB	64MB
		高品質	64MB	128MB

また、カラー画像のデータサイズは、モノクロデータに比べ大きいものになるため、ご利用のコンピュータのハードディスクの空き領域を十分に確保する必要があります。主な入力装置でのカラー画像データサイズは、下表のようになります。

入力装置／品質		原稿サイズ	画素数（ピクセル）	画像データ容量	
デジタルカメラ	350,000 画素	ー	640 × 480	900	KB
	870,000 画素	ー	1024 × 768	2.3	MB
	1,300,000 画素	ー	1290 × 960	3.52	MB
	2,140,000 画素	ー	1600 × 1200	5.5	MB
フイルムスキャナ	1200dpi	ー	1700 × 1100	5.4	MB
フラットベッドスキャナ	300dpi	4' × 6'	1200 × 1800	6.2	MB
		A4	2550 × 3600	26.3	MB
	600dpi	4' × 6'	2400 × 3600	24.7	MB
		A4	5100 × 7200	105.1	MB
	1200dpi	4' × 6'	4800 × 7200	100	MB
		A4	10200 × 14000	420	MB
Photo CD	BASE	ー	768 × 512	1.1	MB
	4BASE	ー	1536 × 1024	4.5	MB
	16BASE	ー	3072 × 2048	18.0	MB

スキャナから画像を取り込む場合のポイント

ハイライト / シャドウ / ガンマの設定に注意する

ハイライトは画像の階調を有して最も明るい部分、シャドウは階調を有して画像の最も暗い部分です。ガンマはこれらの傾きです。この 3 点を適切に設定して取り込むだけで、おおむねきれいな画像が得られます。
スキャナの取扱説明書を参照し、ハイライト / シャドウ / ガンマを正しく設定した上で画像を取り込んでください（画像中の暗い部分が黒くつぶれないように、明るい部分が白く飛ばないように注意してください）。詳しくは、お使いのスキャナの取扱説明書をご覧ください。

適切な設定

ハイライトが強い設定

シャドウが強い設定

Photo CD から出力する場合のポイント

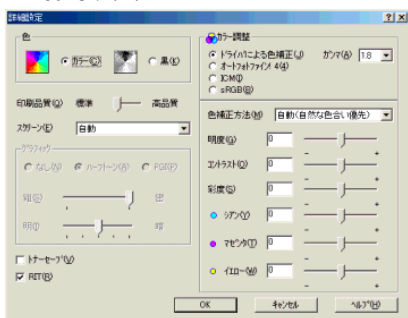
Photo CD の画像を印刷で利用する場合、開いた画像をそのまま出力しても必ずしも高品位な出力結果は得られませんので、適切な処理が必要です（ハイライト / シャドウの設定、色かぶりの除去、シャープネス設定など）。
適切な処理をするためには、通常 Photoshop などのアプリケーションソフトで画像を補正しますが、本機のプリンタドライバで「オートフォトファイン !4」を使用して印刷すると、元データはそのままに、出力する画像に対して適切な処理を施し、高画質化して印刷することができます。

ポイント

処理すべき内容・方法については、「Photo CD プリプレスリファレンス*」などに詳しく記載されていますので、そちらを参照してください。
* Photo CD 制作サービスの窓口でお求めください。

印刷時のポイント（オートフォトファイン !4）

プリンタドライバの設定モードは、通常［推奨設定］にしておけば、標準的な印刷結果が得られるように色調整されています。しかし、ここで行われる色調整は、一般的かつ一律的なレベルですので、さらに細かく調整をしたい場合には［詳細設定］で微調整（設定変更）を行ってください。

● Windows ドライバ

● Macintosh ドライバ

オートフォトファイン !4

オートフォトファイン !4 とは、エプソン独自の画像解析 / 処理技術を用いて自動的に画像を高画質化して印刷する機能です。
一般的に、市場で「きれい」と感じられるデジタル画像には、ほとんどの場合、元データに対して何らかの「補正」がかけられています。通常、このような「補正」はフォトレタッチソフトなどを使用して行いますが、この作業には「色」に関する知識と、豊富な作業経験が要求されます。また、この作業には時間もかかります。このような難しい補正作業を、人の手に代わって自動的かつ短時間に行う機能が「オートフォトファイン !4」です。（印刷時に補正するだけで、元データに補正は加えません。）
この機能は、1 ページ内に複数の画像イメージが存在する場合にも、それぞれのイメージに対して個別の解析を行い、最適な処理を実行します。

- 画像によって補正の効果は異なります。例えば、すでに適切な補正がかけられている画像などについては効果が薄くなります。
- 256 色などの色数の少ない画像データには有効に機能しないことがあります。
- 画像を解析しながら印刷処理を行うので、処理速度の遅い CPU を搭載しているコンピュータなどでは印刷時間が長くなります。
- ディスプレイ上の表示と印刷結果を合わせたいときは「ICM」（Windows）/「ColorSync」（Macintosh）を使用して印刷してください。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

オートフォトファイン!4 を指定して印刷を実行すると、プリンタドライバはまず画像全体の中から主要なオブジェクトを認識します。そして、そのオブジェクトを次のように解析して処理を行います。

RGB カラーバランスの補正	色かぶりが補正されます。オブジェクトの RGB ごとのヒストグラムを分析し、RGB ごとにトーンカーブ補正を行います。
解像度の補正	低解像度の粗い画像をきめ細かく表現します。画像データの解像度が低い場合、擬似的に解像度を上げて印刷します。
明るさの補正	暗すぎる（露出不足）画像などが修正されます。オブジェクトの明るさを分析し、輝度に対して最適なトーンカーブ補正を行います。
コントラストの強調	中間調のコントラストが上がり、メリハリのある画像になります。ヒストグラムの最小値と最大値を、それぞれ最適になるようにダイナミックレンジを拡大し、さらにヒストグラムの分布から、トーンカーブを画像に応じて適切に調整します。
彩度の強調	色あせた画像が鮮やかになります。画像の彩度の程度を分析し、その程度に応じた彩度調整をかけます。

オートフォトファイン!4 OFF

オートフォトファイン!4 ON

●明るさの補正

●コントラスト・彩度の強調

●RGBカラーバランスの補正

※ 1ページの複数の画像に対して個別に適切な補正が行われます。

より高度な色合わせについて

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。
このような場合の原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるには、次の方法があります。

ディスプレイを調整する（モニタキャリブレーション）

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。このように偏った表示をしている状態では、スキャナから取り込んだ画像やPhoto CDなどの画像は適切な明るさや色合いで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。
ディスプレイの調整については、以下を参照してください。

カラーマネジメントシステムを使う

原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いを一致させるためのシステムとして、MacintoshではApple社の「ColorSync」、WindowsではMicrosoft社の「ICM」があります（WindowsNT4.0を除く）。カラーマネージメントシステムについては、次ページを参照してください。

ディスプレイの調整

ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）は、本格的に行うと非常に手間のかかる作業で、また測定機器なども必要になります。ここでは簡易的な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いは原稿または印刷結果に近付けることができますが、すべてを近付けることはできません。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

1. **ディスプレイの電源をオンにし､30 分以上おいてディスプレイの表示を安定させます。**

2. **室内の照明環境を一定にします。**

   自然光は避けて、なるべく一定の照明条件になるようにし、さらにフードを装着すると良いでしょう。

3. **ディスプレイのカラーバランス(色温度)を調整できる場合は､6500゜Kに調整します。**

4. **ディスプレイのブライトネス調整を行います。**

   ディスプレイで表示される「黒」が､「真っ黒」に近くなるように調整します。

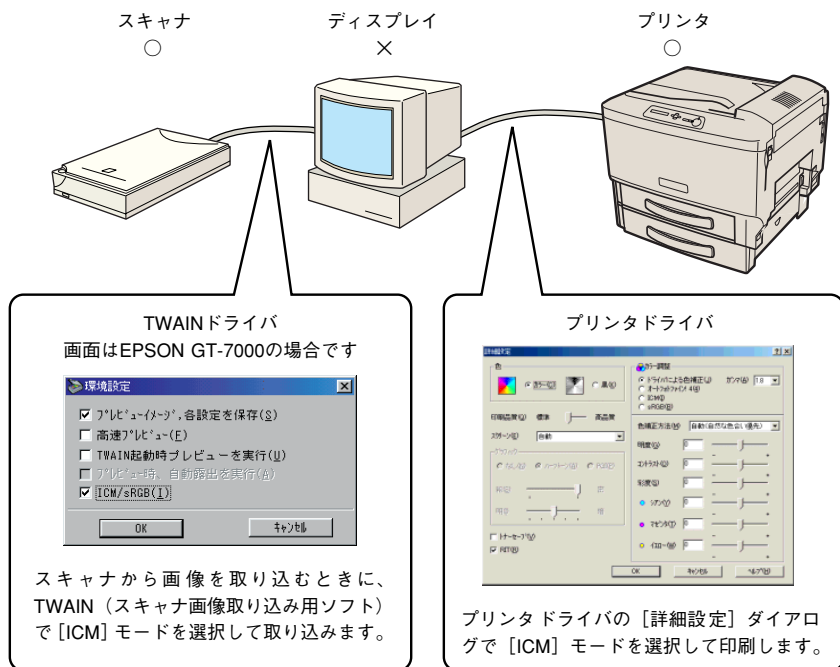
5. **Macintosh をお使いで､コントロールパネルに「ガンマ」が登録されている（Adobe Photoshop がインストールされている）場合は､ディスプレイのガンマ（グレー）調整を行います。**

   ガンマ補正の値は、一般的な 1.8 に設定するのが良いでしょう。

6. **ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャナで取り込んだ画像の色が原稿またはプリンタの出力結果に近くなるように調整を行います。**

7. **調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。**

カラーマネージメントシステム「ICM」

スキャナから取り込んだ画像とプリンタでの印刷結果の色合いを近付けるために、Windows では、Microsoft 社の「ICM」というカラーマネージメントシステムがあります（Windows NT4.0 を除く）。

ICM を使用した場合でも、通常、ディスプレイ表示だけは色合いを近付けることはできません。
ただし、次の場合に、ディスプレイ表示の色合いを近付けることができます。

- ディスプレイ調整機能によって、ディスプレイをガンマ特性 2.2、色温度 6500°K に調整した場合（前ページを参照してください）
- ディスプレイメーカーから ICC プロファイル（色特性データファイル）が提供されている場合で、なおかつアプリケーションソフトが対応している場合（詳細は、ディスプレイおよびアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください）

- 「ICM」は、Windows 95/98/Me/2000/XP 用のプリンタドライバでのみご利用になれます。
- TWAIN ドライバなどスキャナについての詳細は、スキャナの取扱説明書をご覧ください。
- Windows 98/Me/2000/XP の ICM は Windows95 の ICM よりも高い精度で色合いを近付けることができます。

カラーマネージメントシステム「ColorSync」

「ColorSync」は、原画（印刷データ）、ディスプレイの表示、印刷結果の色の合わせ込みを行う Apple 社のカラーマネージメント機能です。
以下に、「ColorSync」を使用しての、画像の取り込みから印刷までの流れを示します。

ポイント

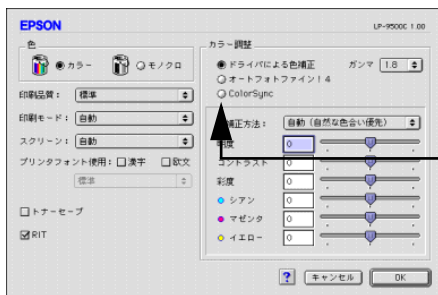
「ColorSync」を利用するには、Macintosh に「ColorSync」がインストールされている必要があります。

1 まず始めに、お使いのディスプレイの特性を設定します。

☞ 本書 213 ページ「ColorSync について」

2 スキャナから画像を取り込む場合は、TWAIN（スキャナの画像取り込み用ソフト）で、「ColorSync」を使用して画像を取り込みます。

画面は EPSON GT-7000（スキャナ）の場合です。

3 プリンタドライバで「ColorSync」を選択して、印刷します。

ポイント

- 「ColorSync」を選択して色合わせを行う場合は、RGB の画像データを使用してください。CMYK、Lab などのデータでは、正しく色合わせができません。
- 一部のアプリケーションソフトでは、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます（AdobePageMaker6.5J、Photoshop4.0J 以降、Illustrator7.0J 以降など）。ソフトウェア上で ColorSync の設定を行う場合は、プリンタドライバでは「ColorSync」を選択せず、［ドライバによる色補正］－［色補正方法：色補正なし］を指定してください。

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設 *1 してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

*1 「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心＆充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『プリンタソフトウェア CD-ROM』から簡単にご登録いただけます。*2

*2 インターネット接続環境をお持ちでない場合には、同梱のお客様情報カード（ハガキ）にてユーザー登録をお願いいたします。ハガキでの登録情報は弊社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。（上記「専用ホームページ」の特典は反映されません。）今回ハガキにてご登録いただき、将来インターネット接続環境を備えられた場合には、インターネット上から再登録していただくことで上記「専用ホームページ」の特典が提供可能となります。

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
電話番号	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）

受付時間	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
所在地	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。お問い合わせはスタートアップガイド巻末の一覧をご覧ください。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。
エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

最新プリンタドライバの入手方法とインストール方法

弊社プリンタドライバは、アプリケーションソフトのバージョンアップなどに伴い、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいプリンタドライバをご使用ください。プリンタドライバのバージョンは数字が大きいものほど新しいバージョンとなります。

最新のプリンタドライバ入手方法

最新のプリンタドライバは、下記の方法で入手してください。

- インターネットの場合は、次のホームページの［ダウンロード］から入手できます。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
サービス名	ダウンロードサービス

- CD-ROM での郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。

各種ドライバの最新バージョンについては、エプソン販売（株）のホームページにてご確認ください。ホームページの詳細については、スタートアップガイドの巻末にてご案内しております。

ダウンロード・インストール手順

ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮[*1] ファイルとなっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍[*2]してからインストールしてください。

*1 圧縮：1つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。
*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

ポイント

インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。
☞Windows：本書 148 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」
☞Macintosh：本書 216 ページ「プリンタソフトウェアの削除」

1. **ホームページ上のダウンロードサービスから対象の機種を選択します。**

2. **プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行します。**

手順については、ホームページ上の［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックしてください。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソン販売のホームページへ接続した場合です。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書「困ったときは」をお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受け付け窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター（本書裏表紙をご覧ください）
  受付日時 ：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
  受付時間 ：9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金と支払方法</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td>年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>● 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
● 修理のつど発生する修理代・部品代＊は無償になるため予算化ができて便利です。
● 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
＊ 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。</td><td>無償</td><td>年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>● お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。
● 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>無償</td><td>出張料＋技術料＋部品代

修理完了後
そのつどお支払いください</td></tr>
</table>

- 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外をとわず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。（年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります。）
- 当機種は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います

プリンタの仕様

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式一成分電子写真方式
解像度	300dpi/600dpi dpi：25.4mm｛1インチ｝あたりのドット数　（Dots Per Inch）
プリント速度 （標準用紙トレイ）	300dpi/600dpi　：　片面印刷時　21.6PPM（A4） 両面印刷時　11.7PPM（A4） PPM＝枚 / 分（Pages Per Minute）
ウォームアップ時間	99秒以下（23度、定格電圧にて）
ファーストプリント	カラー片面印刷　：　16.0秒（A4） カラー両面印刷　：　27.5秒（A4） モノクロ片面印刷　：　13.0秒（A4） モノクロ両面印刷　：　25.6秒（A4）
稼働音 （本体のみ）	待機時　：　約40.0dB（A） 稼働時　：　約50.0dB（A）（LP-9500C） 約53.0dB（A）（LP-9500CZ）

文字仕様

文字コード	JISX0208-1990準拠	
書体	欧文	ローマン、サンセリフ Windows対応TrueType互換14書体 • DutchTM 801（Medium/Italic/Bold/Bold Italic） • SwissTM 721（Medium/Italic/Bold/Bold Italic） • Courier（Medium/Italic/Bold/Bold Italic） • Symbol • More WingBats
	和文	明朝、ゴシック

用紙関係

用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字品質チェックをしてください。

給紙方法	用紙種類		用紙サイズ	紙　厚	容　量*3
MP カセット*1	普通紙 EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3F、A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4	64～90g/m^2	250 枚 （または総厚 28.5mm）
	特殊紙	官製ハガキ	100 × 148mm（ハガキ）	190g/m^2	50 枚
		官製往復ハガキ	148 × 200mm（W ハガキ）		
		官製四面連刷ハガキ	200 × 296mm（Q ハガキ）		
		封筒	洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、角形 2 号	85 ～ 105 g/m^2 前後を推奨	10 枚
		ラベル紙	A4、Letter（LT）	91～210g/m^2	50 枚
		厚紙	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4		
		不定形紙*4	幅：90 ～ 311mm 長さ：148 ～ 457mm	64～90 g/m^2	250 枚
				91～210g/m^2	50 枚
		EPSONカラーレーザープリンタ用コート紙	A3、A4	105g/m^2	50 枚
		EPSONカラーレーザープリンタ用OHP シート	A4	140g/m^2	50 枚
用紙カセット*2	普通紙 EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3、A4、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4	64～90g/m^2	500 枚 （または総厚 57.5mm）
	特殊紙	EPSONカラーレーザープリンタ用コート紙	A3、A4	105g/m^2	50 枚

*1　A3F、A3、A4、A5、官製ハガキ、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Ledger（B）、F4 以外の用紙は、プリンタの操作パネルとプリンタドライバで用紙サイズを設定する必要があります。

*2　オプションの増設カセットユニットの用紙カセットを指します（LP-9500CZ では、用紙カセット 1 段が標準装備されています）。

*3　セットできる用紙の高さは用紙ガイドの最大枚数（三角マーク表示）までです。三角マークを超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。

*4　不定形紙に印刷する場合は、プリンタドライバのユーザー定義サイズを設定してから印刷してください。
本書 42 ページ「不定形紙への印刷」

排紙容量	フェイスダウントレイ　：最大 250 枚（普通紙 64g/m^2）
用紙の種類	普通紙 64～90g/m^2 • 一般に適用しているコピー用紙、再生紙、色つき、レターヘッド 特殊紙 • ラベル紙、官製ハガキ、官製往復ハガキ、官製四面連刷ハガキ、封筒、コート紙、OHP シート、厚紙（91～210g/m^2）、不定形紙

用紙サイズと給紙

○：使用可能　　×：使用不可能

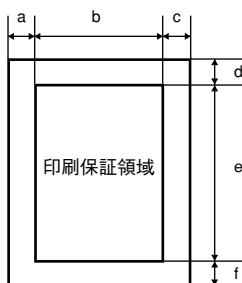
用紙サイズ			MP カセット	用紙カセット [*1]	両面印刷ユニット（オプション）[*2]	用紙のセット方向
A3F		311.2 × 457.2mm（12.3 × 18.0 インチ）	○	×	×	縦長
A3		297.0 × 420.0mm	○	○	○	縦長
A4		210.0 × 297.0mm	○	○	○	横長
A5		148.0 × 210.0mm	○	×	○	横長
B4		257.0 × 364.0mm	○	○	○	縦長
B5		182.0 × 257.0mm	○	○	○	横長
Letter（LT）		8.5 × 11.0 インチ（215.9 × 279.4mm）	○	○	○	横長
Half-Letter（HLT）		5.5 × 8.5 インチ（139.7 × 215.9mm）	○	×	○	縦長
Legal（LGL）		8.5 × 14.0 インチ（215.9 × 355.6mm）	○	○	○	縦長
Executive（EXE）		7.3 × 10.5 インチ（184.2 × 266.7mm）	○	×	○	横長
Government Legal（GLG）		8.5 × 13.0 インチ（215.9 × 330.2mm）	○	×	○	縦長
Ledger（B）		11.0 × 17.0 インチ（279.4 × 431.8mm）	○	○	○	縦長
Government Letter（GLT）		8.0 × 10.5 インチ（203.2 × 266.7mm）	○	○	○	横長
F4		210.0 × 330.0mm	○	○	○	縦長
不定形紙		用紙幅 90.0～311.0mm 用紙長 148.0～457.0mm	○ [*3]	×	×	−
官製ハガキ		100.0 × 148.0mm	○	×	×	縦長
官製往復ハガキ		148.0 × 200.0mm	○	×	×	横長
官製四面連刷ハガキ		200.0 × 296.0mm	○	×	×	横長
専用 OHP シート		210.0 × 297.0mm	○	×	×	横長
ラベル紙		210.0 × 297.0mm	○	×	×	横長
		215.9 × 279.4mm	○	×	×	横長
封筒	洋形 0 号	120.0 × 235.0mm	○	×	×	縦長
	洋形 4 号	105.0 × 235.0mm	○	×	×	縦長
	洋形 6 号	98.0 × 190.0mm	○	×	×	縦長
	長形 3 号	120.0 × 235.0mm	○	×	×	縦長
	角形 2 号	240.0 × 332.0mm	○	×	×	縦長

*1 オプションの増設カセットユニット（LPA3CZ1CU1）から給紙できる用紙サイズを表します。LP-9500CZ には、増設カセットユニット 1 段が標準装備されています。

*2 オプションの両面印刷ユニット（LPA3CRU1）を装着して、両面印刷できる用紙サイズを表します。

*3 アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。

印刷保証領域

印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。用紙の各端面から 5mm を除く領域の印刷を保証します。

定形紙 （単位：ドット、600dpi）

名　称		a	b	c	d	e	f
A3F		120	7110	120	120	10560	120
A3		120	6776	120	120	9680	120
A4		120	4720	120	120	6776	120
A5		120	3256	120	120	4720	120
B4		120	5832	120	120	8360	120
B5		120	4060	120	120	5832	120
Letter（LT）		120	4860	120	120	6360	120
Half Letter（HLT）		120	3060	120	120	4860	120
Legal（LGL）		120	4860	120	120	8160	120
Executive（EXE）		120	4110	120	120	6060	120
Government Legal（GLG）		120	4860	120	120	7560	120
Government Letter（GLT）		120	4560	120	120	6060	120
Ledger(B)		120	6360	120	120	9960	120
F4		120	4720	120	120	7556	120
官製ハガキ		120	2122	120	120	3256	120
官製往復ハガキ		120	3256	120	120	4484	120
四面連刷ハガキ		120	6752	120	120	4484	120
封筒	洋形 0 号	120	2594	120	120	5310	120
	洋形 4 号	120	2240	120	120	5310	120
	洋形 6 号	120	2074	120	120	4248	120
	長形 3 号	120	2594	120	120	5310	120
	角形 2 号	120	1886	120	120	4602	120

不定形紙

名称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1886	120	120	3256	120
最大サイズ	120	7110	120	120	10560	120

アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。

電気関係

定格電圧	AC100V ± 10%	
定格電流	14.0A	
周波数	50/60Hz ± 3Hz	
消費電力	最大	：1400W
	印刷時平均	：700Wh
	待機時平均	：170Wh（ヒータオン時）
	低電力モード時平均	：25Wh（ヒータオフ時）

環境使用条件

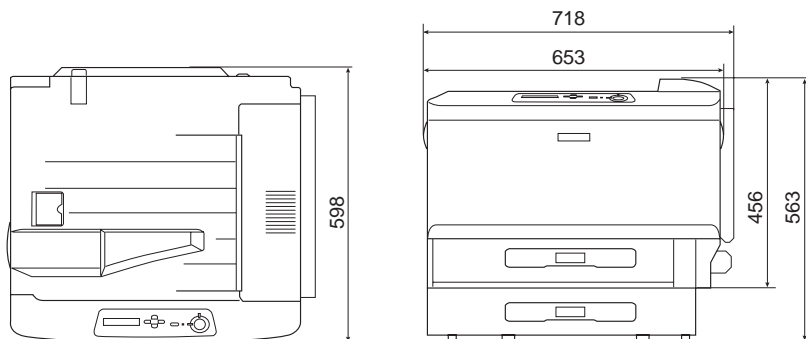
動作時	温度	：10.0 ～ 32.5 度
	湿度	：15 ～ 85%（ただし結露しないこと）
	気圧（高度）	：76.0 ～ 101.0kpa（2500m 以下）
	水平度	：傾き 1 度以下
	照度	：3000lx 以下（ただし直射日光を照射させないこと）
	周囲スペース	：前後左右上方　各 100mm のスペースが必要
保存・輸送時	温度	：0 ～ 35 度
	湿度	：10 ～ 85%（ただし結露しないこと）

コントローラ基本仕様

RAM	標準	：64MB
	オプション増設時	：最大 1024MB（1 ソケット）
インターフェイス	標準	：パラレル IEEE1284 準拠双方向（ニブルモード、ECP モード） USB（1.1 および 2.0 対応）
	オプション	：Type B I/F（1 スロット）
内蔵モード	標準	：ESC/Page モード（Color 対応：双方向機能） ESC/P モード（VP-1000 エミュレーション） ESC/PS モード（モノクロのみ：PC-PR201H エミュレーションとESC/P を自動判別）
	その他	：EJL モード（双方向機能）

外観仕様

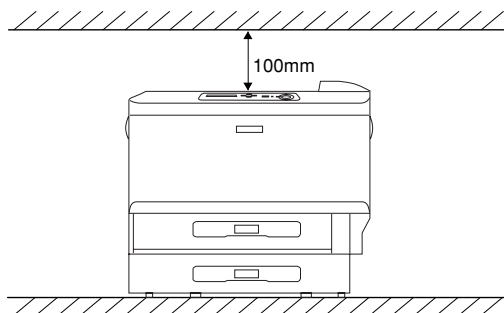
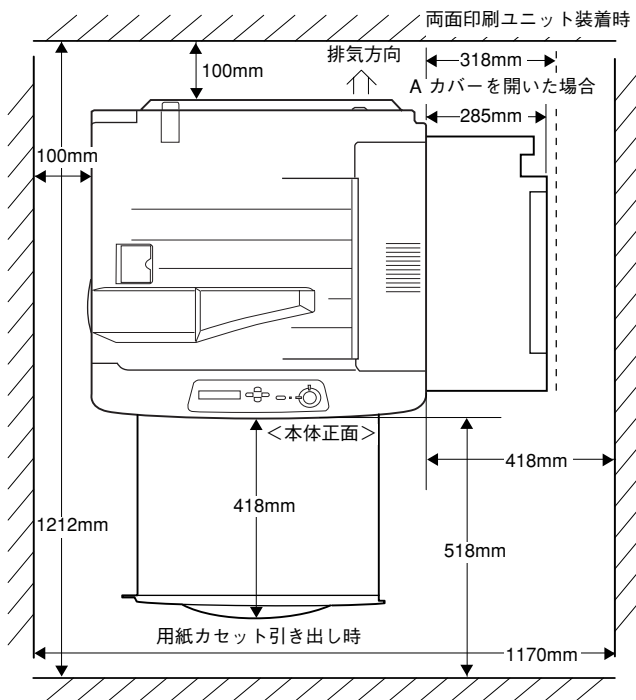
外形寸法	LP-9500C ：幅 652mm ×奥行き 594mm ×高さ 456mm（小数点以下四捨五入） LP-9500CZ ：幅 652mm ×奥行き 594mm ×高さ 564mm（小数点以下四捨五入）
重量 （消耗品を含む）	LP-9500C ：約 49kg LP-9500CZ ：約 57kg

寸法図（小数点以下四捨五入）

オプション装着時（小数点以下四捨五入）

増設カセットユニット（LPA3CZ1CU1）装着時	1 段	幅 652mm ×奥行き 594mm ×高さ 563mm
	2 段	幅 652mm ×奥行き 594mm ×高さ 669mm
	3 段	幅 652mm ×奥行き 594mm ×高さ 774mm
両面印刷ユニット（LPA3CRU1）装着時		幅 709mm

設置スペース

両面印刷ユニット装着時
排気方向
100mm
318mm
A カバーを開いた場合
285mm
100mm
＜本体正面＞
418mm
418mm
1212mm
518mm
用紙カセット引き出し時
1170mm

100mm

索引

数字

16 進ダンプ 253
180 度回転印刷（Macintosh）............159
1 ページ目（Macintosh）...................191
1 ページ目（Windows）........................68

A

ACK ハバ（操作パネル）......................239
AppleTalk（操作パネル）....................242

C

CODABAR 277
Code39 274
Code128 275
ColorSync（Macintosh）............177, 213
CR（操作パネル）................................245

D

DMA 転送（Windows）.......................139

E

EPSON TrueType フォント 279
EPSON バーコードフォント 264
EPSON プリンタウィンドウ !3
（Macintosh）......................................203
EPSON プリンタウィンドウ !3
（Windows）....................................93, 94
EPSON プリントモニタ !3
（Macintosh）......................................212
ESC/Page カンキョウメニュー
（操作パネル）..............................245, 247
ESC/PS カンキョウメニュー
（操作パネル）......................................243
ET カートリッジ 337
ET カートリッジの回収 338
ET カートリッジの交換 339

F

FF（操作パネル）.................................245

H

HDD ユニット（Windows）...................85

I

I/F カード（操作パネル）.............231, 240
I/F カードジョウホウ（操作パネル）...229
I/F カードショキカ（操作パネル）.......242
I/F カードセッテイ（操作パネル）.......241
I/F カードセッテイメニュー
（操作パネル）......................................240
I/F タイムアウト（操作パネル）..........235
ICM 59
Interleaved 2of5 276
IP アドレスセッテイ（操作パネル）.....241
IP アドレスの設定 249

J

JAN-8 271
JAN-8 Short 271
JAN-13 272
JAN-13 Short 272

L

LF（操作パネル）.................................245

N

NetBEUI（操作パネル）.......................242
NetWare（操作パネル）.......................242
NW-7 277

O

OCR-B 264, 279
OHP シート 40
OS のスプールを使用する
（Windows）..88

R

RIT（操作パネル）...............................232
RIT（Macintosh）...............................174
RIT（Windows）...................................57
ROM モジュール A/B ジョウホウ
（操作パネル）......................................229
ROM モジュール指定（Windows）.......74

S

sRGB（Windows）................................59

T

TCP/IP の設定 249
TrueType フォント 87, 279
TrueType フォントでそのまま印刷
（Windows）..87

U

UPC-A 273
UPC-E 273
USB（操作パネル）..............................231
USB I/F（操作パネル）........................240
USB I/F セッテイメニュー
（操作パネル）.....................................240
USB インターフェイスケーブル 286

あ

アイコン設定（Windows）....................97
厚紙 14, 36
アンインストール（Macintosh）.........216
アンインストール（Windows）...........148

い

イエロー（Macintosh）.......................175
イエロー（Windows）............................58
イメージホセイ（操作パネル）............233
色補正方法（Macintosh）....................175
色補正方法（Windows）........................58
色（Macintosh）..........................167, 172
色（Windows）................................51, 55
印刷終了通知（Macintosh）................209
印刷終了通知（Windows）..................102
［印刷終了通知］ダイアログ
（Macintosh）.......................................209
［印刷終了通知］ダイアログ
（Windows）...102
印刷終了を通知する（Macintosh）.....204
印刷終了を通知する（Windows）..........98
印刷状況（Macintosh）.......................212
［印刷設定］ボタン（Macintosh）.......160
印刷設定（Macintosh）.......................158
［印刷中止］ボタン（Macintosh）.......209
［印刷中止］ボタン（Windows）.........102
印刷中プリンタのモニタを行う
（Windows）...93
印刷の高速化（Windows）..................139
印刷の中止方法（Macintosh）.............215
印刷の中止方法（Windows）...............146
印刷品質（Macintosh）.......................172
印刷品質（Windows）......................52, 55
印刷部数（Windows）............................54
印刷方向（Macintosh）.......................159
印刷方向（Windows）............................50
印刷保証領域 16, 424
インサツメニュー（操作パネル）.........232
印刷モード（Macintosh）....................173
印刷モード（Windows）........................86
インターフェイスカード 286

う

ウエオフセット（操作パネル）............233
ウエオフセット B（操作パネル）.........233
ウォームアップ時間 421

え

エラーコード（操作パネル）................245
エラー表示の選択（Macintosh）.........204
エラー表示の選択（Windows）.............97

お

往復ハガキ 14, 31
オートフォトファイン !4
（Macintosh）.......................................176
オートフォトファイン !4
（Windows）...59
［オーバーレイ設定］ダイアログ
（Windows）...73
オプション給紙装置（Windows）..........85
オプション情報（Windows）.................84
オフセット（Macintosh）....................178
オフセット（Windows）........................88
音声通知（Macintosh）.......................204
音声通知（Windows）............................97

か

カイゾウド（操作パネル）....................232
解像度 421

カイページ（操作パネル）....................245
拡大 / 縮小率（Macintosh）................159
拡大 / 縮小（Macintosh）....................182
拡大 / 縮小（Windows）...................63, 64
［拡張設定］アイコン（Macintosh）...170
［拡張設定］ダイアログ（Macintosh）178
［拡張設定］ダイアログ（Windows）....86
［拡張設定］ボタン（Windows）...........84
カスタマ・バーコード 278
［カスタム用紙］ボタン
（Macintosh）......................................160
カセット 1 タイプ（操作パネル）........230
カセット 1 ヨウシサイズ
（操作パネル）......................................230
カセット 2 タイプ（操作パネル）........230
カセット 2 ヨウシサイズ
（操作パネル）......................................230
カセット 3 タイプ（操作パネル）........230
カセット 3 ヨウシサイズ
（操作パネル）......................................230
カッコクモジ（操作パネル）................243
紙厚 17, 422
カミシュ（操作パネル）.......................236
カラー / モノクロの自動判別を行う
（Macintosh）......................................178
カラー / モノクロの自動判別を行う
（Windows）..88
［環境設定］ダイアログ（Windows）....82
感光体ユニット 290
感光体ユニット交換 327
感光体ユニット寿命（Macintosh）.....206
感光体ユニット寿命（Windows）........100
感光体ユニットの回収 328
感光体ユニットの交換 329
カンジショタイ（操作パネル）............244
［監視プリンタの設定］ユーティリティ
（Windows）..104
監視プリンタの設定（Windows）........104
官製往復ハガキ 14, 31
官製ハガキ 14, 31
ガンマ（Macintosh）..........................175
ガンマ（Windows）..............................58

き

［基本設定］ダイアログ（Windows）....49
逆順印刷（Macintosh）.......................168
逆方向から印刷（Windows）.................63
キュウシイチ（操作パネル）................243
キュウシグチ（操作パネル）................235
キュウシソウチメニュー
（操作パネル）......................................230
給紙装置（Macintosh）.......................166
給紙装置（Windows）............................50
給紙ローラのクリーニング 348
共有プリンタ（Macintosh）................195
［共有プリンタ設定］ボタン
（Macintosh）......................................195
共有プリンタをモニタさせる
（Windows）..98
共有（Macintosh）..............................196
共有（Windows）................................107

く

クライアント（Windows）..................107
グラフィック（Macintosh）................177
グラフィック（Windows）....................56

こ

高速グラフィック（Windows）.............88
コート紙 13, 17, 38
コピーマイスウ（操作パネル）............236
コントラスト（Macintosh）................175
コントラスト（Windows）....................58

さ

サービス 415
再生紙 14
最大解像度（Macintosh）....................194
彩度（Macintosh）..............................175
彩度（Windows）..................................58
削除（Windows）................................148
削除（Macintosh）..............................216
サポート 415

し

シアン（Macintosh）..........................175

シアン（Windows）..............................58
［実装オプション設定］ダイアログ
（Windows）..85
実装メモリ（Windows）........................85
指定したフォントだけプリンタ
フォントで印刷（Windows）.................87
ジドウエラーカイジョ（操作パネル）.237
自動縮小印刷（Windows）....................49
ジドウハイシ（操作パネル）................237
シュクショウ（操作パネル）................232
縮小率（Macintosh）...........................159
縮小（Windows）..................................63
ジュシンバッファ
（操作パネル）.......................239, 240, 242
出力用紙サイズ（Macintosh）............182
出力用紙（Windows）............................64
［詳細設定］ダイアログ
（Macintosh）.....................................172
［詳細設定］ダイアログ（Windows）....55
詳細設定モード（Macintosh）............169
［詳細］ボタン（Windows）...................73
［情報の更新］ボタン（Macintosh）...208
［情報の更新］ボタン（Windows）......102
消耗品（Windows）............................101
消耗品詳細（Macintosh）....................208
［消耗品詳細］ボタン（Macintosh）...210
［消耗品詳細］ボタン（Windows）......103
［初期値にする］ボタン（Windows）....88
ジョブ管理（Macintosh）....................207
ジョブ管理（Windows）........................94
ジョブ情報（Macintosh）....................208
ジョブ情報（Windows）......................101
ジョブ情報を表示する（Macintosh）..204
ジョブ情報を表示する（Windows）......98
ジョブリスト（Macintosh）................208
ジョブリスト（Windows）..................101
新郵便番号 278

す

推奨設定モード（Macintosh）............168
スクリーン（Macintosh）....................173
スクリーン（Windows）........................56
スタンプマーク（Macintosh）....181, 184
スタンプマーク（Windows）...........72, 75
ステータスシート 252
ステータスシート（操作パネル）.........229
［ステータスシート印刷］ボタン
（Windows）..84
［ステータスシート］ボタン
（Macintosh）.......................................194
スプールファイル保存フォルダ
（Macintosh）.......................................179

せ

製本する（Windows）............................68
精密ビットマップアライメント
（Macintosh）.......................................160
接続先の変更（Windows）..................133
セッテイショキカ（操作パネル）.........238
設定モード（設定一覧）.......................224
節電機能 251
セツデンジカン（操作パネル）............235
ゼロ（操作パネル）..............................244
線幅を調整する（Macintosh）.............179
専用プリンタ台 288

そ

操作パネル 219
増設カセットユニット 287
ソウホウコウ（操作パネル）................239

た

代替 / 追加ドライバ（Windows）........111
代替 / 追加ドライバの削除
（Windows）..154
［対処方法］ボタン（Macintosh）.......210
［対処方法］ボタン（Windows）.........103

ち

中間スプールフォルダ選択
（Windows）..91

つ

通信販売 291

と

［動作環境設定］ダイアログ
（Windows）...91
［動作環境設定］ボタン（Windows）....84
ドキュメント設定（Windows）.............92
特殊紙 14, 31
とじしろ幅（Macintosh）....................191
とじしろ幅（Windows）........................68
トジホウコウ（操作パネル）................236
トナー 289, 337
トナーザンリョウ（操作パネル）.........229
トナー残量（Macintosh）....................206
トナー残量（Windows）......................100
トナーセーブ（Macintosh）................174
トナーセーブ（操作パネル）................232
トナーセーブ（Windows）....................57
ドライバによる色補正（Windows）......58
ドライバによる色補正（Macintosh）..175
ドライバの設定を使用する
（Windows）...87

に

任意倍率（Windows）............................64

ね

ネットワークプリンタ（Windows）....107

の

ノベインサツマイスウ（操作パネル）.230

は

バーコード 264
［バージョン情報］ボタン
（Windows）...54
ハードディスクユニット 288
排紙 28
排紙容量 422
配置（Macintosh）..............................182
配置（Windows）..................................64
廃トナーボックス 343
廃トナーボックス（Macintosh）.........206
廃トナーボックス（Windows）...........100
ハガキ 14, 31
ハクシセツヤク（操作パネル）............237
白紙節約する（Macintosh）................178
白紙節約する（Windows）....................88
バックグラウンドプリント
（Macintosh）......................................211
パラレル（操作パネル）.......................231
パラレル I/F（操作パネル）.................239
パラレル I/F セッテイメニュー
（操作パネル）.....................................239
パラレルインターフェイスケーブル ...285

ひ

ヒダリオフセット（操作パネル）.........233
ヒダリオフセット B（操作パネル）.....233
ヒョウジゲンゴ（操作パネル）............235

ふ

ファーストプリント 421
ファイル指定（Windows）....................73
フィットページ（Macintosh）.............180
封筒 14, 34
フォームオーバーレイ（Windows）......72
フォームオーバーレイ（操作パネル）..246
フォームオーバーレイ
ROM モジュール 288
フォームバンゴウ（操作パネル）.........246
［フォーム］リスト（Windows）...........73
フォトコピー縮小（Macintosh）.........159
［フォント設定］ボタン
（Macintosh）......................................160
フォントタイプ（操作パネル）............245
部数（Macintosh）..............................166
部単位で印刷（Macintosh）................167
部単位で印刷（Windows）....................54
普通紙 13, 14
フッキカイギョウ（操作パネル）.........245
フッター（Macintosh）.......................181
フッター（Windows）............................74
不定形紙 14, 42
プリンタ（Windows）............................84
［プリンタ共有設定］ボタン
（Macintosh）......................................195

［プリンタ詳細］ウィンドウ
（Windows）....................................99, 100
［プリンタ詳細］ウィンドウ
（Macintosh）...............................205, 206
［プリンタ詳細］ウィンドウ
（Windows）...100
プリンタジョウホウメニュー
（操作パネル）......................................229
プリンタセッテイメニュー
（操作パネル）......................................235
［プリンタセットアップ］ダイアログ
（Macintosh）......................................193
プリンタドライバ入手方法 417
プリンタの共有（Macintosh）............196
プリンタの共有（Windows）...............107
プリンタの設定を使用する
（Macintosh）......................................178
プリンタの設定を使用する
（Windows）...87
プリンタフォント使用
（Macintosh）...............................168, 174
プリンタモードメニュー
（操作パネル）......................................231
プリンタをモニタする
（Macintosh）......................................195
プリントサーバ（Windows）...............107
プリント速度 421
［プリント］ダイアログ
（Macintosh）......................................166
［プレビュー］アイコン
（Macintosh）......................................171
プロパティ（Windows）........................45

へ

ページエラーカイヒ（操作パネル）.....237
ページサイズ（操作パネル）................232
ページ選択（Macintosh）....................180
［ページ装飾］ダイアログ
（Windows）...72
ページ（Macintosh）...........................166
［ヘッダー / フッター設定］ダイアログ
（Windows）...74
ヘッダー / フッター（Macintosh）.....181
ヘッダー / フッター（Windows）..........74

ほ

ポート（Windows）.............................133

ま

マゼンタ（Macintosh）.......................175
マゼンタ（Windows）............................58

み

ミギマージン（操作パネル）................244

め

明度（Macintosh）...............................175
明度（Windows）...................................58

も

モジコード（操作パネル）....................243
［モニタの設定］ダイアログ
（Macintosh）.......................................204
［モニタの設定］ダイアログ
（Windows）...97
［モニタの設定］ボタン（Windows）....93

ゆ

ユーザー定義サイズ（Windows）..........50
［ユーティリティ］ダイアログ
（Windows）...93

よ

用紙 14
ヨウシイチ（操作パネル）....................244
用紙サイズ 17, 422
用紙サイズと給紙方法 423
用紙サイズのチェックをしない
（Macintosh）.......................................178
用紙サイズのチェックをしない
（Windows）...88
ヨウシサイズフリー（操作パネル）.....237
用紙サイズ（Macintosh）....................159
用紙サイズ（Windows）........................49
用紙残量（Macintosh）.......................206
用紙残量（Windows）..........................100
用紙種類 17, 422
用紙種類（Macintosh）.......................167

用紙種類（Windows）............................51
［用紙設定］ダイアログ
（Macintosh）.......................................159
用紙設定（Macintosh）.......................157
用紙タイプ選択機能 43
ヨウシホウコウ（操作パネル）............232
用紙容量 17, 422

ら

ラベル紙 14, 37

り

リセット（操作パネル）...............238, 254
リセットオール（操作パネル）....238, 254
リセットメニュー（操作パネル）.........238
リファレンスマニュアル 290
リョウメンインサツ（操作パネル）.....236
両面印刷ユニット 287
両面印刷ユニット（Windows）.............85
両面印刷（Macintosh）...............181, 191
両面印刷（Windows）......................63, 68

れ

［レイアウト］アイコン（Macintosh）170
［レイアウト］ダイアログ
（Macintosh）......................................180
［レイアウト］ダイアログ
（Windows）..63
レンゾクシ（操作パネル）...................243

わ

ワーニングクリア（操作パネル）.........238
枠を印刷（Macintosh）.......................189
枠を印刷（Windows）............................66
割り付け印刷（Macintosh）................190
割り付け印刷（Windows）....................67
割り付け順序（Macintosh）................189
割り付け順序（Windows）....................66
割り付けページ数（Windows）.............66
割り付け（Macintosh）...............181, 189
割り付け（Windows）......................63, 66

改訂履歴

Revision	改訂ページ	改訂内容	備考
NPD0034_00	全て	新規制定	
NPD0034_01	3ー9	目次変更	
	17	脚注*4 記載変更	
	34	「注意」記載変更	
	35	「ポイント」洋形封筒の記載追加	
		「封筒にしわが寄ってしまう場合」追加	
	38	「注意」「ポイント」記載変更	
	39	「光沢感をアップさせて印刷する場合」追加	
	40	「注意」純正専用紙について記載追加	
	42	印刷手順の 3 を削除。以降繰り上げ	
	96	「EPSON プリンタウィンドウ!3 をお使いいただく前に」記載変更	
	295	ハードディスクユニットの同梱品、ケーブル形状について変更	
	296	ケーブル形状変更	
	299	手順 3 イラスト変更	
	301	両面印刷ユニット同梱品変更	
	302	手順 2 イラスト変更	
	303	手順 4 手順説明変更	
	304ー306	手順、イラスト全体変更	
	307	「注意」本体重量修正	
	308ー321	手順、イラスト全体変更	

	329ー336	手順、イラスト全体変更	
	341	手順 5･6 追加	
	345	手順 4 イラスト修正	
	349	タイトル変更。「注意」重量修正 持ち方変更	
	350ー353	手順説明、イラスト全体修正	
	358ー359	プリンタの長期保管追加	
	370	「注意」記載追加	
	375	「ポイント」記載変更	
	376	用紙カセット内の紙詰まりの記載追加	
	377	「注意」記載追加	
	379	手順 3 手順説明、イラスト変更	
	380	手順 4 手順説明、イラスト変更	
	383ー384	手順番号変更。手順 9 イラスト変更	
	391	「用紙両端の汚れ･C　カバー付近での 紙詰まり、給紙ミスの多発」追加	
	422	脚注*4 記載変更	
	426	重量修正	
	428ー434	索引内ページ番号変更	